

詩經

和

五

卷

186
190

186-190



1200800036376



日本上古の無文銀錢



和同開珎鑄造以前の通貨なりといふ



無文銅錢

大正
5. 9. 18
内交

時價詳記

和漢

古

錢

通

完

木

脱

銅

臭

齋

編

東京書肆

朝陽舎

例言

○本書は日本、支那、安南の歴代錢及び和漢の繪錢等に部門を分ち、鑄造の年代と時價とを略記し、以て初學賞泉家の階梯に供す。

○古錢の價格は、現存品の多寡に因りて、高低を爲すとは勿論、時々流行(?)にも大に關係あり、また偶々多數の發見、亦は發掘したるが如き場合は、價格暴に變動すべし、特に支那にては、近年各地に於て續々發掘せらるゝを以て、古來の珍品も、今日の珍品たらざるもの頗る多し。

○亦錢質の美醜によりて、價格に差等あると無論なり、本書に擧ぐるは、先づ美錢としての價格なり。

○總て古書畫骨董等、美術的貴品には贗造物多し、初心者は宜しく先覺者の鑑定を待つて購ふを可とす。

○錢貨は彼我とも上古より續鑄せられたれば、隨て其品種の多き、能く一小冊子の盡す所にあらずと雖も、本書は大體に通せむとを期して、大に選擇に力めたり。

大正五年九月

編者しるす

和漢古錢通

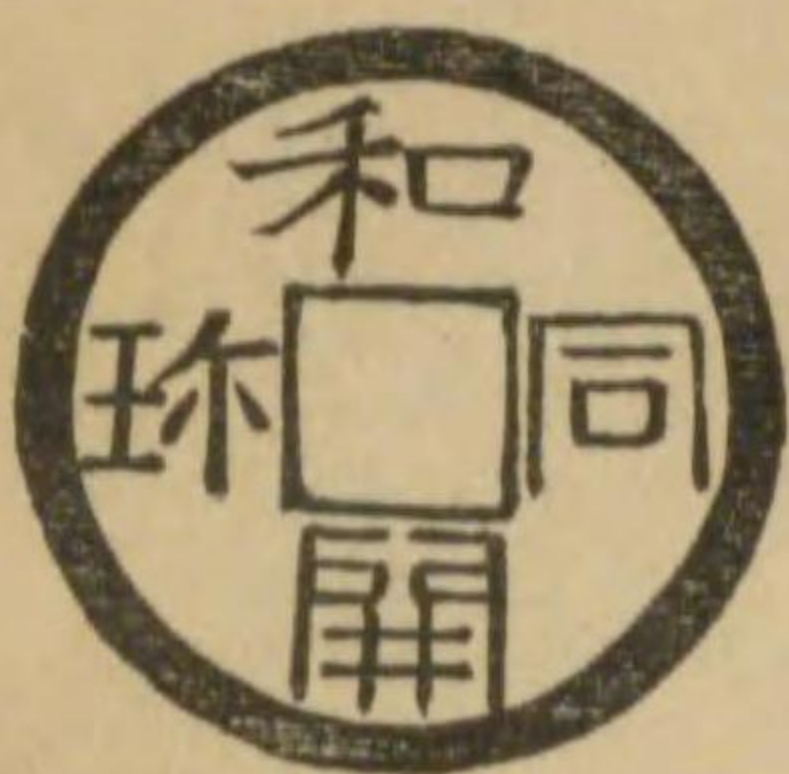
未脫銅臭齋編

日本錢

和同開珍

元明天皇

和銅元年



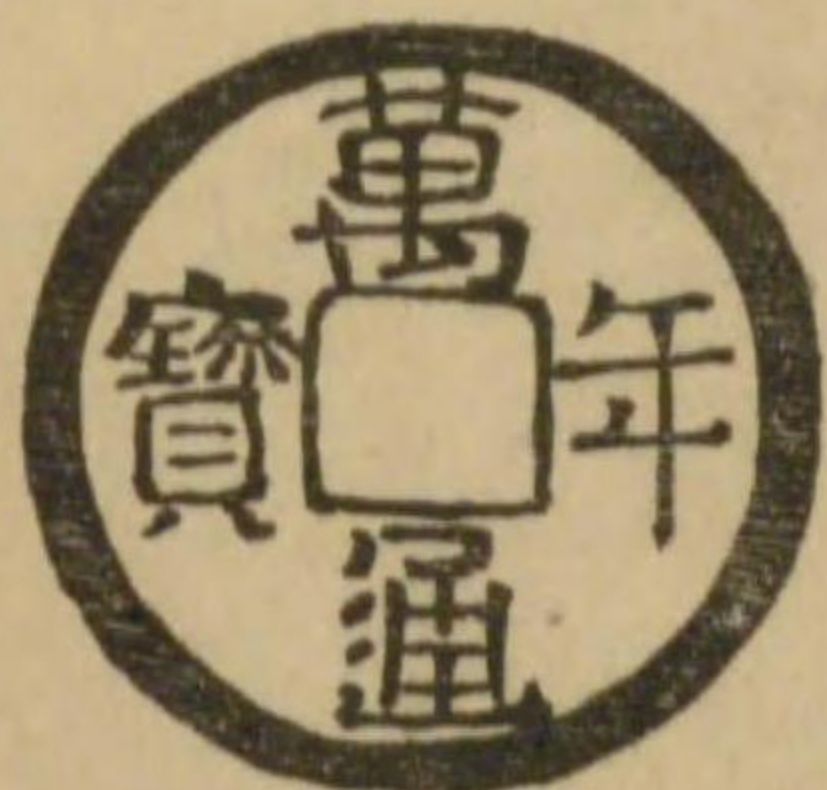
○今を距ると一千二百餘年前、元明天皇の御宇、慶雲五年正月武藏國秩父郷より銅を獻す、因て和銅と改元し泉貨を鑄造す、文に『和同開珍』と曰ふ、是我國通貨の始めなり。

右に掲げたるは『普通和同』なり、五拾錢より壹圓『古和同』は卅圓より四拾圓『銀錢和同』は古和同の一種なり、卅五圓より四拾圓『挑剔和同』と稱する、文字の末畫ハネたるもの亦古和同の一種なり六七拾圓『新鑄和同』は寛永以降錢座の樂錢にして價格殊に低し。

萬年通寶

淳仁天皇

天平寶字四年

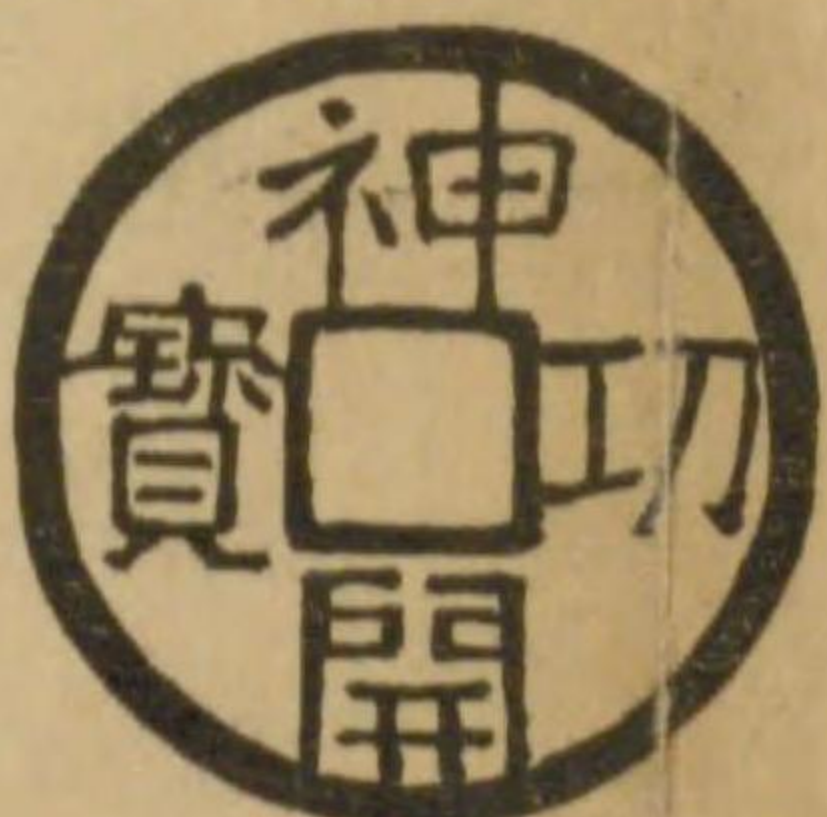


『普通錢』は貳圓より四圓内外『吉備萬年』と稱するものは五六圓『濶縁萬年』は廿圓以上。

神功開寶

稱徳天皇

天平神護元年

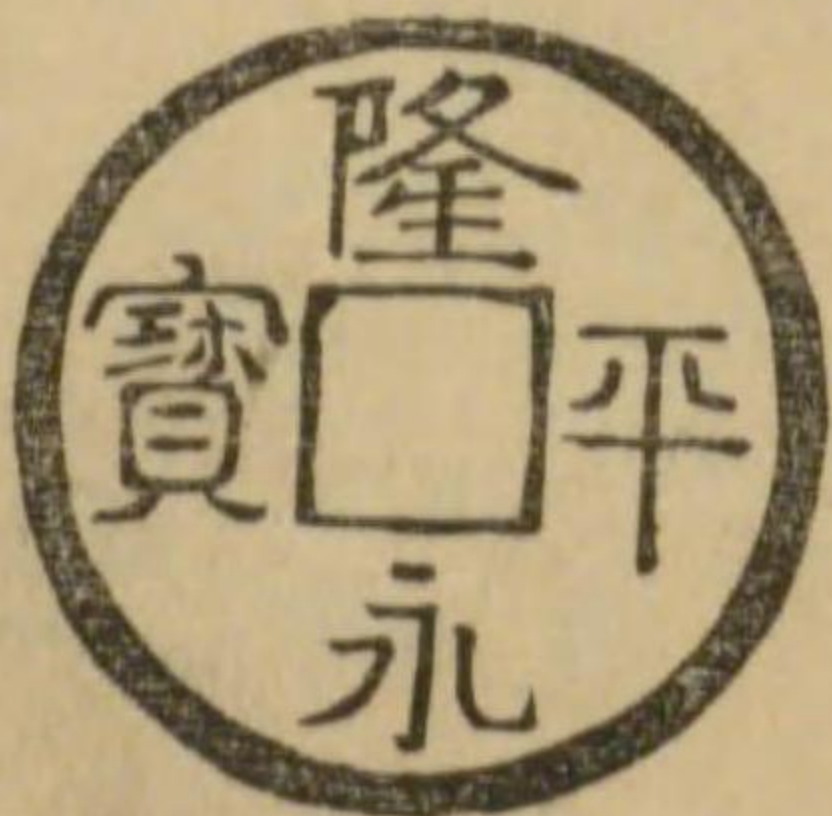


普通錢は五六拾錢より壹圓『力功』は五六圓『濶縁の大様』は廿圓以上。

隆平永寶

桓武天皇

延暦十五年

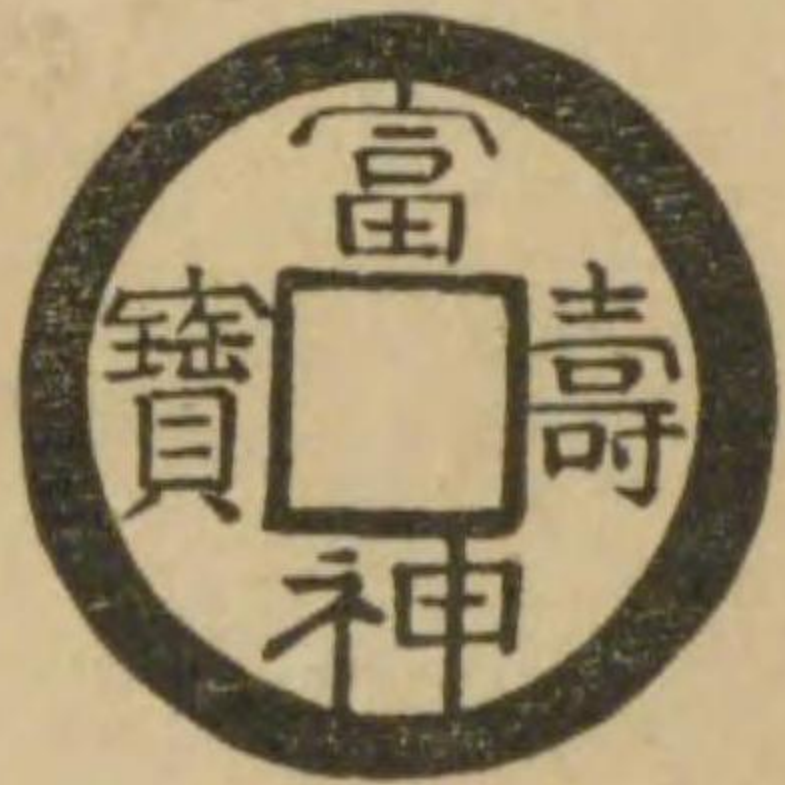


普通錢は貳三圓、大様は卅圓『二水隆平』は七八拾圓。

富壽神寶

嵯峨天皇

弘仁九年

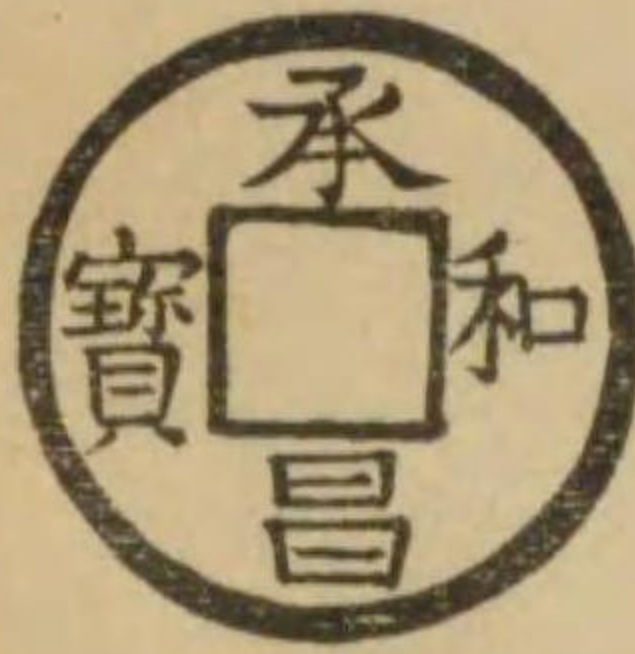


普通錢三圓より五圓「貫壽」と稱する壽の字長く貫くを初鑄とす、六七拾圓。

承和昌寶

仁明天皇

承和二年

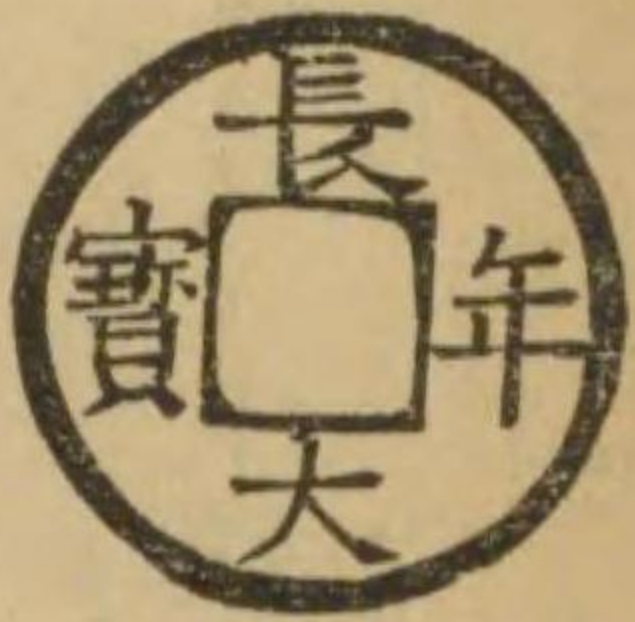


普通錢は、五六圓、大様は卅圓より四拾圓。

長年大寶

同帝

嘉祥元年

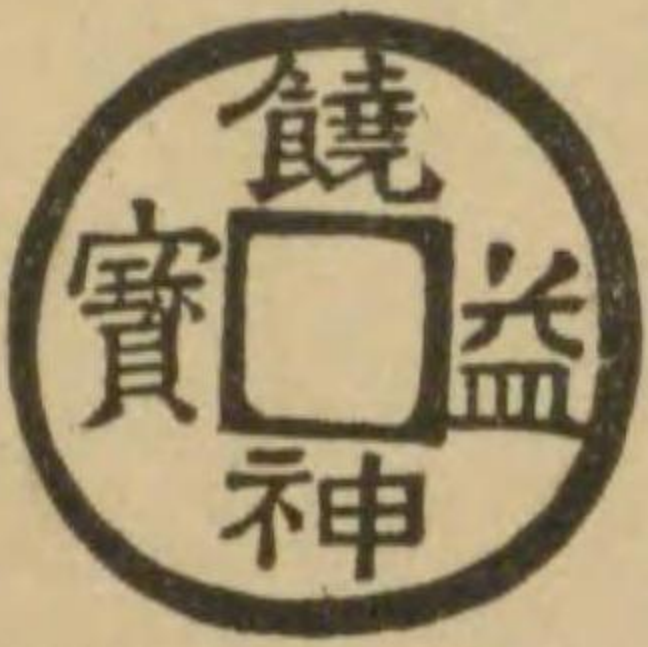


普通錢は三四圓なり、初鑄の大様は卅五圓より五拾圓。

饒益神寶

清和天皇

貞觀元年

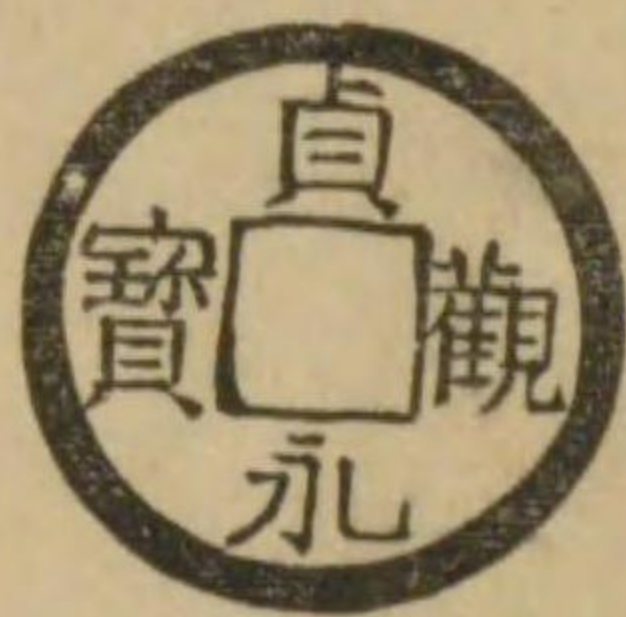


普通錢は廿五圓より卅圓「大字」「左神」は共に四五拾圓「神大」と稱する物は百圓以上。

貞觀永寶

同帝

同十二年



此普通錢の外に「潤縁」「昂貞」の二種ありいづれも四五圓より七八圓。

寛平大寶

宇多天皇

寛平二年

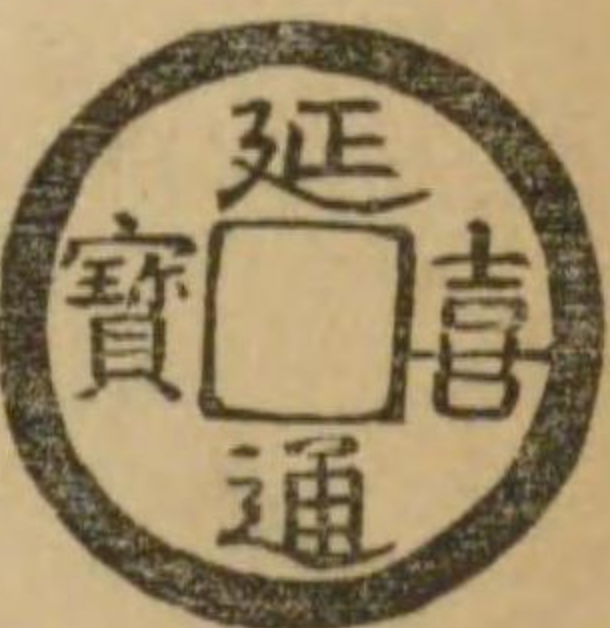


普通錢は七八圓なり「延尾」「狹平」と稱するは貳三拾圓「延寶」は八拾圓より百圓。

延喜通寶

醍醐天皇

延喜七年

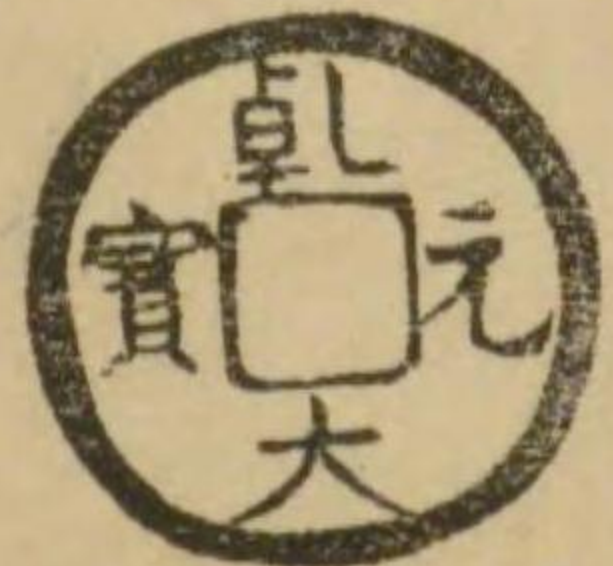


銅、鉛二種にして、異品數種あり、いづれも三圓より七八圓。

乾元大寶

村上天皇

天德二年



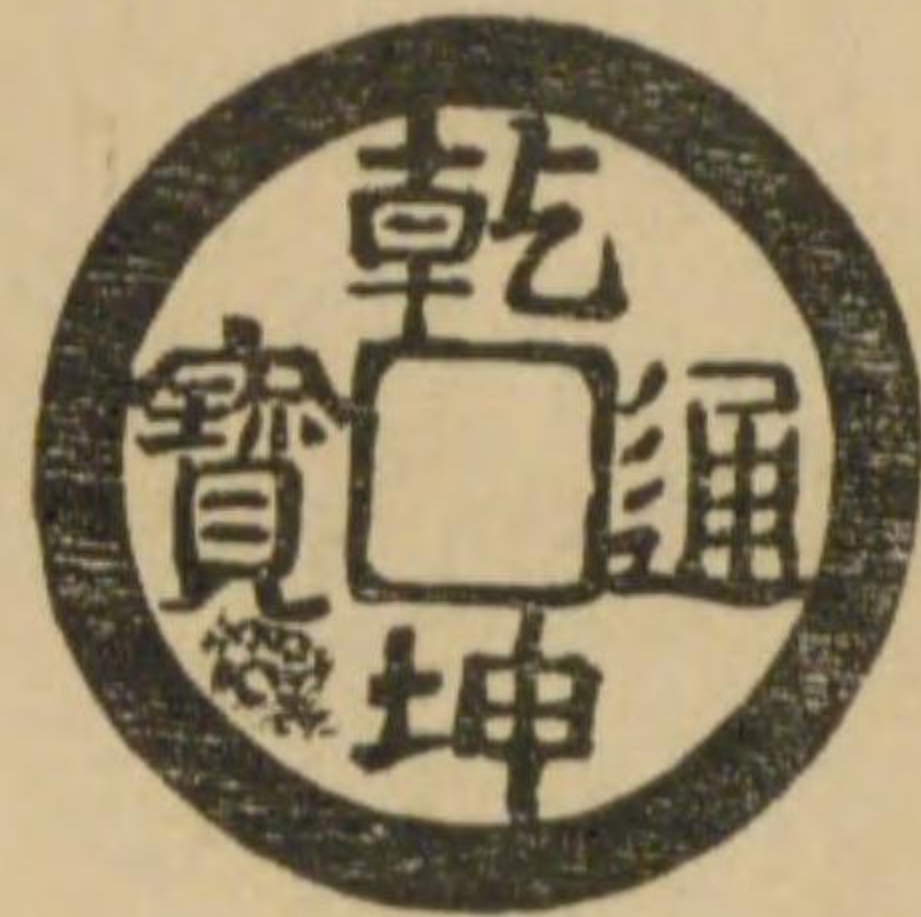
是亦銅、鉛二種あり、二三圓より七八圓以上と同錢より乾元錢までを「皇朝十二錢」と稱す。

○乾元錢以降數百年間、官錢の鑄造中絶したり。

乾 坤 通 寶

後醍醐天皇

建武年間



延 元 正 寶 (鉛錢)

同 帝

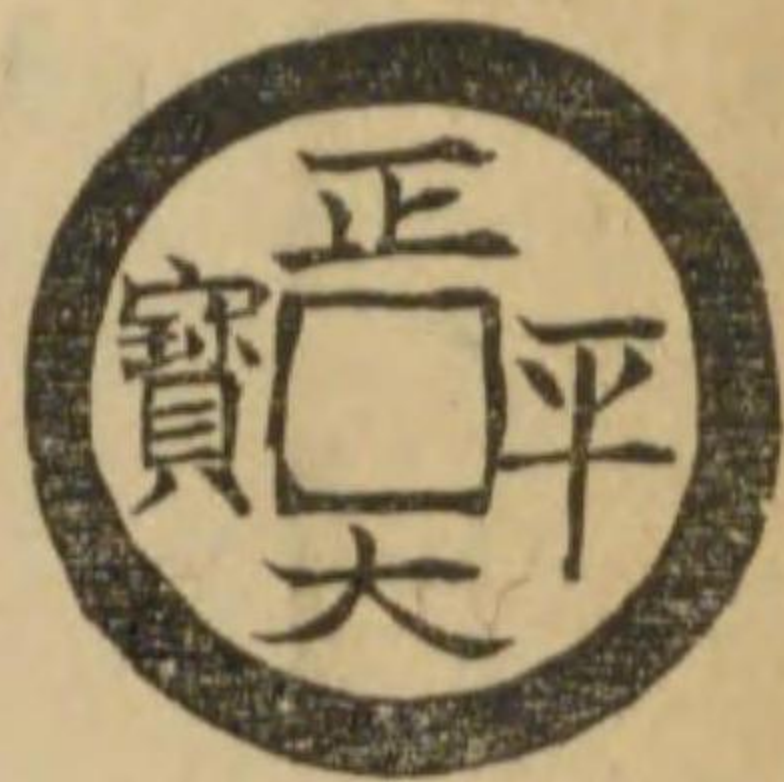
延元年間



正 平 大 寶 (鉛錢)

後村上天皇

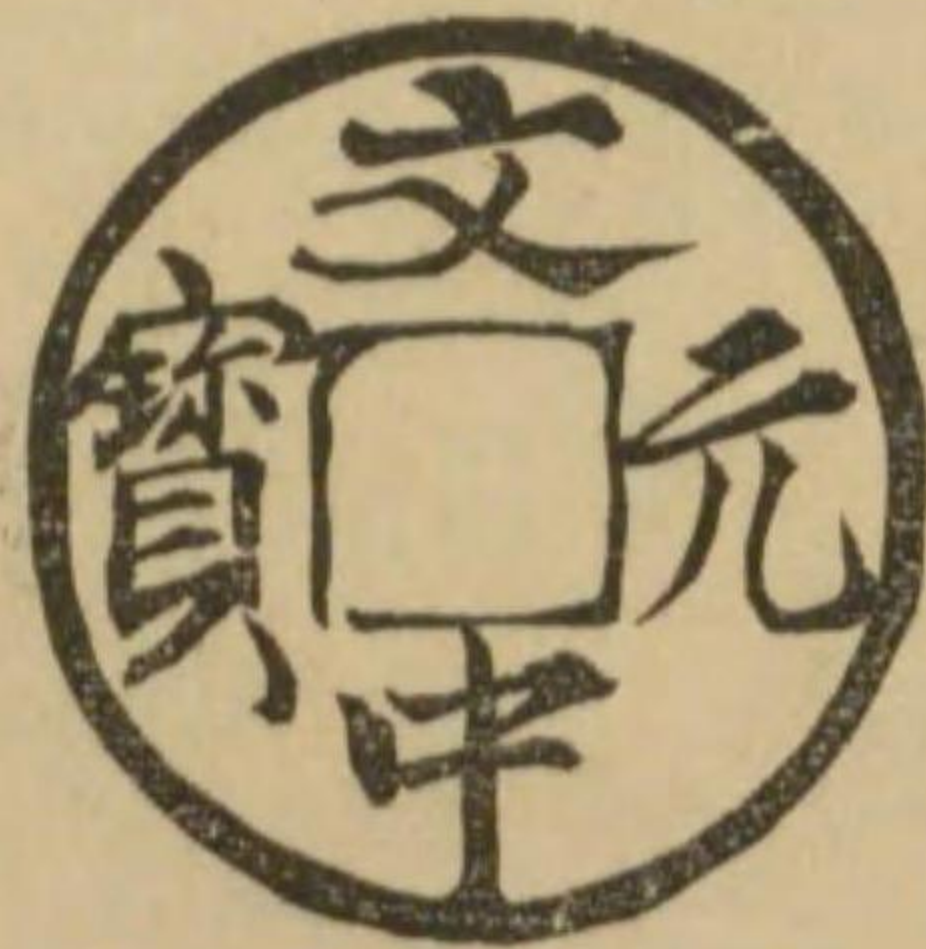
正平年間



文 中 元 寶 (鉛錢)

後龜山天皇

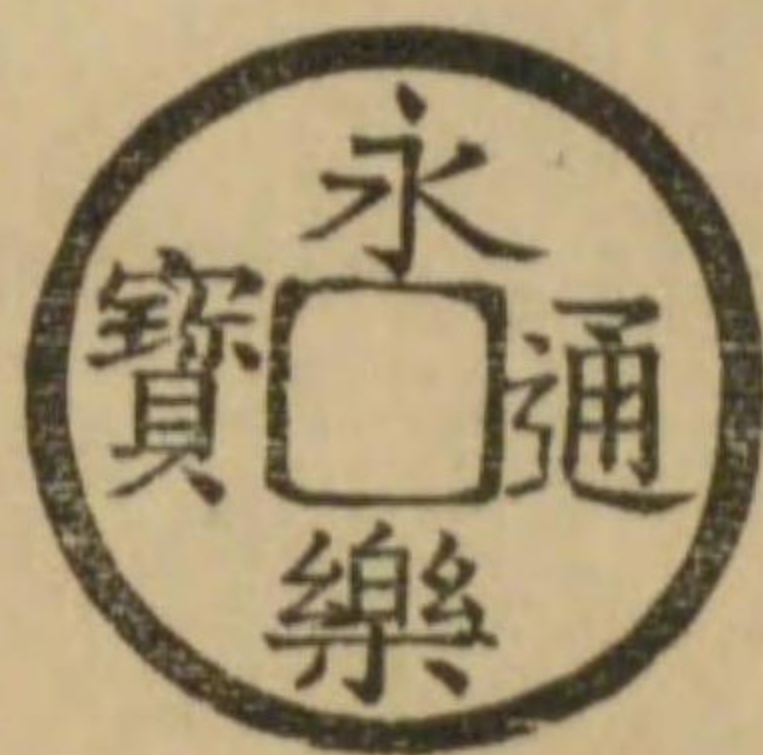
文中年間



○乾坤錢より文中錢に至る四品は正貨に非ず、南朝の軍用錢なりと云ふ、價格未詳。

永 樂 通 寶

本邦所鑄

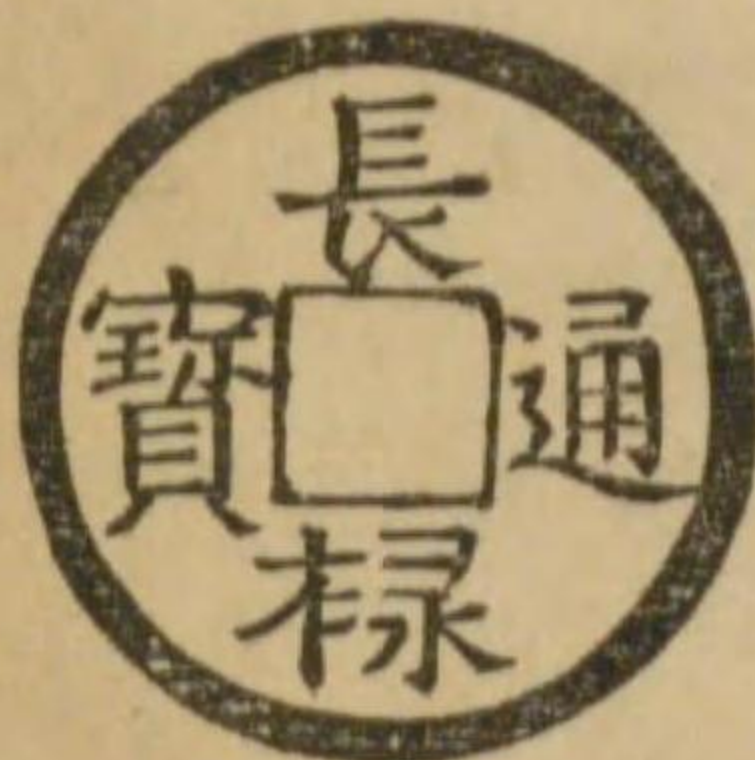


○永樂錢は原支那の通貨なるが、足利時代より多く輸入し、我が通貨となり各地にて鑄造したれば種類極めて多く、普通錢は價值なし。

長 祿 通 寶

後花園天皇

長祿年間



本錢は比較的尠し、拾五圓以上。

天 正 通 寶

後陽成天皇

天正年間

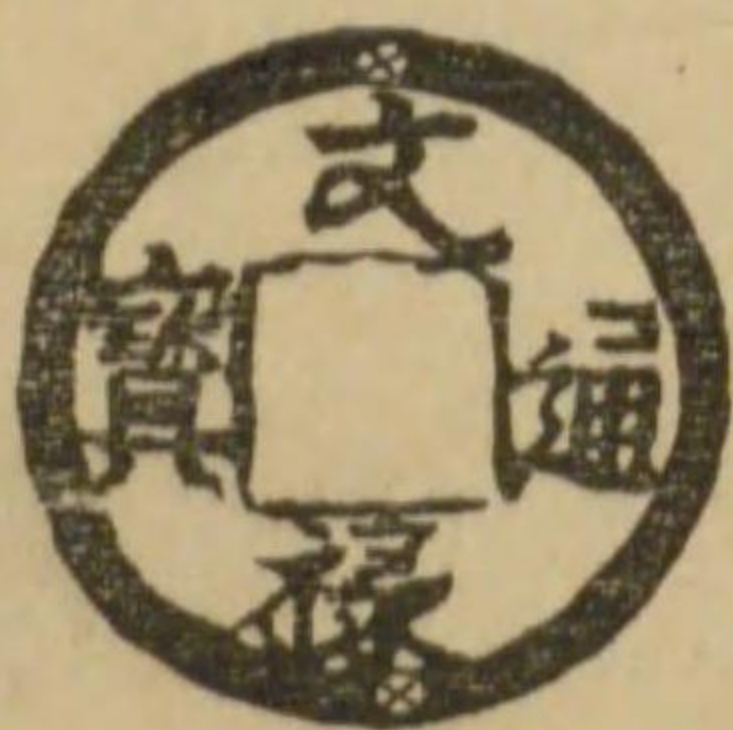


金、銀、銅の三種あり、金、銅二種は尠し、銀錢の大様は拾圓、同小様は四五圓。

文 祿 通 寶

同 帝

文祿年間

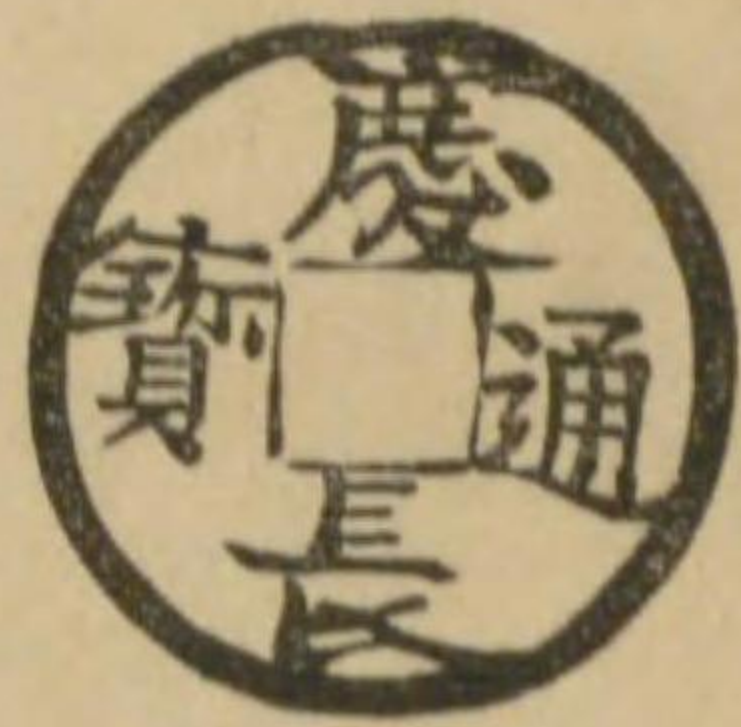


銀、銅二種あり、銀錢は拾五六圓、銅錢は四五圓。

慶長通寶

同帝

慶長年間

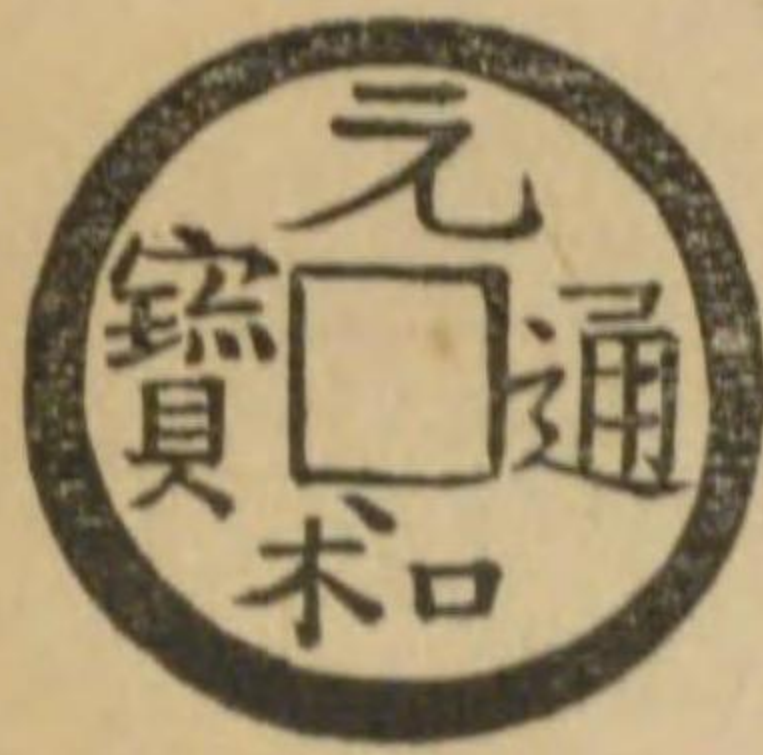


銀、銅二種あり、普通錢は現在品多く拾錢内外、篆書の銀錢は拾五圓より廿圓。

元和通寶

後水尾天皇

元和年間

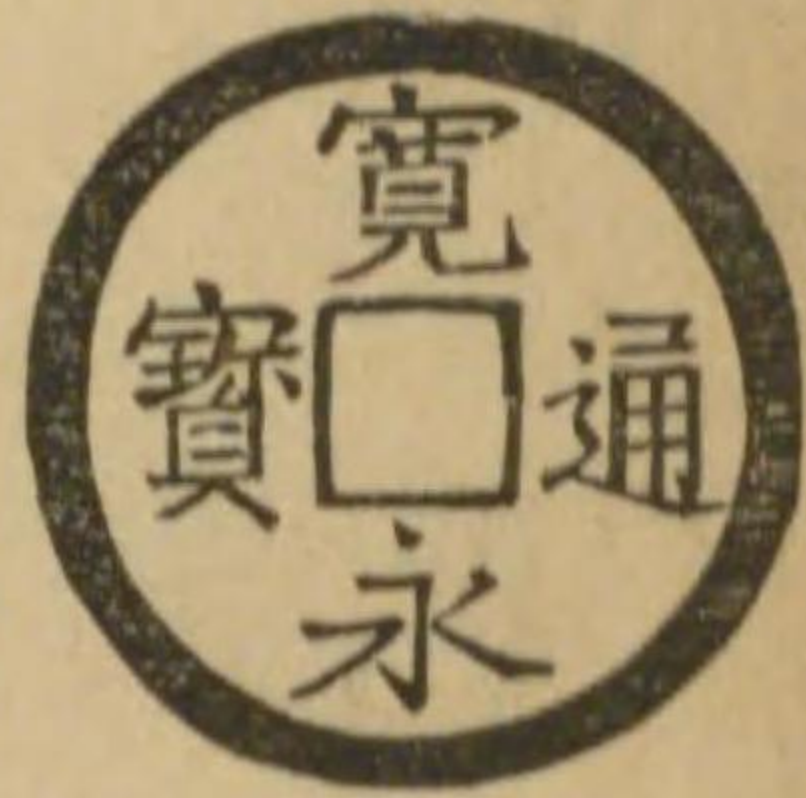


銀、銅二種あり、銀錢拾圓、銅錢四五圓。

寛永通寶

明正天皇

寛永十三年



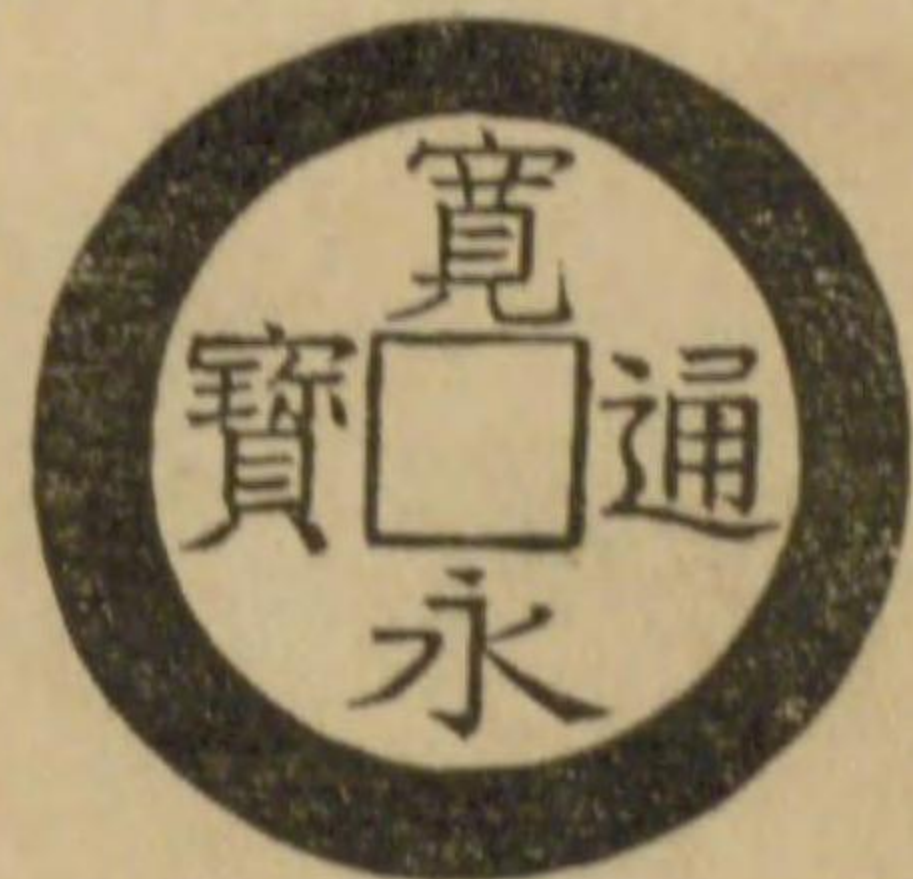
○寛永錢は開鑄以來幕末まで各地に於て鑄造せられし通貨なれば、其種類の多きこと五百數十品を算す、されば珍品も亦尠からず、同三年の鑄造に係る世に『元和手』と稱するものは卅圓以上、『太平手』は廿圓以上、『永樂手』は廿五圓内外、『二水大寶』と『二水長字』は共に十圓内外、また銀錢も數種あれども反つて廉く三五圓なり、普通錢は價值なし。

寛永通寶

(真鍮錢)

後櫻町天皇

明和五年

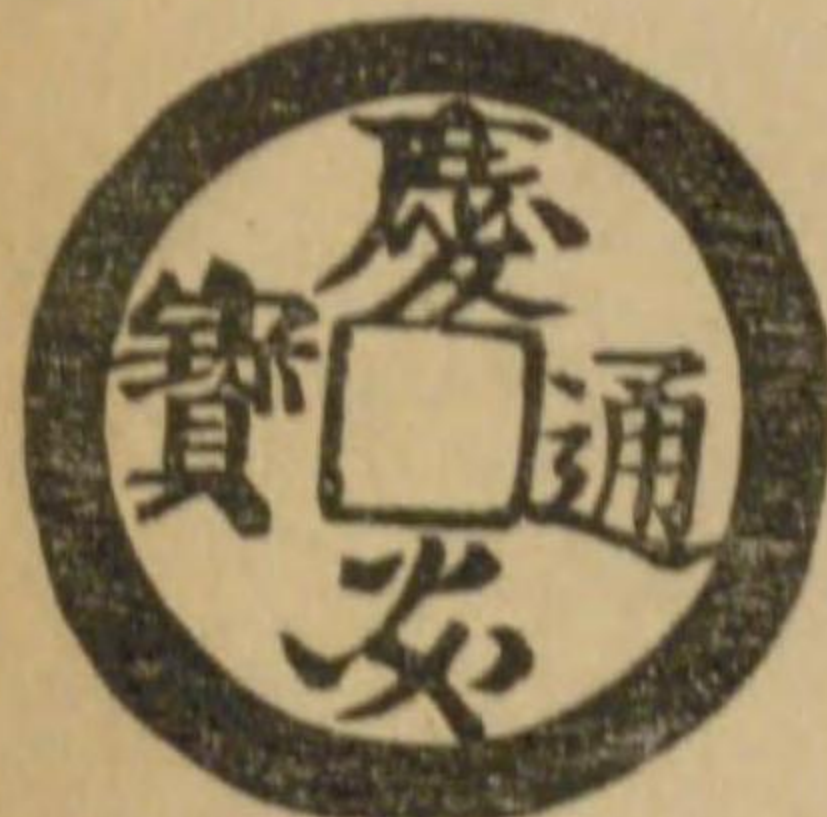


俗に四文錢といふ、價值なし、外に銅、鐵の二種あり、品質によりて價高し。

慶安通寶

後光明天皇

慶安元年



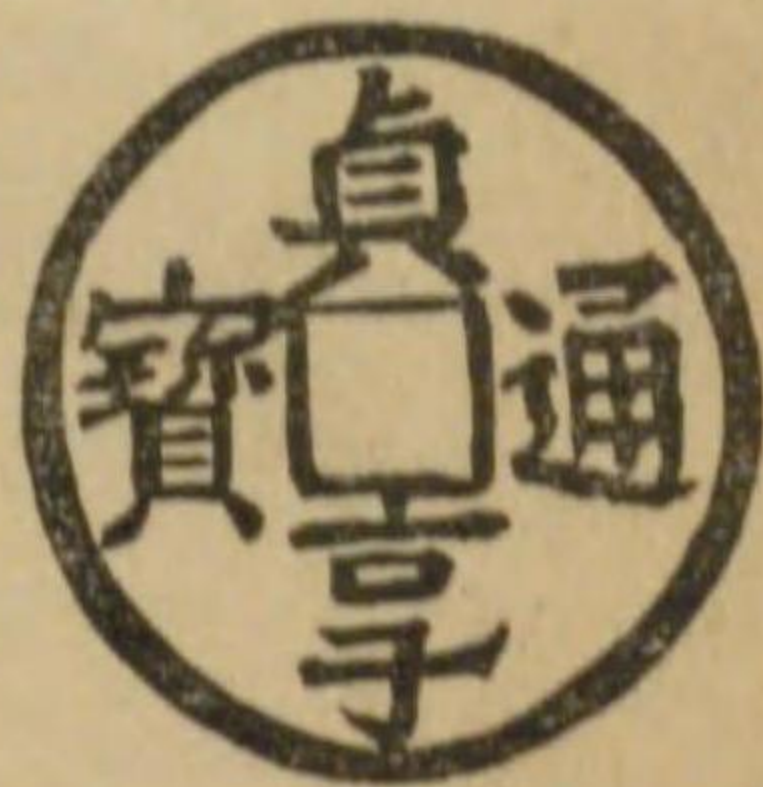
銀、鉛二種あり、銀錢は三四圓、鉛錢は壹圓半。

貞享通寶

(銀錢)

靈元天皇

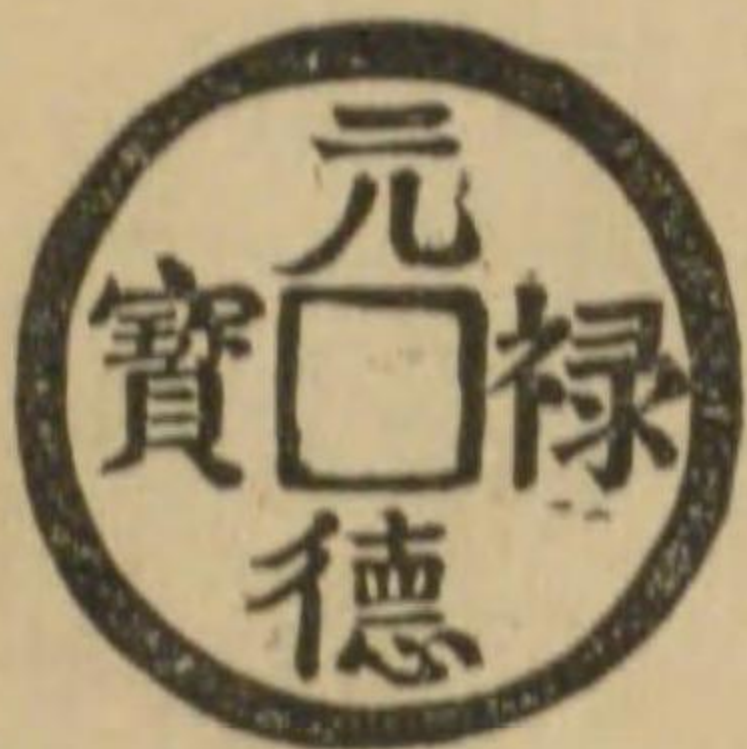
貞享元年



四五圓より七圓。

元祿徳寶

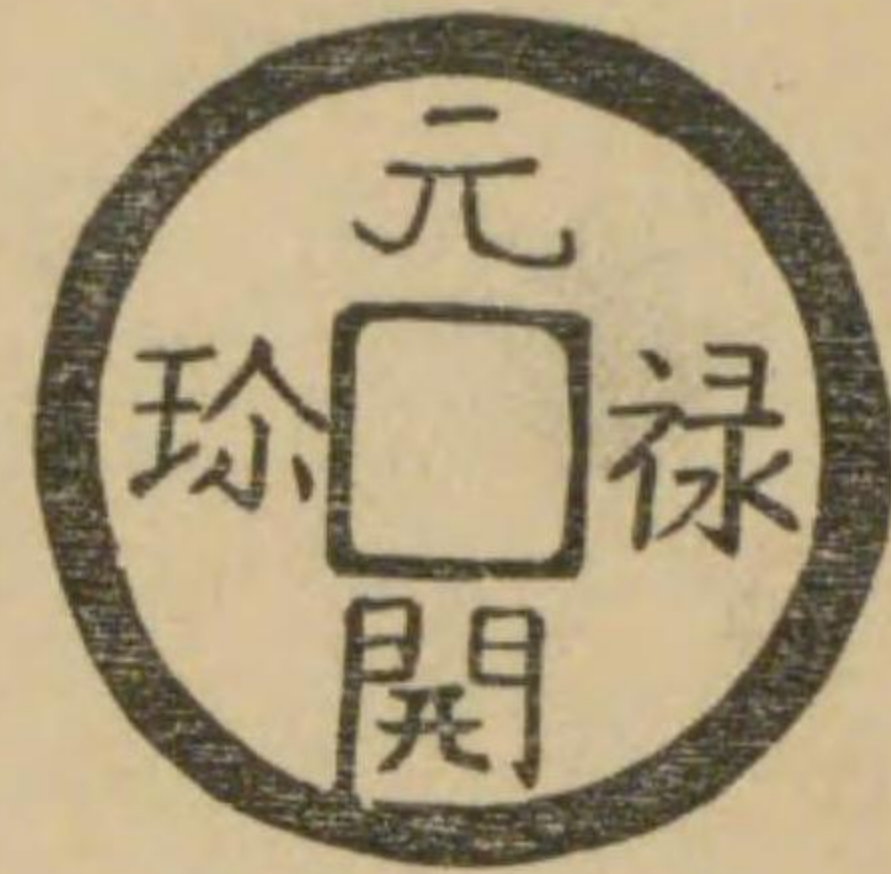
東山天皇元祿六年



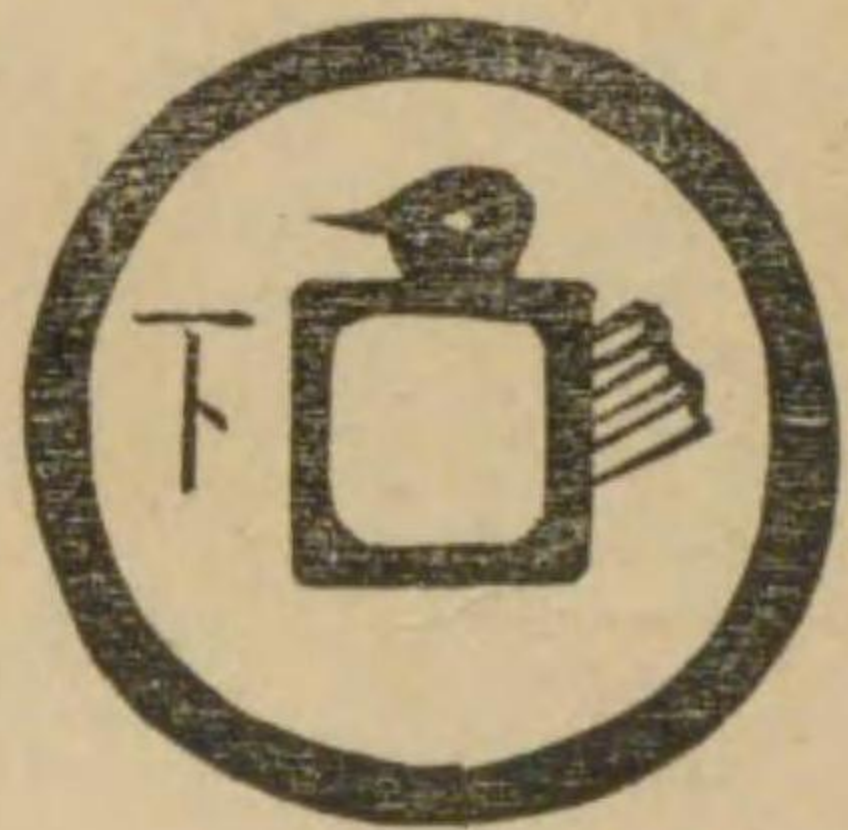
背



同上



背



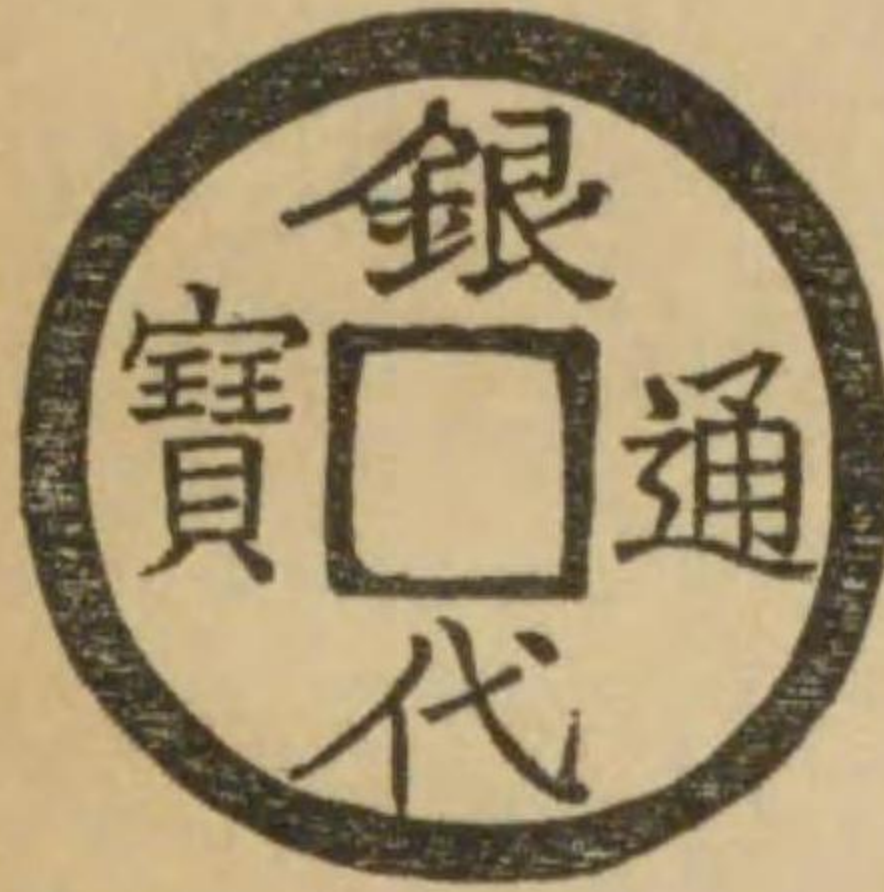
右二品共三四圓、外に『元禄大珍』あり、價格同上、いづれも通貨にあらず。

銀代通寶

(銀錢)

同帝

同十六年

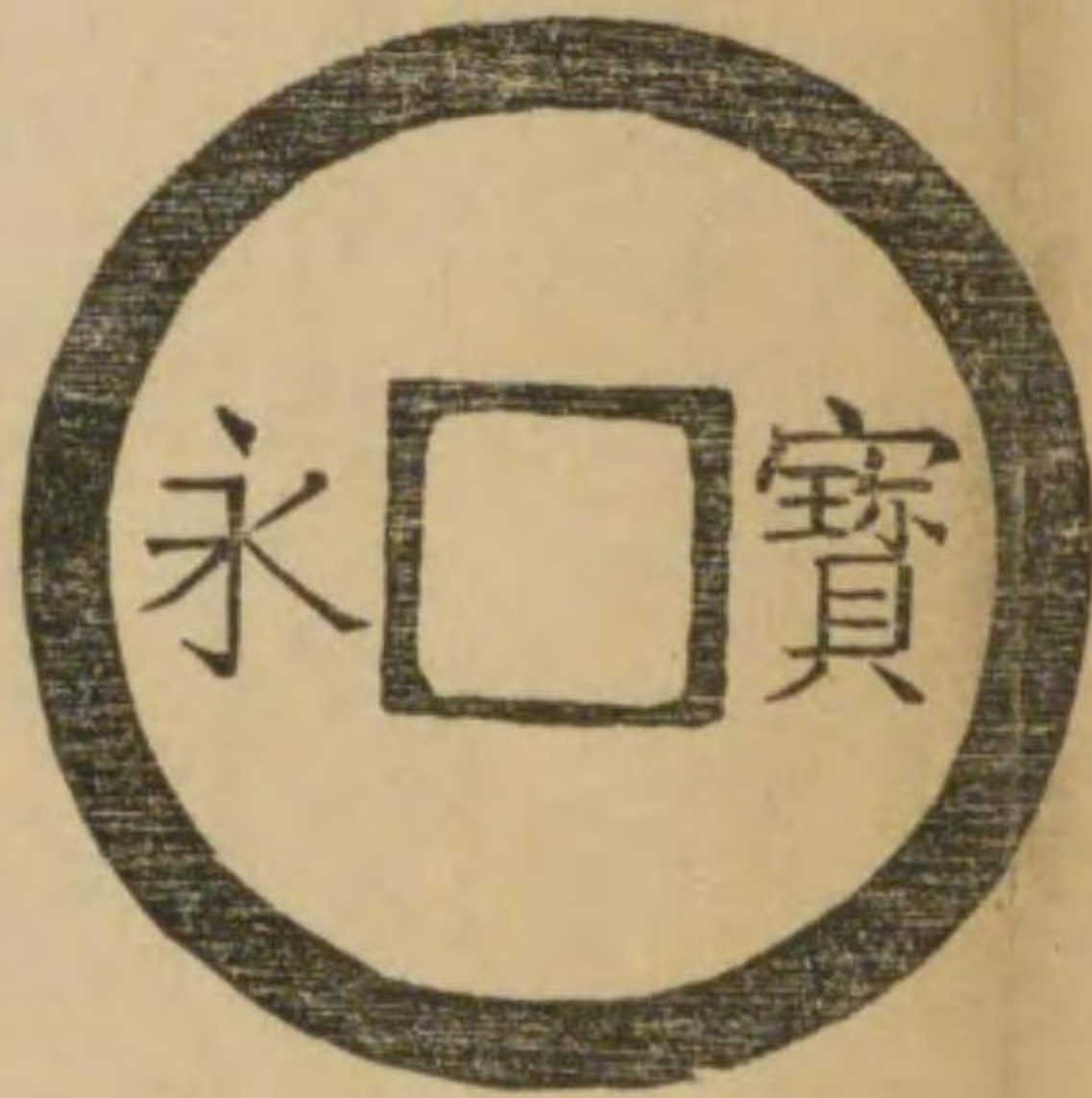


寶永大錢

同帝

寶永四年

世に『二字寶永』と云ふ。



寶永通用 同上



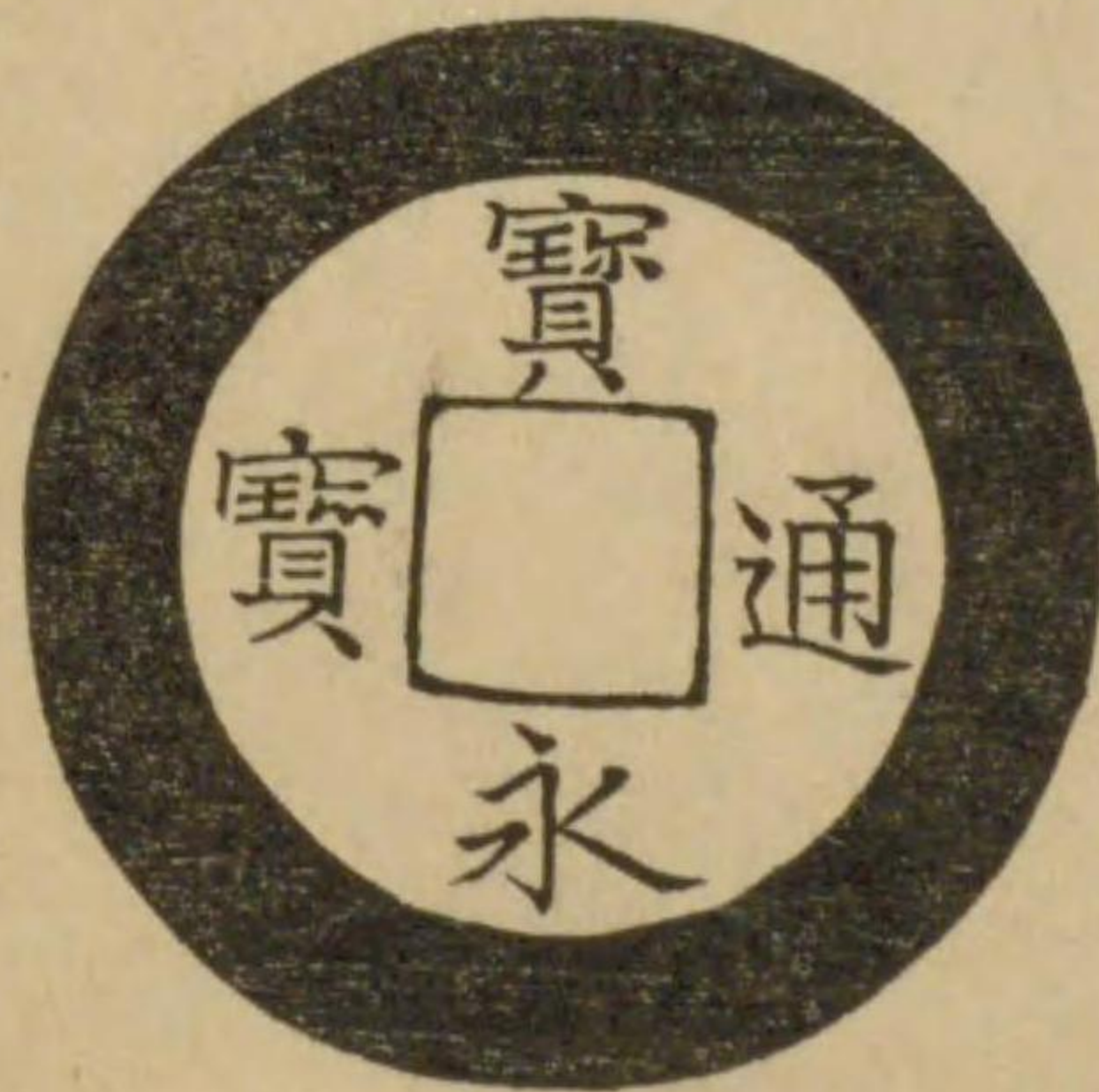
以上三品は遂に通貨とならずして止む。

『銀代通寶』は細字三四圓、大○字拾貳三圓より拾圓。『二字寶永』は三四圓、『寶永通用』は七圓

寶永通寶

當十

同上



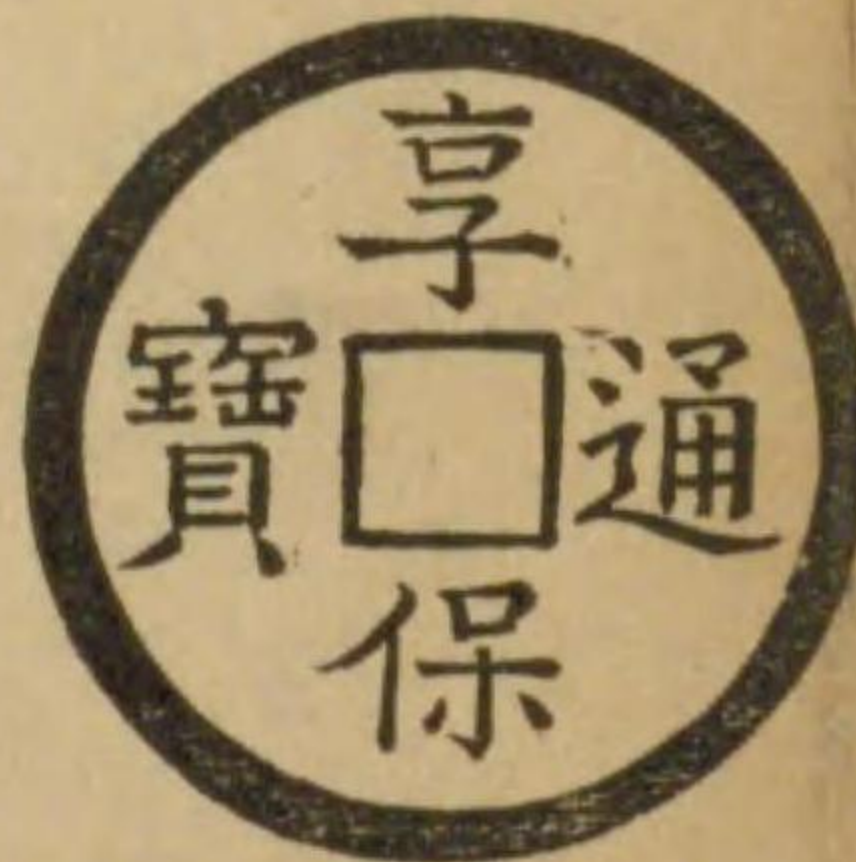
本邦にて大錢の通貨は此錢を以て始とす俗に十文錢といふ。現在品頗る多きが故に、殆ど價值なし、僅三四錢なり。

享保通寶

中御門天皇

享保元年

金、銀、銅三種ありといへども金錢の存在詳ならず、銀、銅共六圓以上八圓。

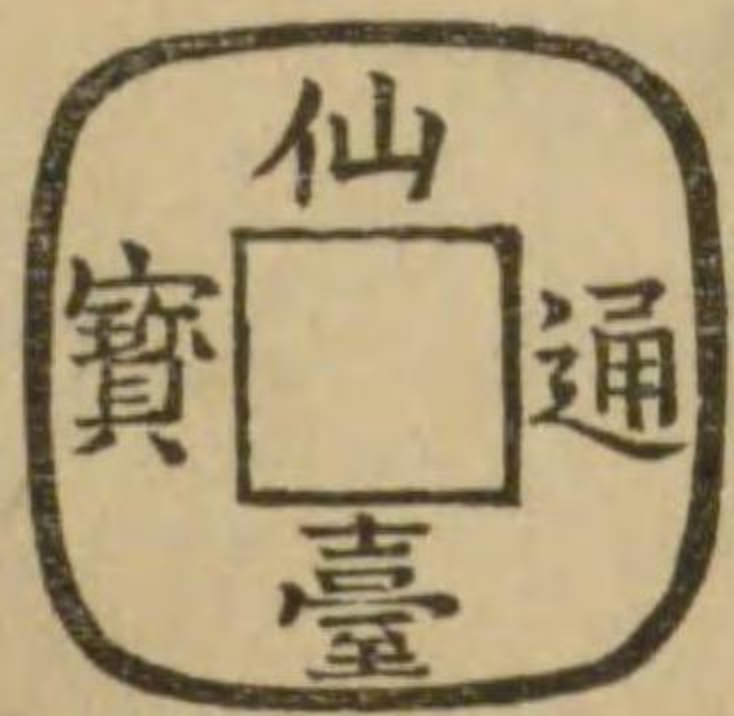


仙臺通寶

光格天皇

天明四年

質は銅、鐵二種、形は大中小の三種あり銅錢は五拾錢以上貳圓、鐵錢の小様は價值なし。

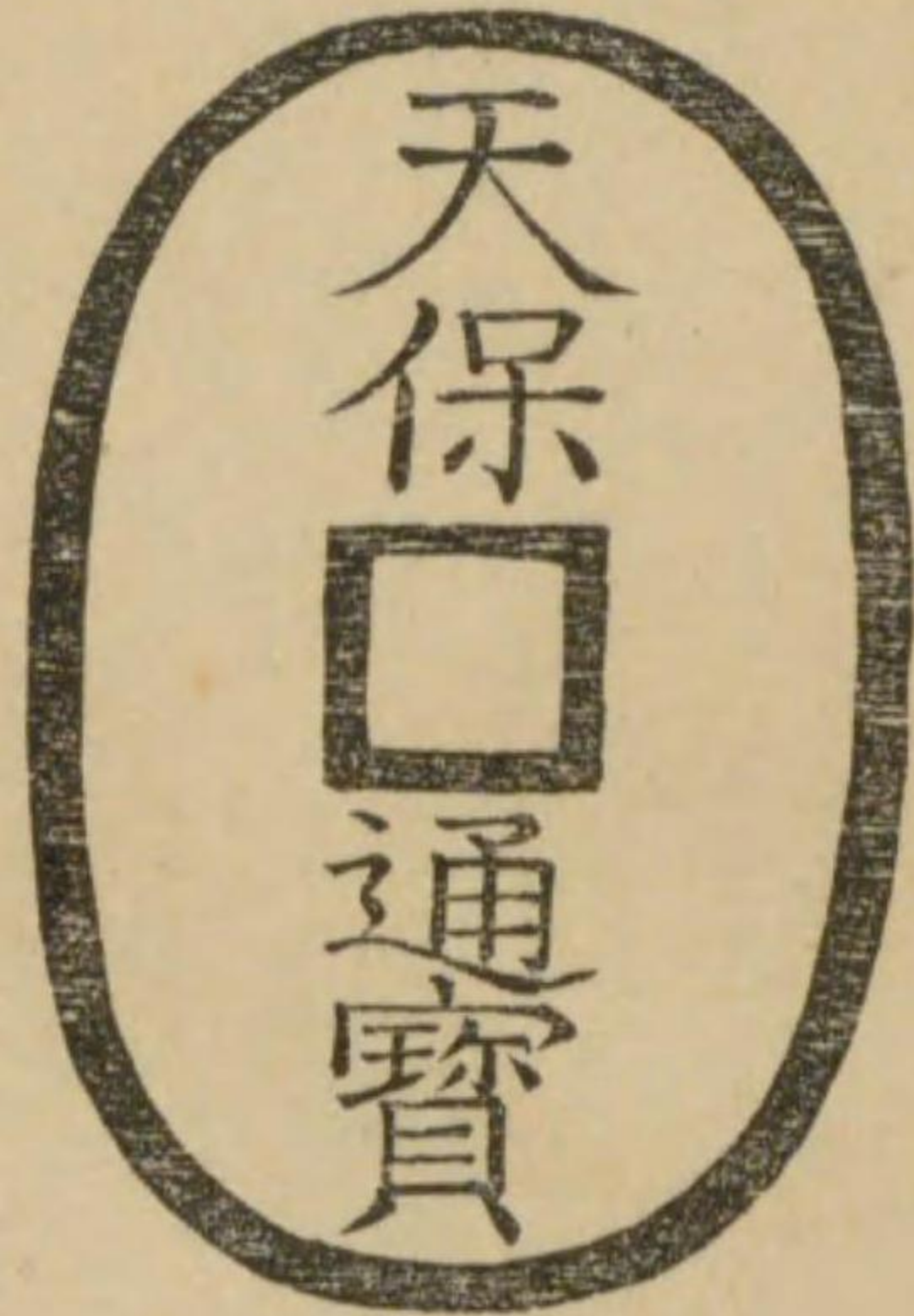


天保通寶 當百

仁孝天皇

天保

六年



普通錢は三錢、鐵錢は三圓以上五圓、當五十(小様)廿圓以上、百文判は拾圓内外。

琉球通寶 當百

同上

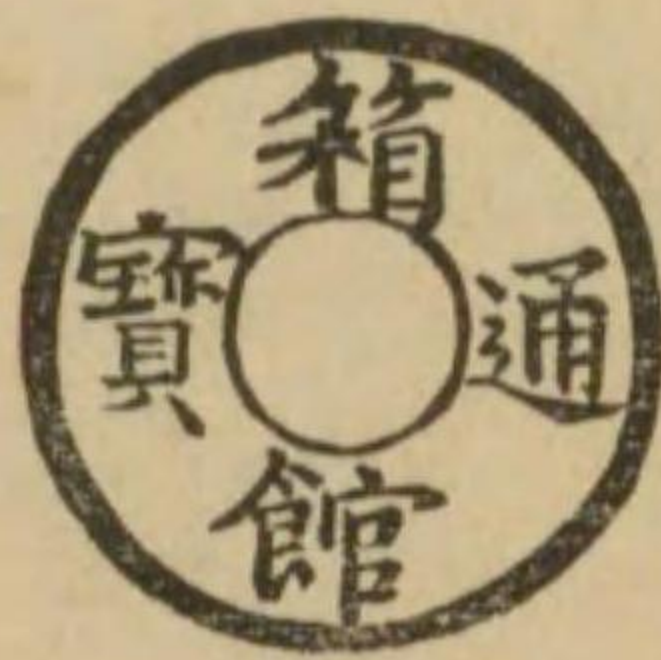


拾五錢、但細字は壹圓内外。

函館通寶

孝明天皇

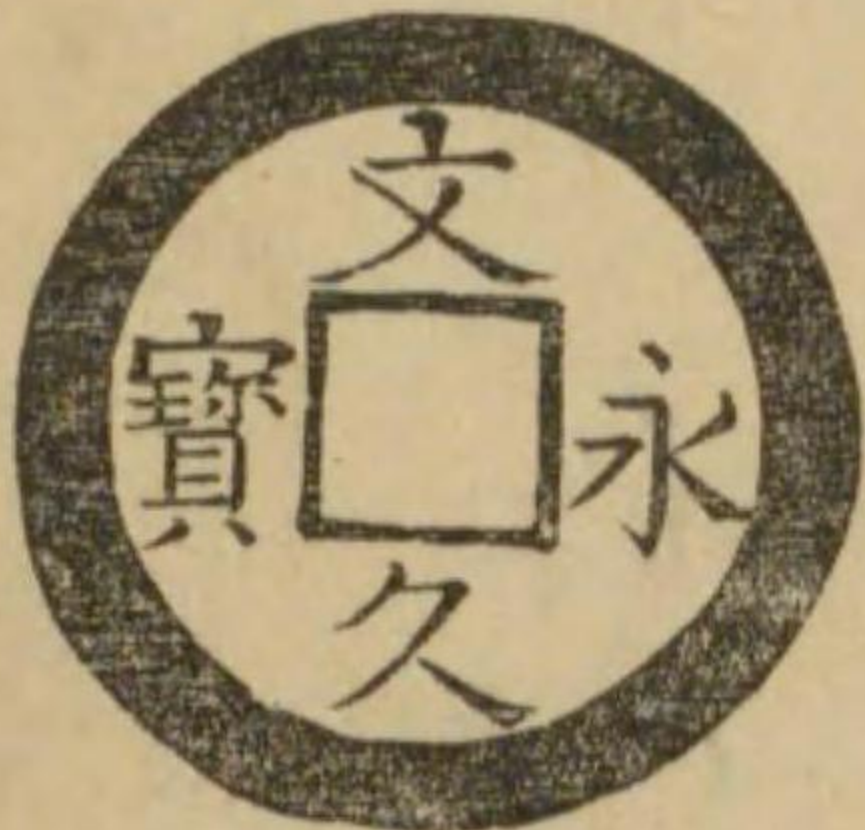
安政四年



文久永寶

同帝

文久三年

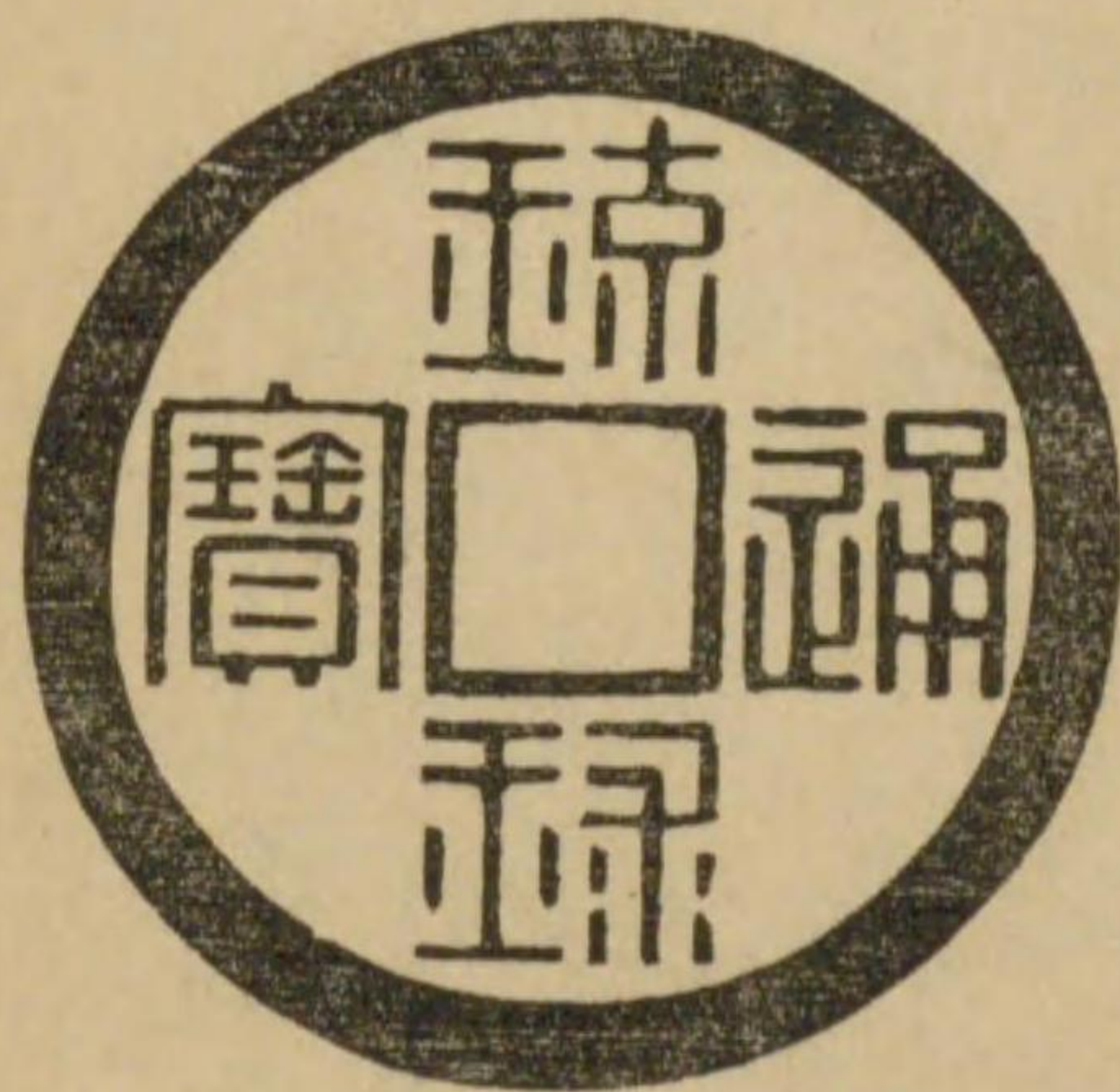


『箱館通寶』は拾五錢、但細字は壹圓内外。『文久永寶』の普通錢は價值なし、當五十は五圓、當百は七八圓。

琉球通寶

當半朱

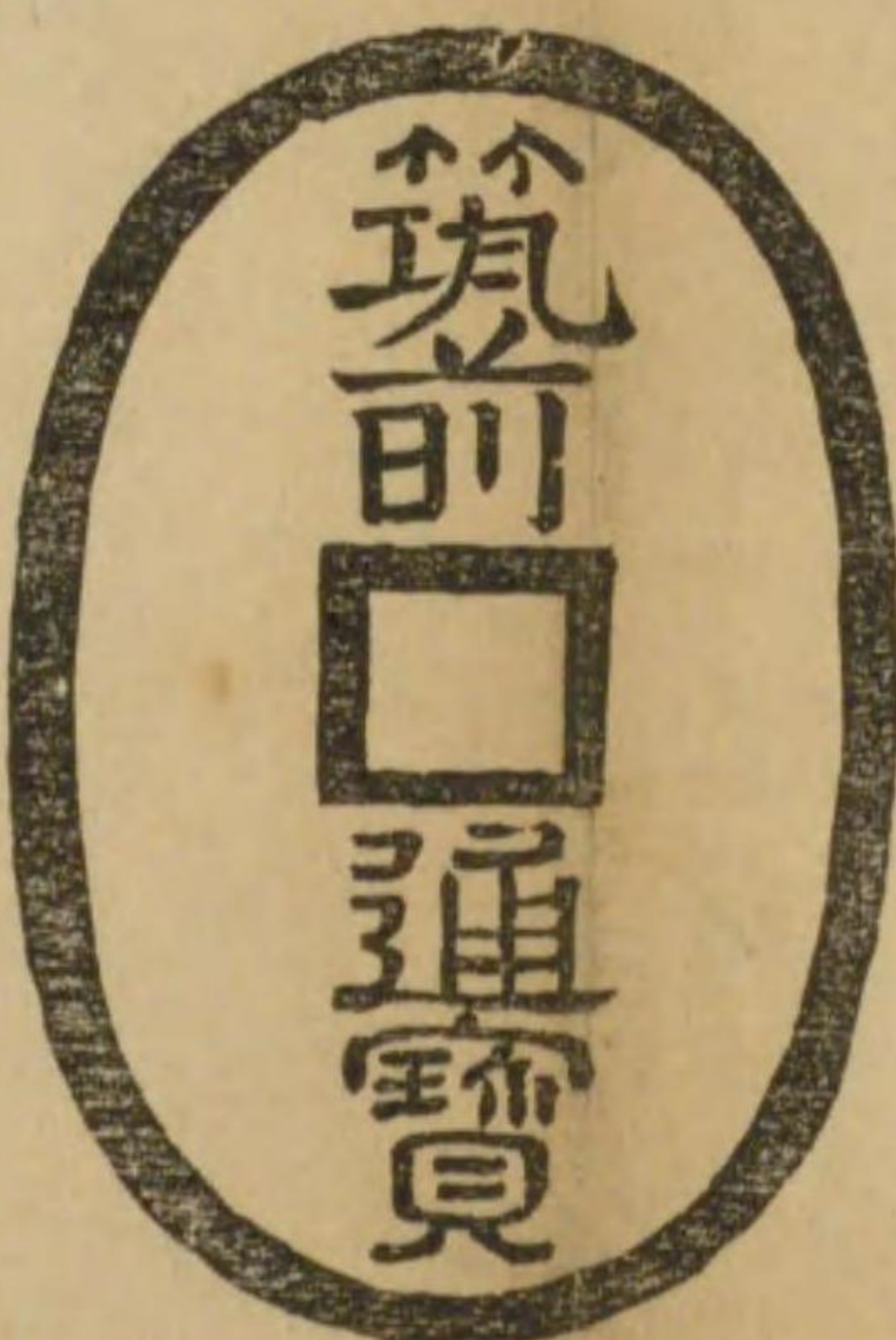
同帝



文久年間
廿五錢より
三拾錢。

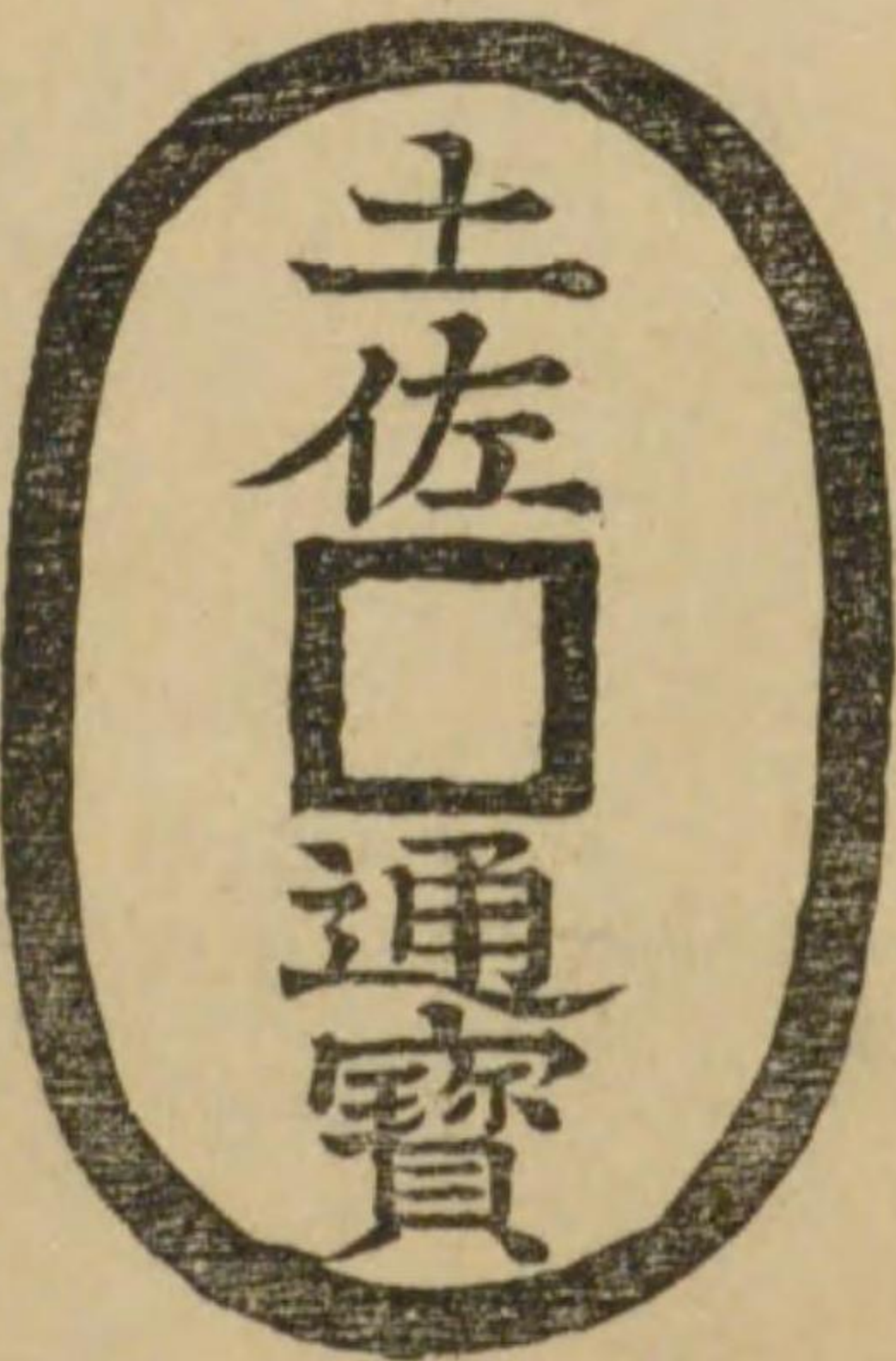
筑前通寶 當百

同上



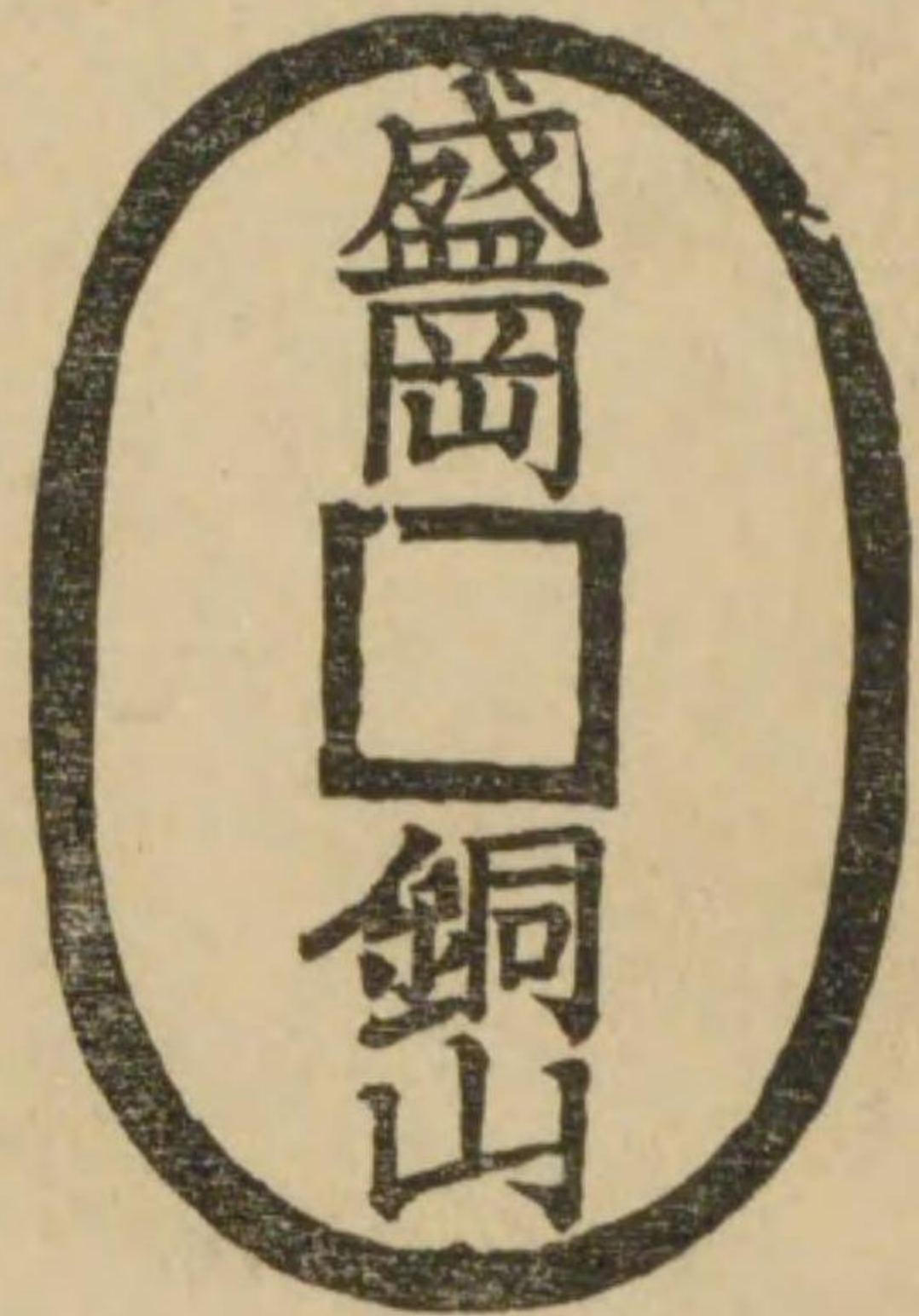
土佐通寶 當百

同上



『筑前通寶』は五圓以上、『土佐通寶』は、此外當二百錢あり、共に拾圓以上また『土佐官券』五匁、十匁二種あり、共に廿五圓。

盛岡銅山 當百



同上

背に百文通用とあり、五六圓。

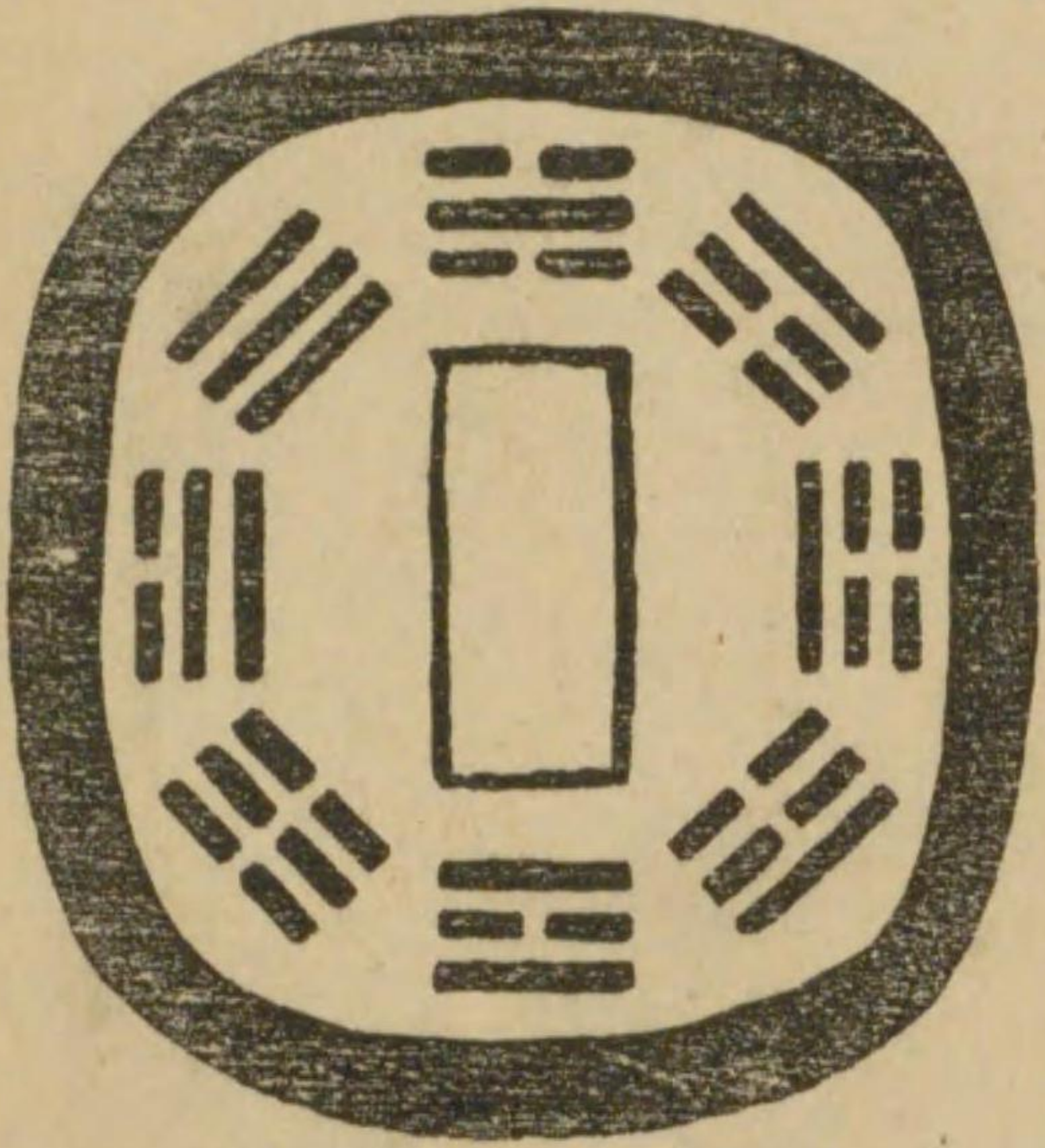
秋田波錢



同上

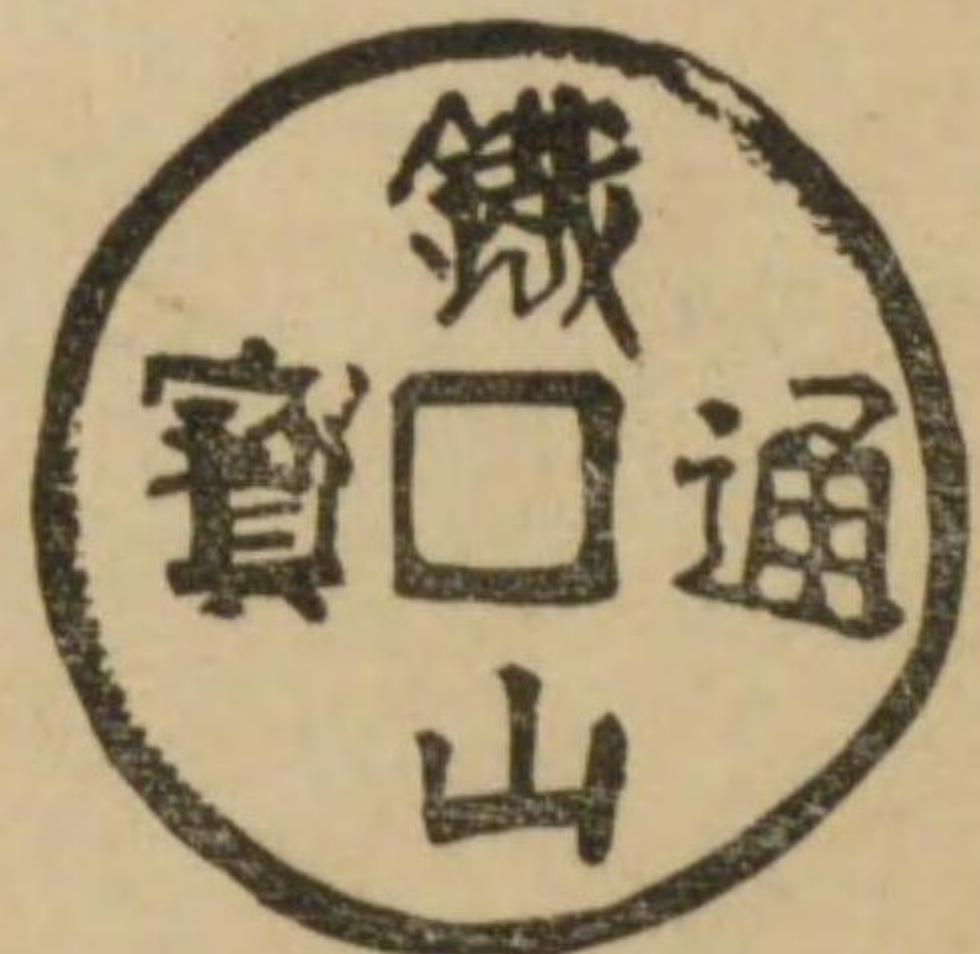
五六拾錢。

八卦錢 背鳳凰



俗に秋田の鑄錢といふ 三拾錢。

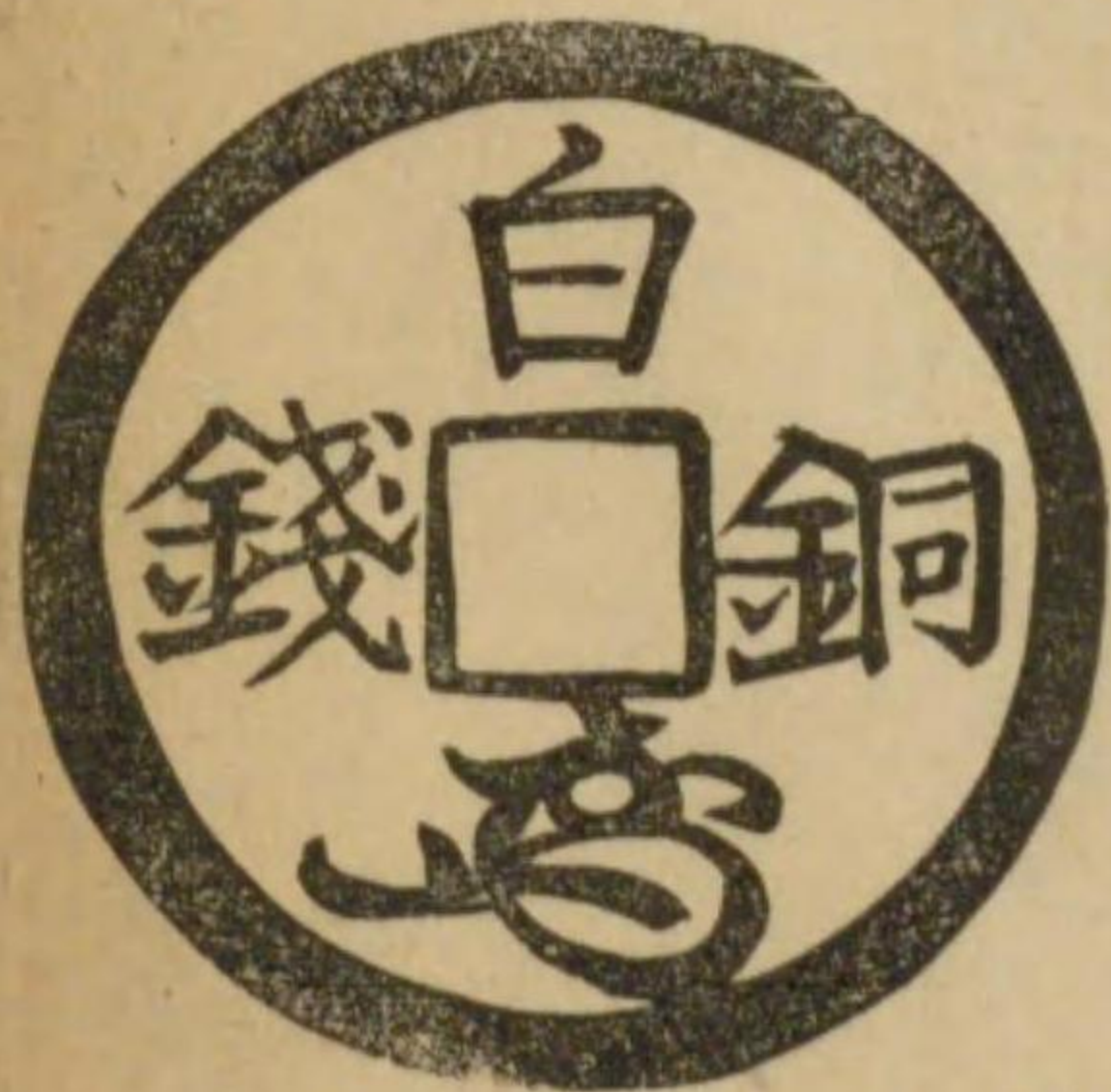
鐵山通寶



同上

陸中千人澤の鐵山内に使用せり、四五圓。

白銅錢



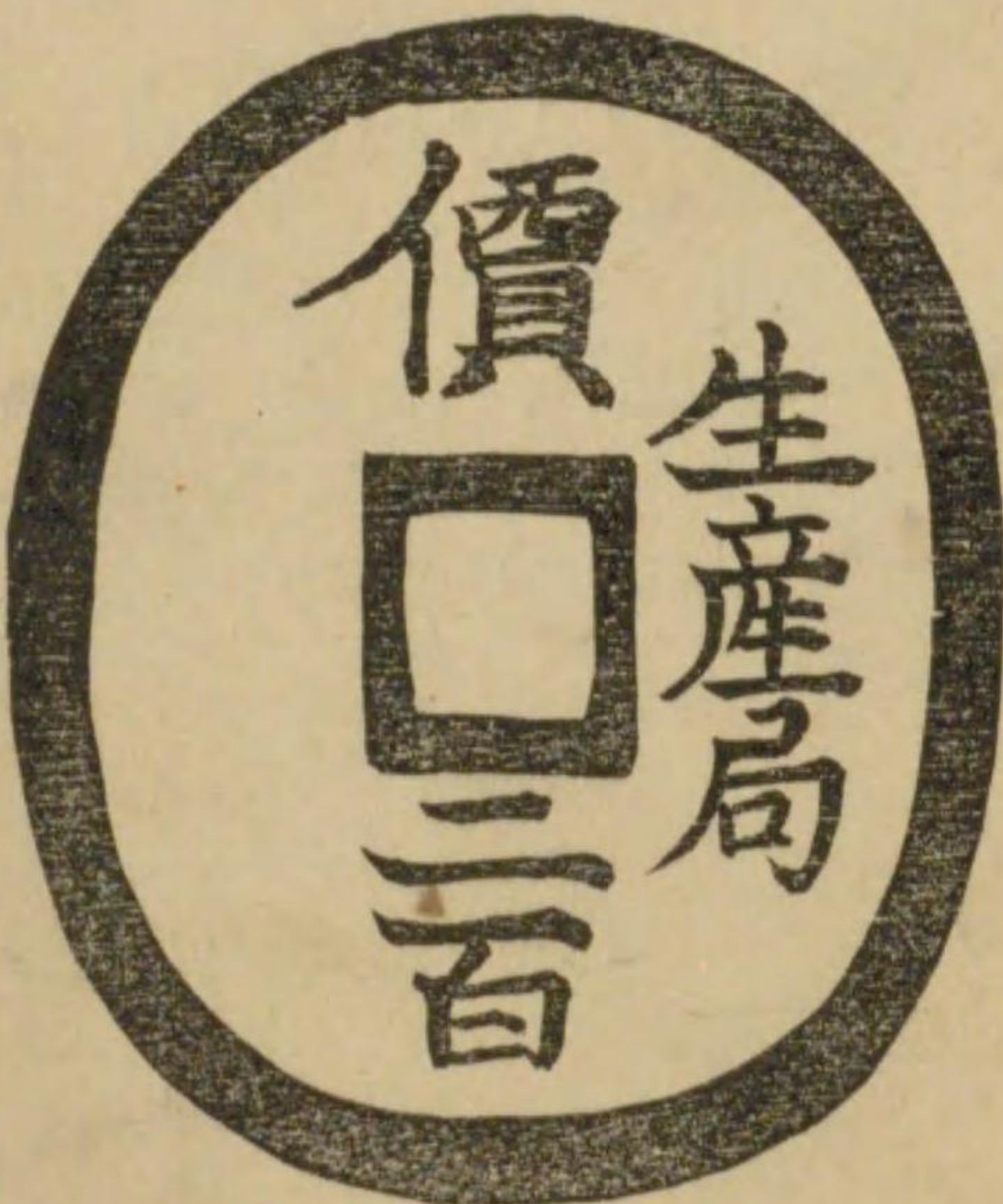
同帝

元治元年

當二百

會津領内の通貨なり、五六圓。

米澤鉛錢



同帝 慶應二年

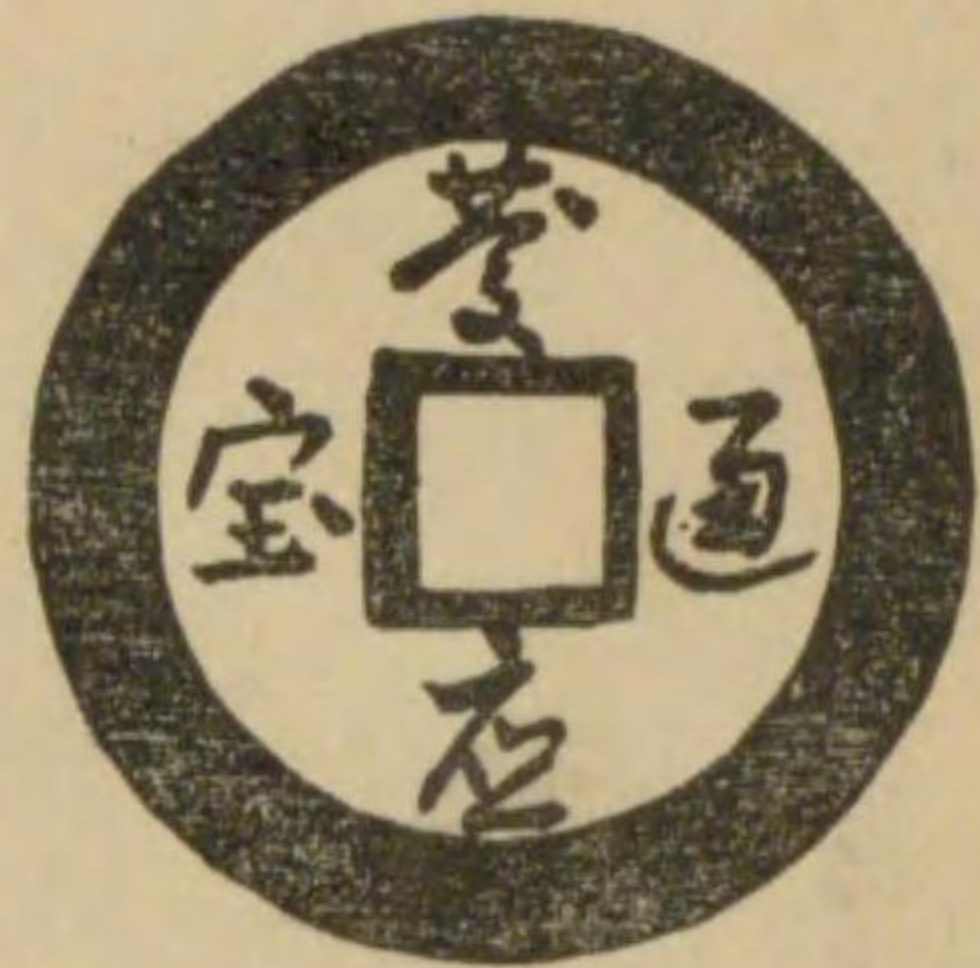
五拾錢以上七八拾錢。

慶應通寶

當五十

孝明天皇

慶應三年

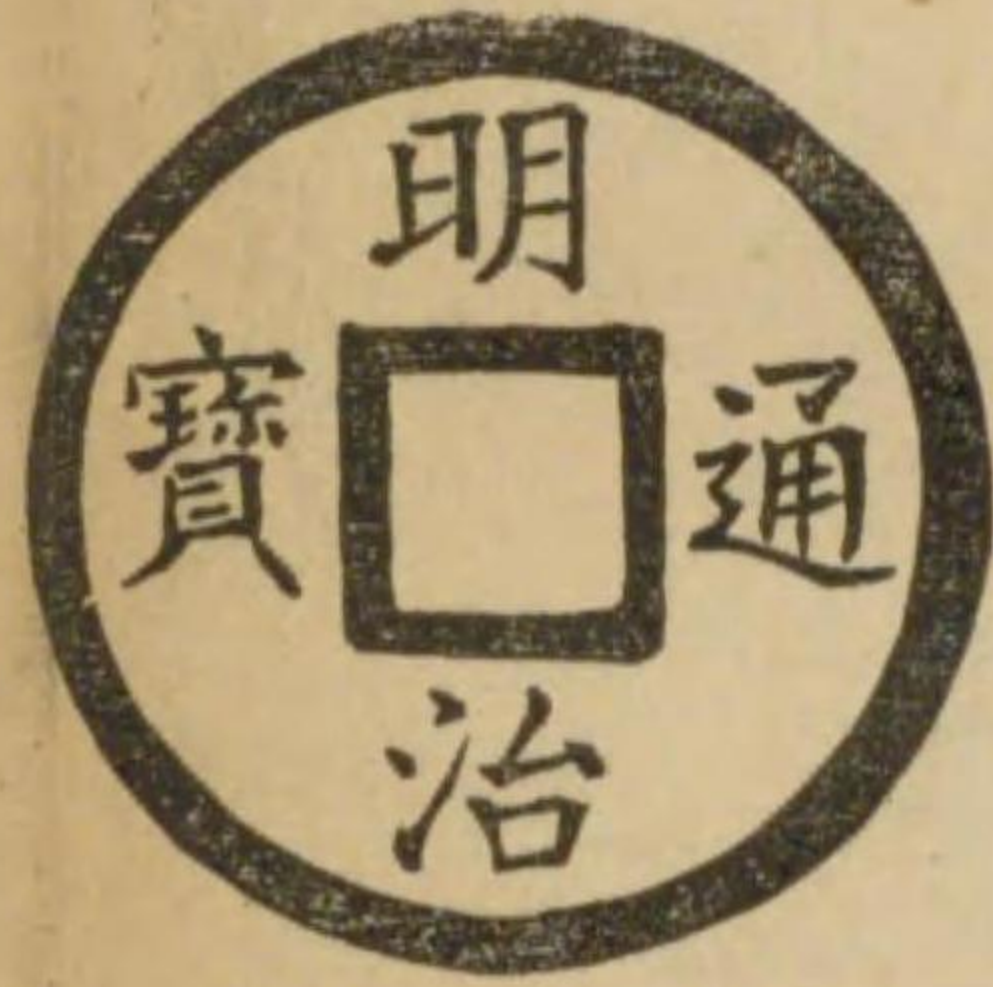


明治通寶

當八文

明治天皇

明治初年



○右二種の銅錢は遂に通貨とならずして止む。

『慶應通寶』圖は當五十錢なり、七八圓、大様は背に以二枚當壹朱とあり、拾貳三圓、また背に以壹枚當二百とあるもの、穿上に分銅の紋章ありて、穿の左右に貳百とあるもの、共に拾圓内外。

『明治通寶』は背に八文とあるもの拾圓内外、壹匁、貳匁は拾圓以上。

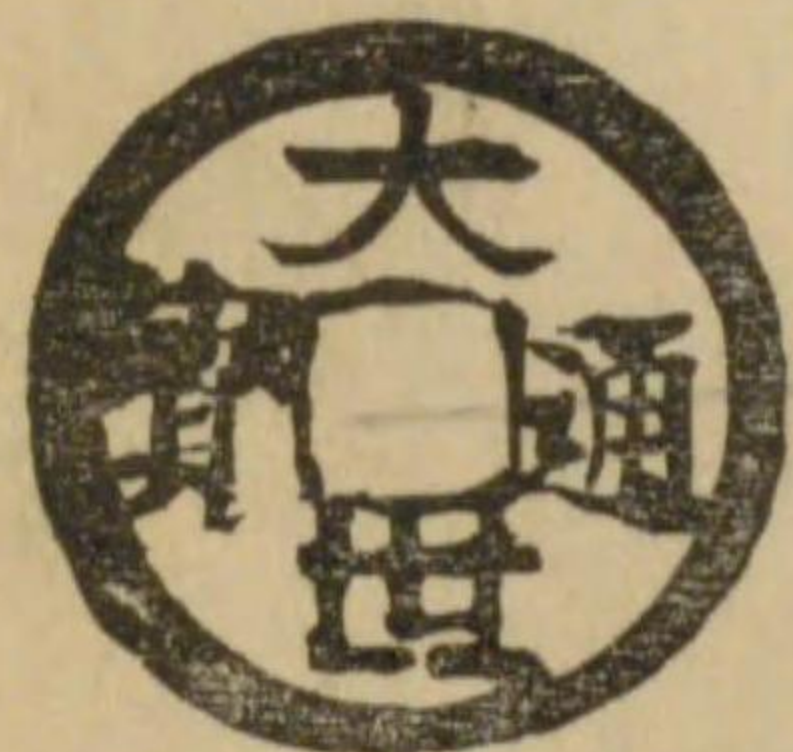
以上は我が歴代の錢貨を年代順によりて

排列したるものなり、此外異品の多きと枚舉に違あらざれども普通錢としては之にて盡くせりと謂ふを憚らず。

大世通寶

琉球大世王尙泰

後花園天皇
文安年間

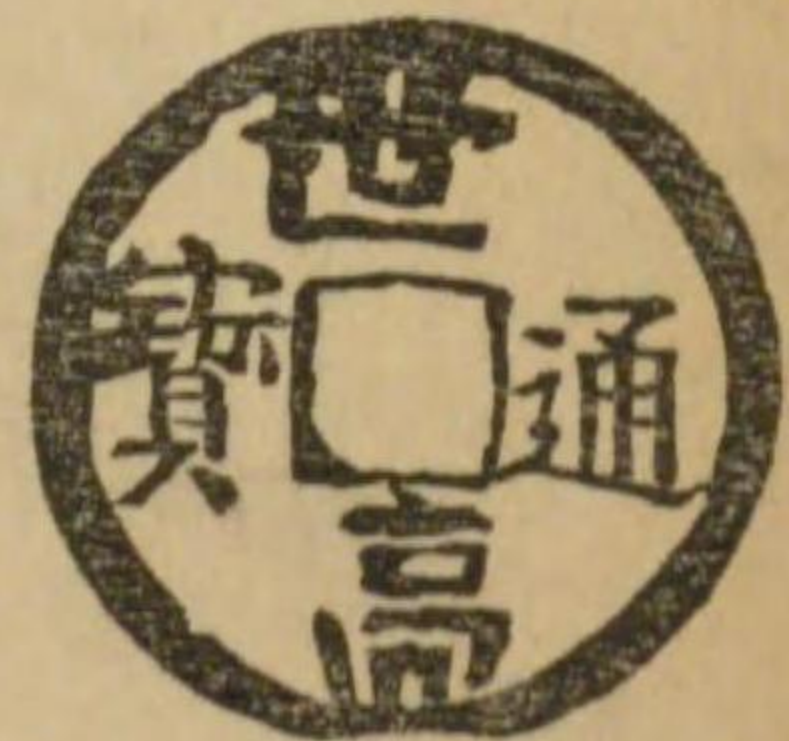


拾五錢より廿錢、大様の背に旋條あるものは貳圓以上。

世高通寶

同 世高王尙德

後土御門天皇
寛正年間

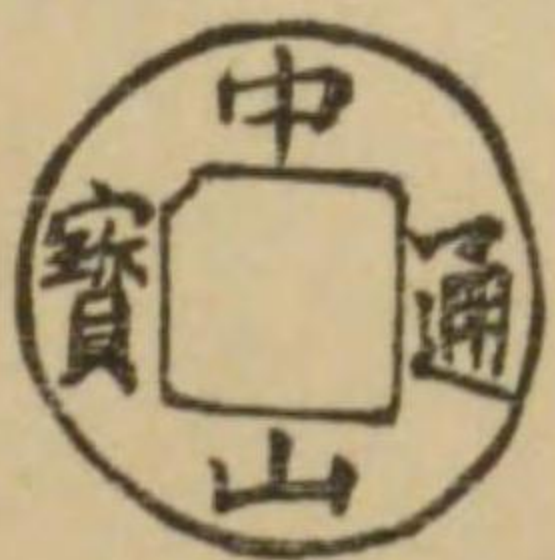


拾五錢より廿錢。

中山通寶

琉球錢

年代未詳



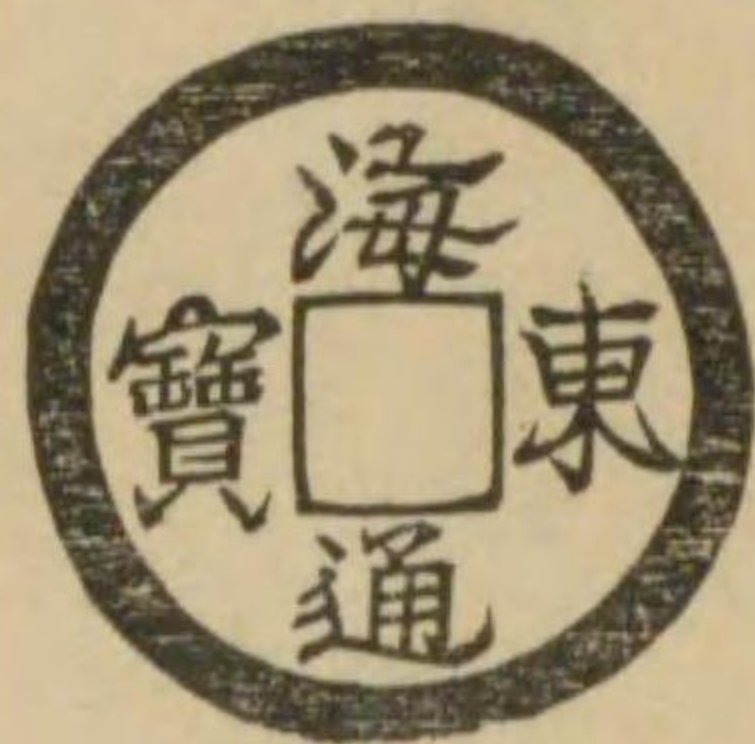
貳圓以上三圓。

朝鮮錢

海東通寶

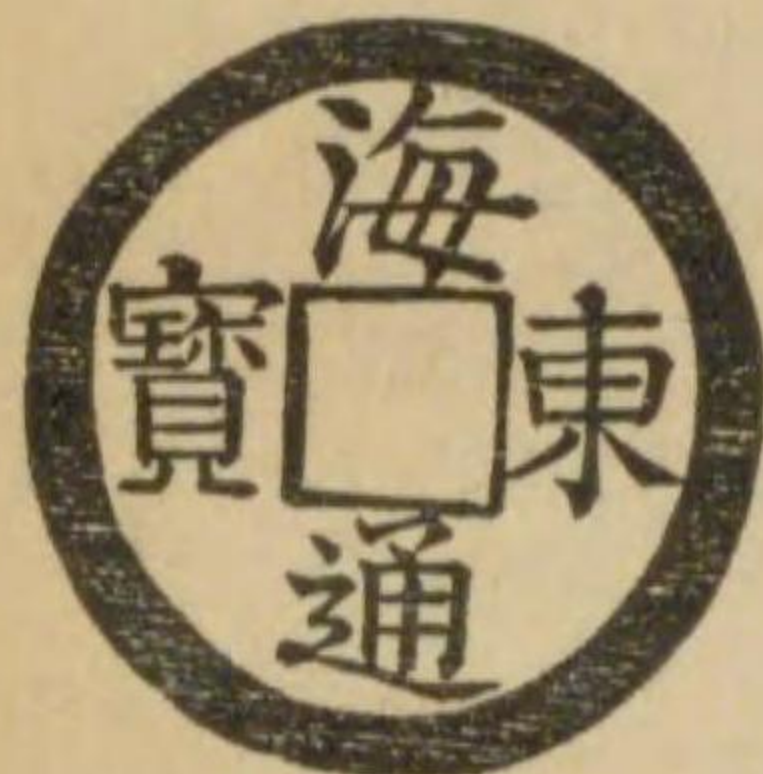
(八分書)

高麗肅宗
明孝王六年
堀河天皇
康和三年



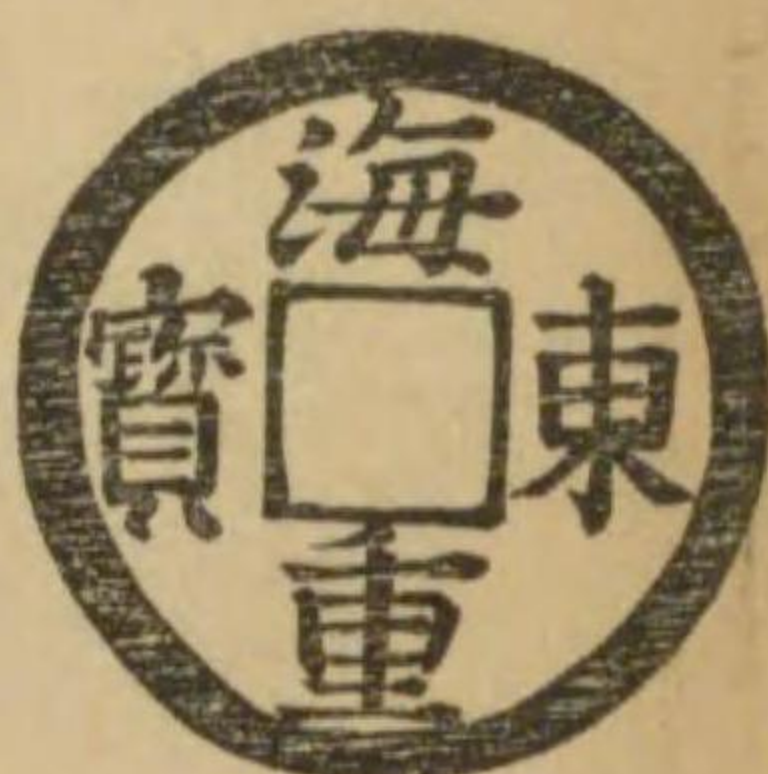
同 (楷書)

同上



海東重寶

同上

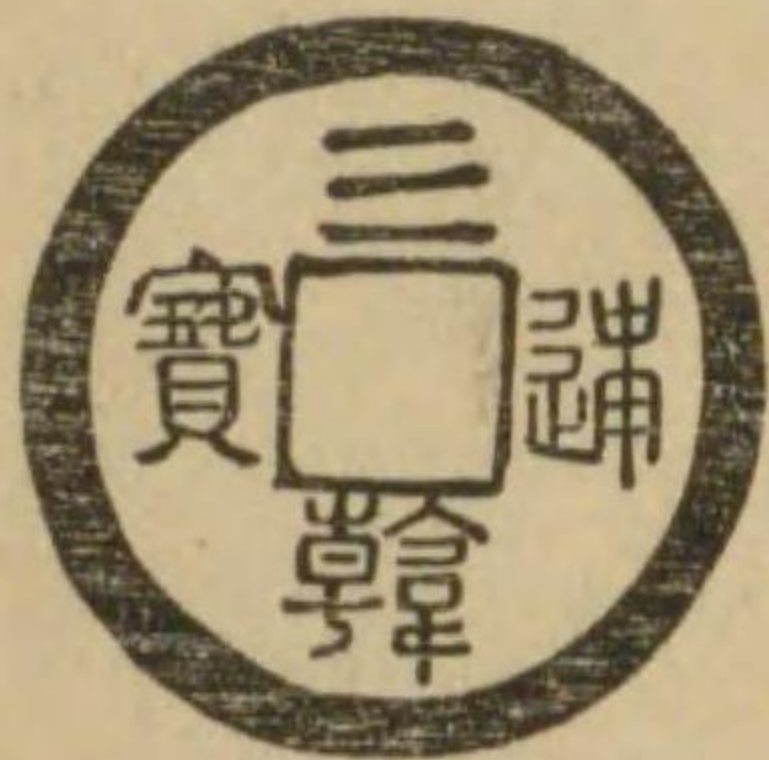


『海東通寶』八分書と行書は貳三圓、楷書と篆書は五六拾錢。

『海東重寶』は一品のみ、壹圓内外。

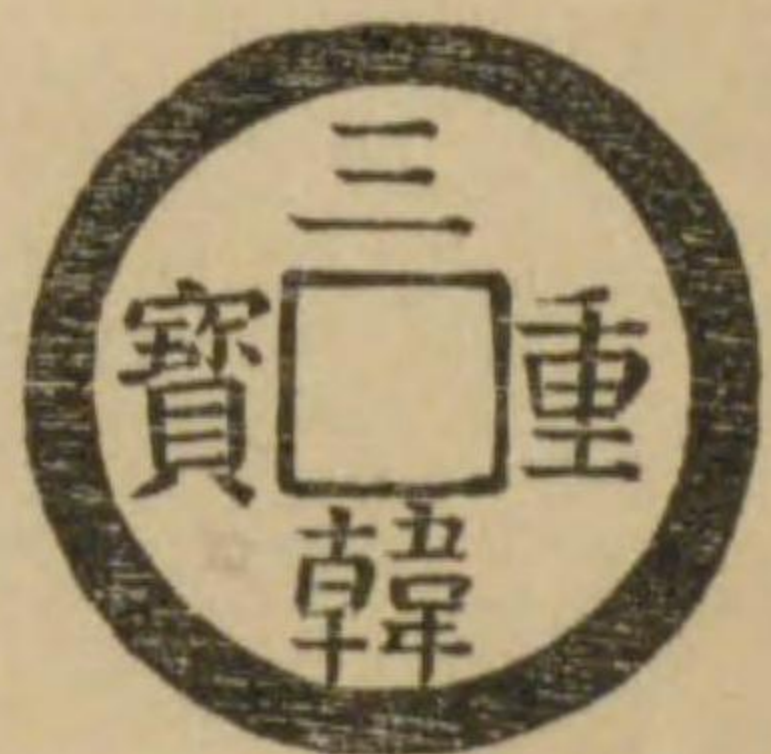
三韓通寶

同上



三韓重寶

同上



『三韓通寶』楷書は五圓内外、篆書は壹圓。『三韓重寶』の圖の如く對讀は五六拾錢、循讀は貳圓半。

東國通寶

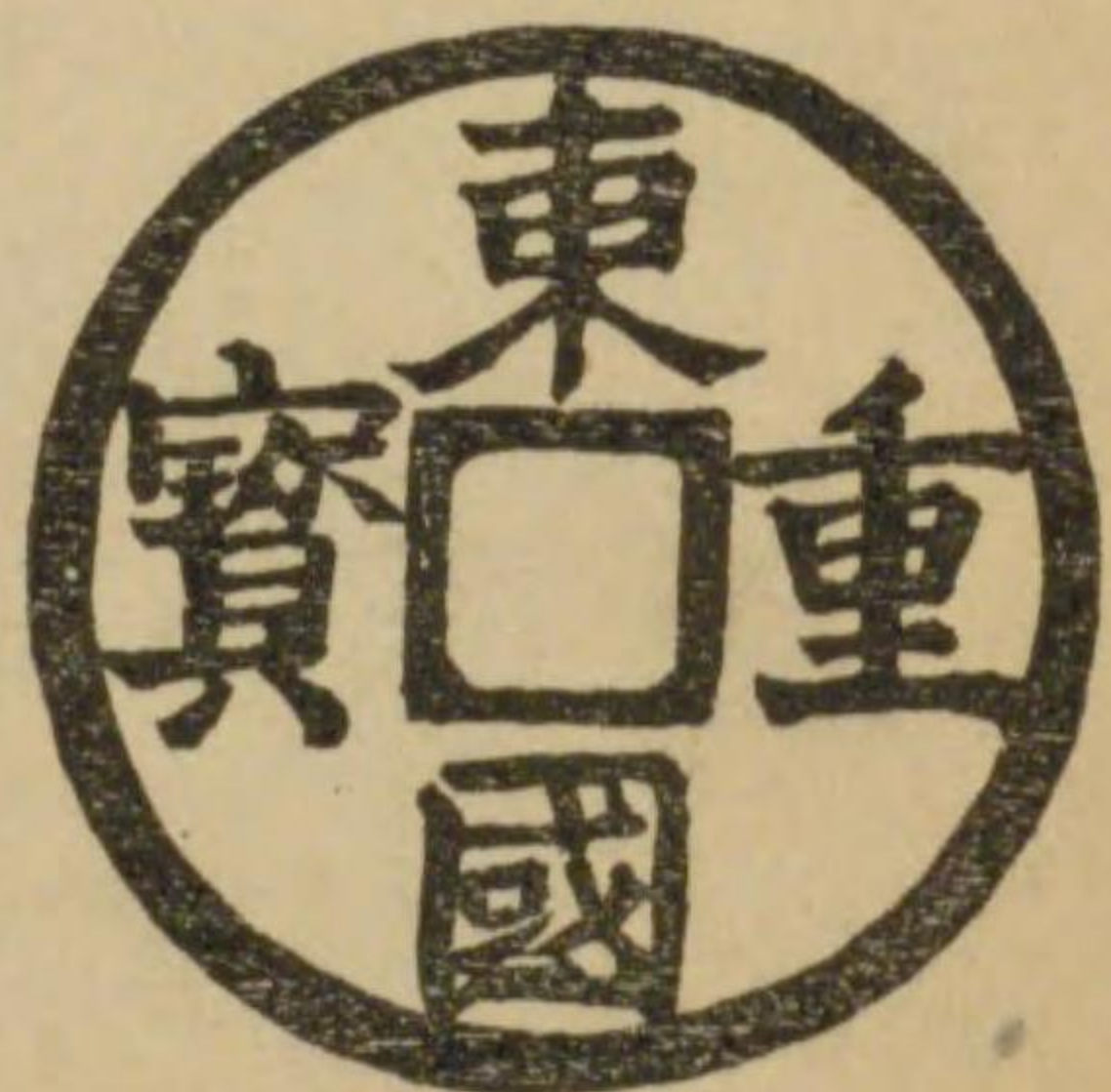
同上



東國重寶

當二

同上

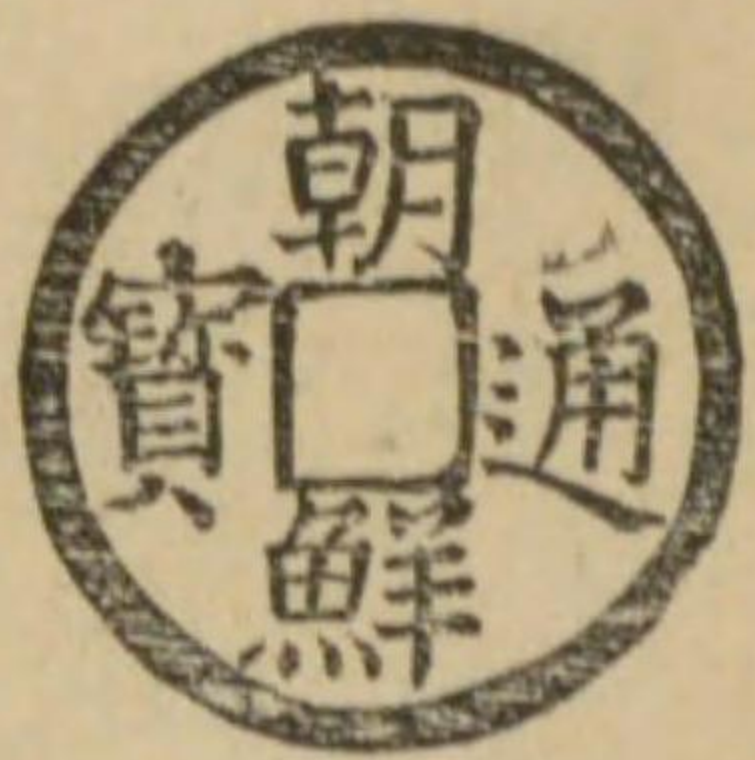


『東國通寶』は數種あり、楷書并に篆書は四五拾錢、八分書と行書は貳圓半。

『東國重寶』普通錢の對讀は四五拾錢、循讀は壹圓半、圖に出せる當二錢は壹圓内外。

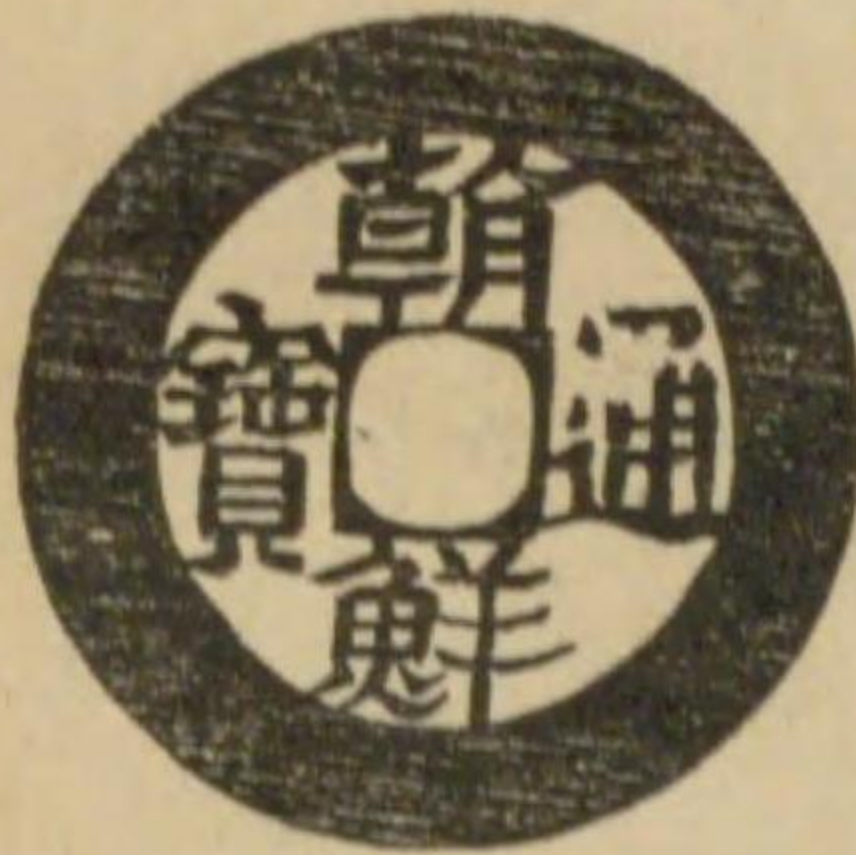
朝鮮通寶

李太祖康獻王の世
後龜山天皇
應永年間



同 (八分書)

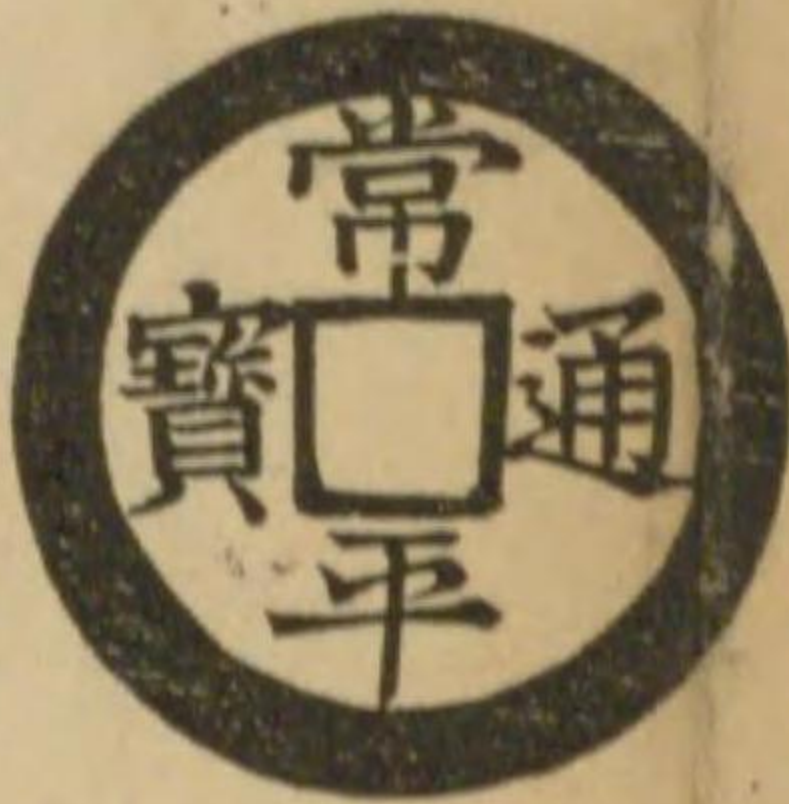
同上



前掲の楷書は僅貳三錢、後掲の八分書は貳圓半乃至三圓。

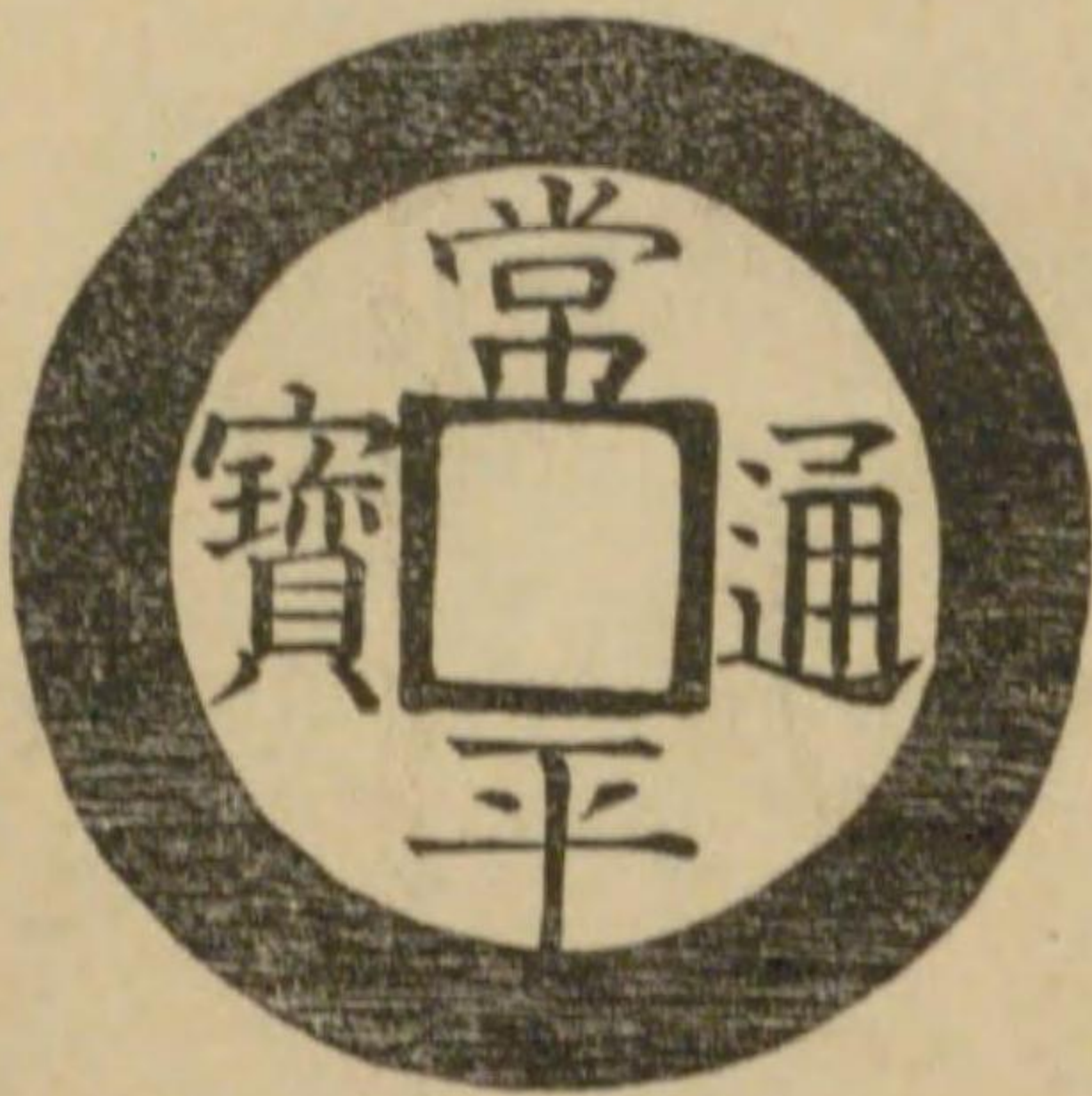
常平通寶

肅宗顯王の世
東山天皇
元祿年間



同 當五

同上



『常平通寶』は平錢、當二、當五、當百等

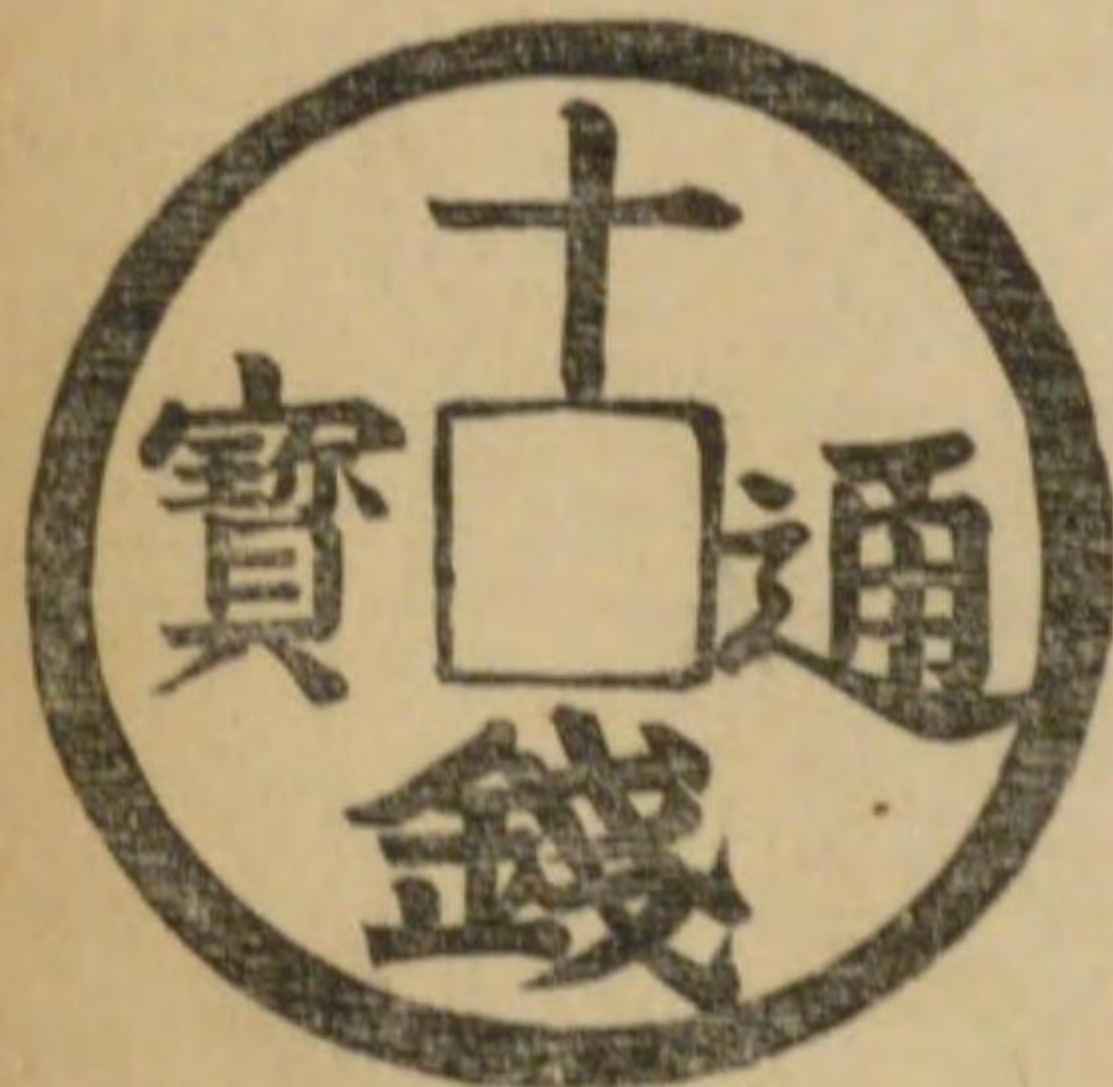
數品あり、本錢は寛永錢の如く、開鑄以來近代まで續鑄したるものなれば、種類頗る多しと雖も、俗に古渡り常平と稱するもの、外は殆ど價值なし。

十錢通寶

朝鮮の通貨

なり鑄造年

代未詳

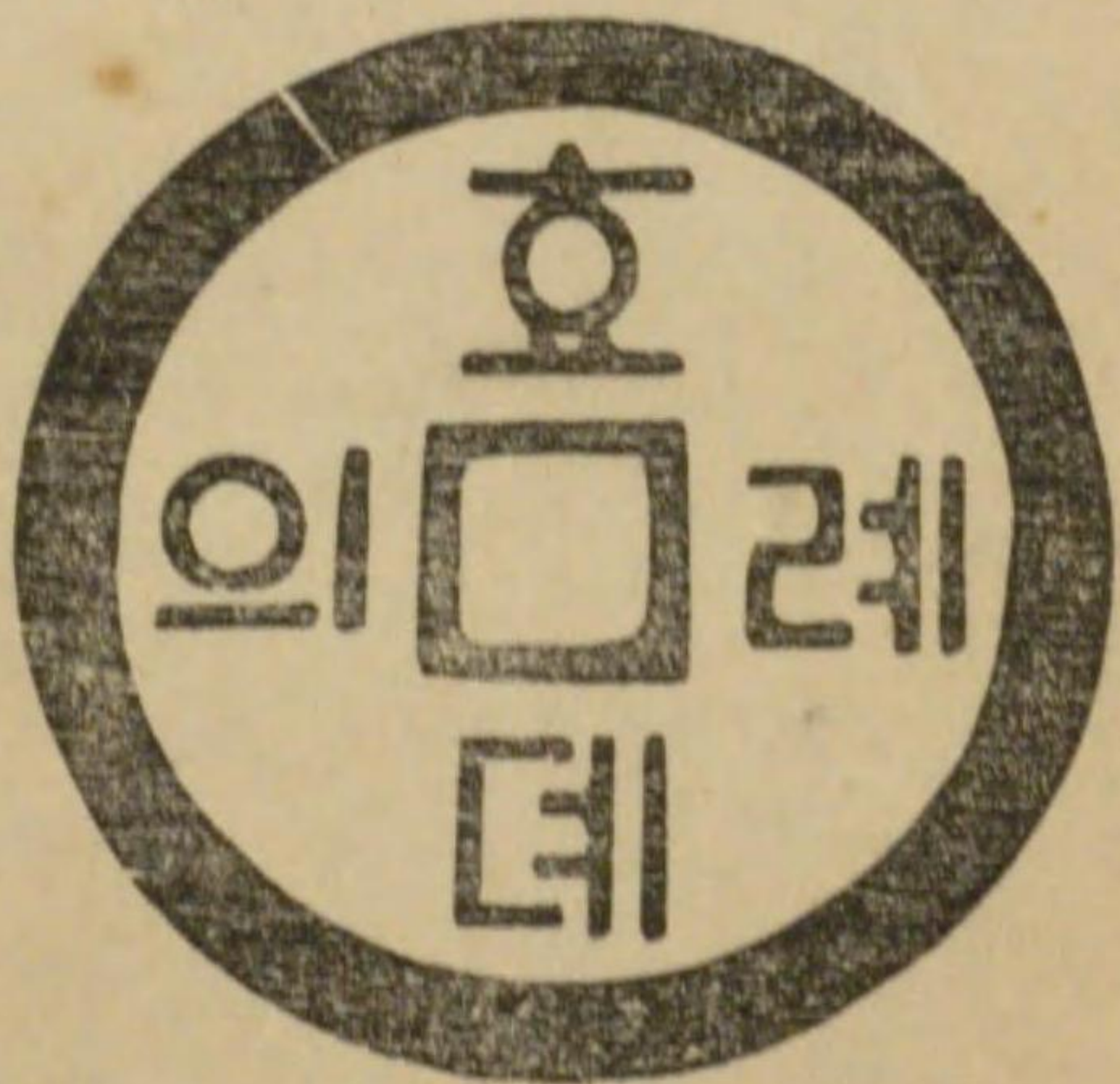


三圓より四五圓。

孝悌禮義 (諺文)

朝鮮世宗

莊憲王



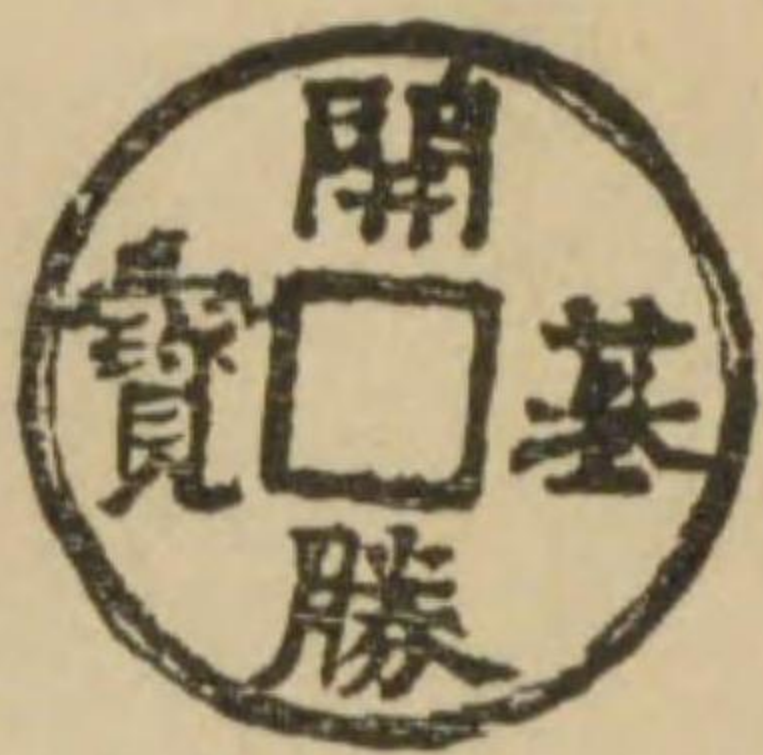
後花園天皇の永享年間に鑄造したる慶賀錢なり。

日本の珍錢

開基勝寶 (金錢)

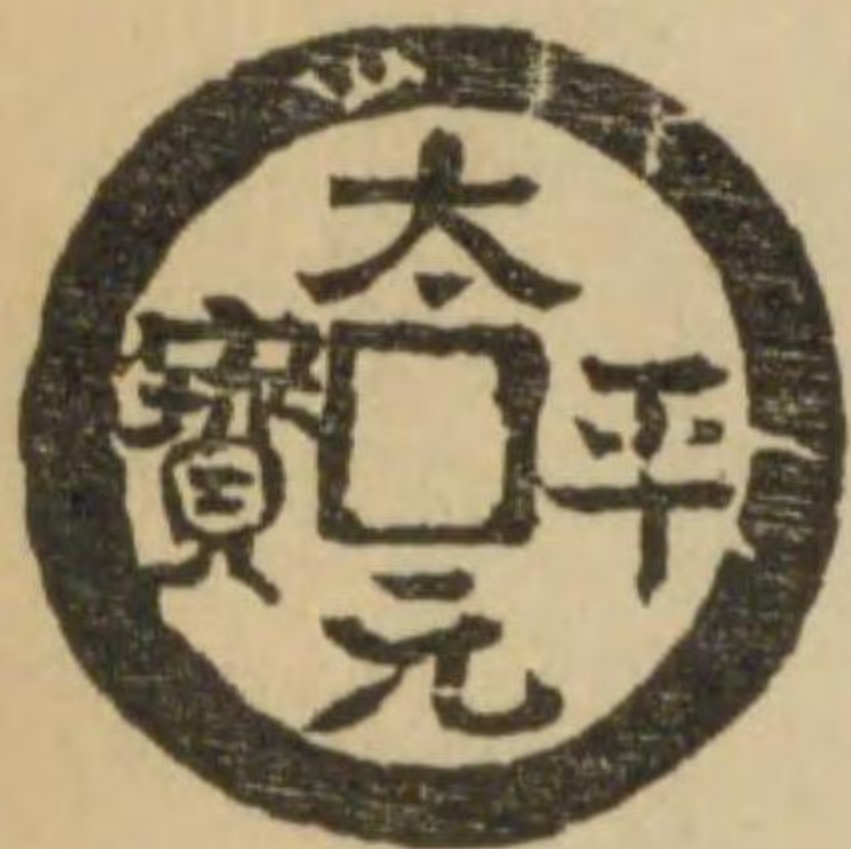
淳仁天皇

天平寶字四年



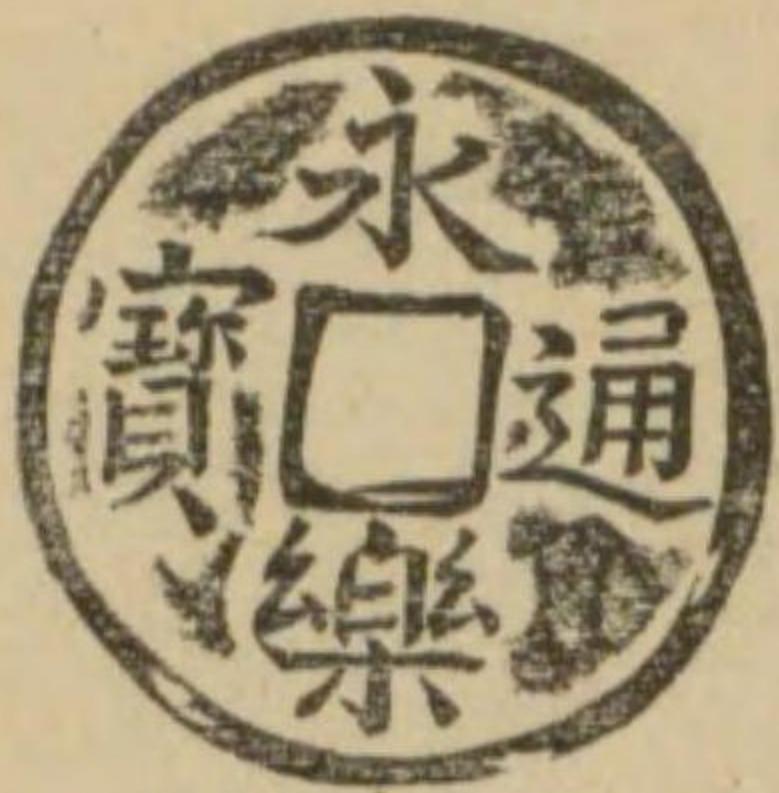
太平元寶 (銀錢)

同上

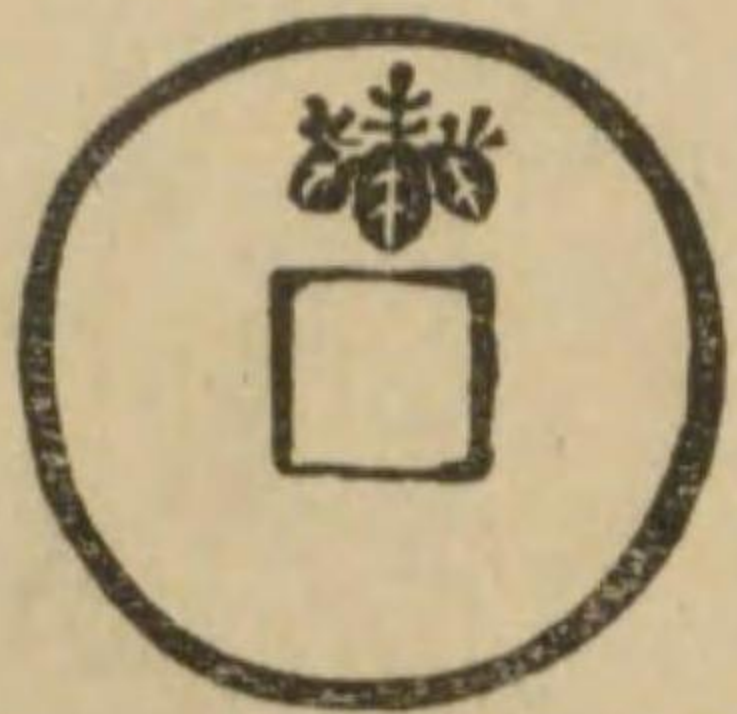


『開基勝寶』は我が皇室の御物として唯一個在るのみ、寔に天下一品たり、『太平元寶』も亦現存唯一品のみ、價格幾千百圓なるを知らず。
(備考) 和同錢より乾元錢まで所謂皇朝十二錢に珍品多し、既に卷初の説明中にあれば、茲に圖を略す。

金錢 永樂



背

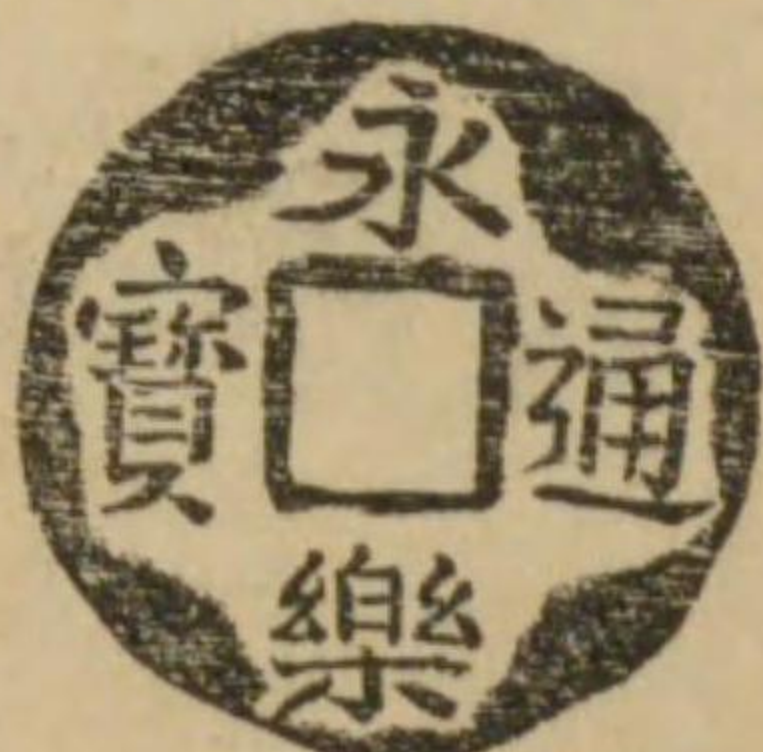


圖の如く背の穿上アノウウヘに桐の紋章あるもの卅圓より卅五圓、無きは拾五六圓。

銀錢 永樂

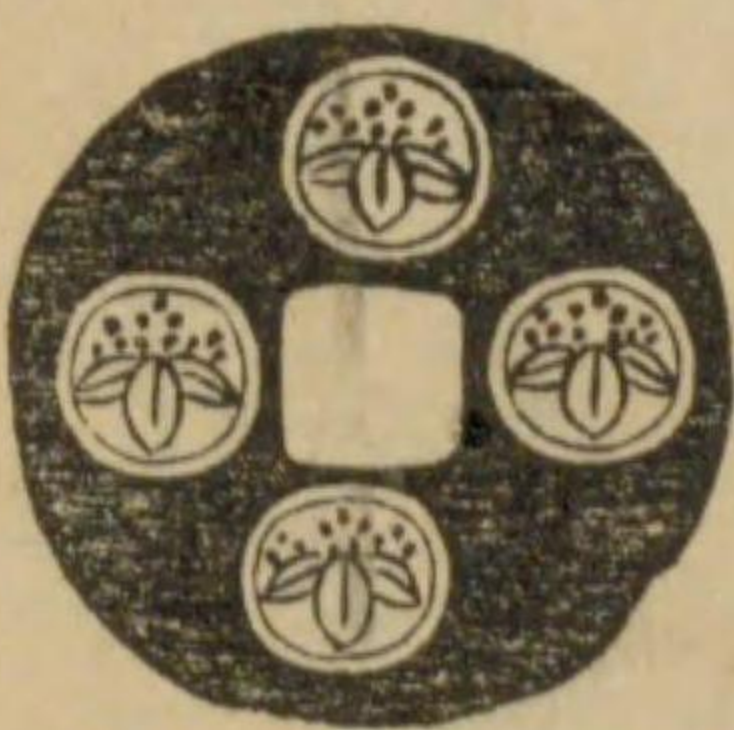
俗に太閤の巾着錢と云

八圓より拾貳圓。



御紋錢 (金錢)

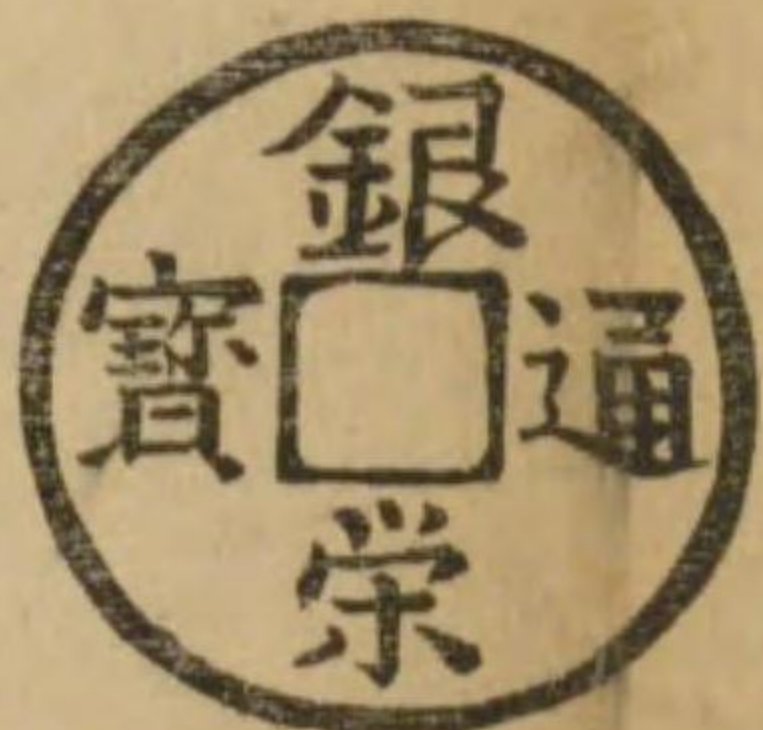
豊太閤所鑄



○此錢は専ら將士の戰功其他賞與に用ひられしものなりと云ふ、拾五圓より廿圓。

銀榮通寶

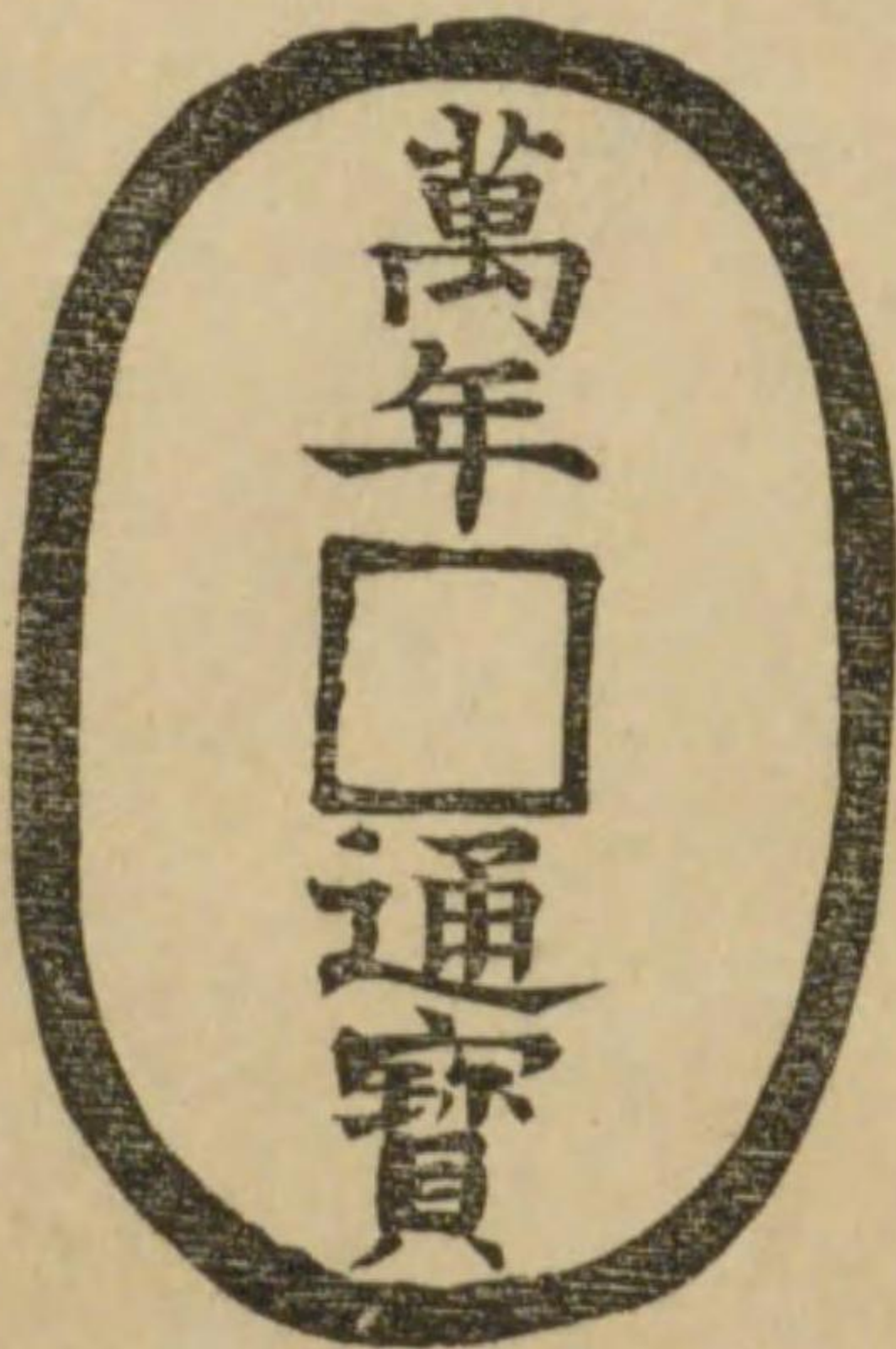
年代產地未詳或曰、寛永初年の鑄造なり



銀錢なり、拾五圓より廿圓。

萬年通寶 當百

仁孝天皇 天保六年

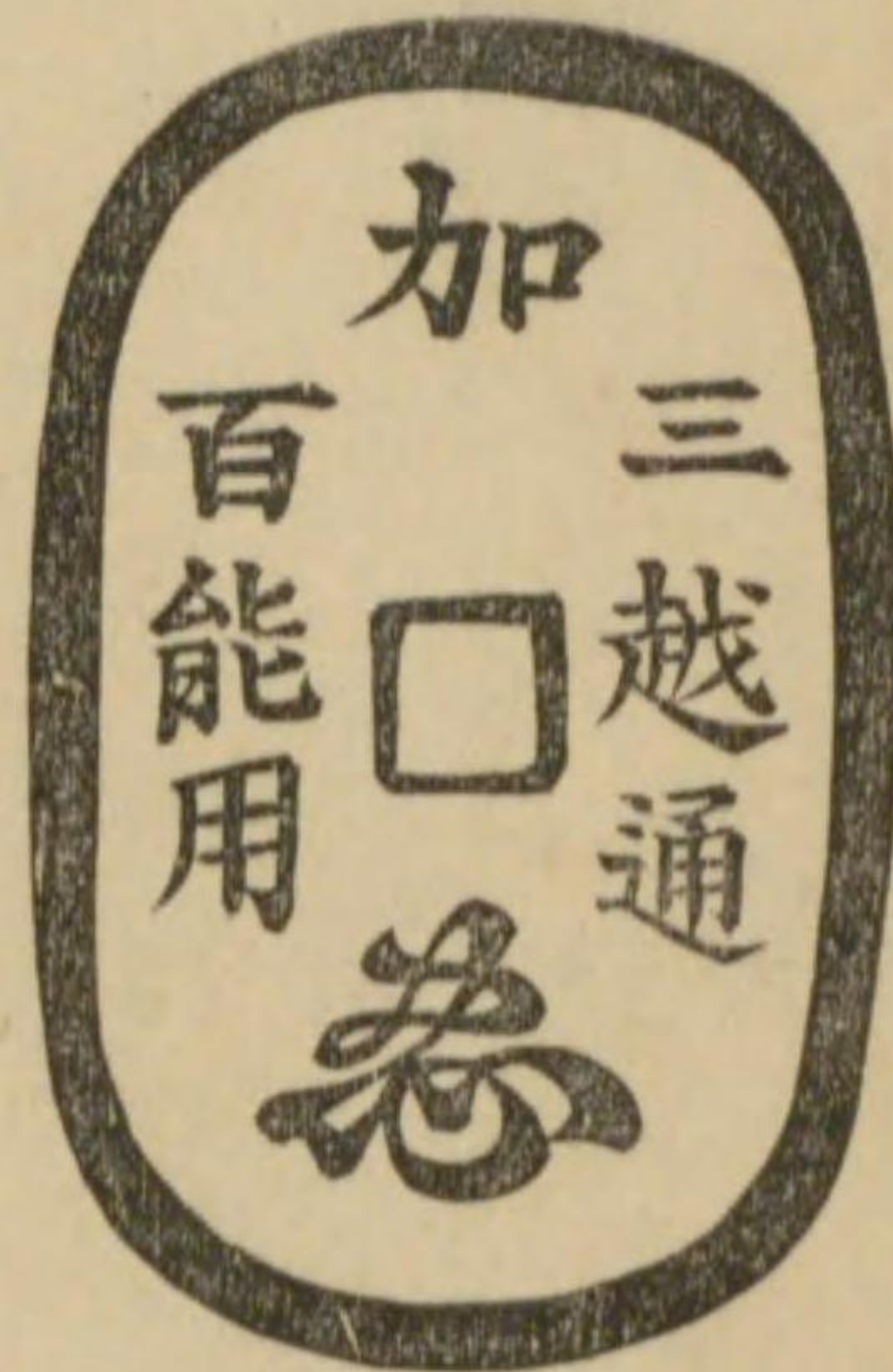


天保錢の試鑄にして通貨とならず、廿五圓より卅圓。

加越能通用 當三百

孝明
天皇

慶應
年間



背

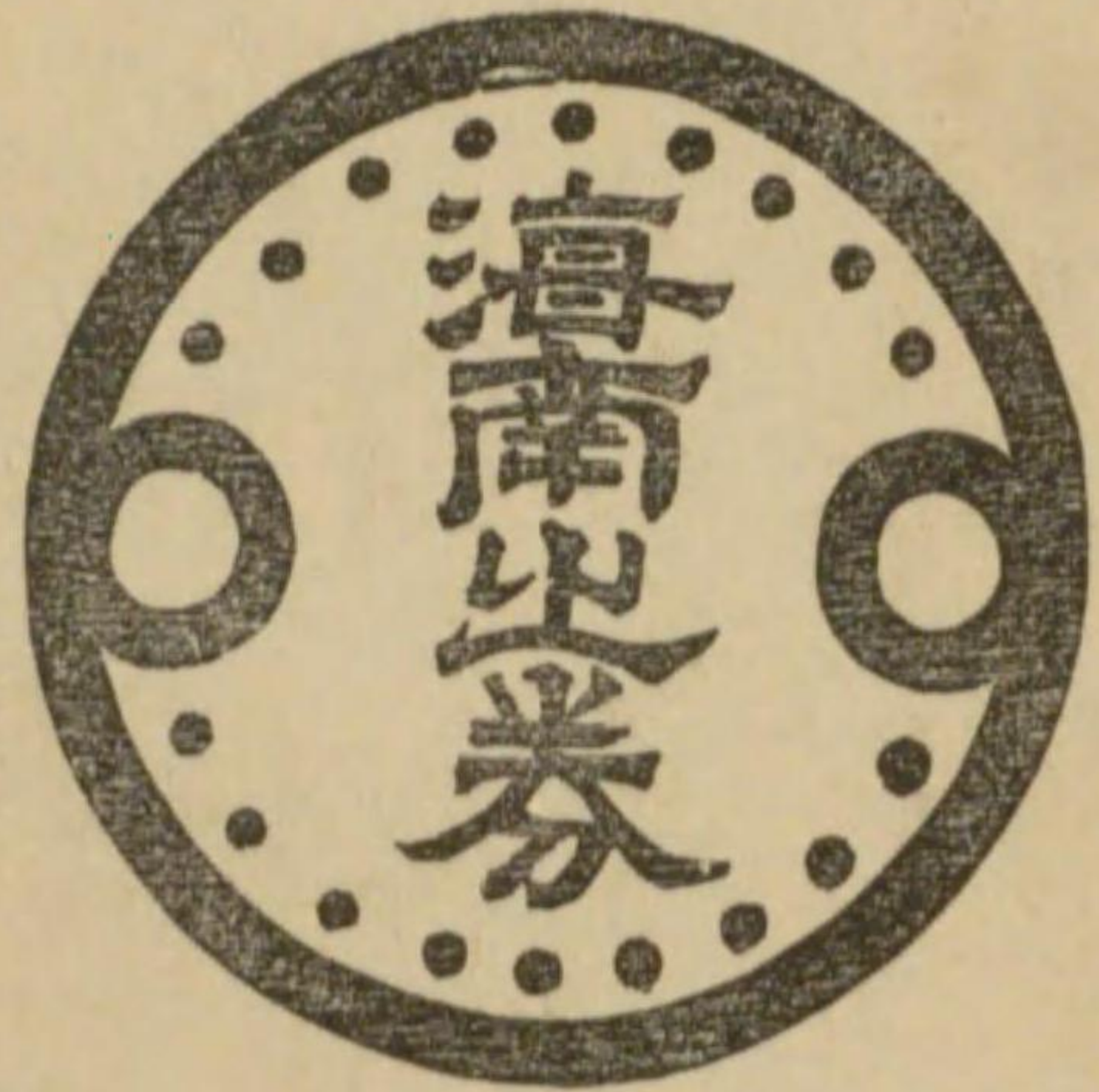


金澤藩の試鑄錢にして、越中増山鑛山にて鑄る、三百、五百、七百の三種あり、大、中、小の三様共拾五圓以上。

海南之券

二文目

同上

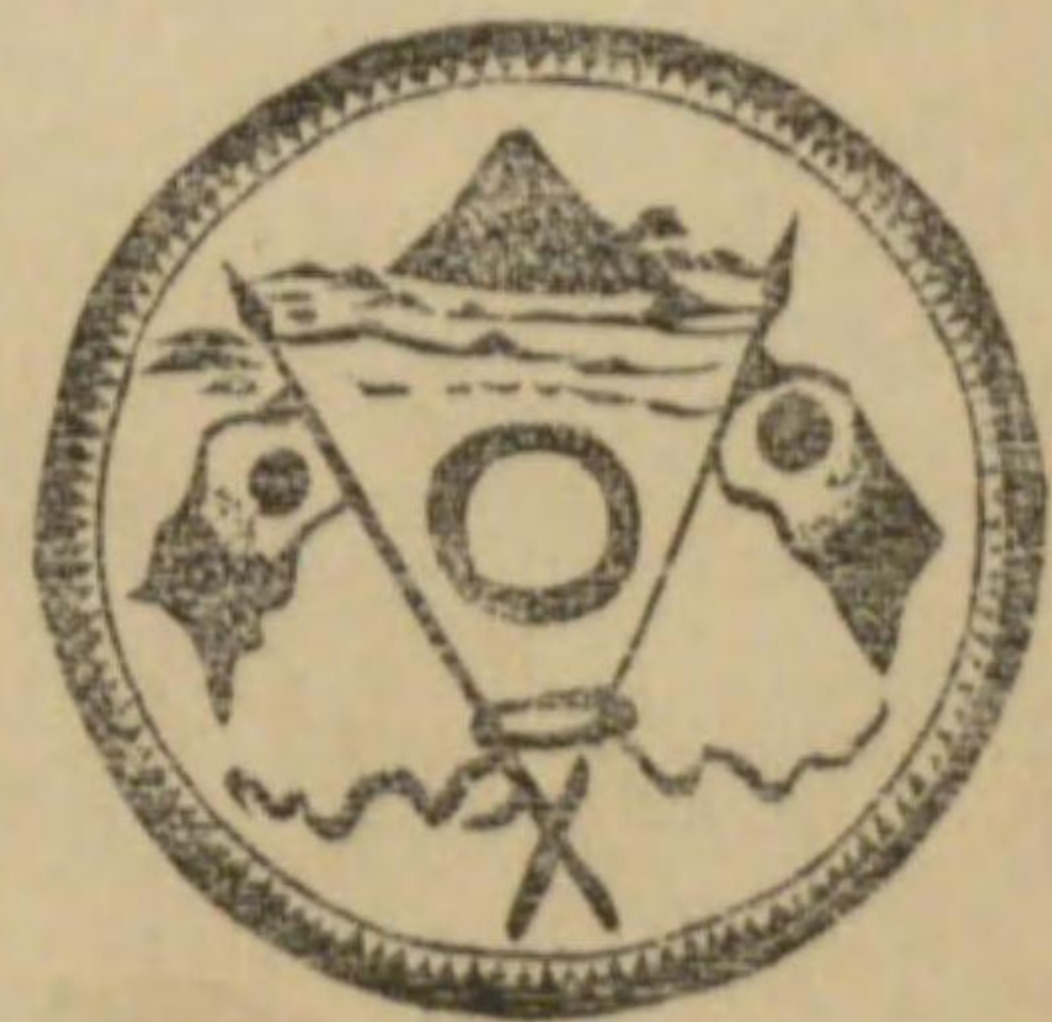


高知藩領内の通貨にして、二文目錢、五分錢の二種あり、共に拾五六圓。

横濱錢 五分錢

明治天皇

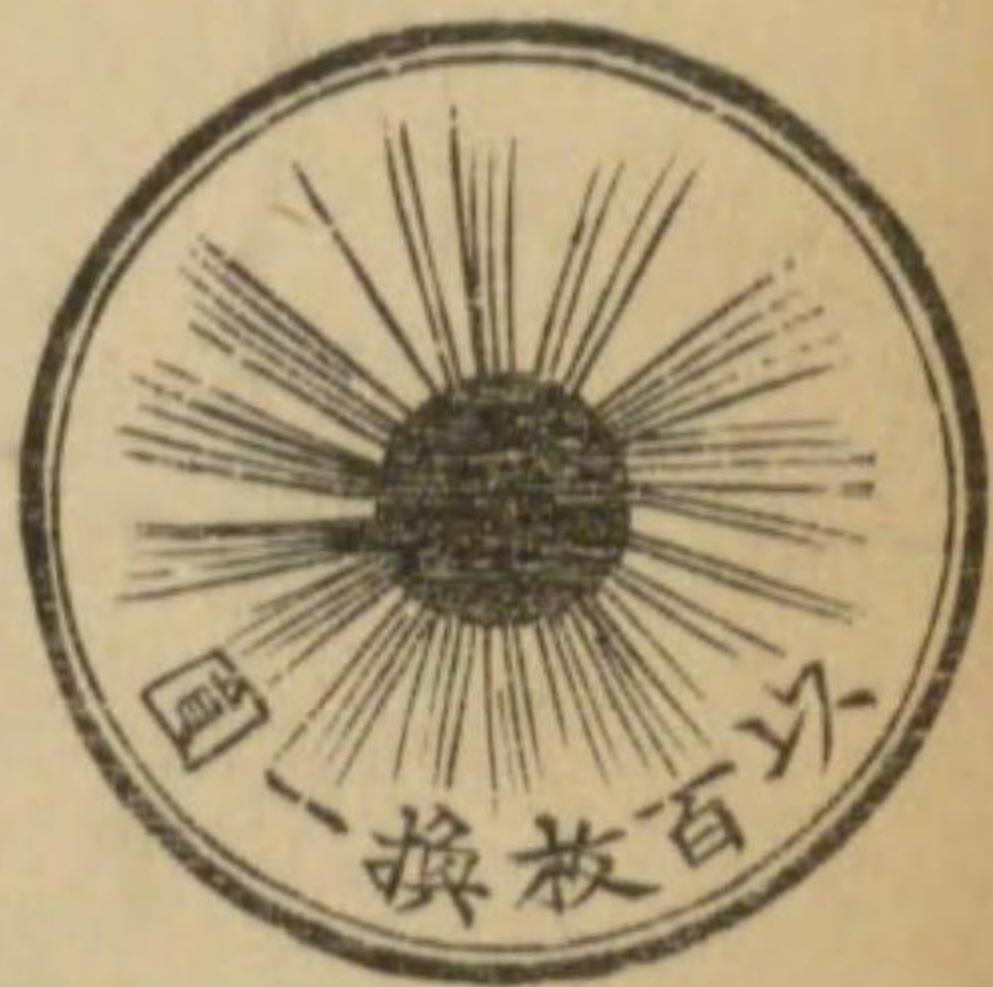
明治初年



明治初年某外國にて鑄造し、註文を受けんと、横濱へ見本として持來れるもの、壹匁錢、五分錢壹分錢の三種あり、共に拾圓内外。

一錢銅貨 試鑄錢

同 帝 明治二年



七八圓より拾圓。

大日本美寶

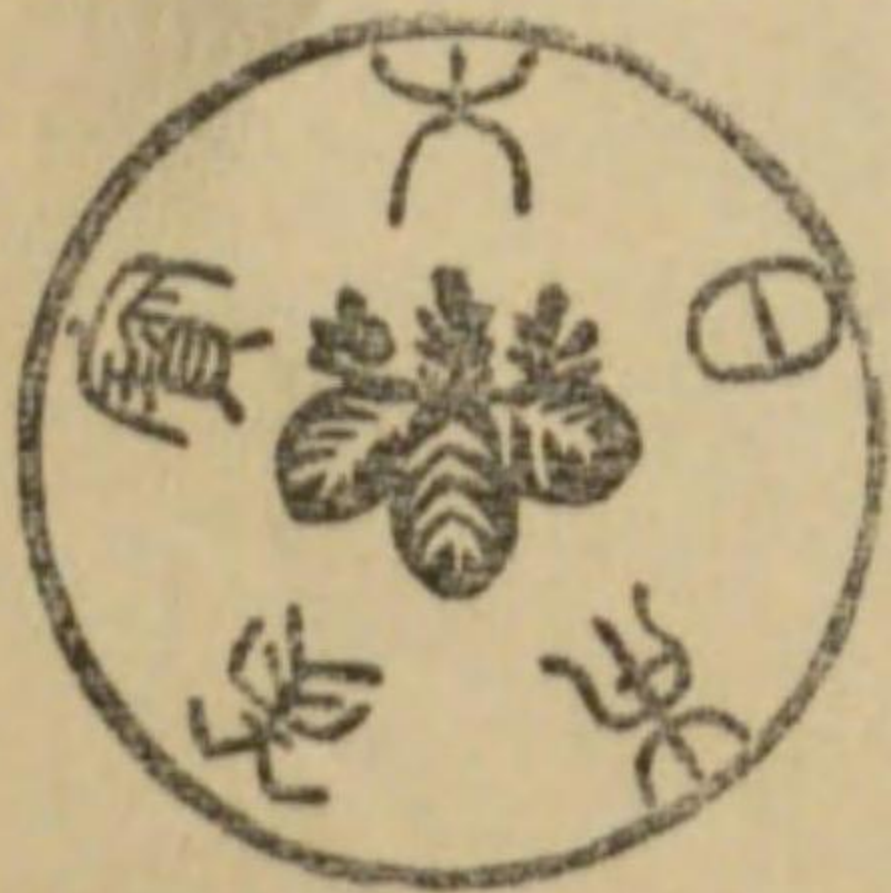
白銅錢

背文

永泉一百

年代未詳

五圓内外。

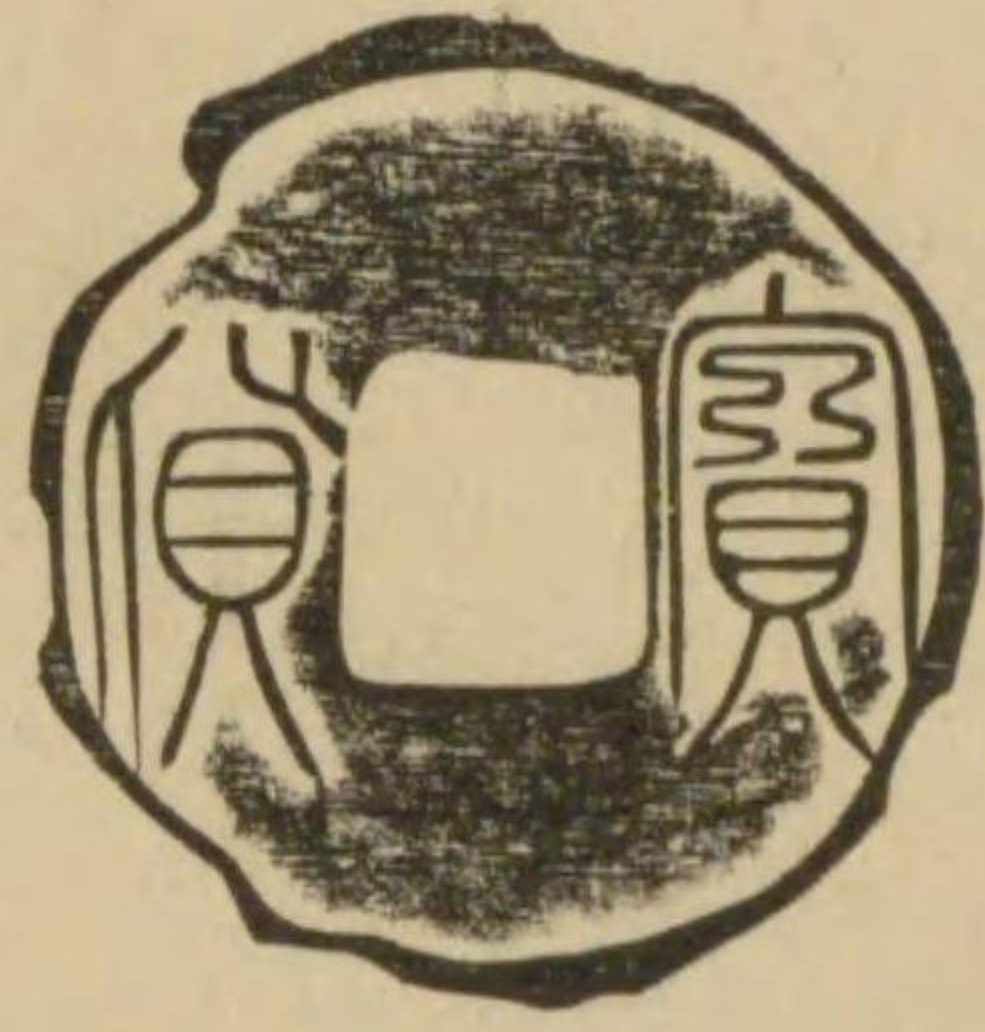


支那錢

寶貨

周景王

二十一年

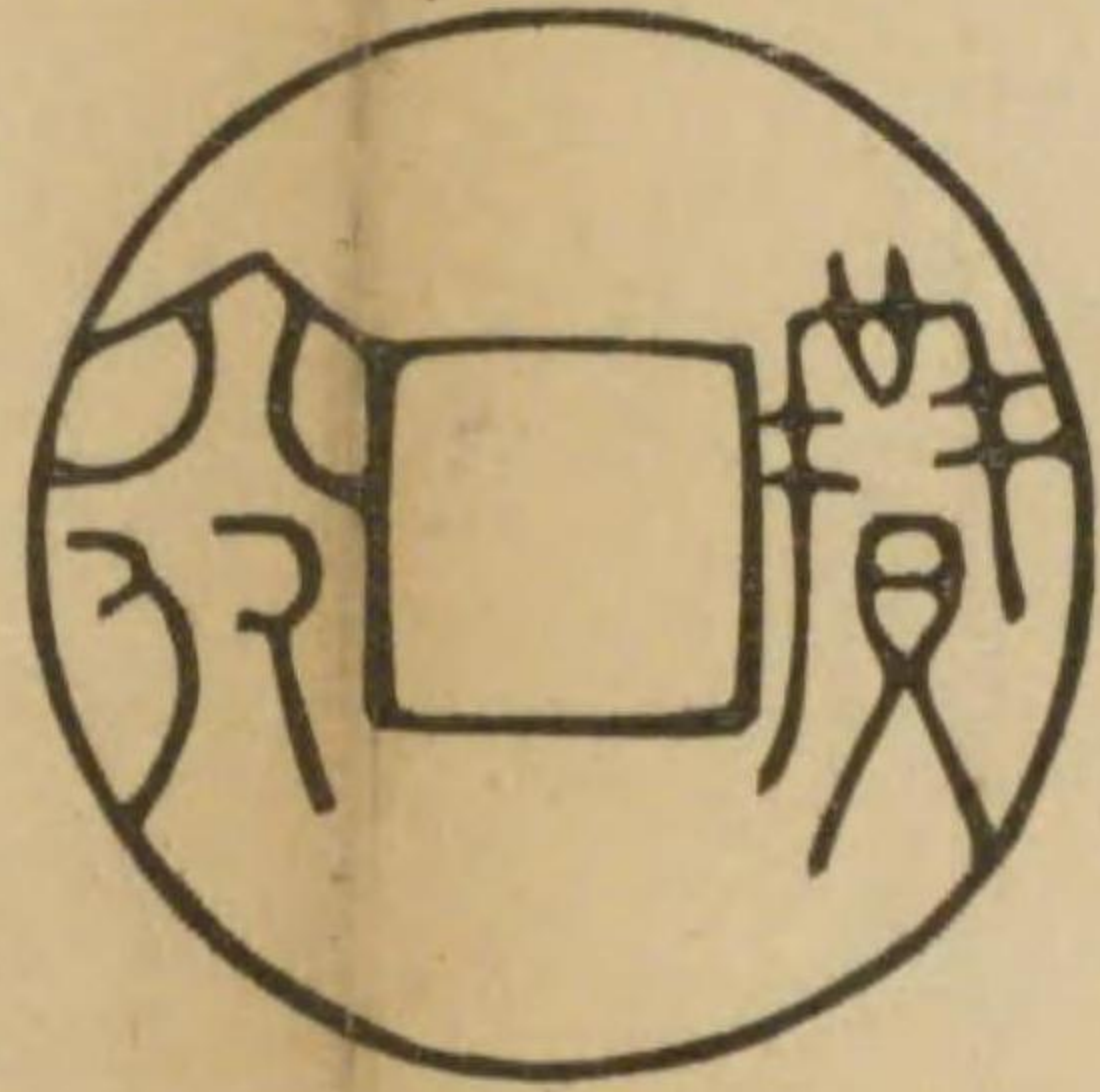


寶六貨

同上

以一當小

錢六

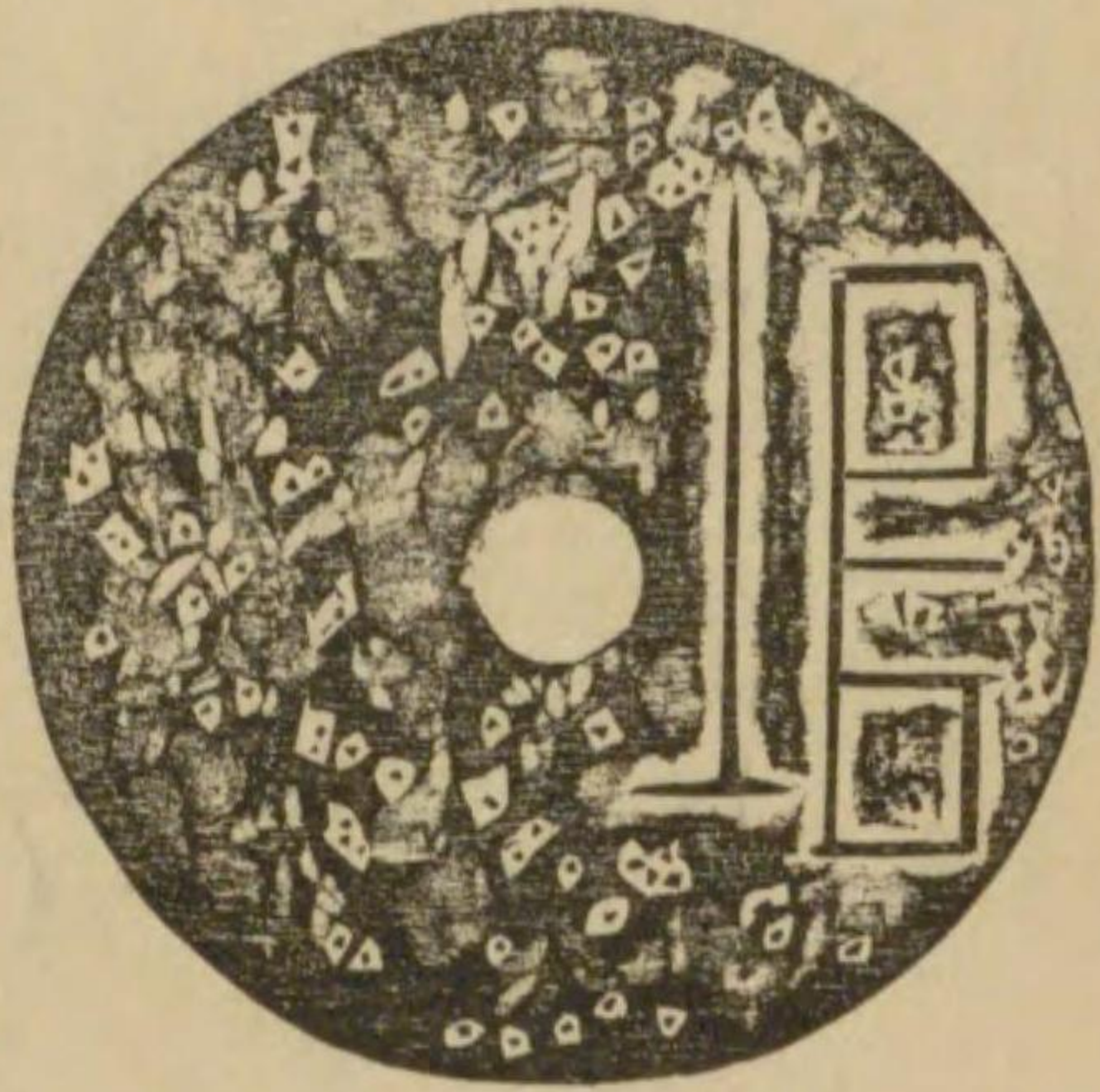


垣字錢

周の世、魏國

垣(地名)にて

鑄造す。



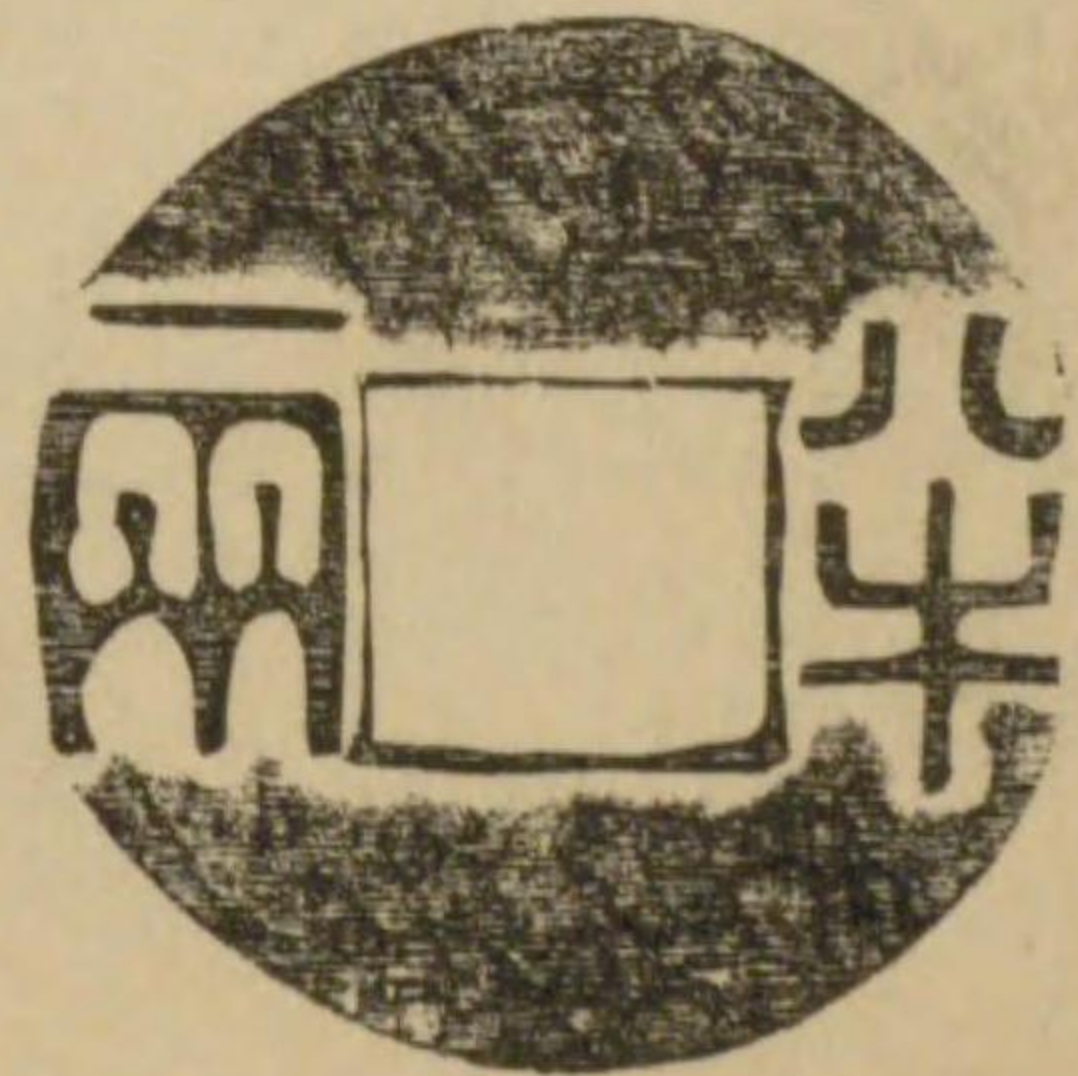
『寶貨』は五圓以上、『寶六貨』は三圓より五圓、外に『寶四貨』あり、價格同上、『垣字錢』は三圓以上五圓。

秦ノ半兩

秦始皇帝

廿六年

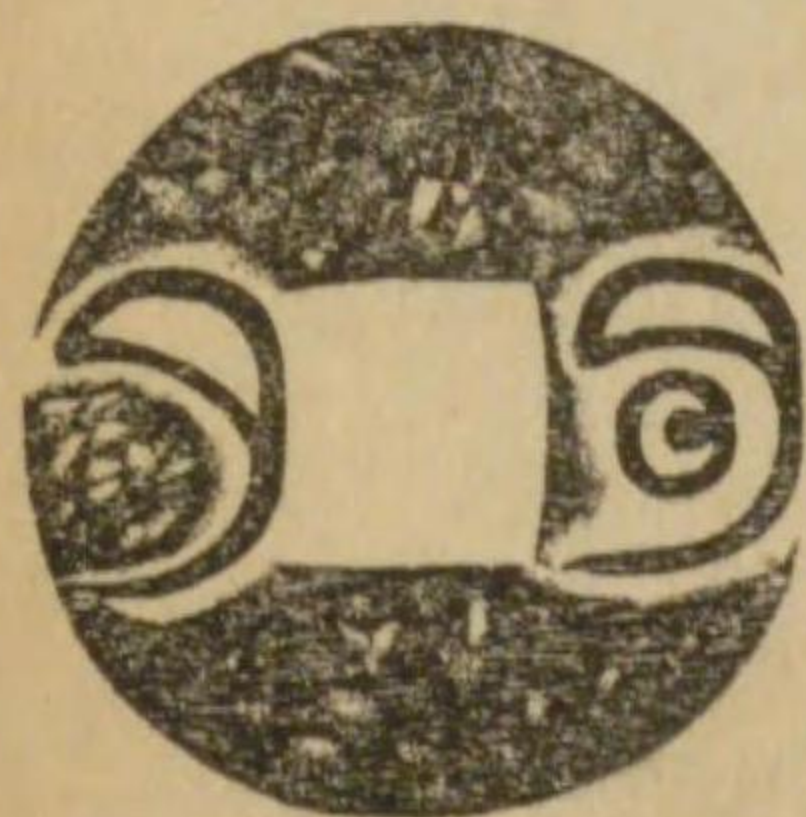
壹圓以上五六圓。



明刀

趙國の通貨

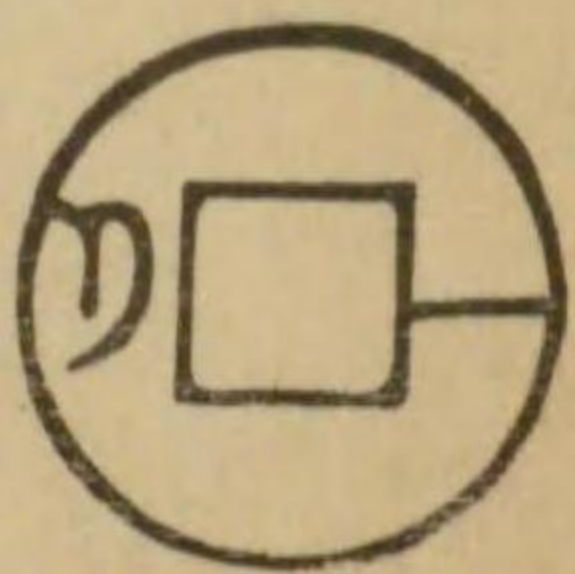
壹圓以上。



一刀

同上

四五拾錢より壹圓。

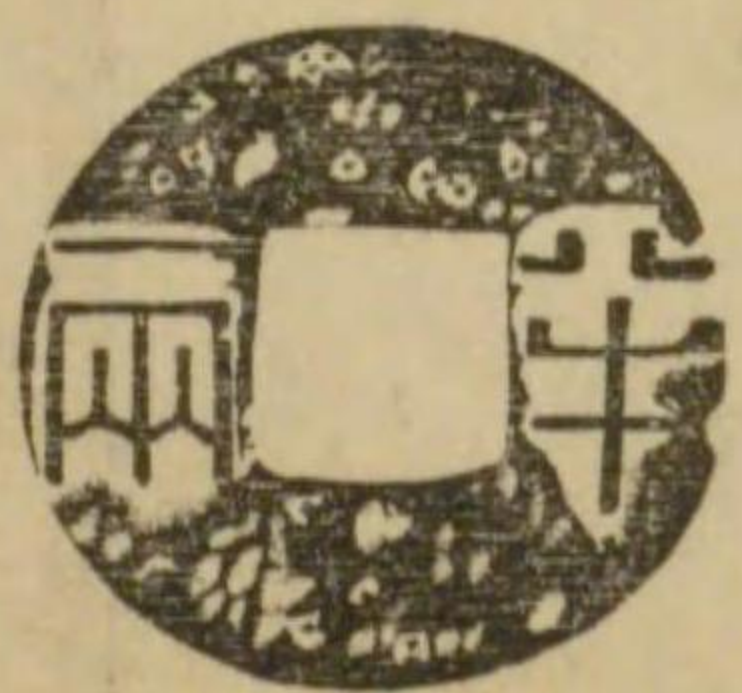


半兩

漢文帝

五年

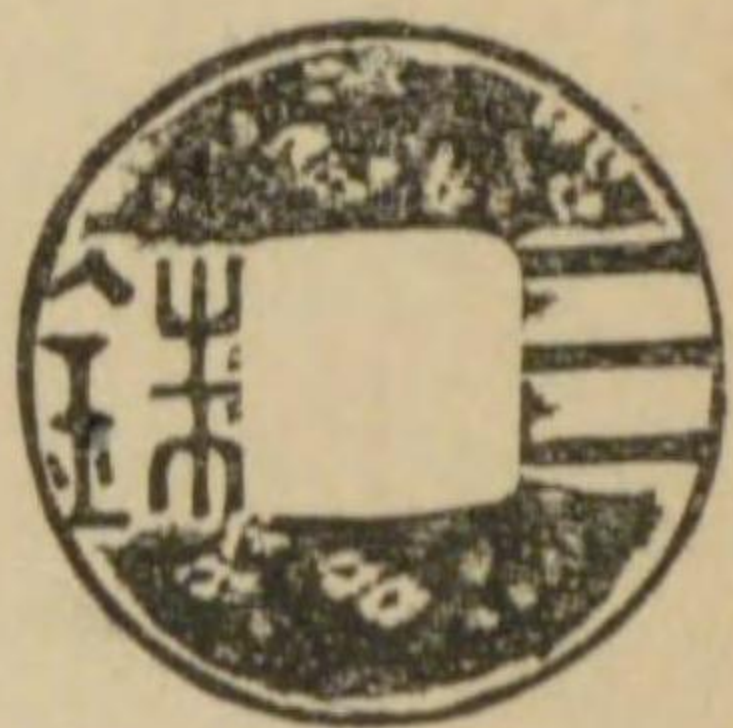
同上。



三 銖

漢 文 帝

建 元 元 年

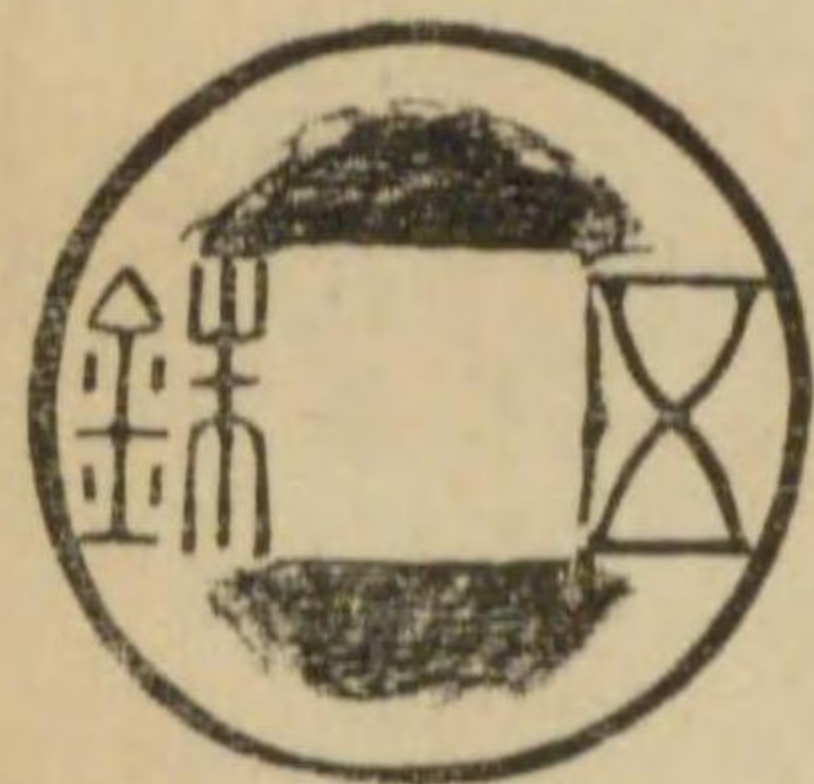


五圓以上七八圓。

五 銖

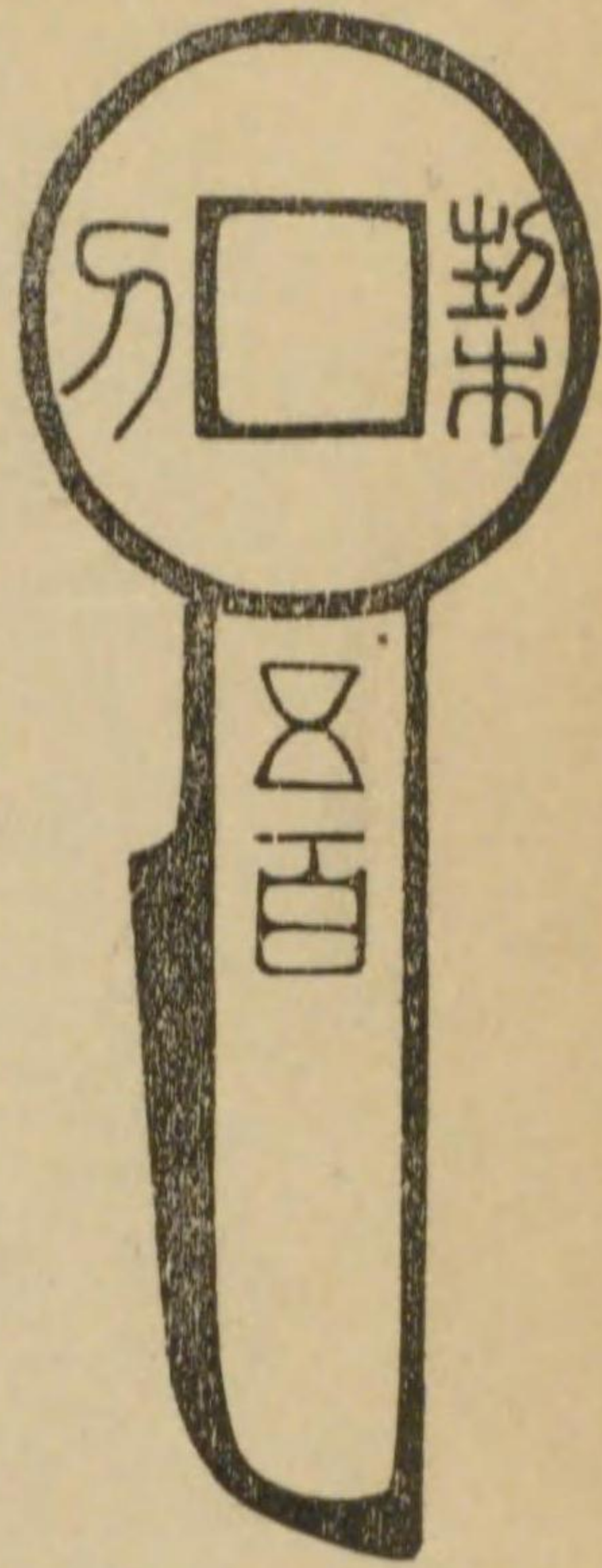
漢 武 帝

元 狩 五 年

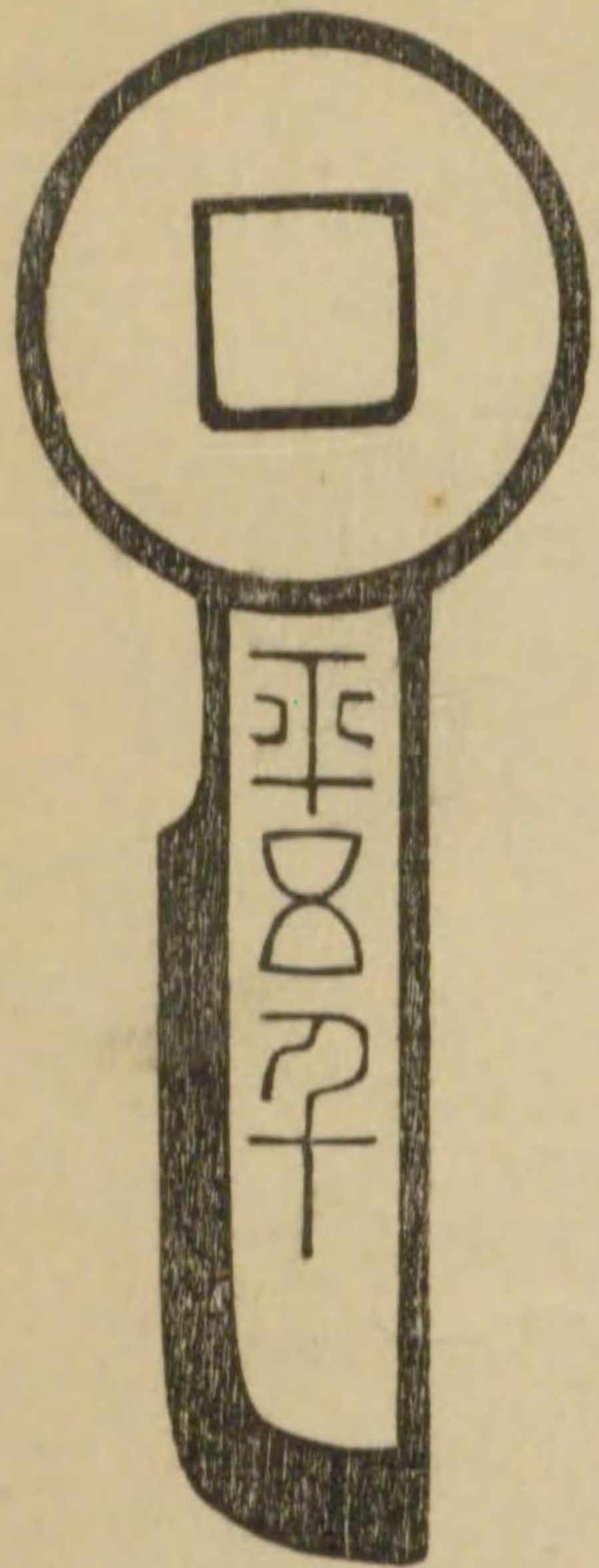


貳三拾錢より壹圓。

梨 刀 新王莽 居攝二年



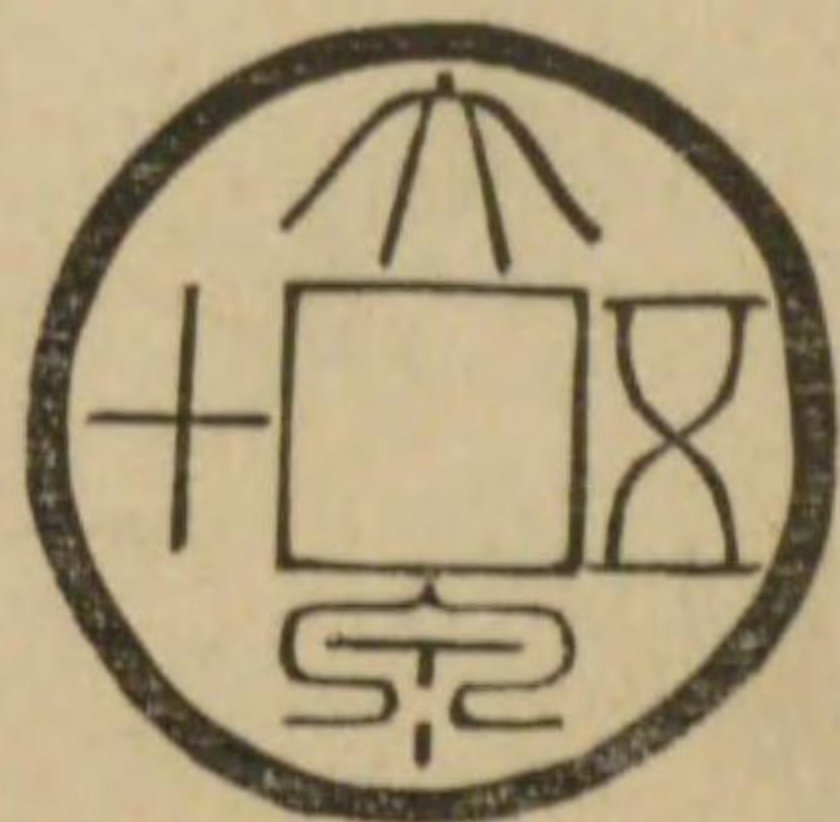
錯 刀 同上



『梨刀』は五圓以上七八圓、『錯刀』は拾圓以上。

大 泉 五 十

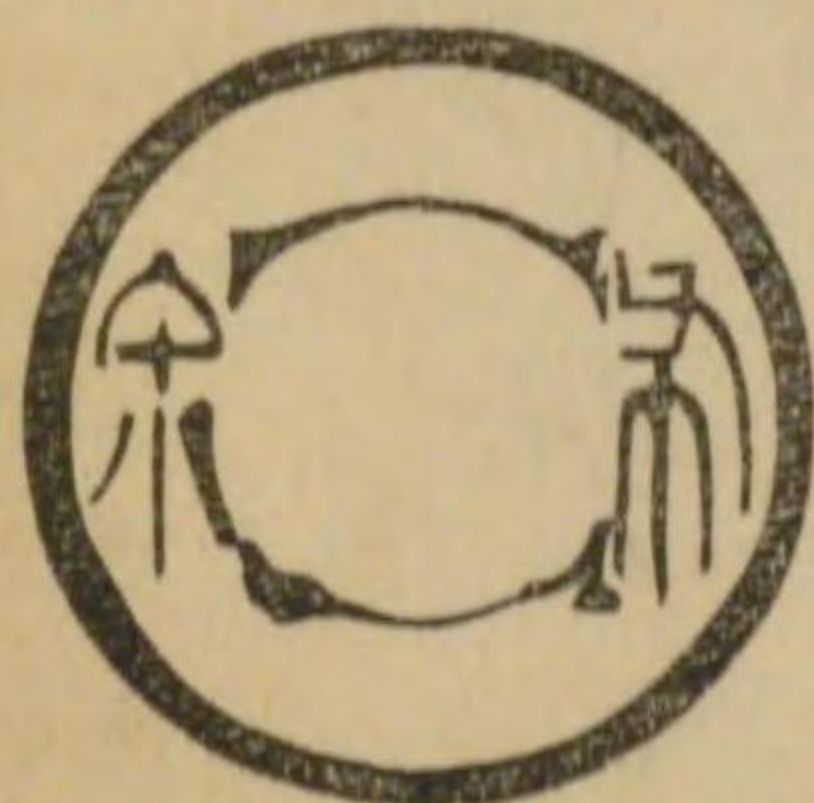
同 上



壹圓以上。

布 泉

同 上

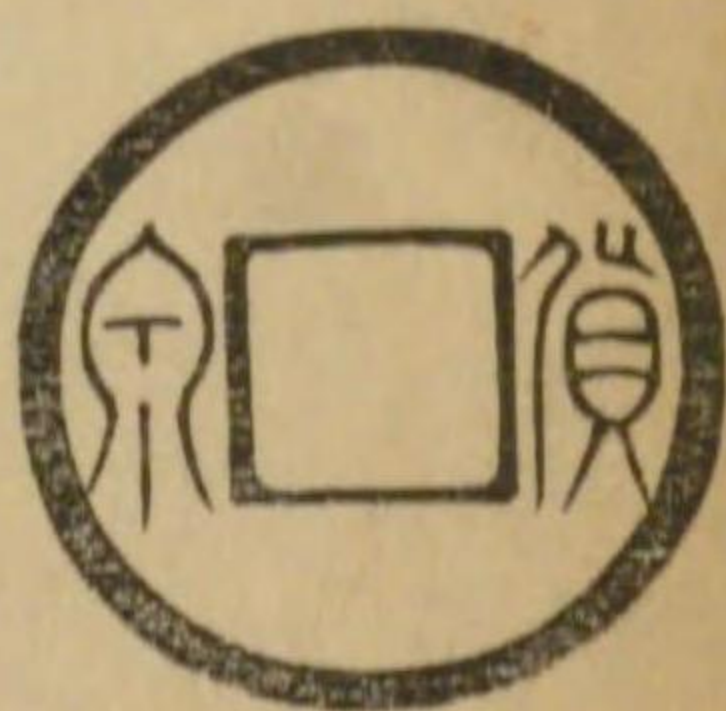


壹圓内外。

貨 泉

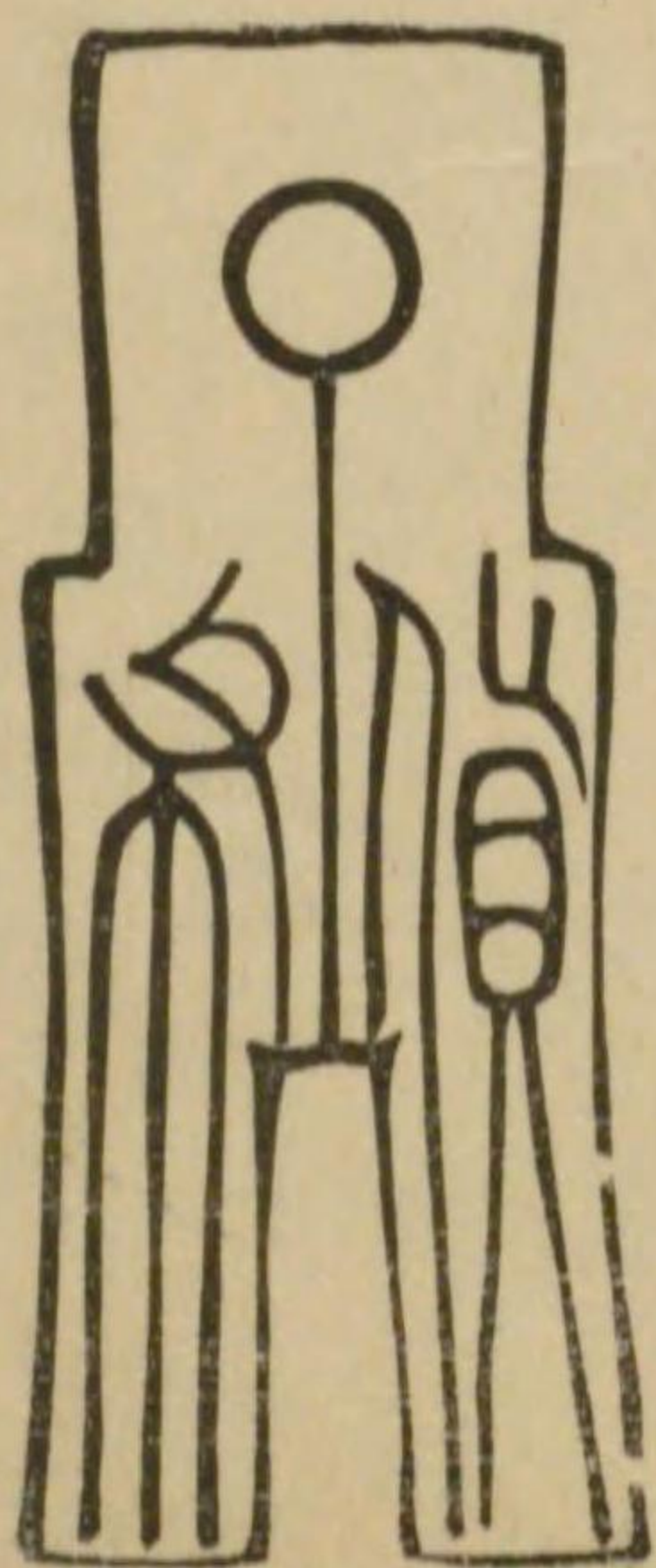
王 莽

天 鳳 元 年



貳三拾錢より七八拾錢。

貨 布 同上



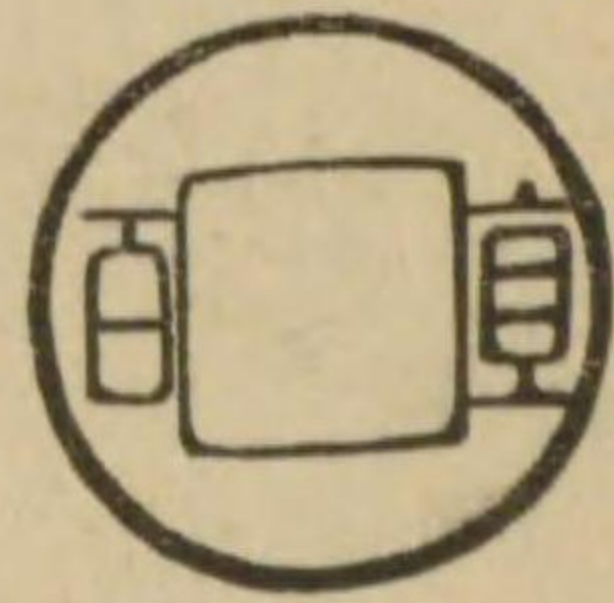
壹圓以上。

直百

蜀昭烈帝(劉玄德)入蜀の時

後漢獻帝建安十九年

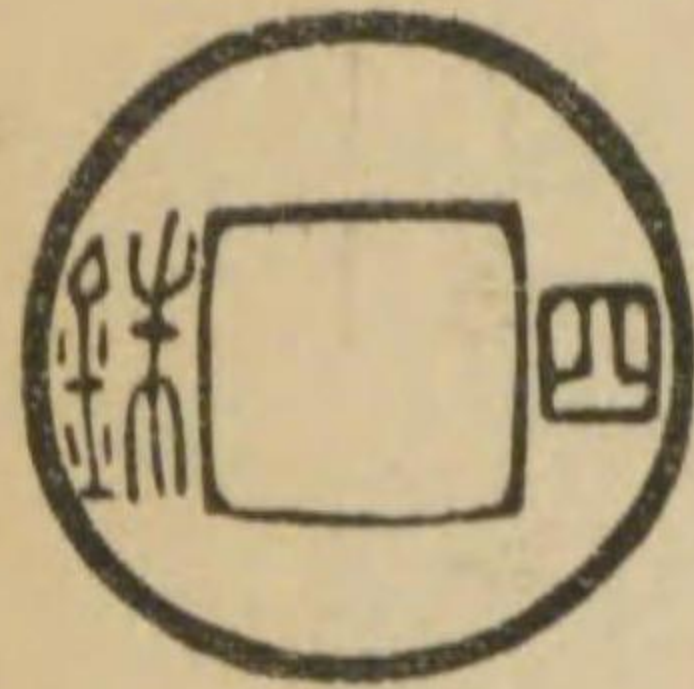
貳圓より五圓。



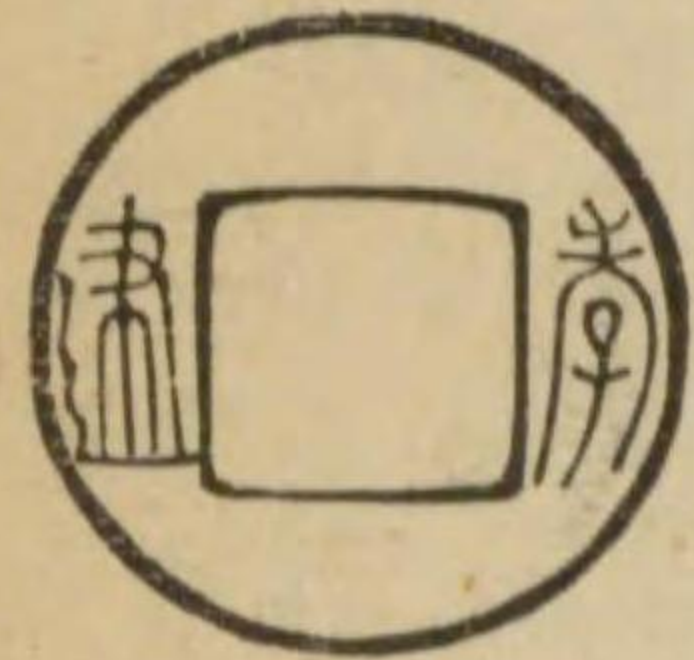
孝建四銖

宋孝武帝

孝建元年



背



壹圓半より三圓。

常平五銖

北齊文宣帝

天保四年

三四拾錢。

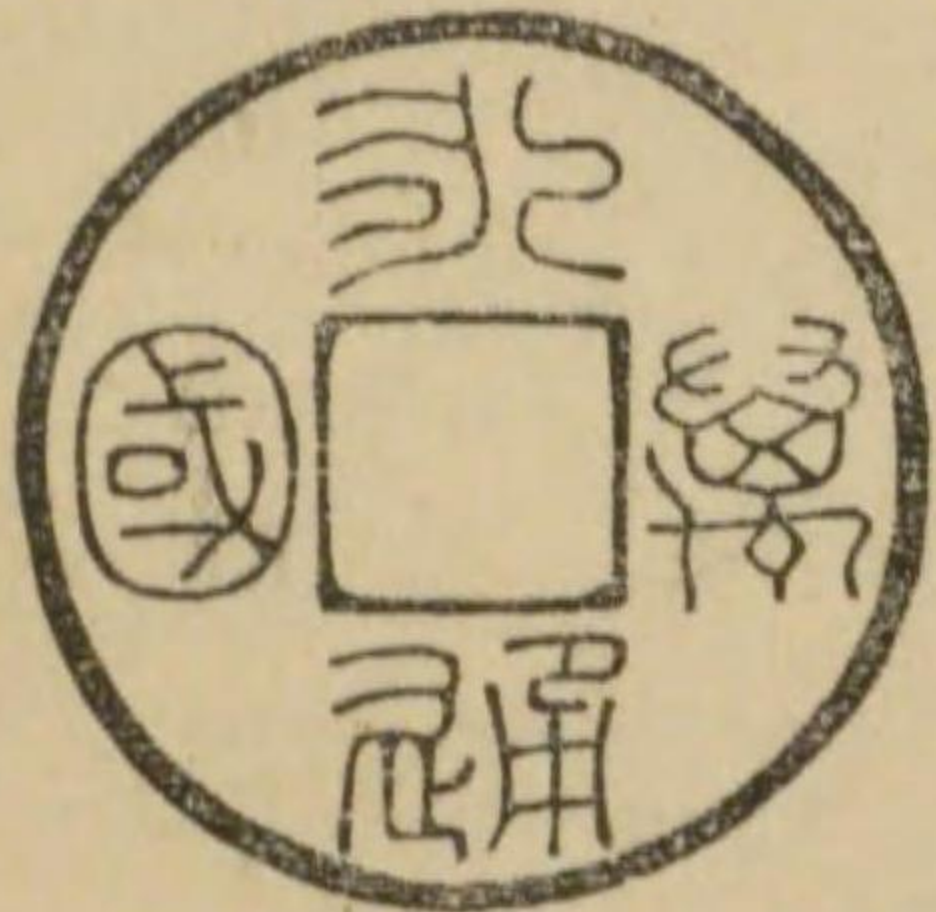


永通萬國

北周宣帝

大象元年

壹圓以上貳圓半。

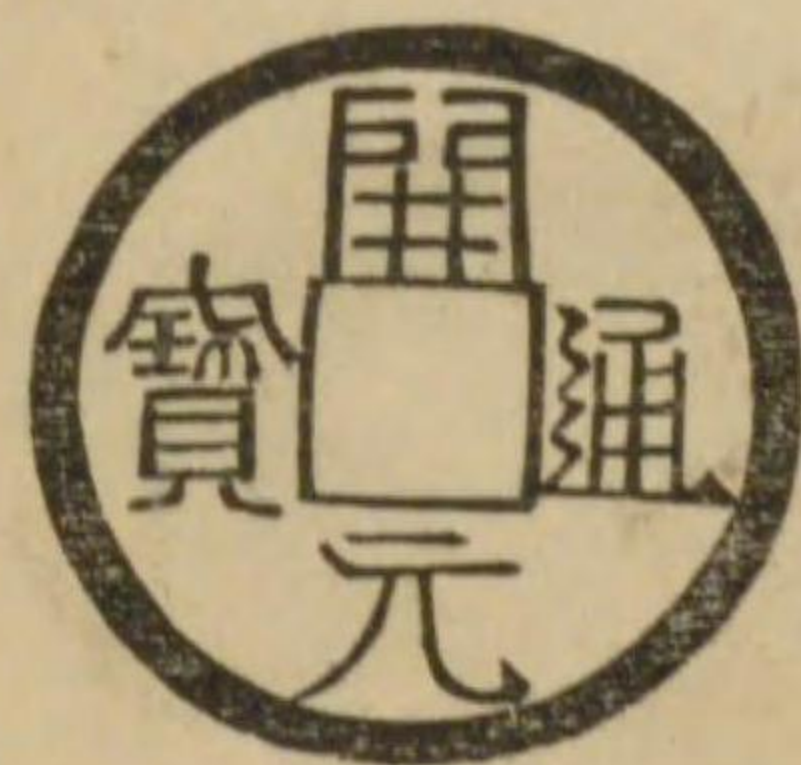


○秦漢より隋朝の末期までの泉貨を先哲稱して古文錢といひ、唐朝以下を平錢といふ。

開元通寶

唐高祖

武德四年



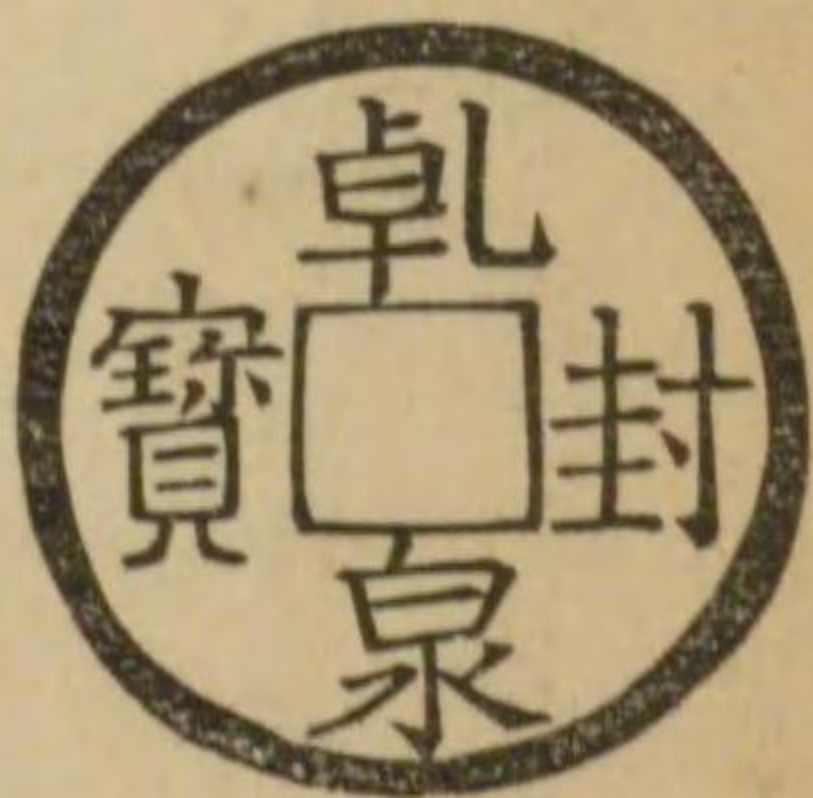
○『開元通寶』は開鑄以來、晚唐末期まで各地に續鑄せられたるものなれば異品頗る多し、而て高價なるもの稀にして、普通錢は殆ど價値なし。

乾封泉寶

唐高宗

乾封元年

壹圓より貳圓。

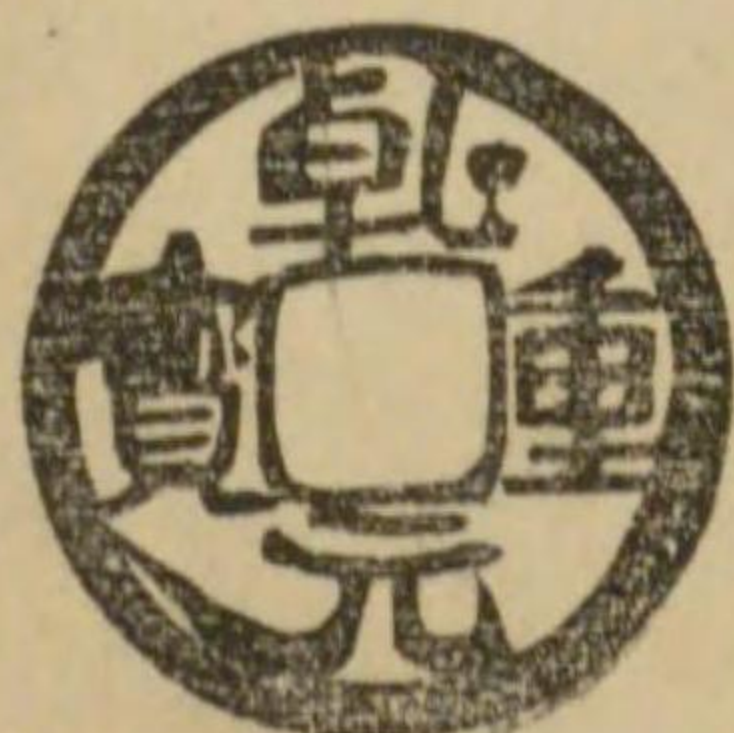


乾元重寶

唐肅宗

乾元二年

廿錢以上、當五十は五六拾錢。

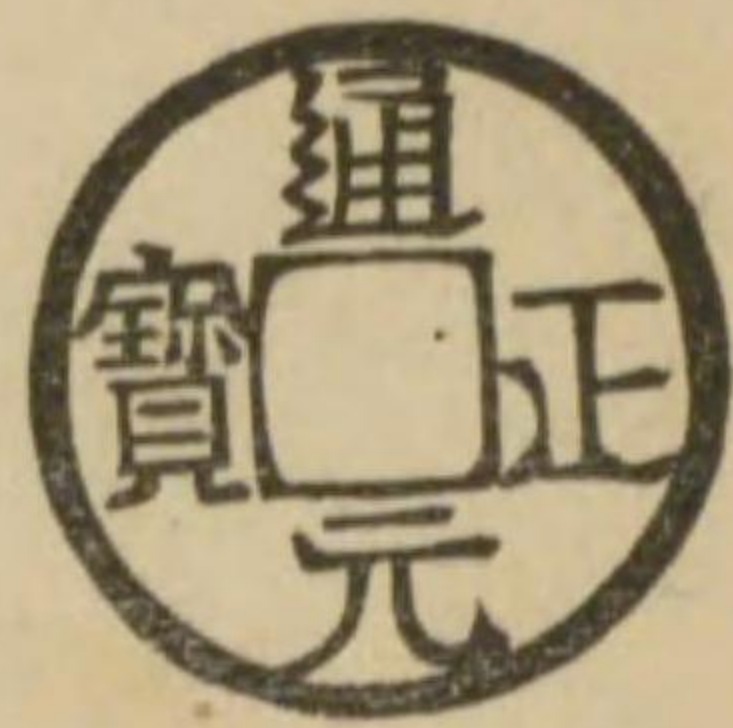


通正元寶

前蜀高祖王建

通正元年

五拾錢より壹圓。

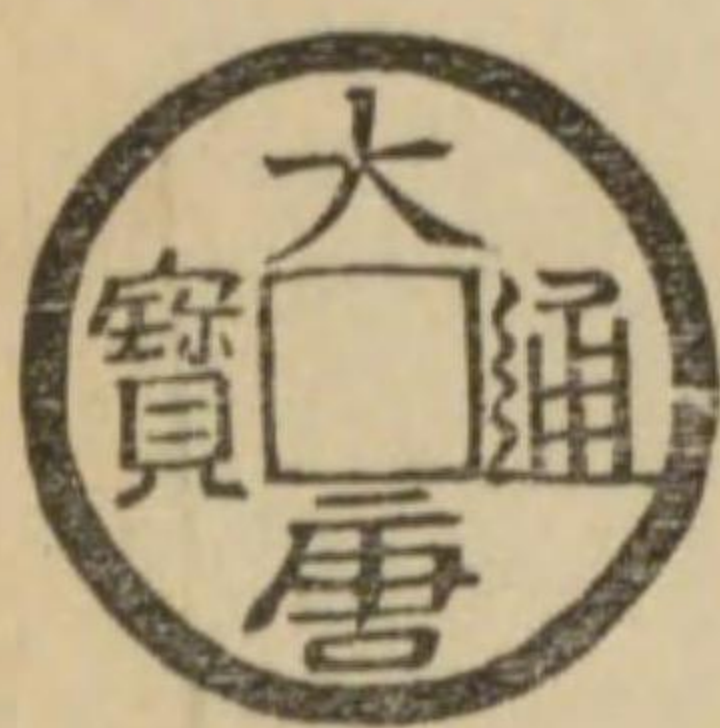


大唐通寶

南唐元宗

保大年間

壹圓内外。



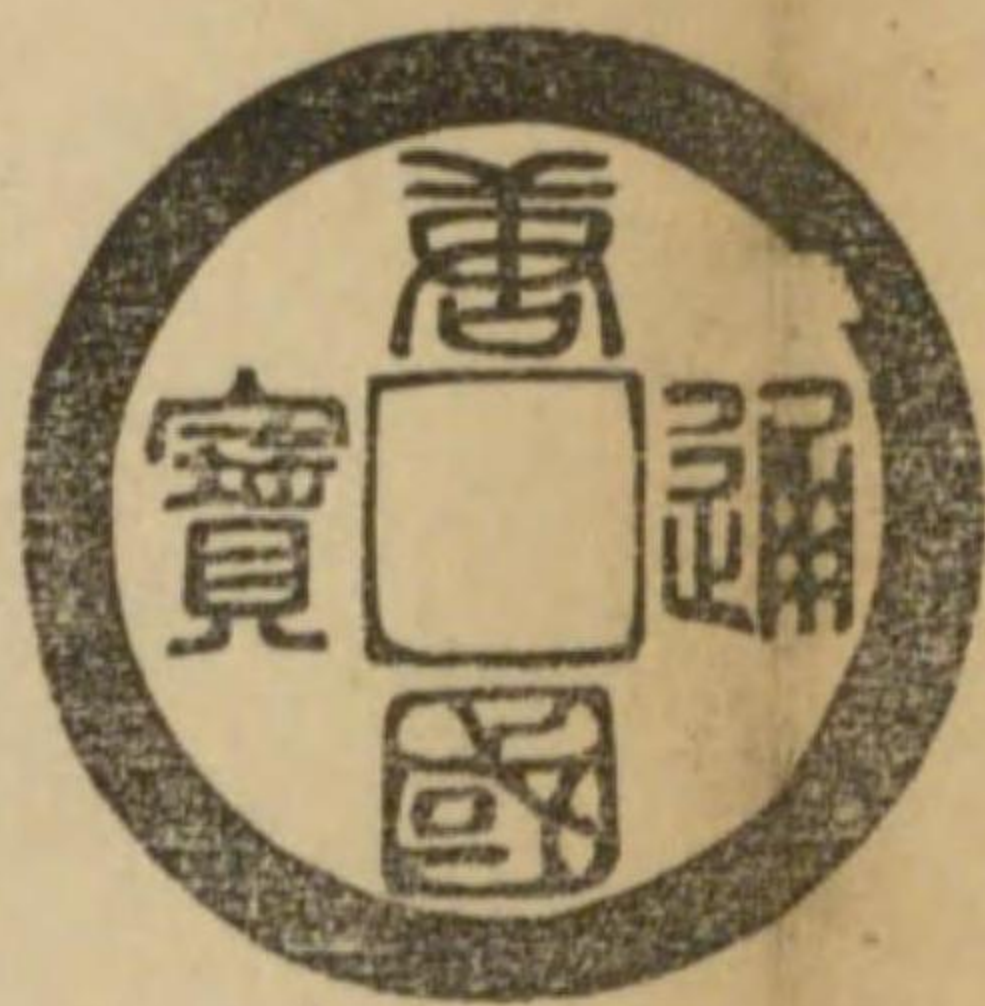
唐國通寶

當十

同

交泰年間

普通錢は價值なし、此當十は五六圓。



得壹元寶

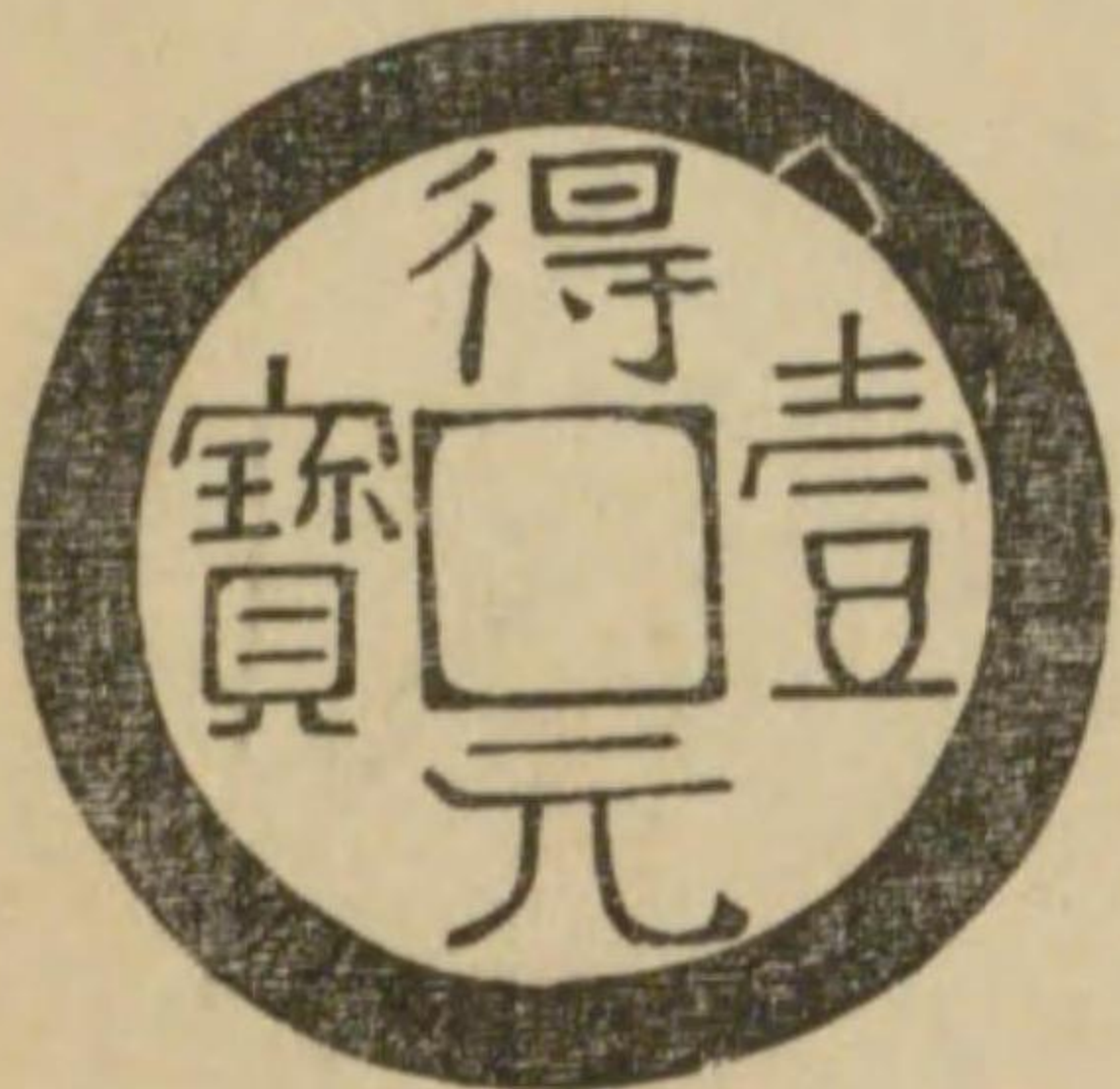
當百

燕王

史思明

得壹元年

壹圓内外。

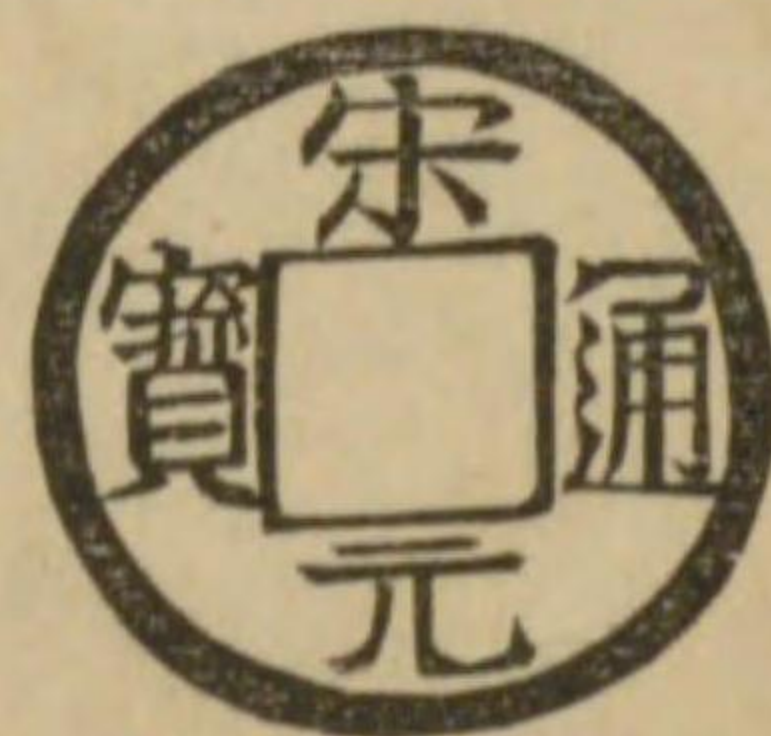


宋元通寶

宋太祖

開寶年間

篆書は貳三拾錢、楷書は價值なし。

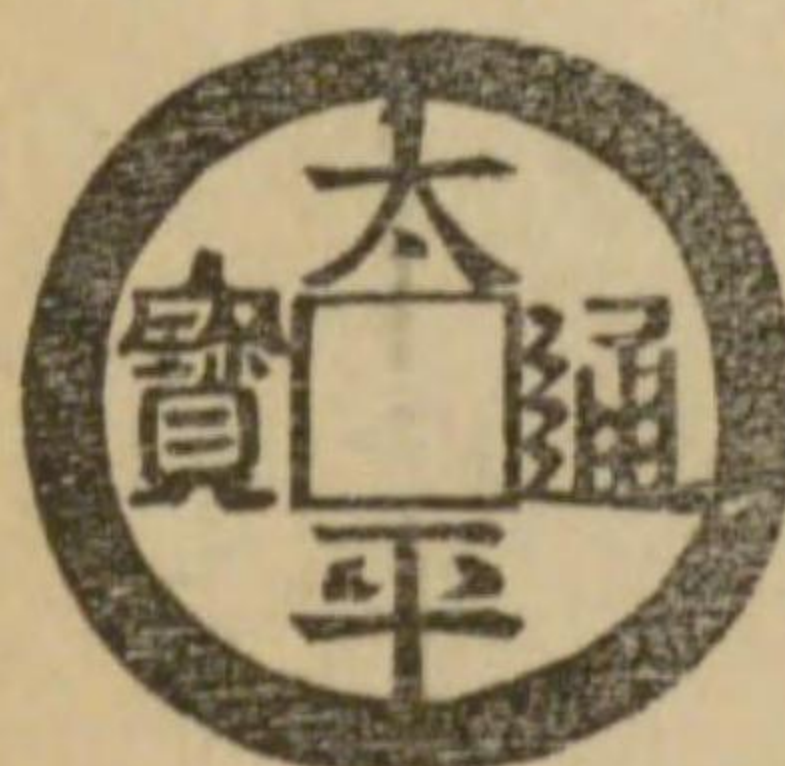


太平通寶

宋太宗

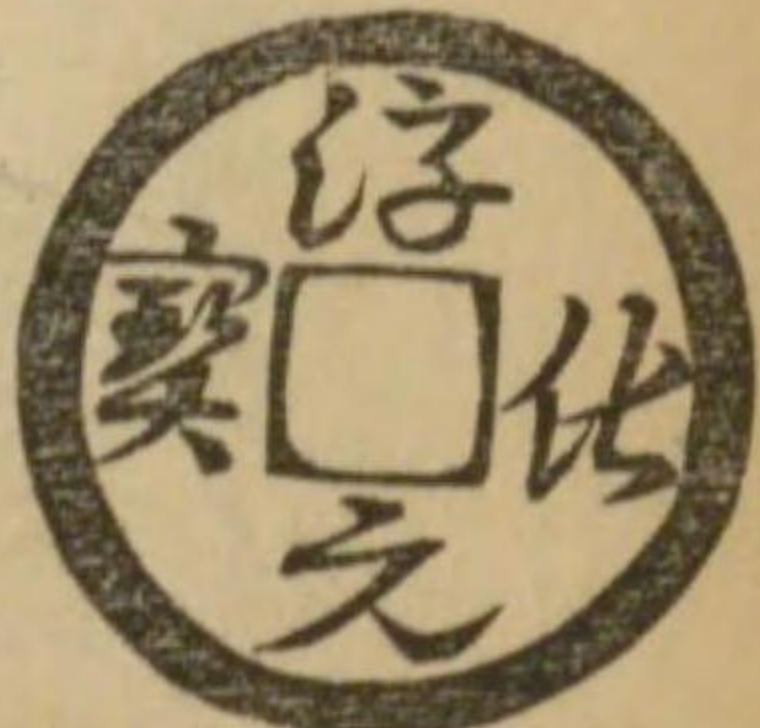
太平興國年間

現在品頗る多く價值なし。

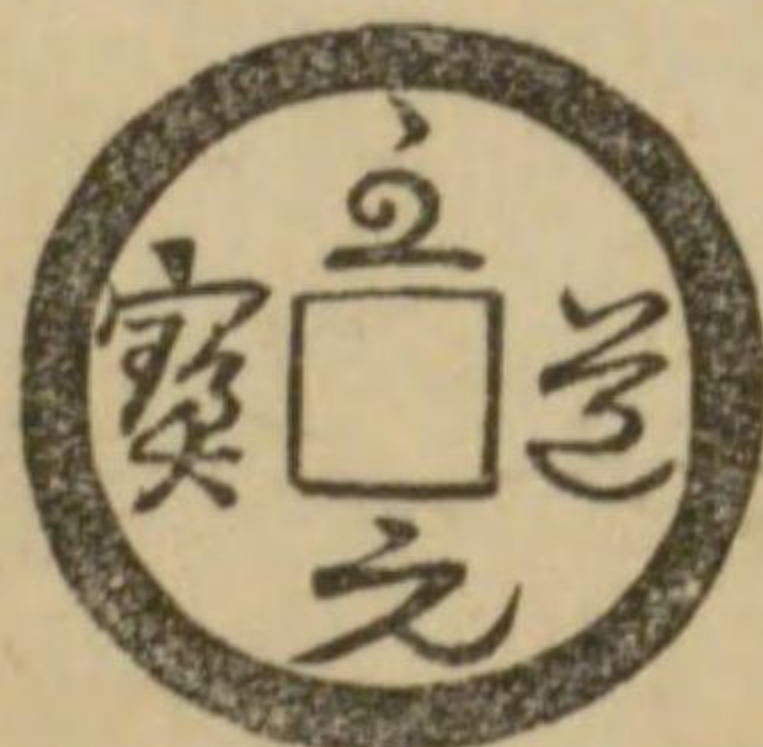
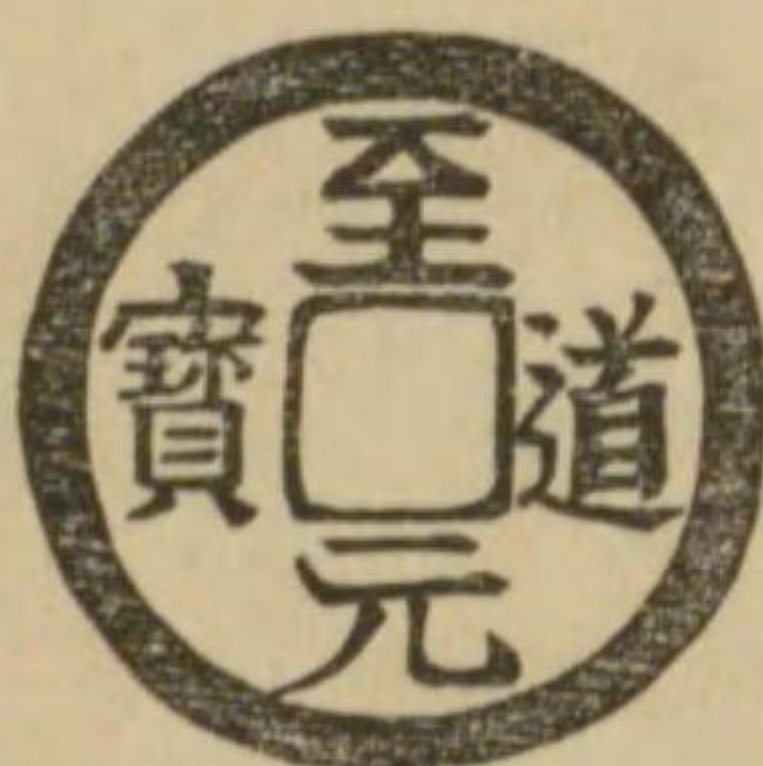


淳化元寶 同

淳化元年



至道元寶 同 至道年間

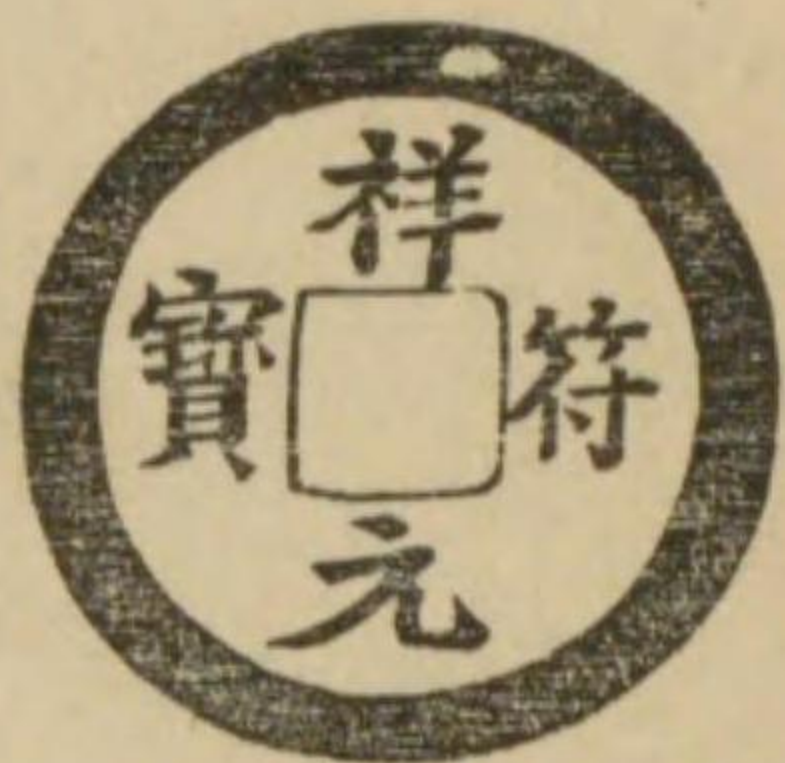


右淳化、至道とも眞行草三種あり、現在品頗多きが故に價值なし。

祥符元寶

宋真宗
大中祥符年間

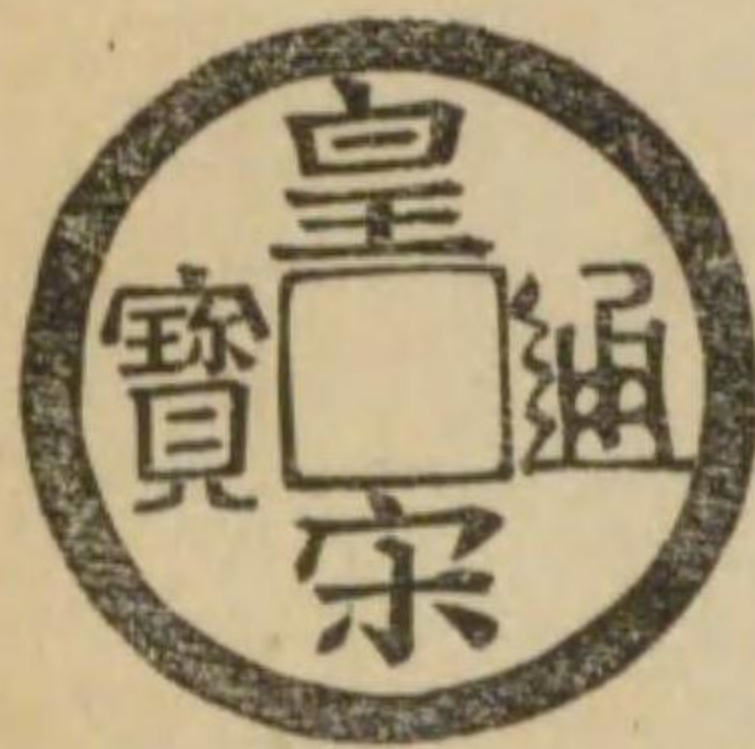
現在品夥多價值なし。



皇宋通寶

宋仁宗
寶元二年

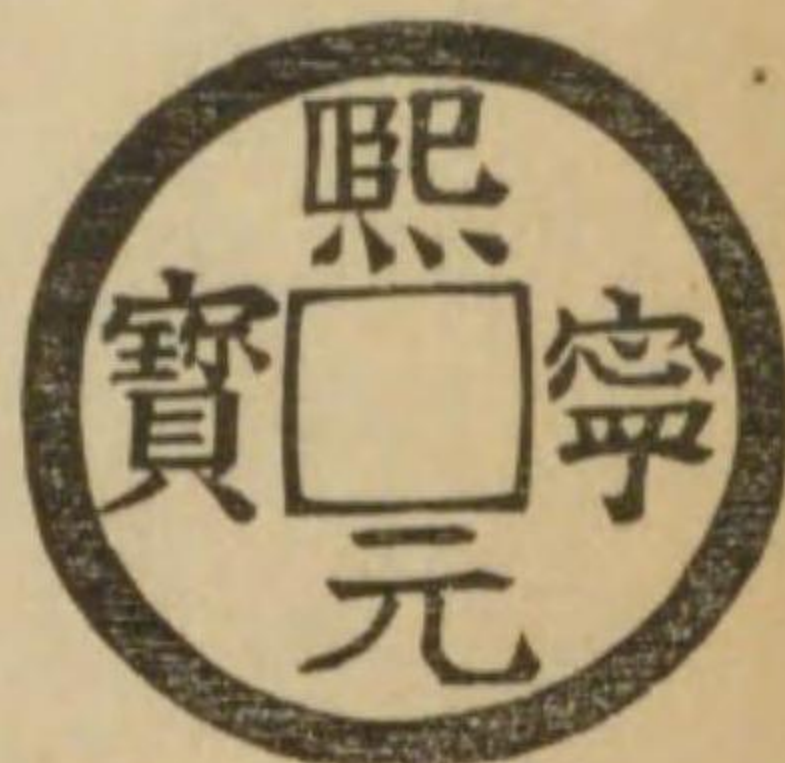
同上。



熙寧元寶

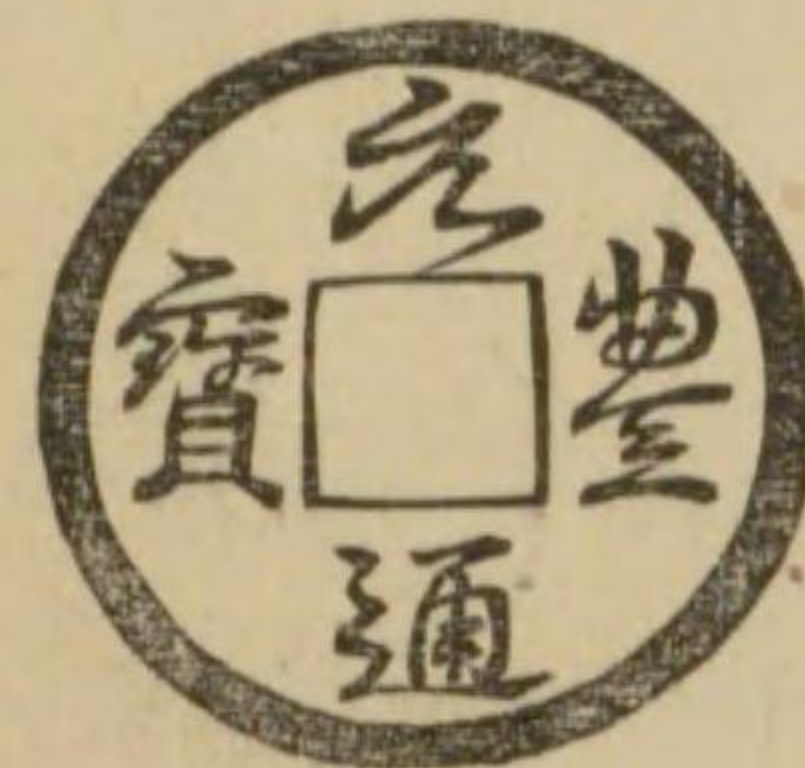
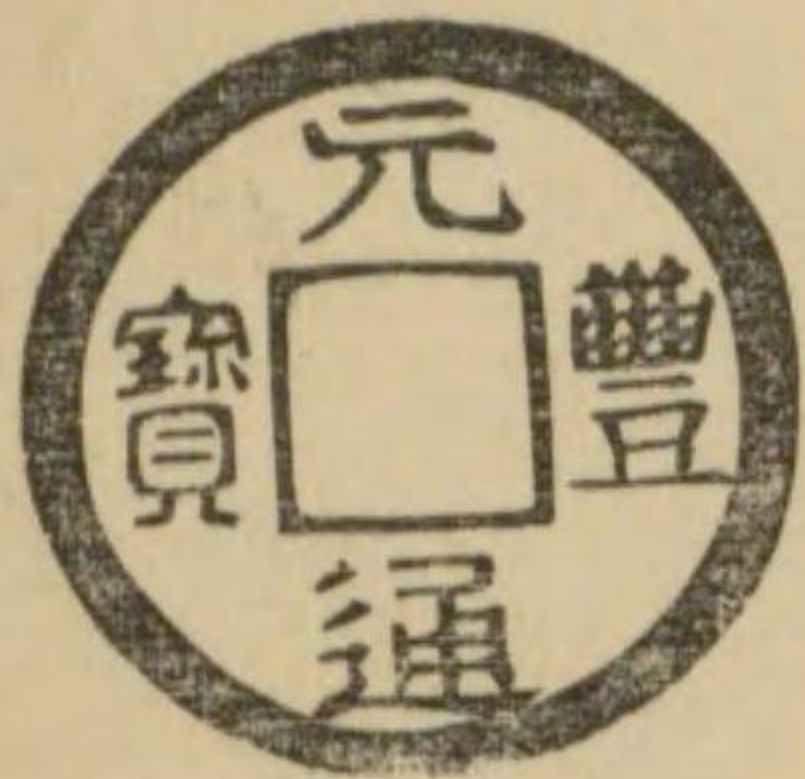
宋神宗
熙寧年間

同上。



元豐通寶

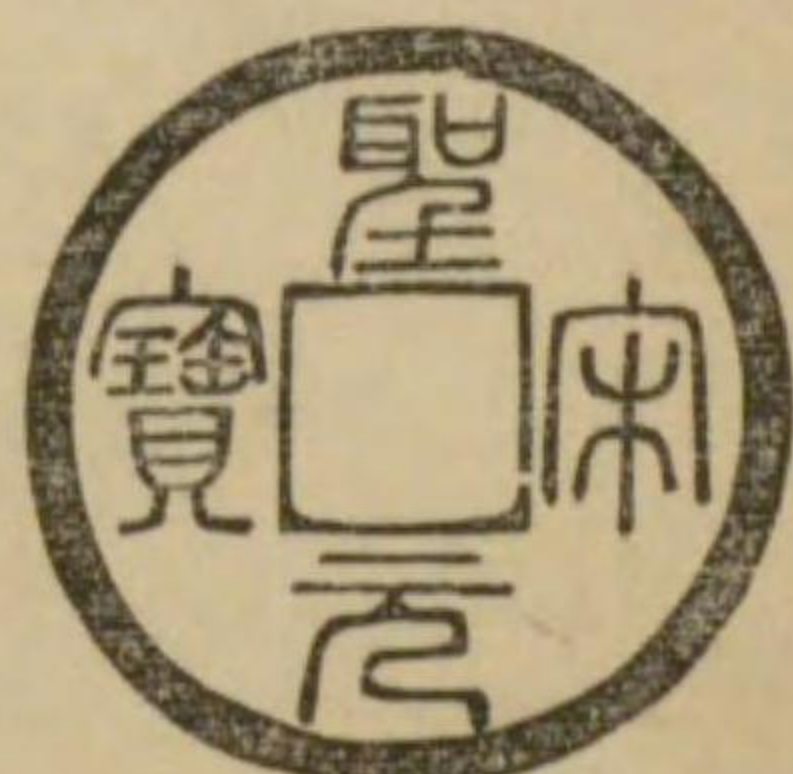
同
元豐元年



同上。

聖宋元寶

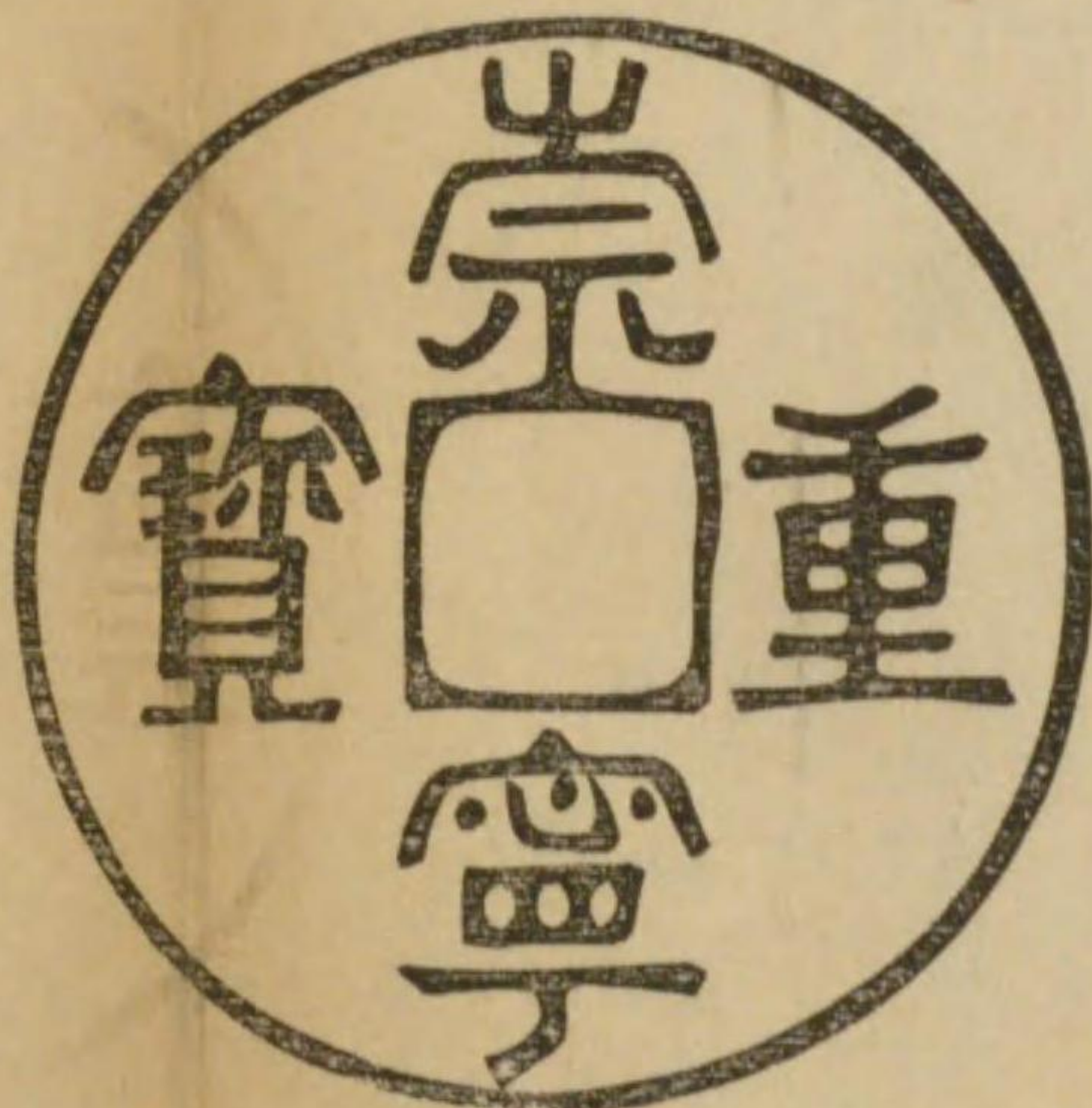
宋徽宗
建中靖國元年
同上。



崇寧通寶 當十

同

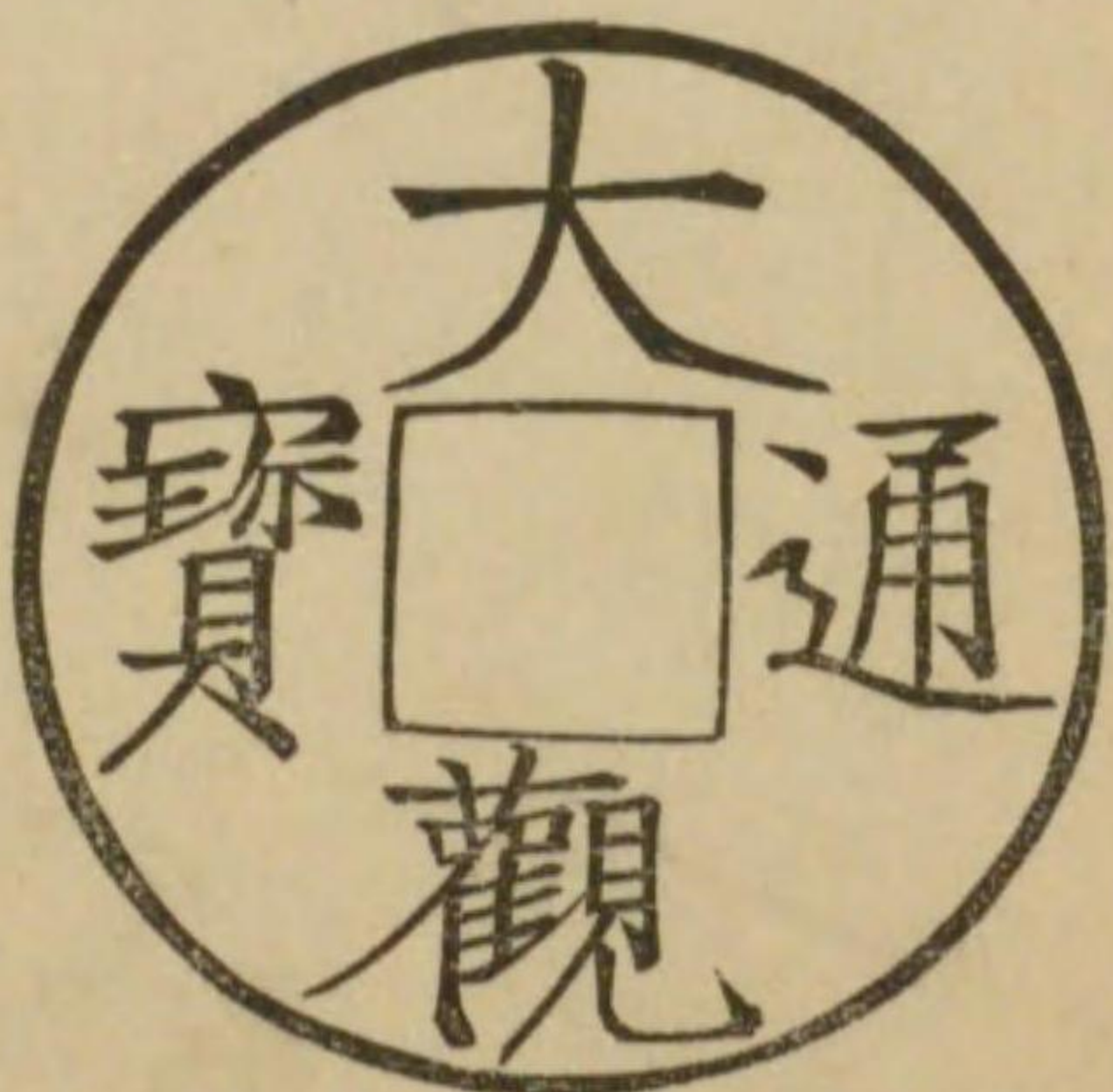
崇寧年間



小錢は卅錢、當三錢は廉し。當十錢は三四拾錢。

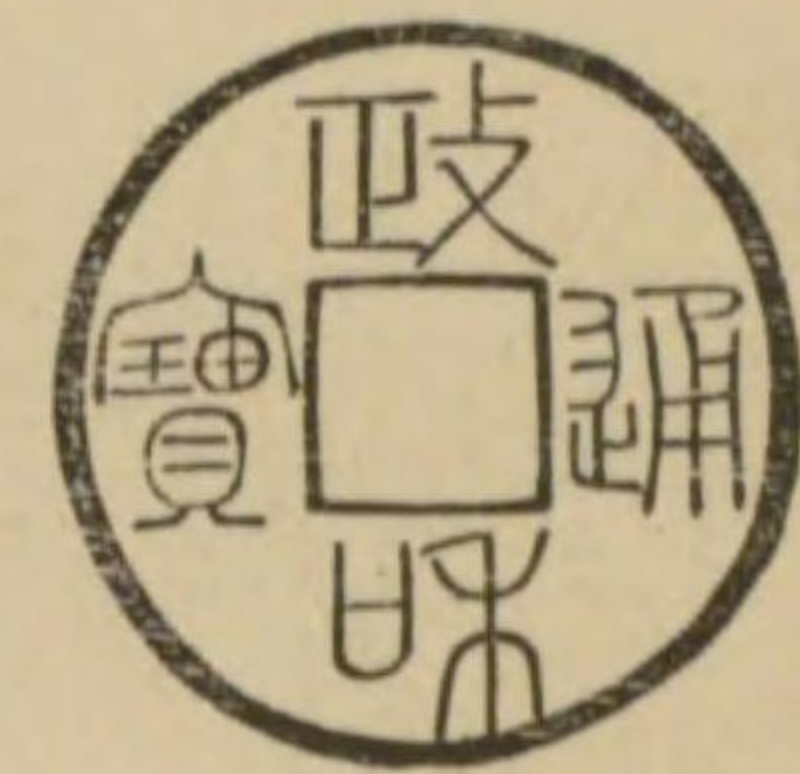
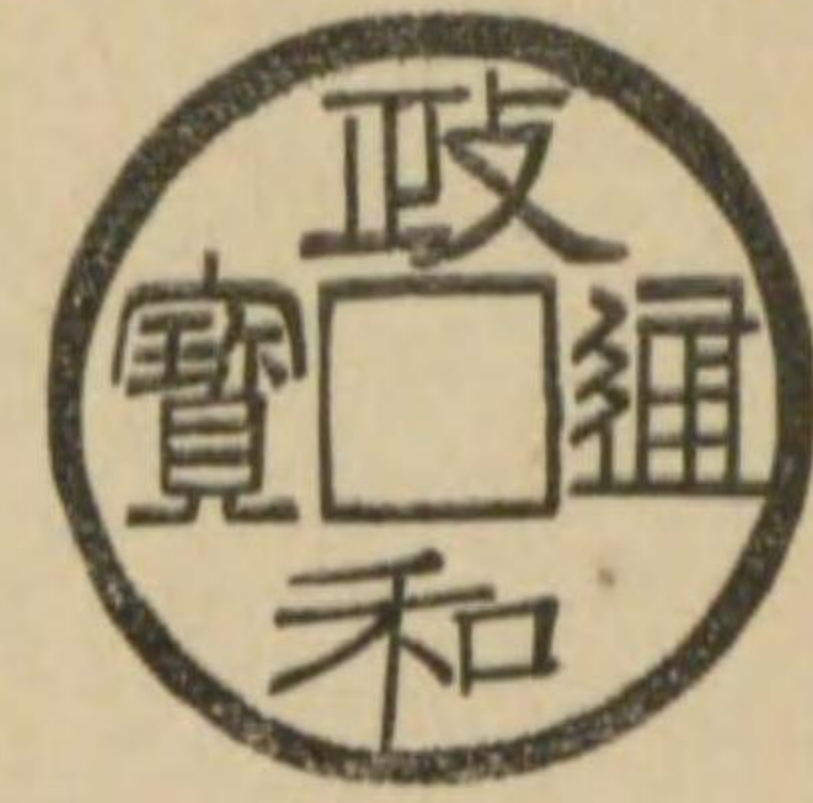
大觀通寶

同
當十
大觀年間

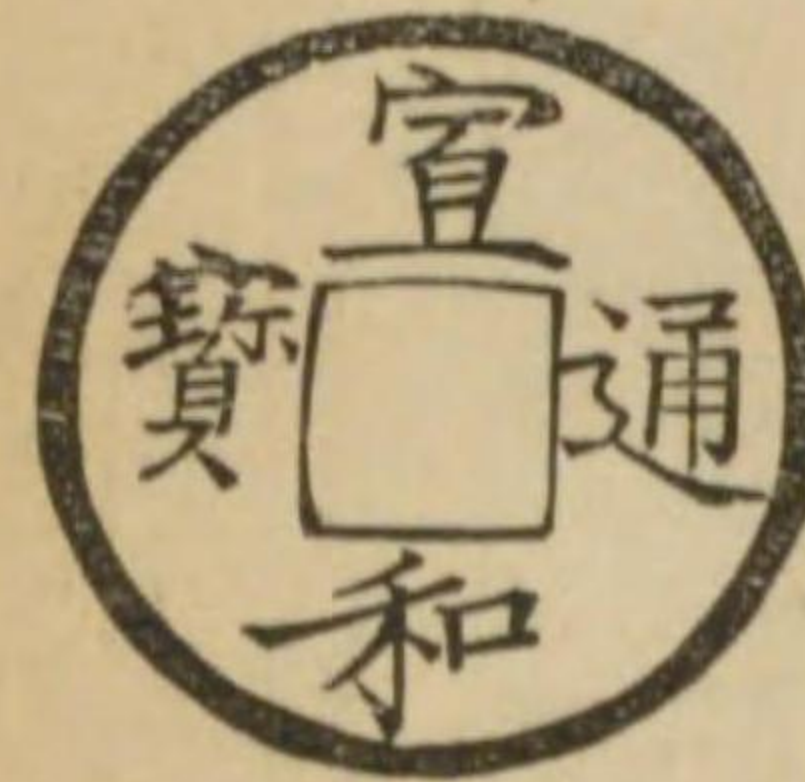
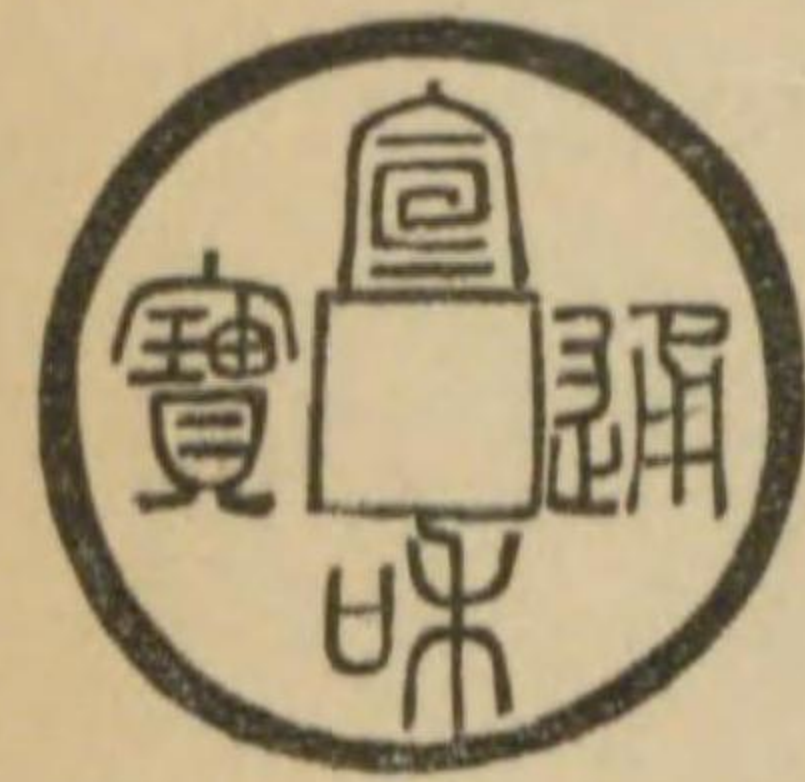


小錢は價值なし、當二錢、當三錢、當五錢は共に壹圓半より貳圓、當十錢は七八拾錢より壹圓。

政和通寶 同 政和年間



宣和通寶 同 宣和年間



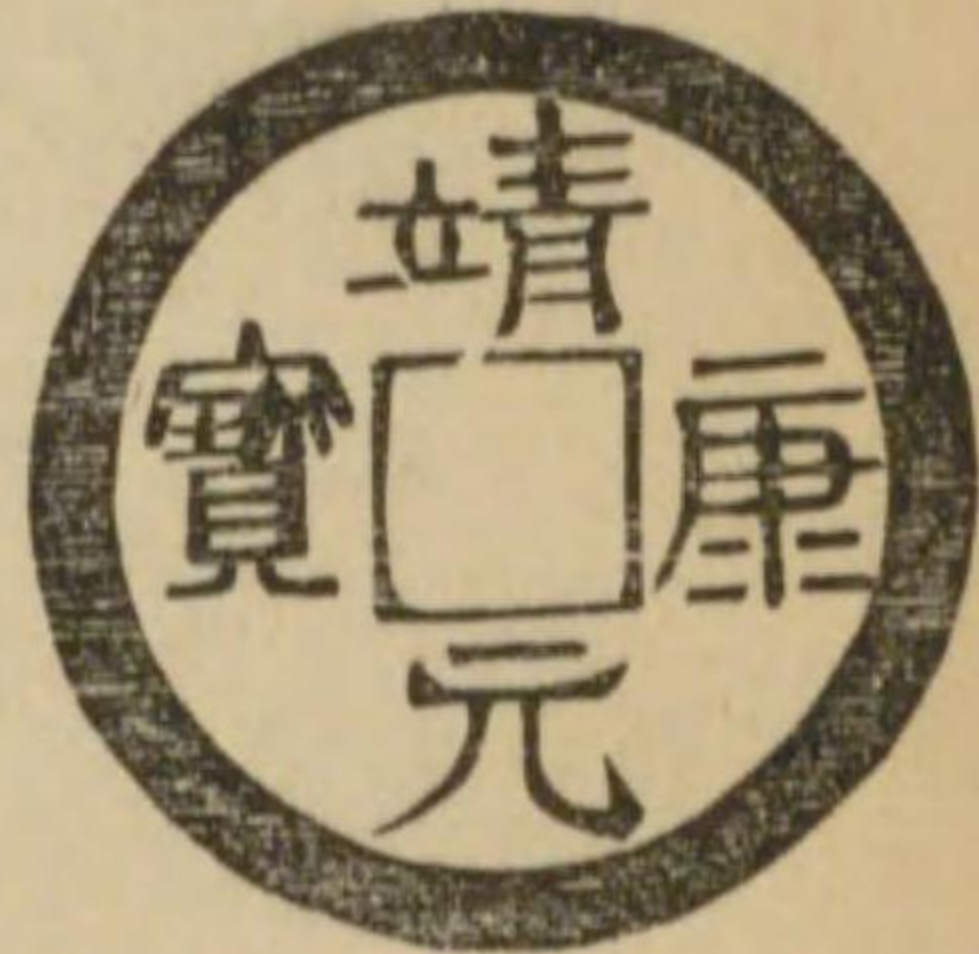
『政和通寶』『宣和通寶』共に價值なし、『宣和元寶』は篆書、隸書共拾圓内外。

靖康元寶

當二

宋欽宗

靖康元年

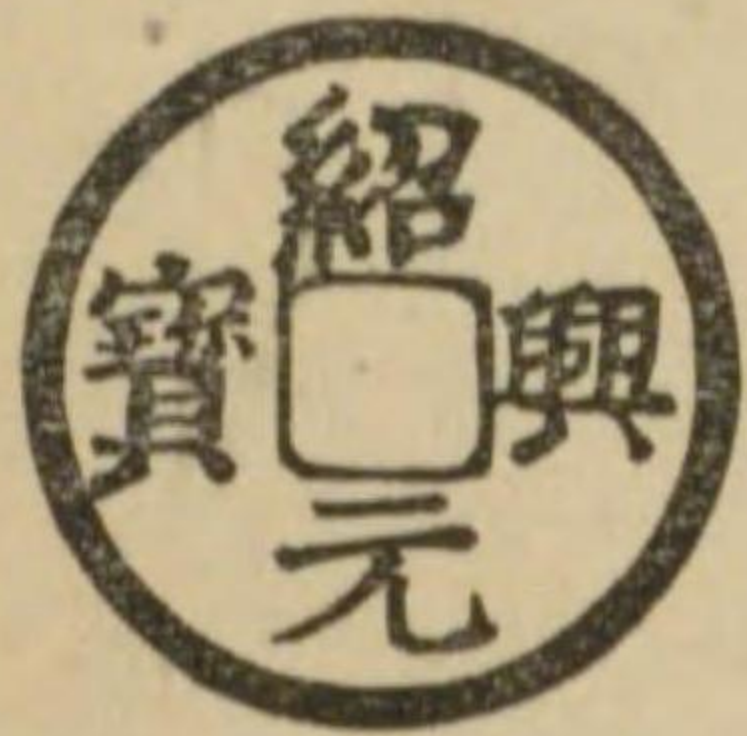


普通錢は廿圓以上、當二錢は拾圓以上。

紹興通寶

南宋高宗

紹興元年



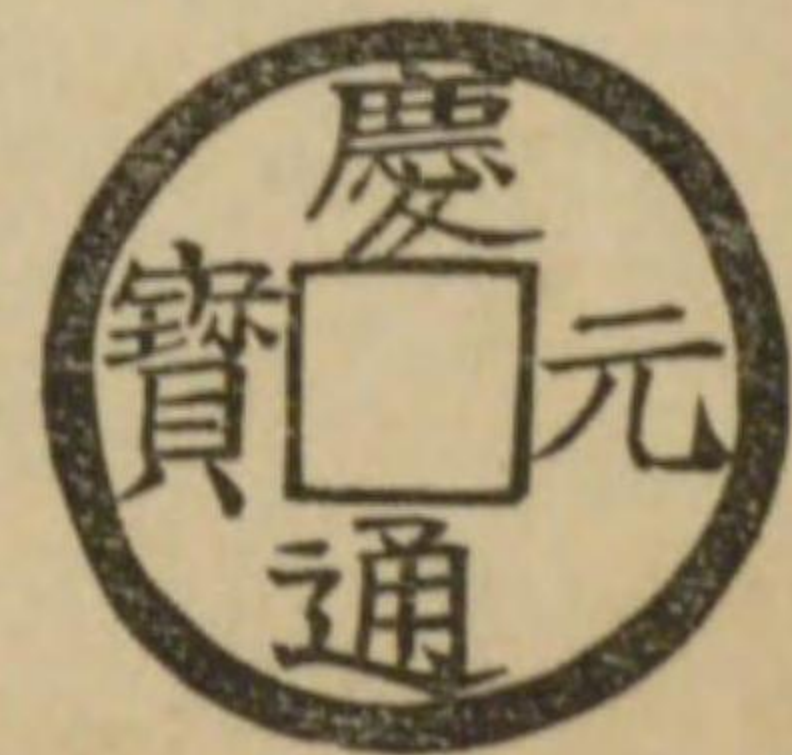
六七圓以上拾圓。

慶元通寶

南宋光宗

紹熙元年

價值なし。



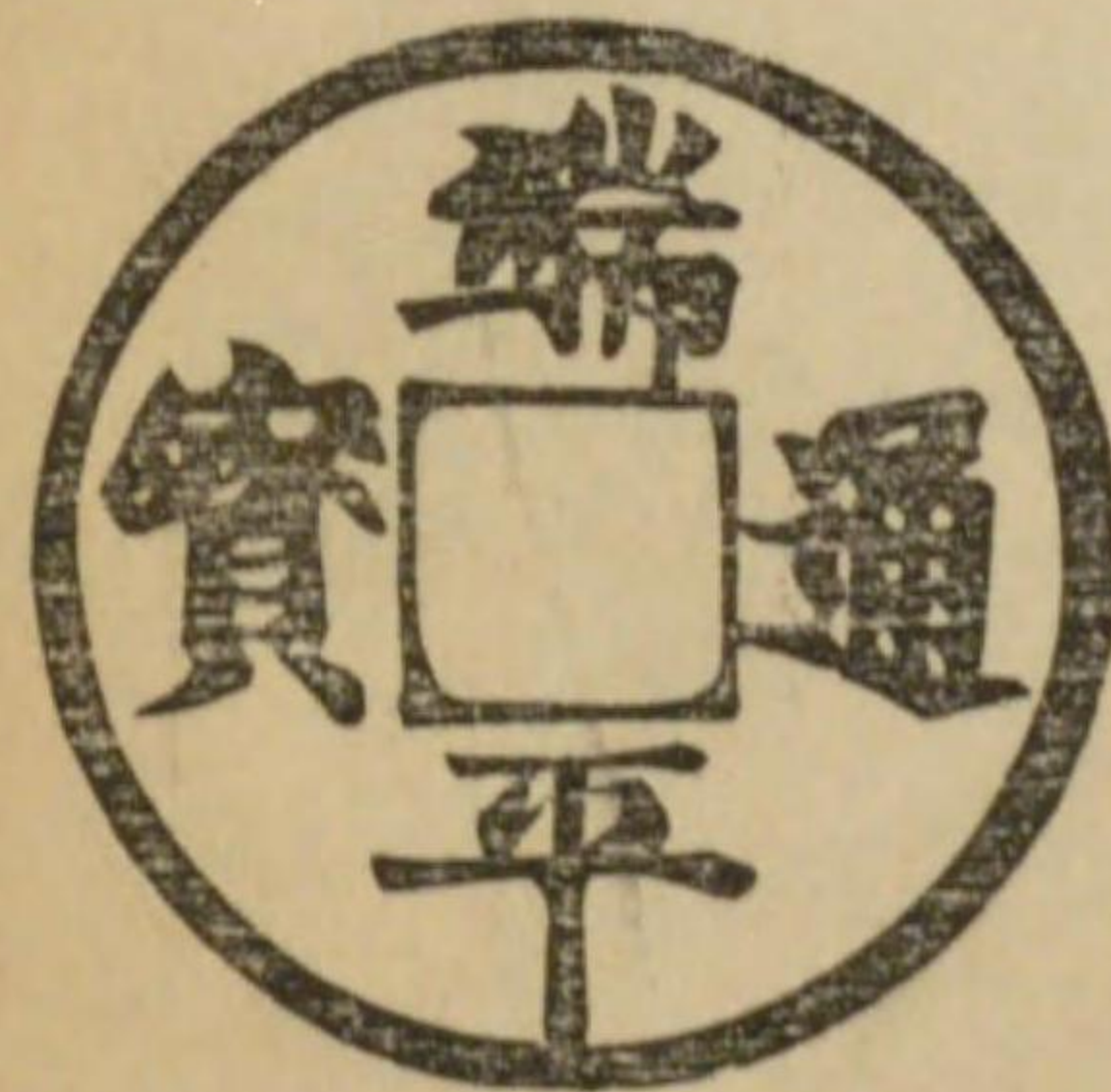
端平元寶

當三

南宋理宗

端平元年

五拾錢。



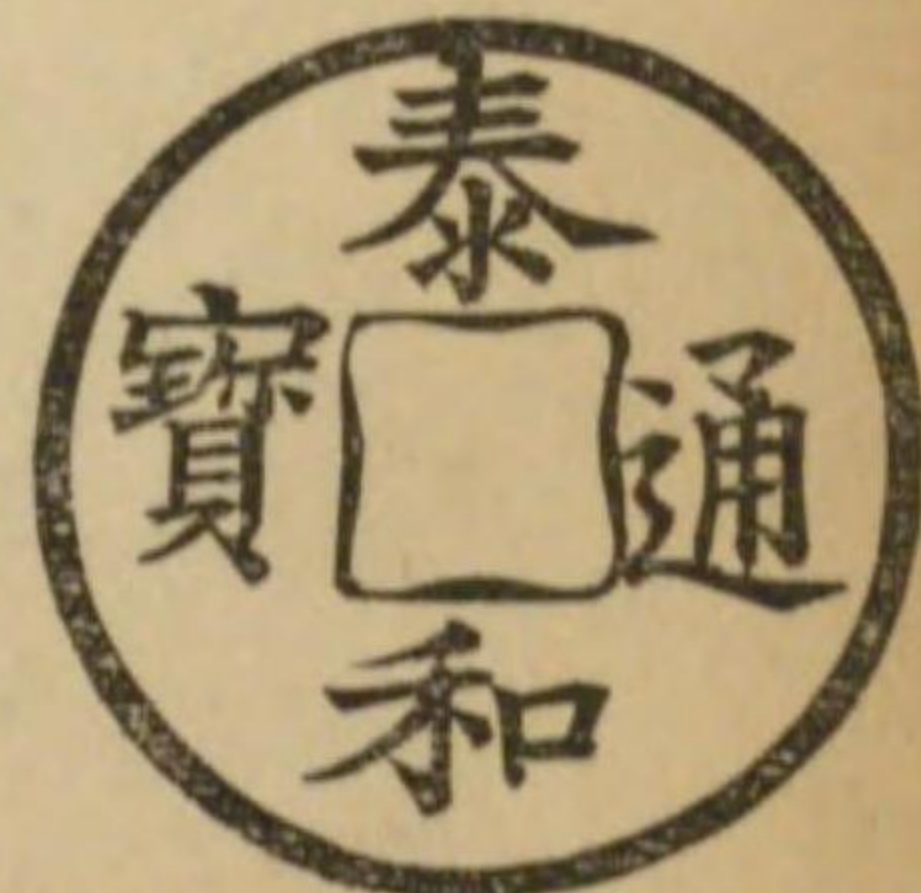
泰和通寶

當二

金章宗

泰和年間

五六圓。



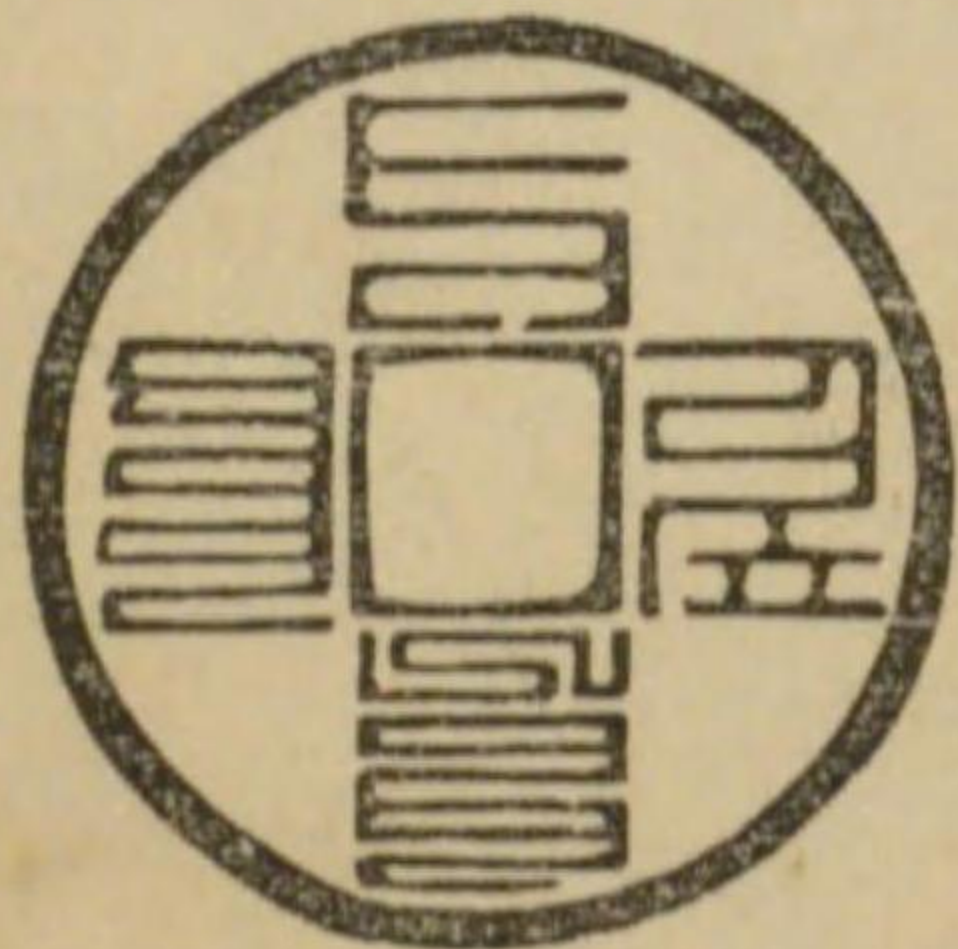
至元通寶

(蒙古文)當二

元順宗

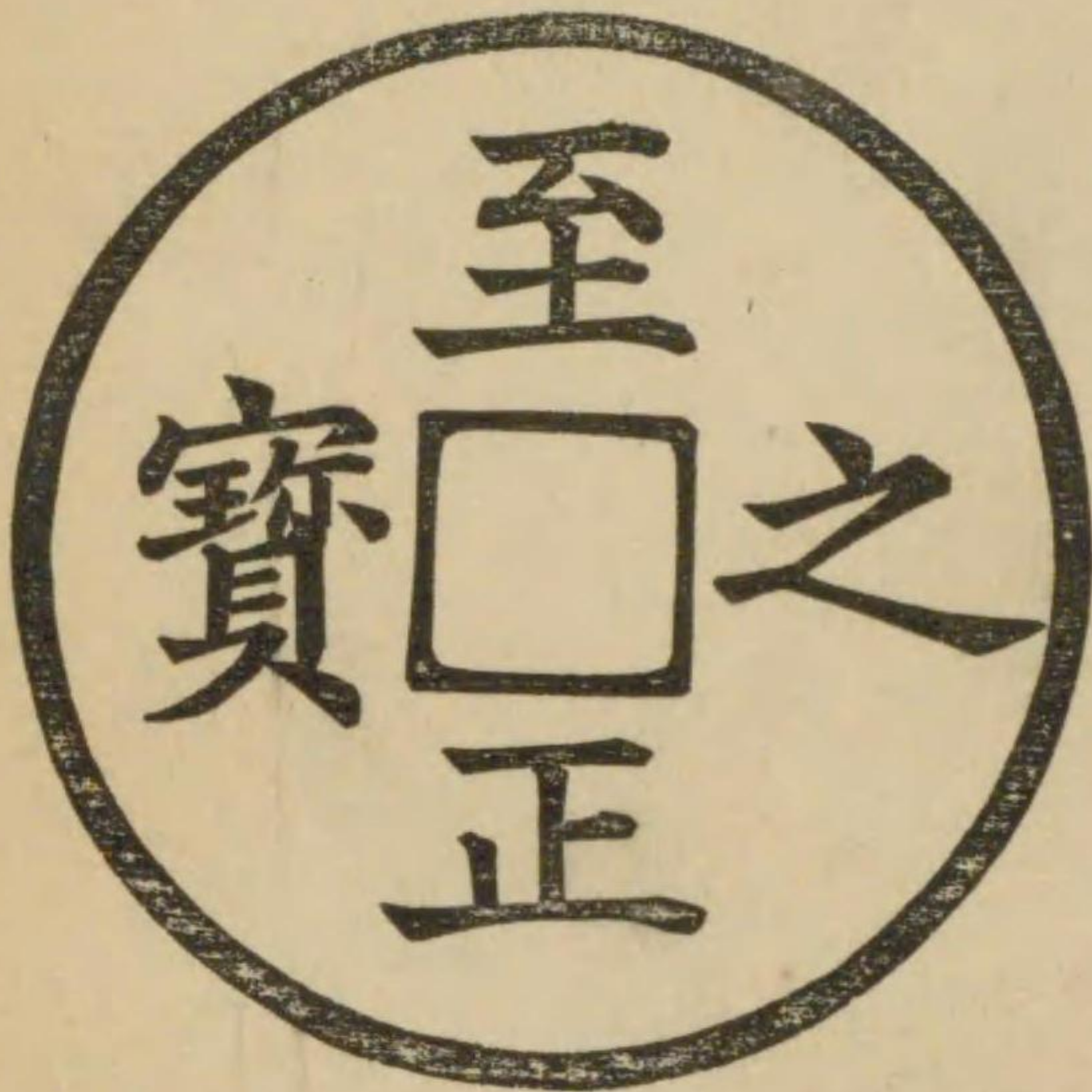
至元年間

拾圓内外。



至正之寶

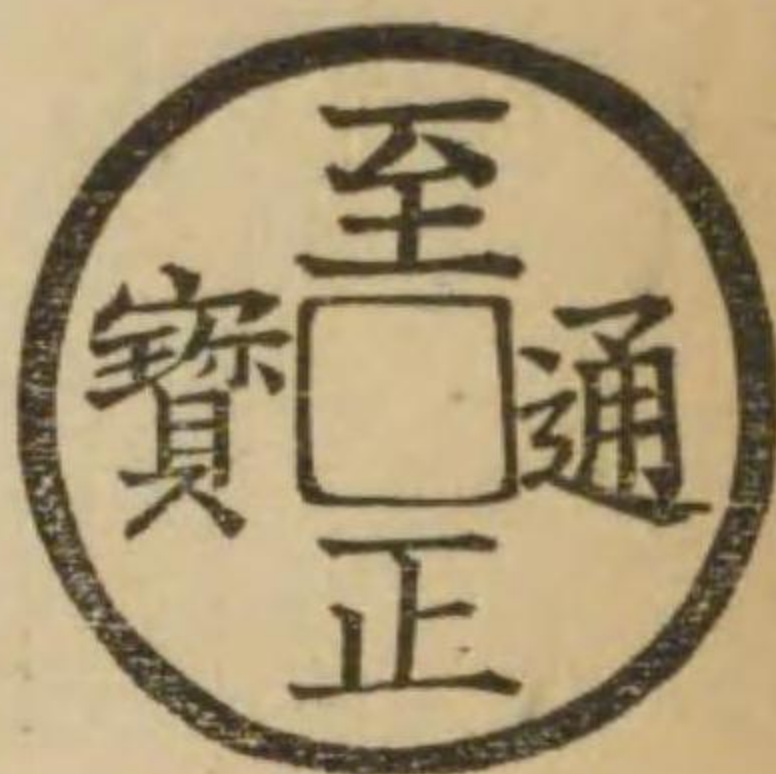
元順宗 至正年間



當十錢なり、廿圓以上卅圓。

至正通寶

同上

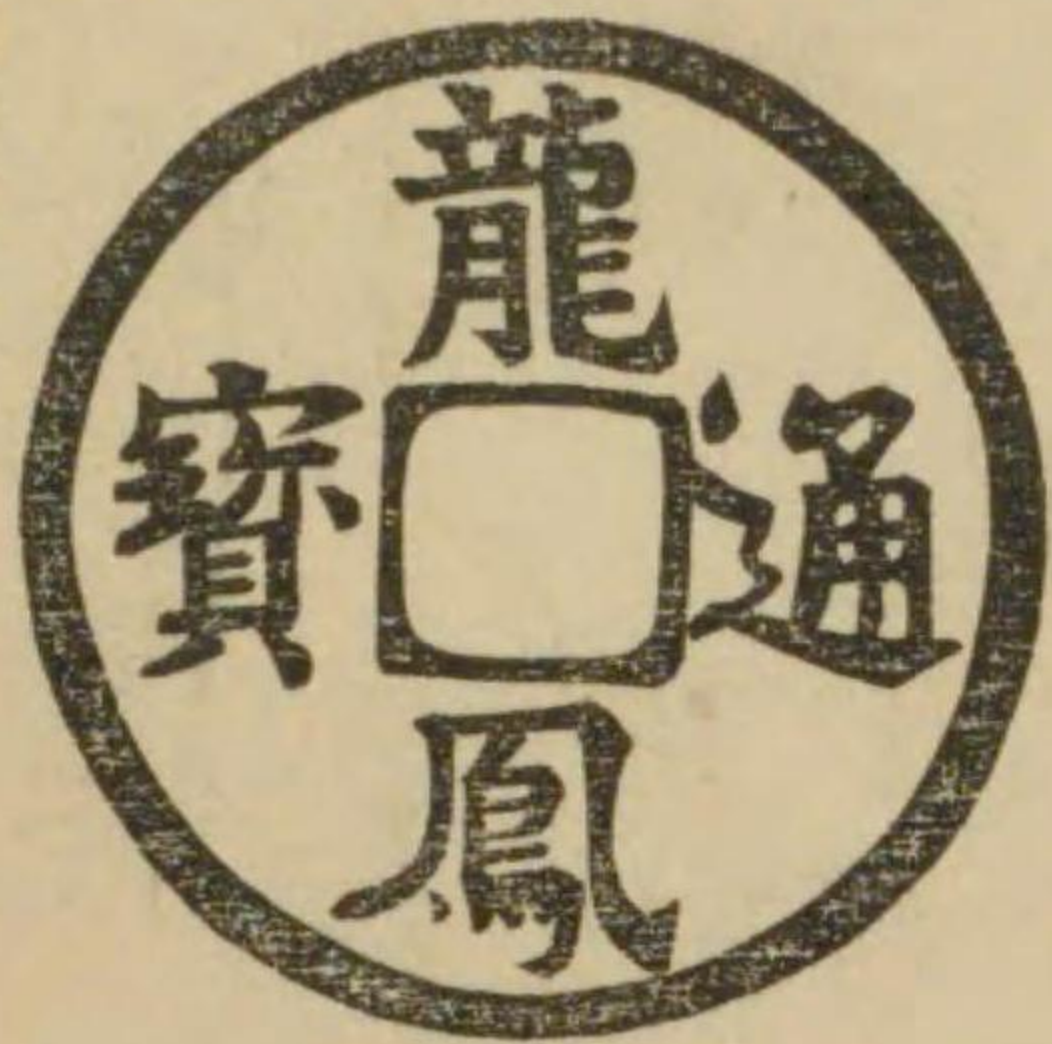


小錢は卅錢、當二錢は壹圓半、當三、當十錢は貳圓。

龍鳳通寶

宋韓林兒

龍鳳年間

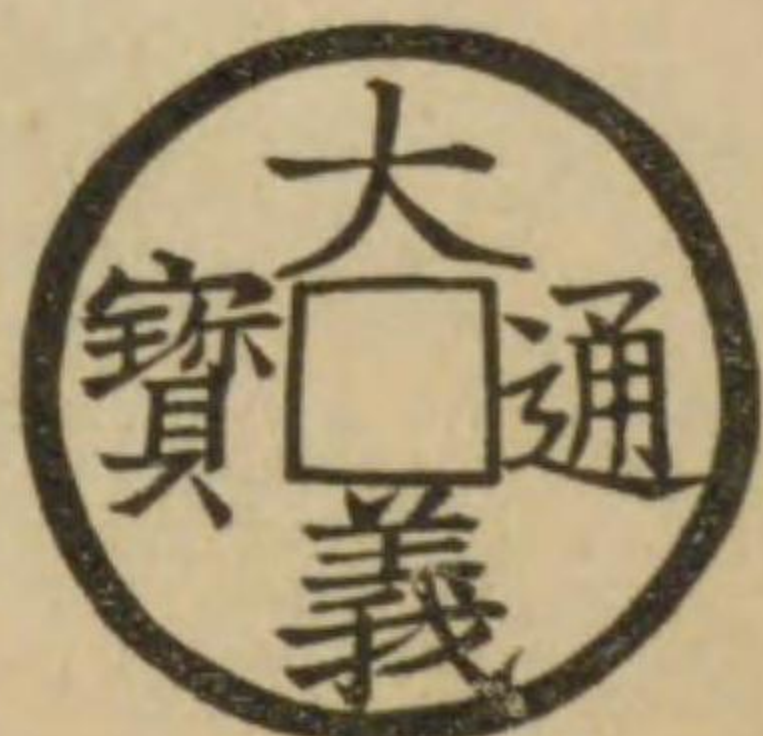


小錢、當二錢共に五圓以上。

大義通寶

漢陳友諒

大義年間

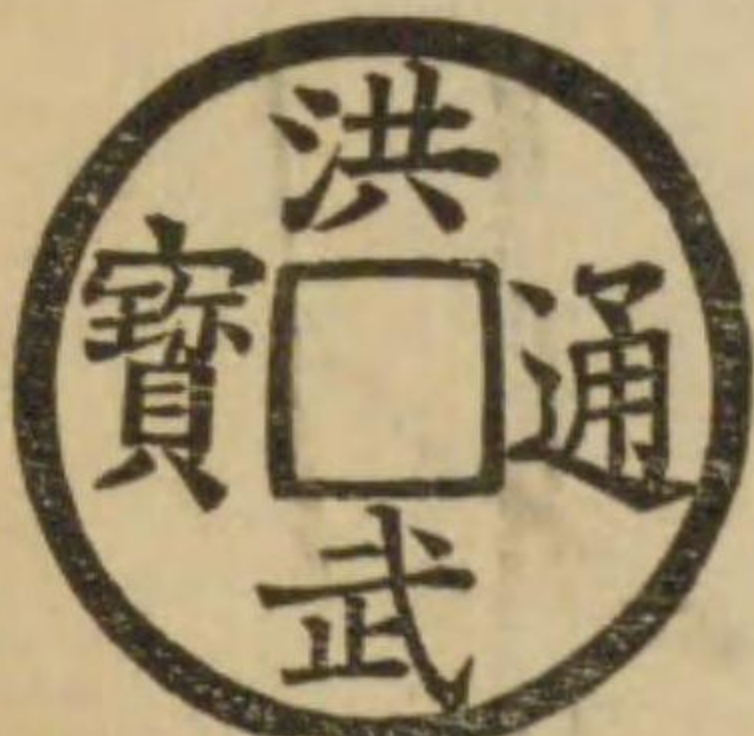


五六拾錢、當二錢、當三錢は共に貳圓半。

洪武通寶

明太祖

洪武元年

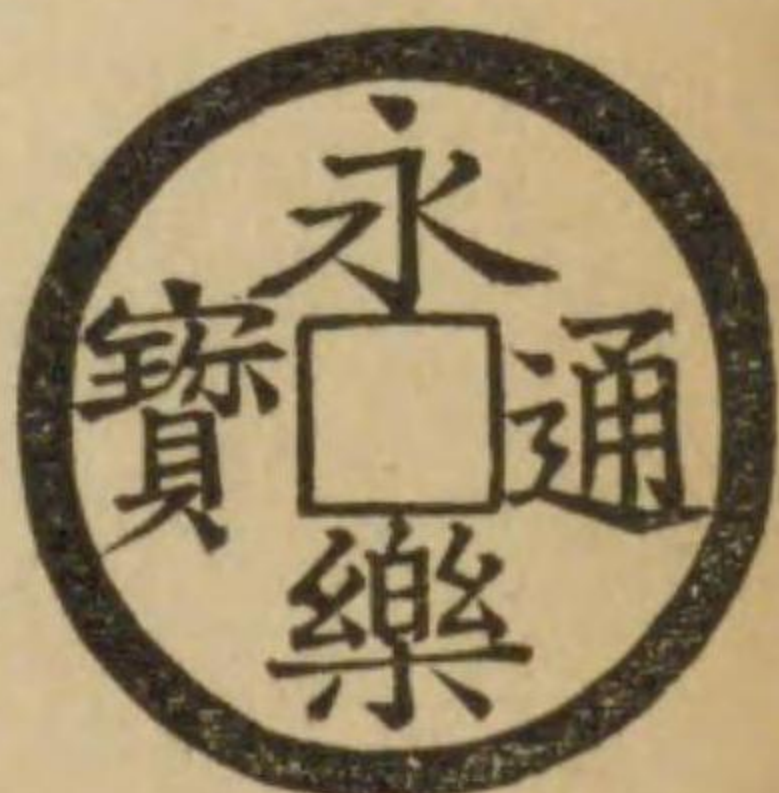


價值なし、當二、當三、當五、當十錢は共に五拾錢より壹圓内外。

永樂通寶

明成祖

永樂年間

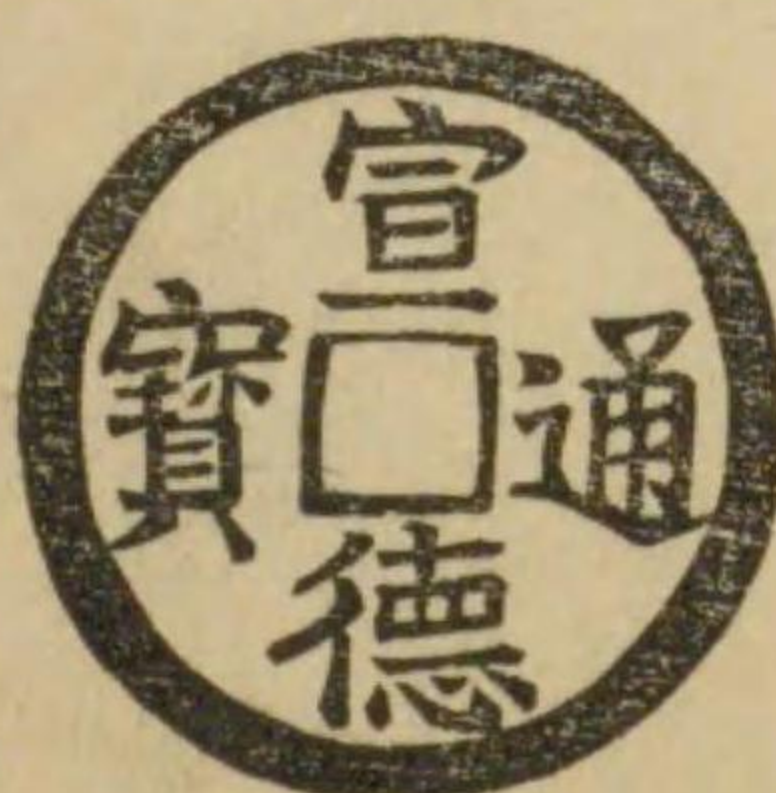


價值なし、本邦鑄造の異品は珍錢の部に
出づ。

宣德通寶

明宣宗

宣德九年

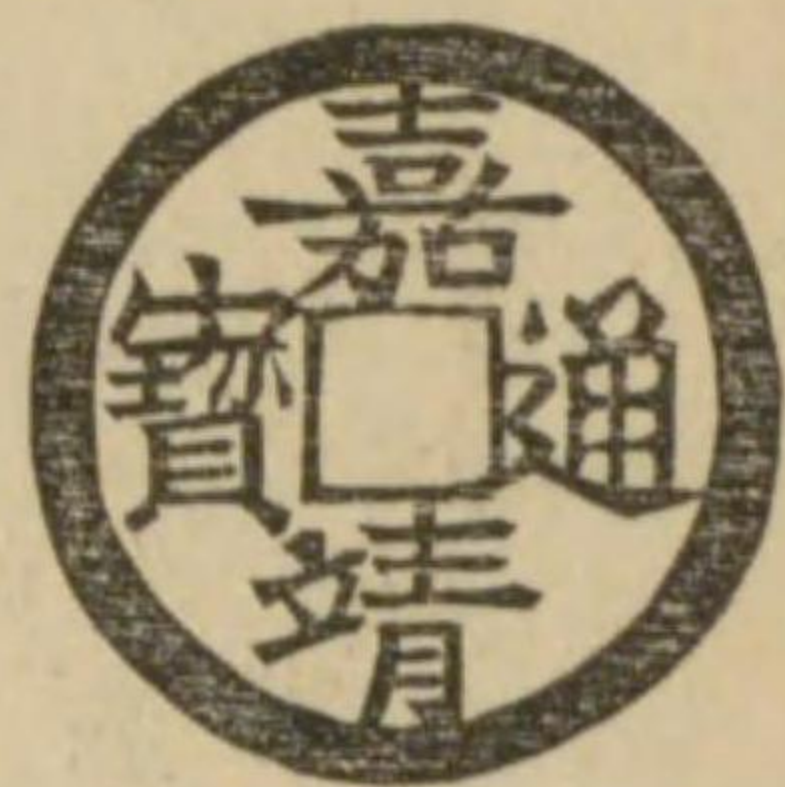


價值なし。

嘉靖通寶

明世宗

嘉靖六年



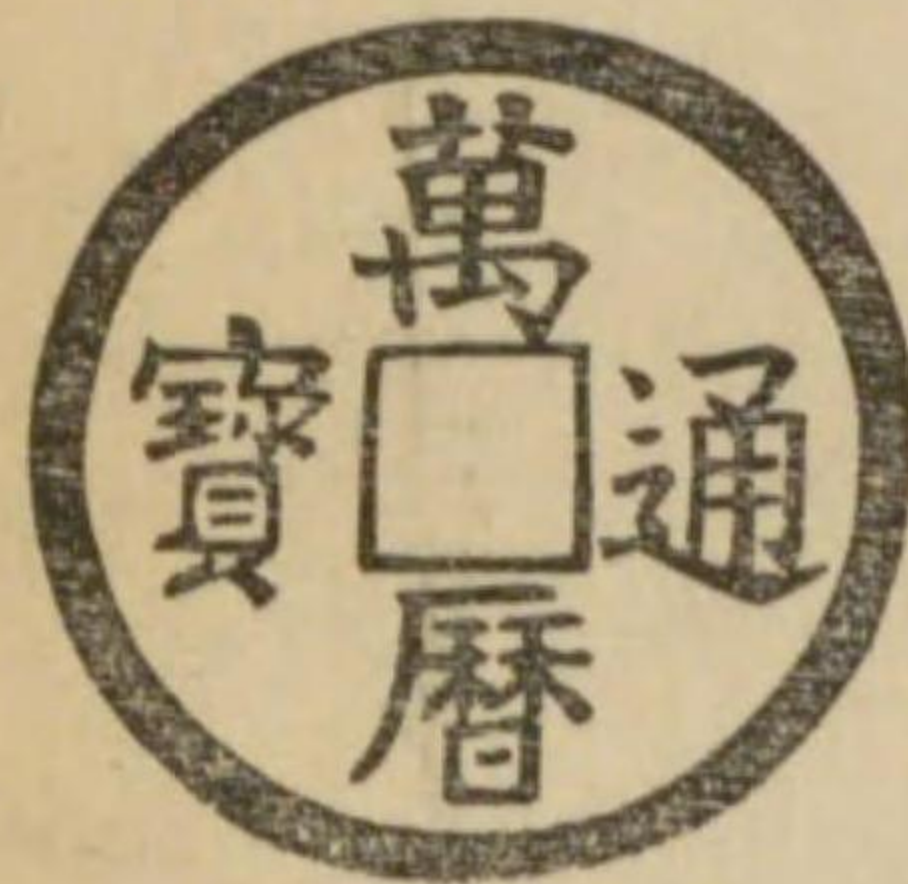
拾五錢、當五錢は三圓以上。

萬曆通寶

當二

明神宗

萬曆年間

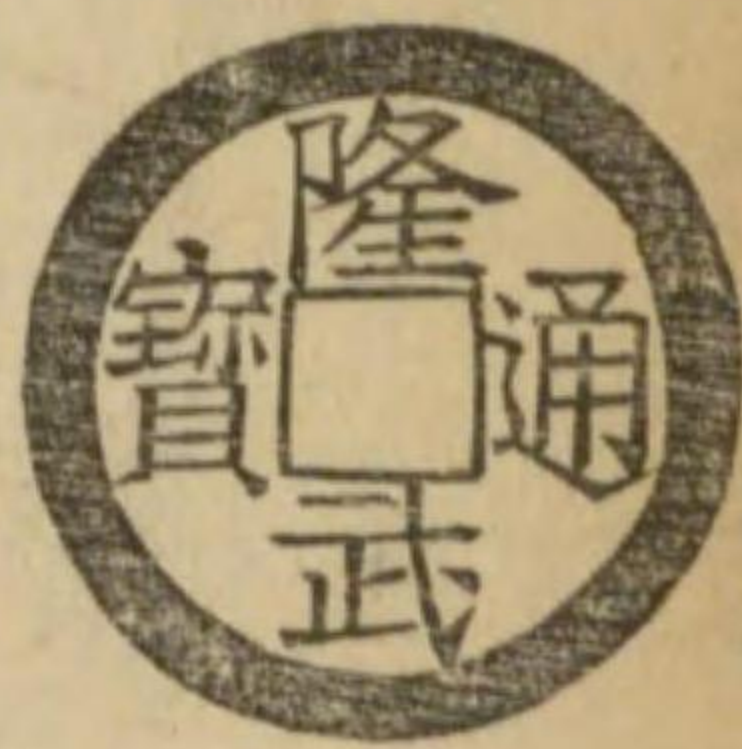


普通錢は價值なし、當二錢は五拾錢。

隆武通寶

明唐王

隆武元年



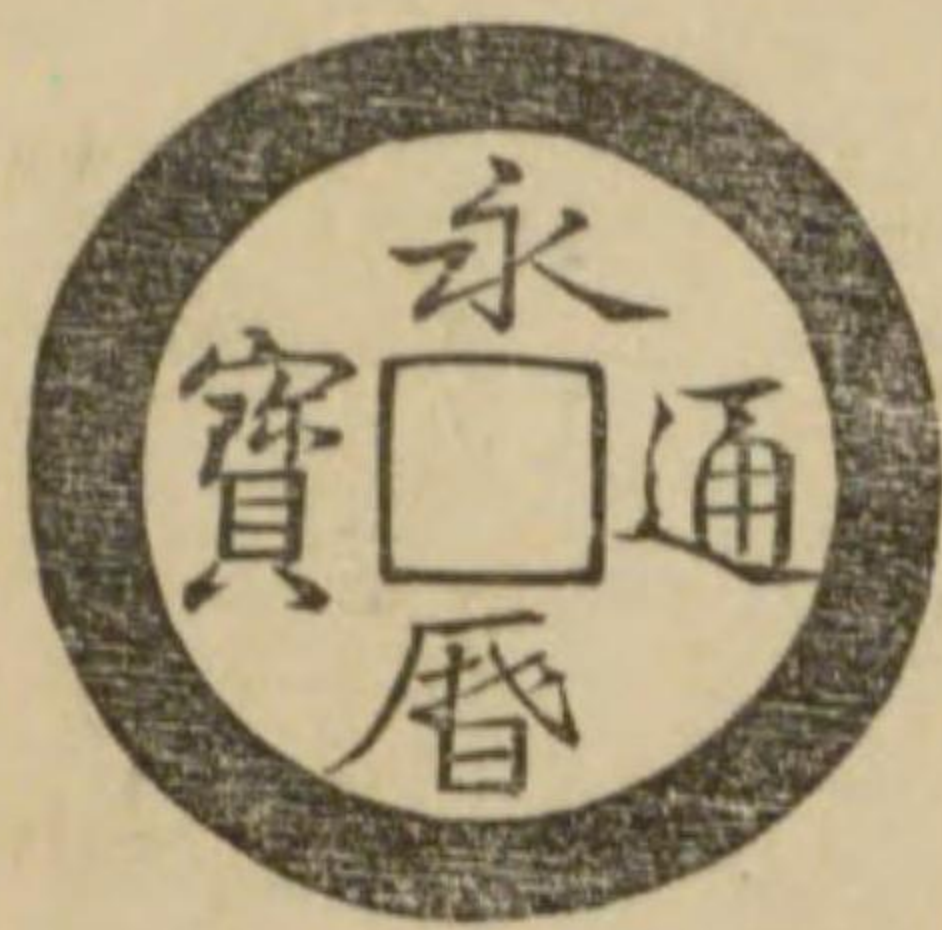
拾錢内外。當二錢は貳三拾錢。

永曆通寶

當二

明桂王

永曆年間

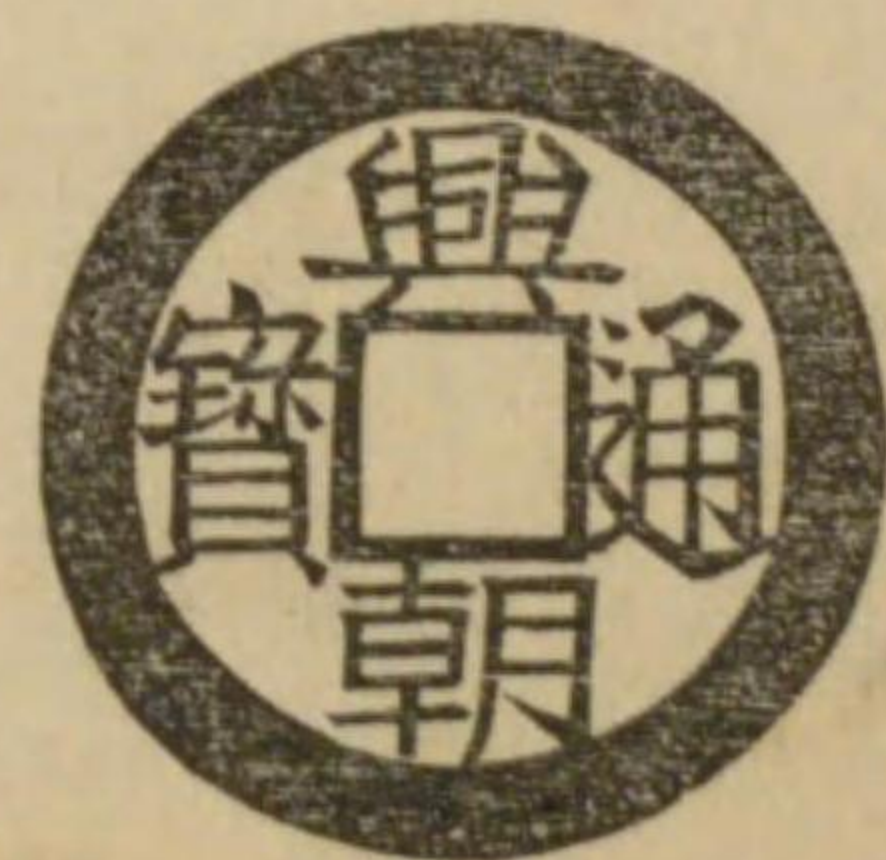


普通錢は五錢、當二、當五錢數種あり、卅錢以上壹圓迄。

興朝通寶

東平孫可望

興朝元年

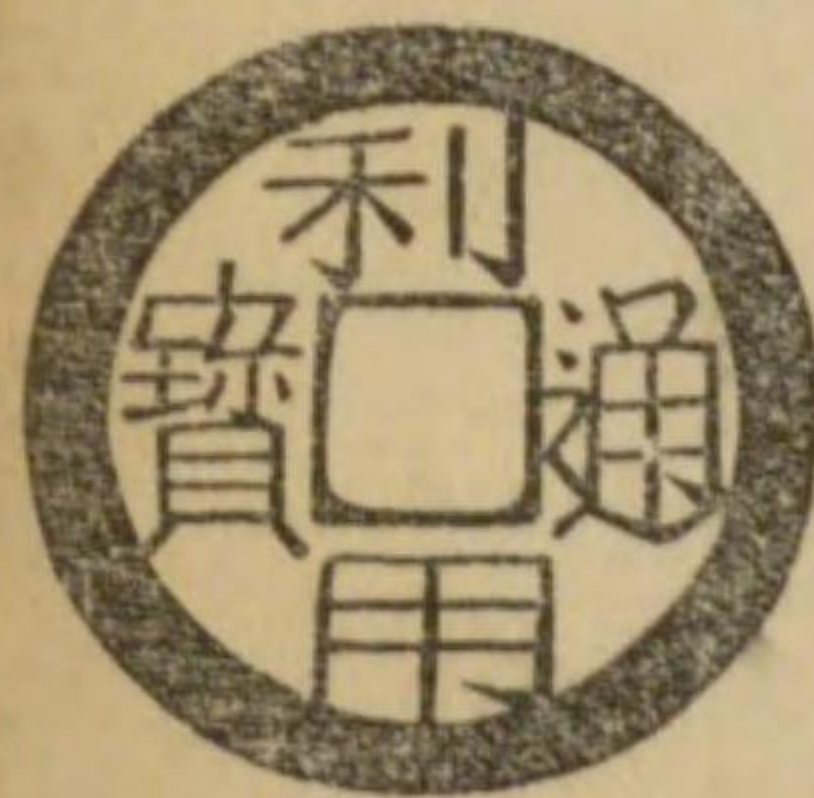


普通錢は貳三拾錢、當五、當十錢は共に五拾錢。

利用通寶

吳三桂

潛立前



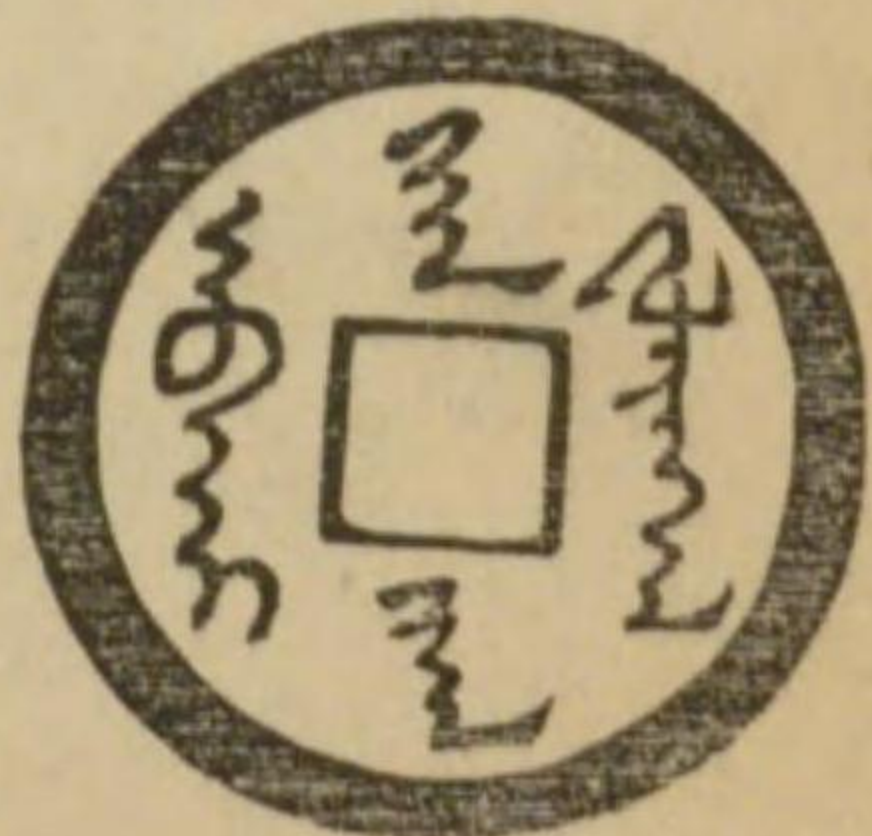
價值なし、但當二錢は廿錢、當五、當十錢は五拾錢より七八拾錢。

天命通寶

(滿洲文)

清太祖

天命年間

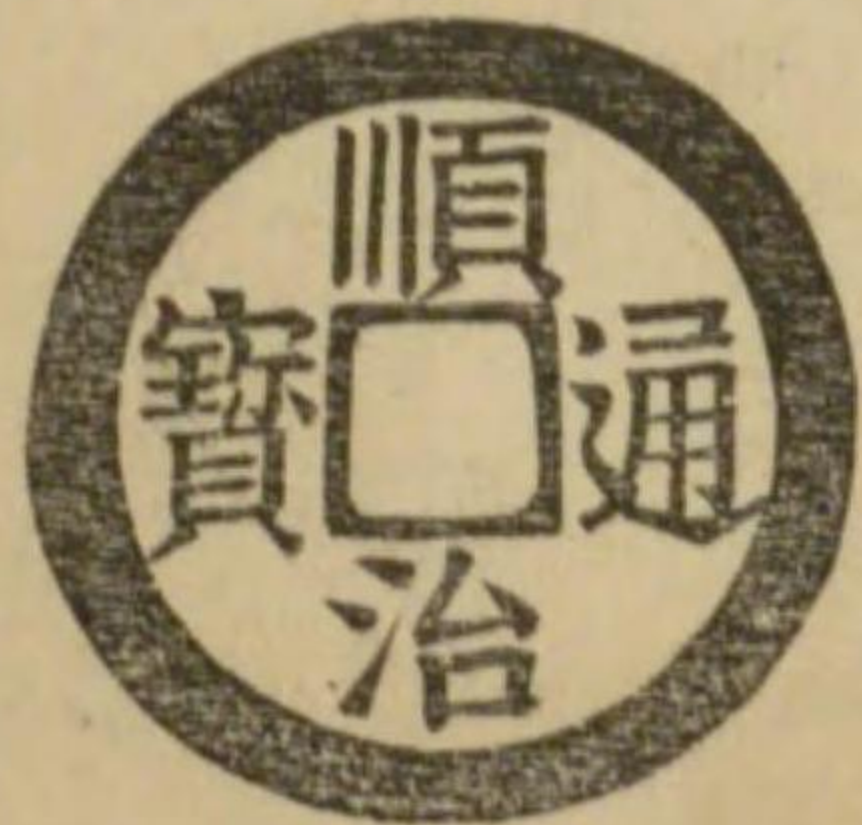


貳拾錢。

順治通寶

清世祖

順治年間



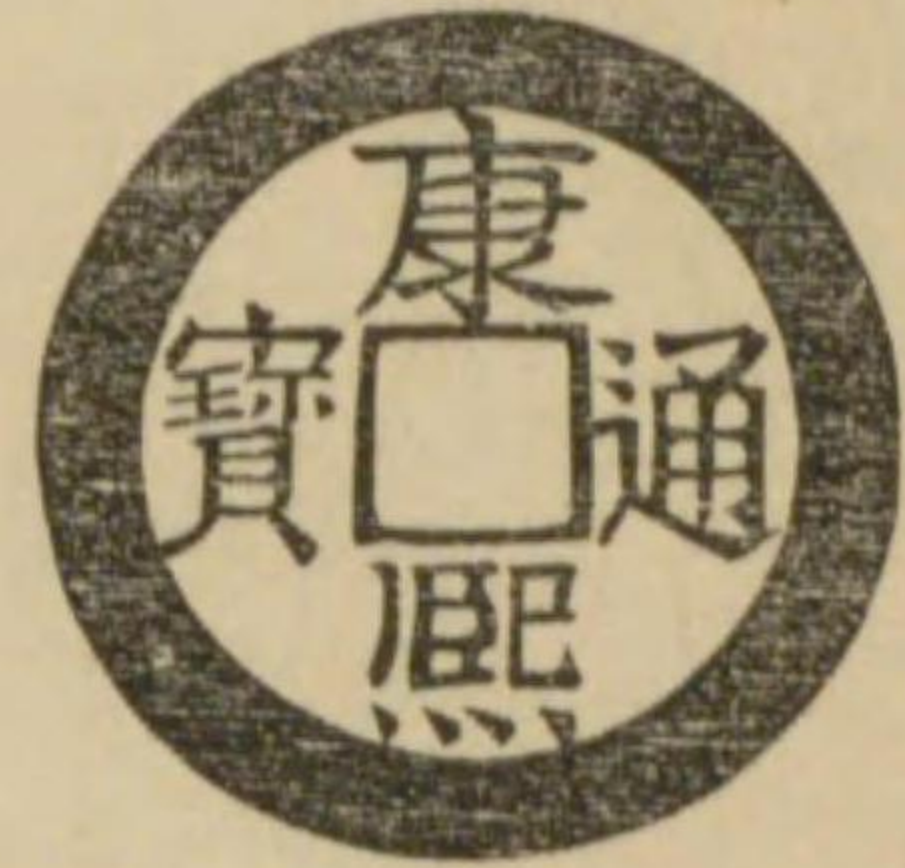
價值なし。

康熙通寶

清聖祖

康熙年間

價值なし。

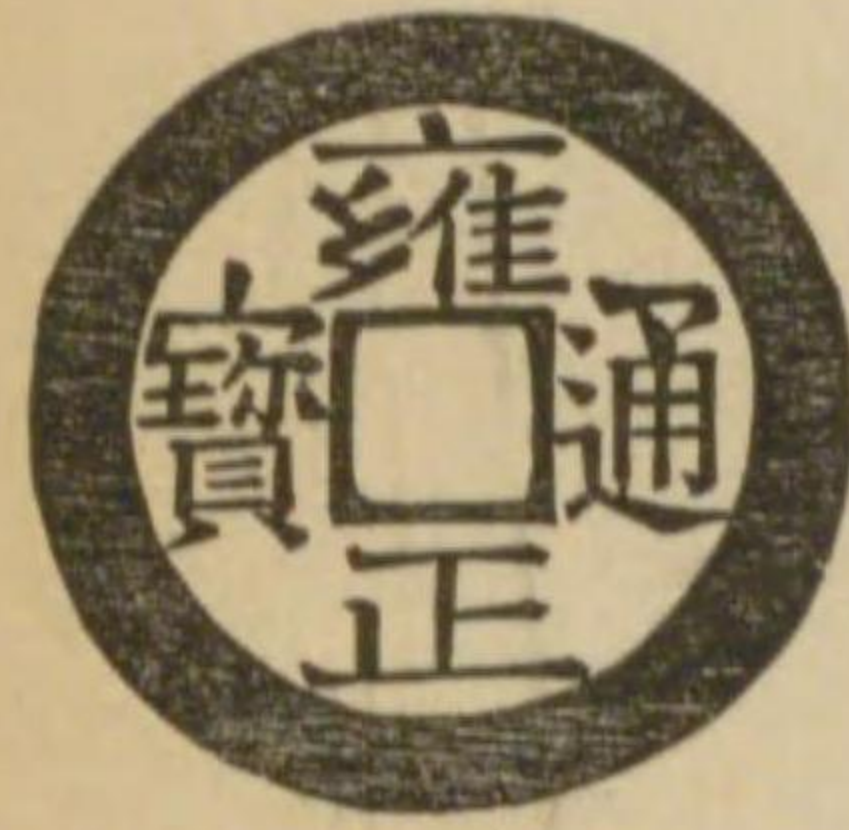


雍正通寶

清世宗

雍正年間

同上。

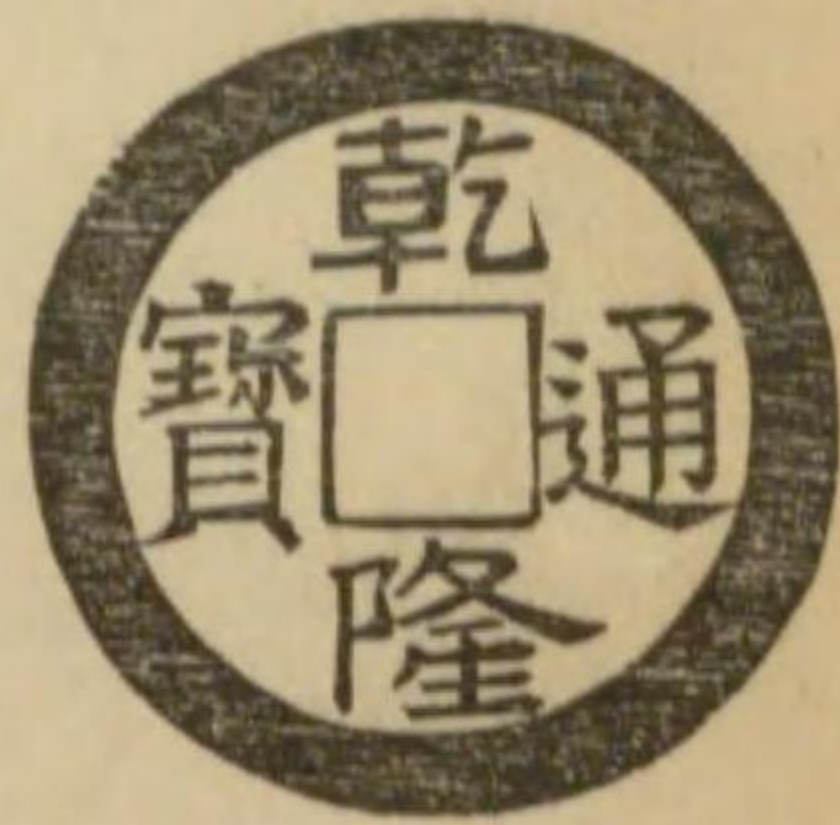


乾隆通寶

清高宗

乾隆年間

同上。

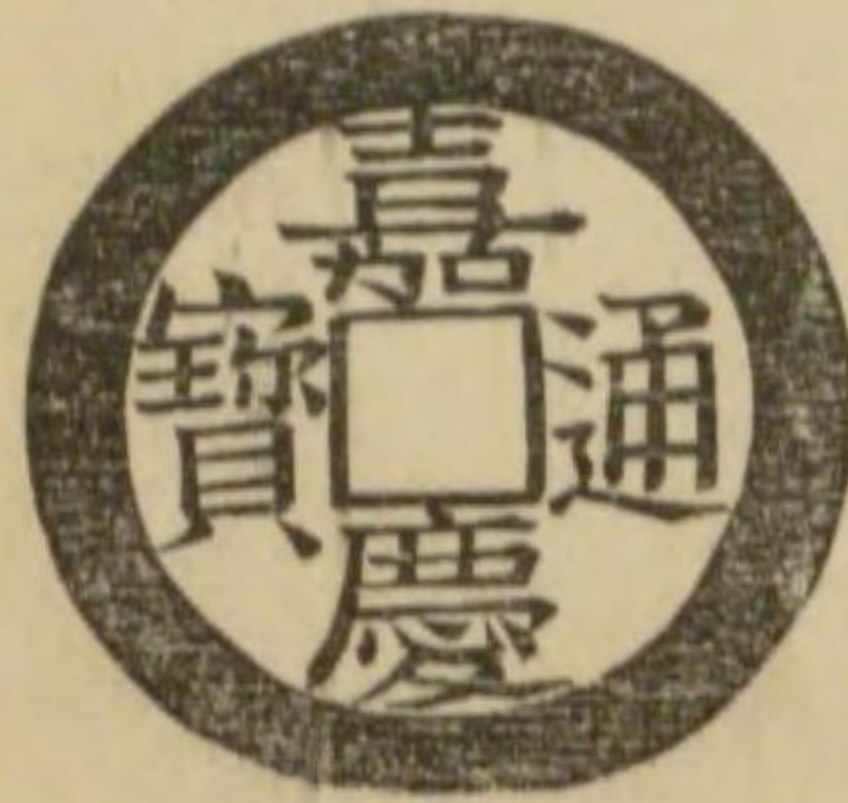


嘉慶通寶

清仁宗

嘉慶年間

同上。

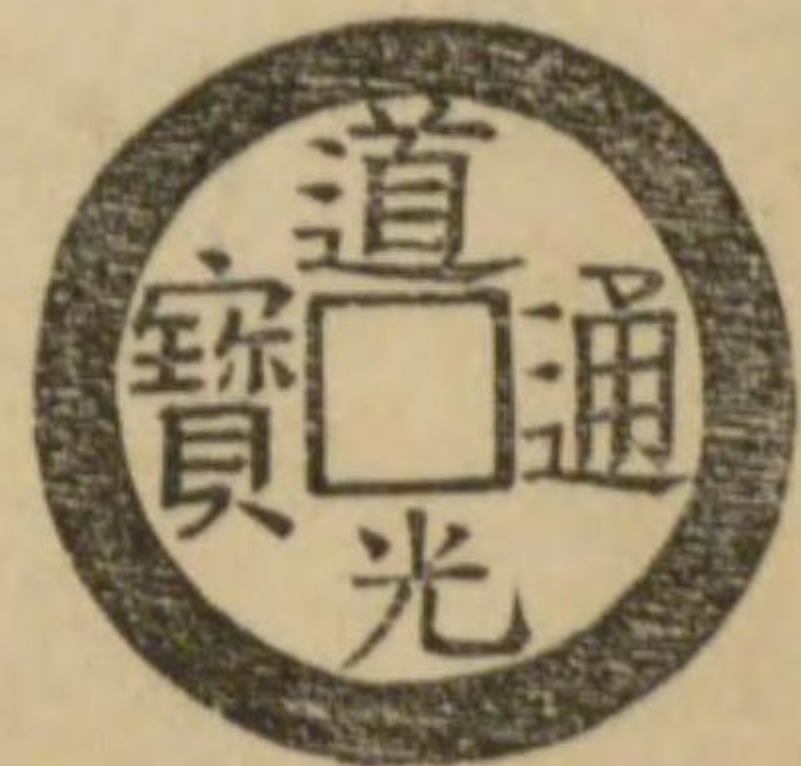


道光通寶

清宣宗

道光年間

同上。

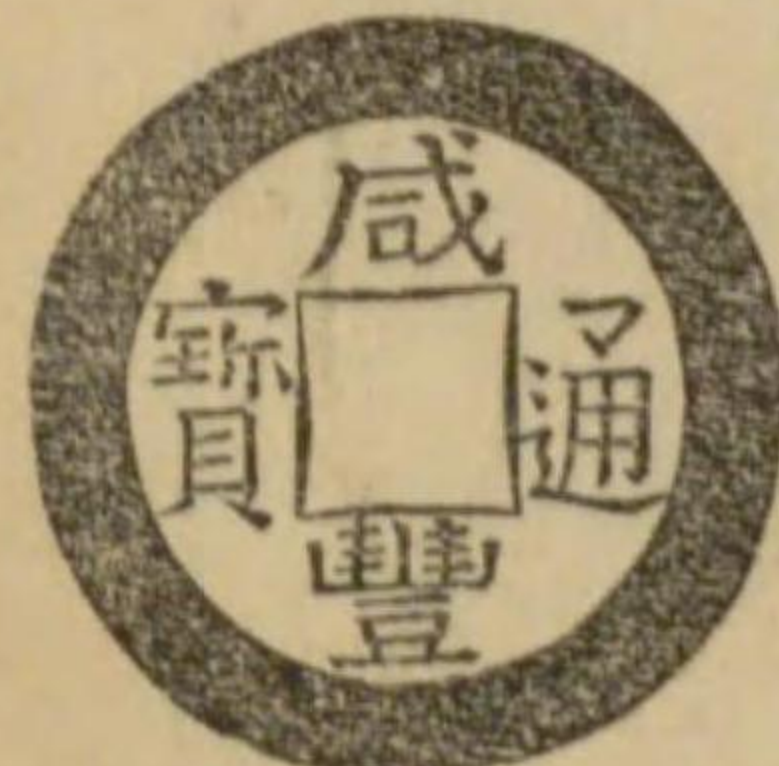


咸豐通寶

清文宗

咸豐年間

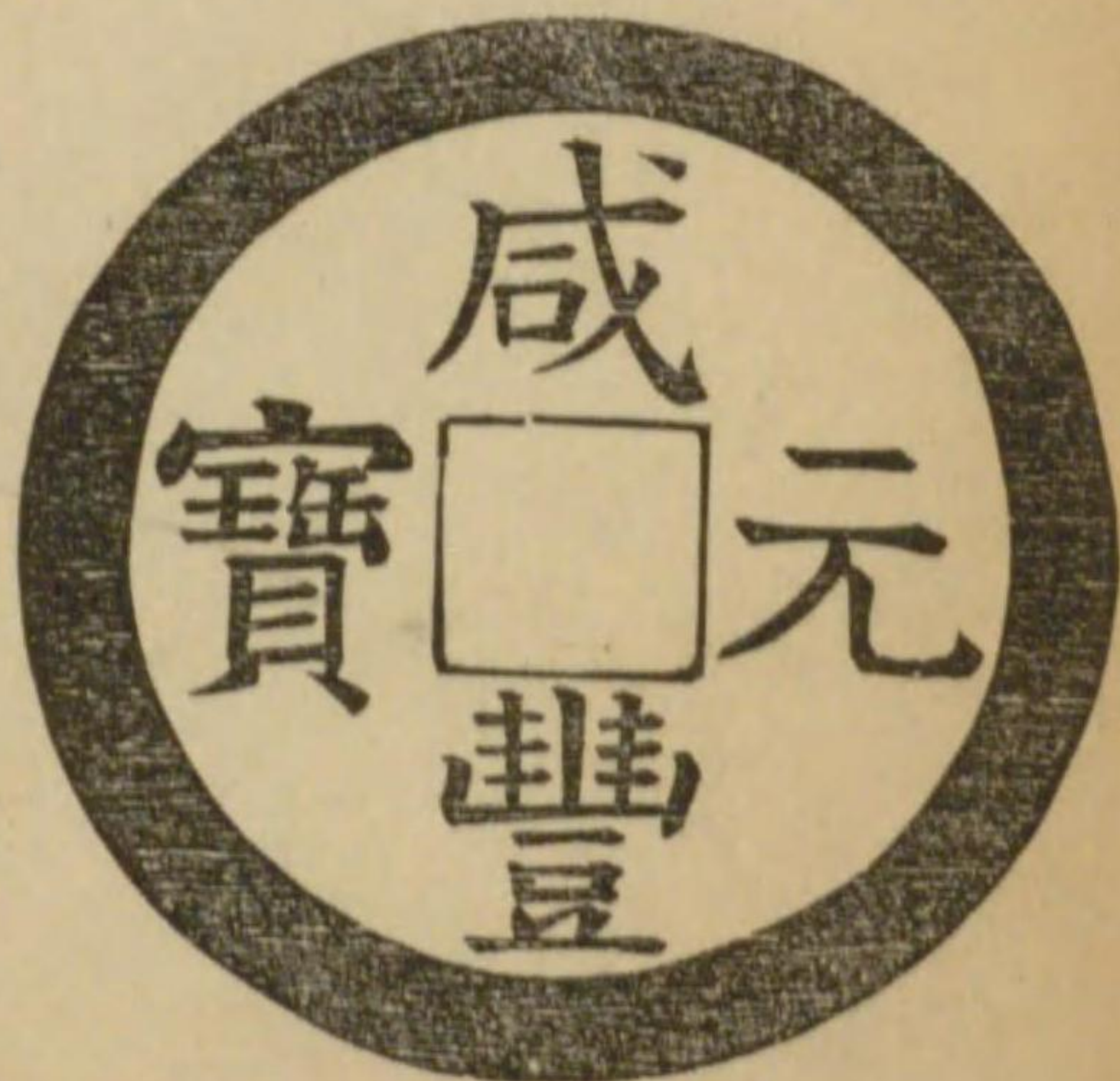
同上。



咸豐元寶

當百

同上



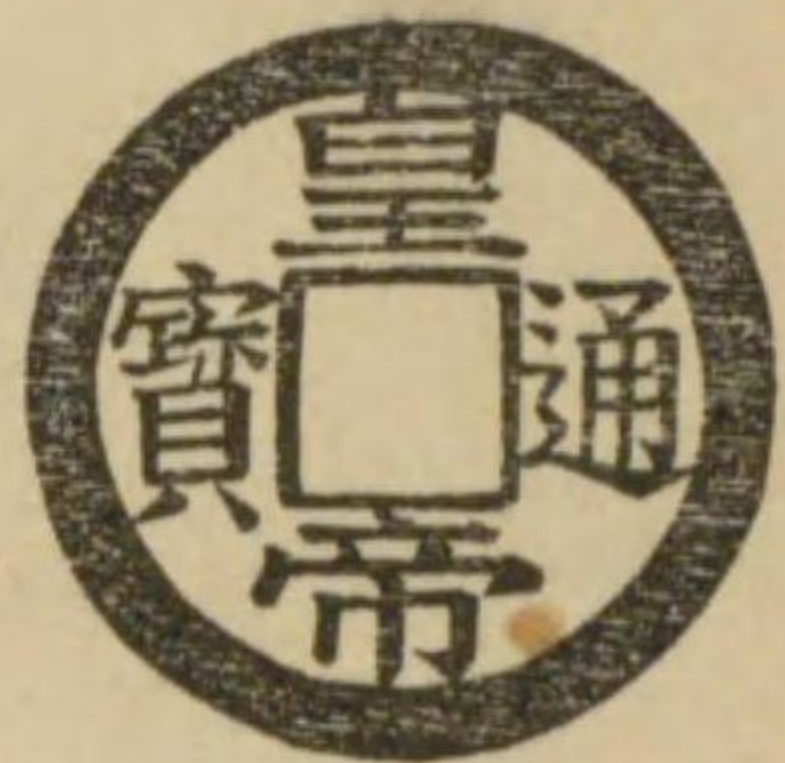
咸豐錢は、通寶、元寶、重寶の三種にして、當五、當十、當二十、當五十、當百及當千といへる無類の大型錢あれども、いづれも廉價なり。

皇帝通寶

同

太平王洪秀全
潛立之際所鑄

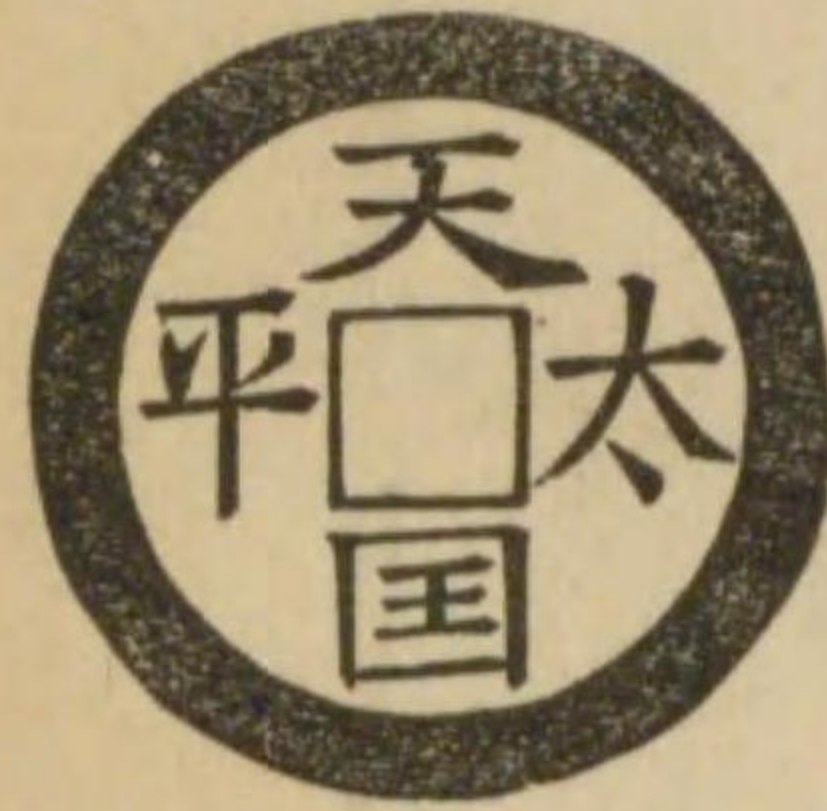
五拾錢。



天國太平

同

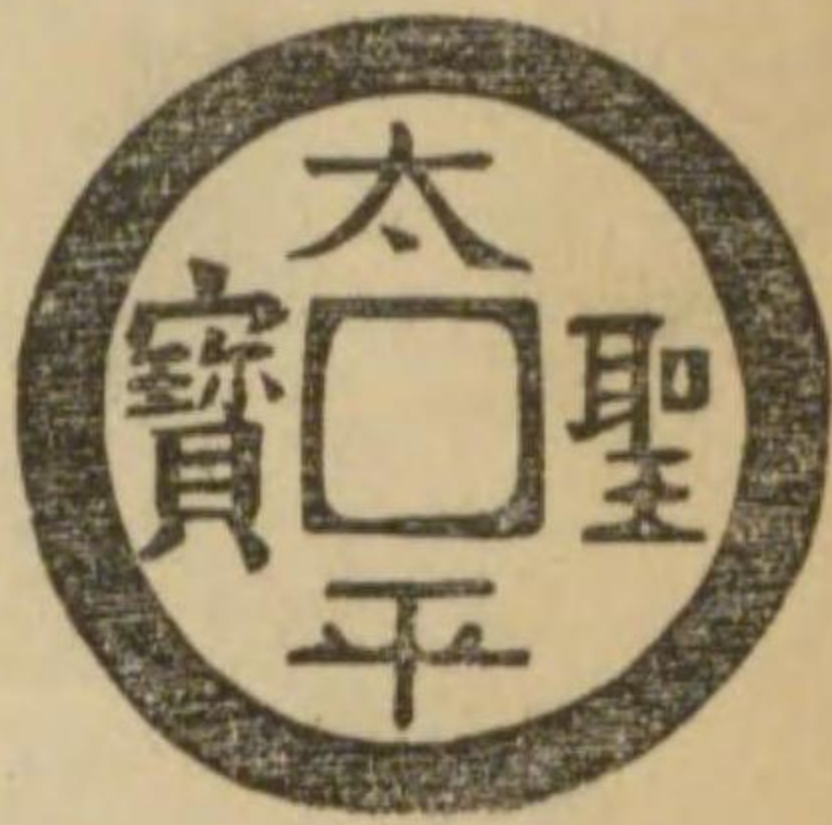
同上。



太平聖寶

同

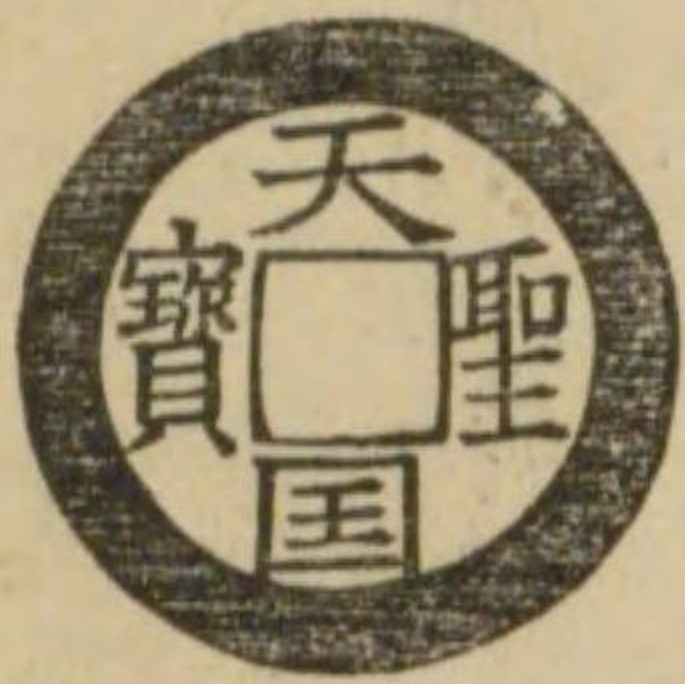
同上。



天國聖寶

同

同上。

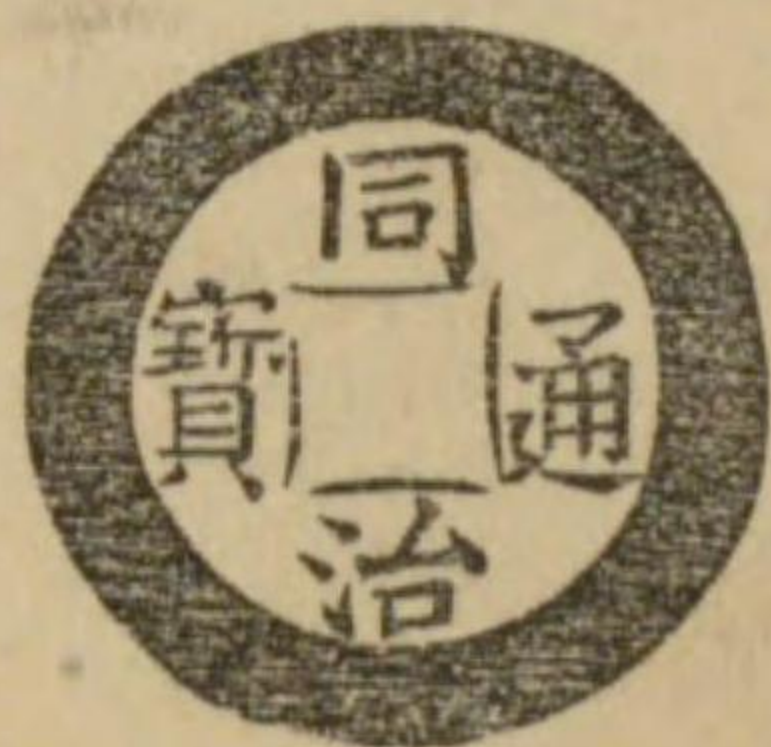


同治通寶

清穆宗

同治年間

價值なし。

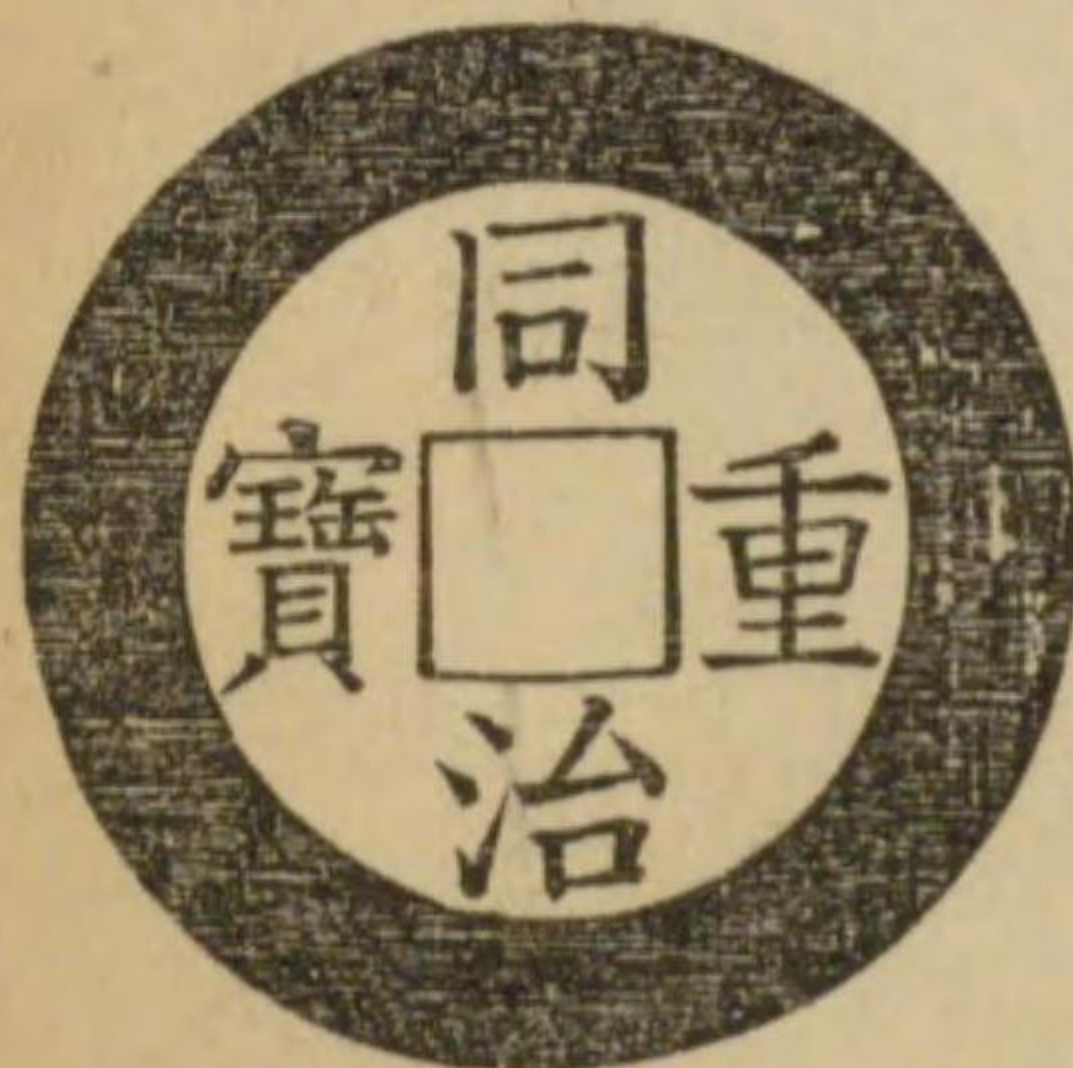


同治重寶

當十

同

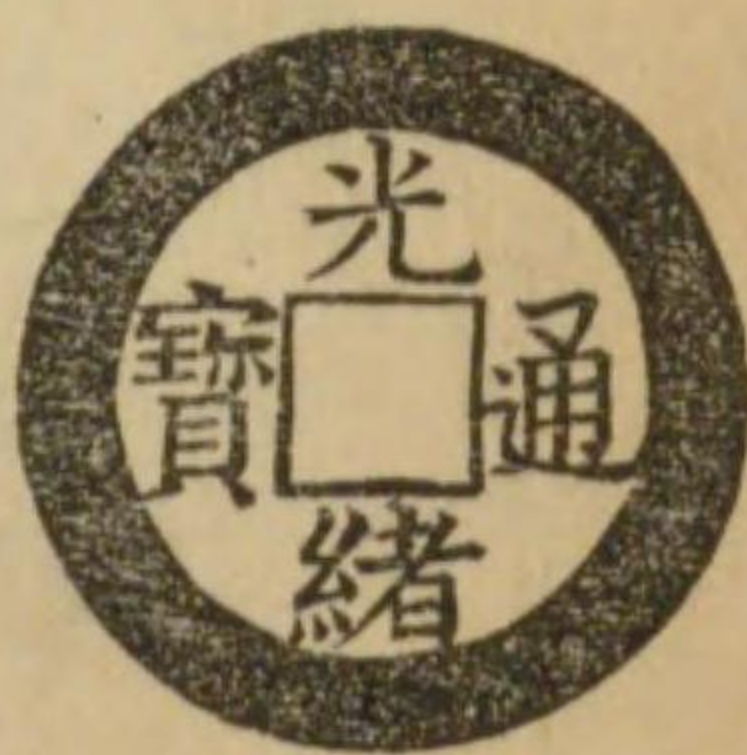
同上。



光緒通寶

清宣統

光緒年間

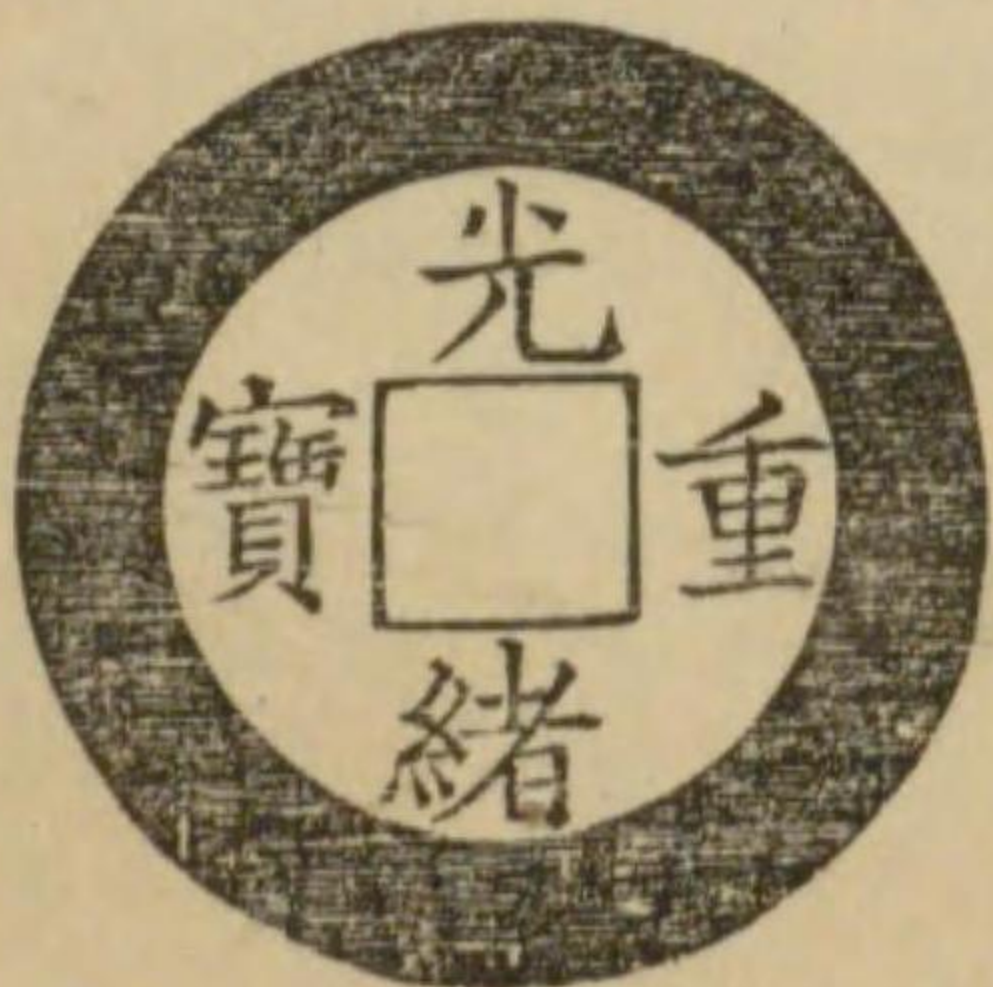


光緒重寶

當十

同

同上。



支那の珍錢

安邑貨一金

支那の錢貨は、上古布を用ひ、刀となり、夫より泉となる、安邑貨一金は、禹、虞或は夏時代のものなりといふ。



列國布

錢文

殊布當十貨



列國圓首刀

錢文甘丹

春秋戰國時代



此三品は希世の珍品にして價格未詳。

漢興

成主李壽

漢興年間

拾五圓以上廿貳三圓。

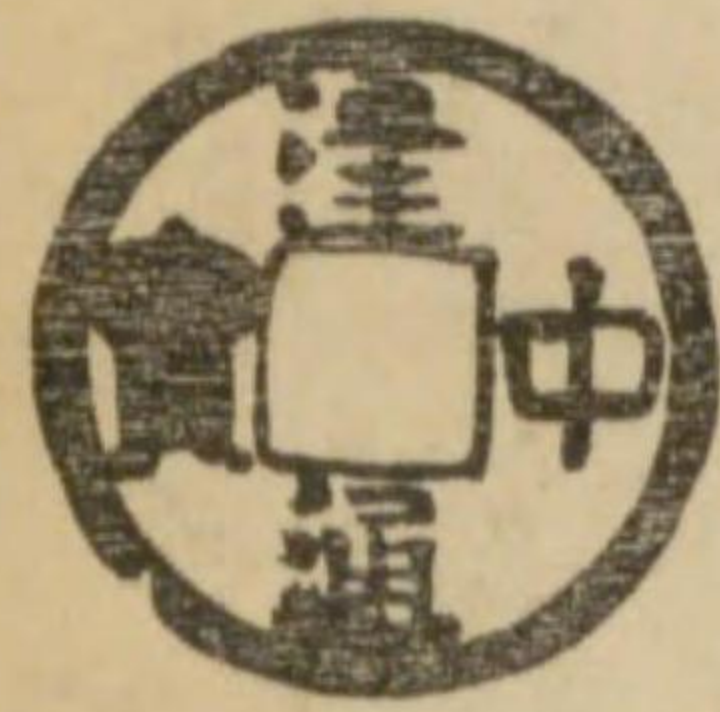


建中通寶

唐德宗

建中年間

五拾圓以上七八拾圓。

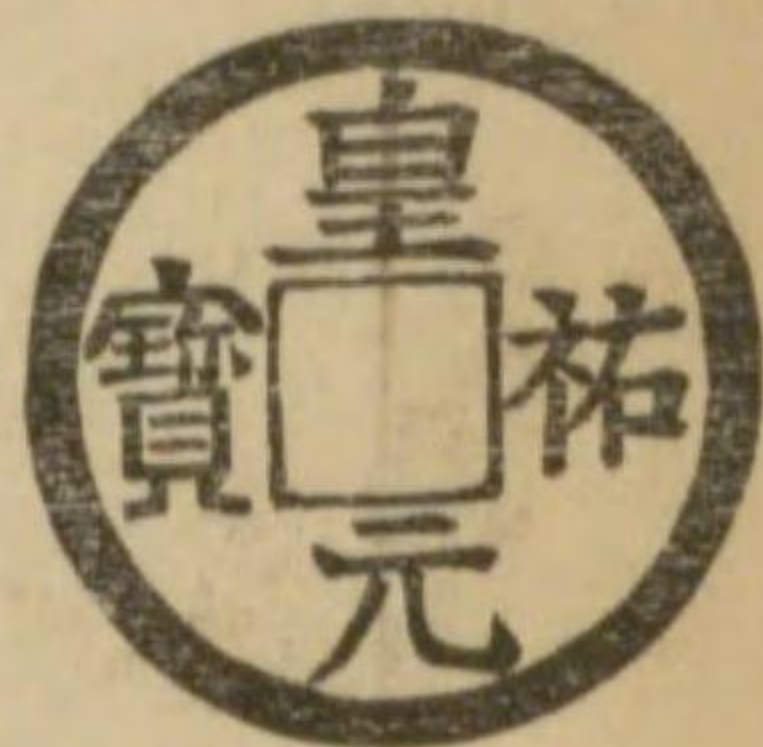


皇祐元寶

宋仁宗

皇祐年間

卅五圓以上五六拾圓。

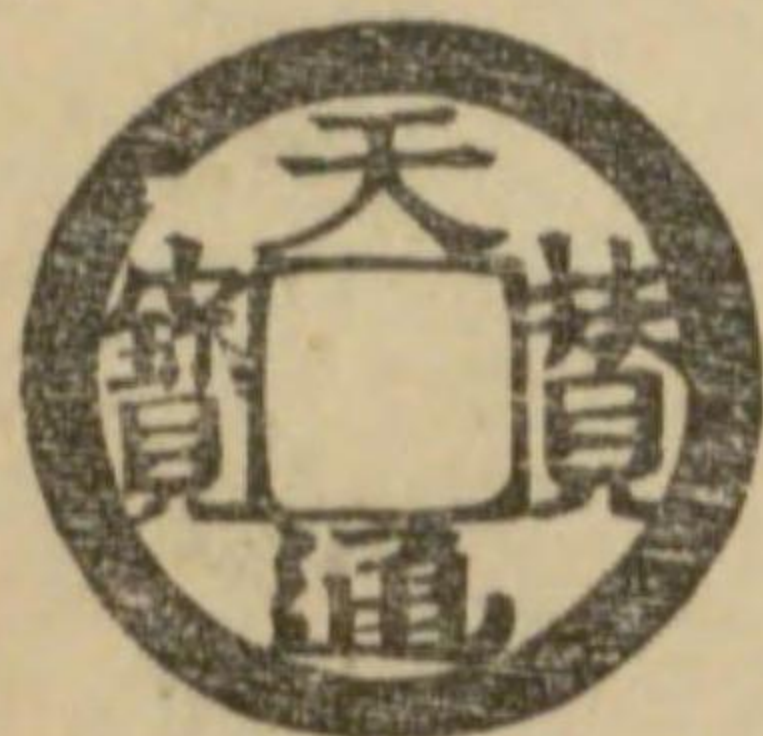


天贊通寶

遼太祖

天贊年間

拾圓以上。

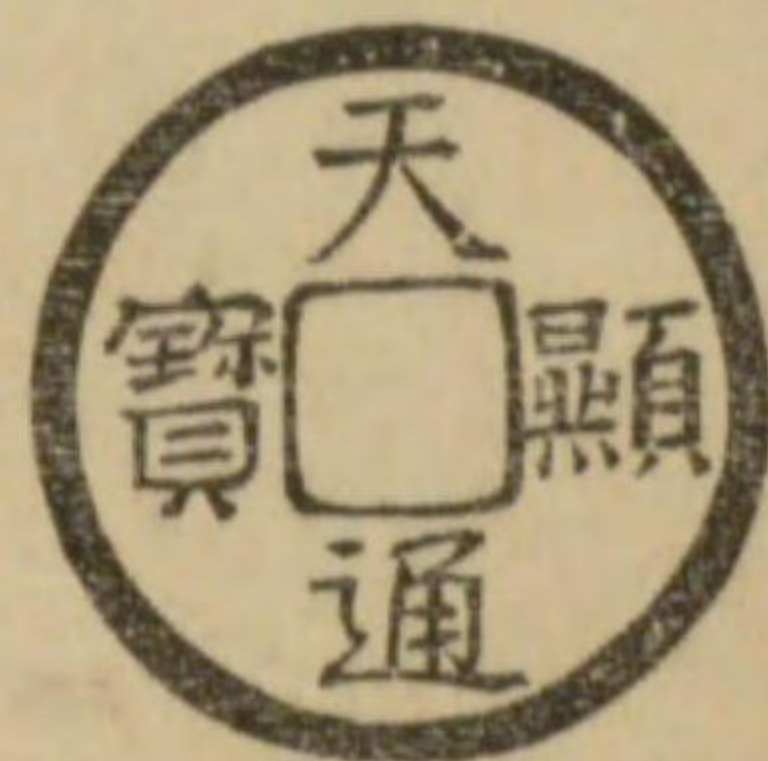


天顯通寶

遼太宗

天顯年間

五六拾圓。

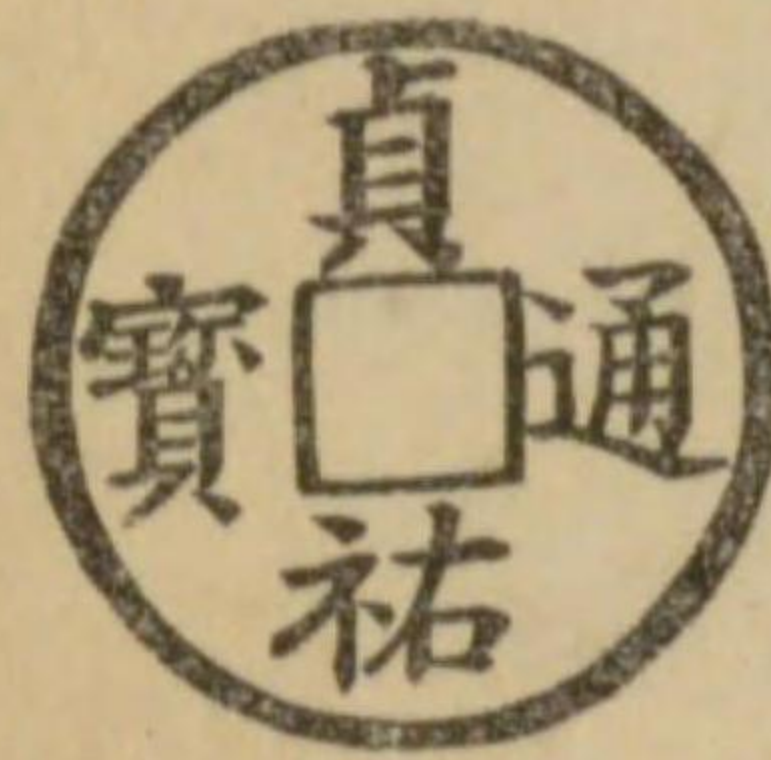


貞祐通寶

金宣宗

貞祐五年

卅五圓より五拾圓。

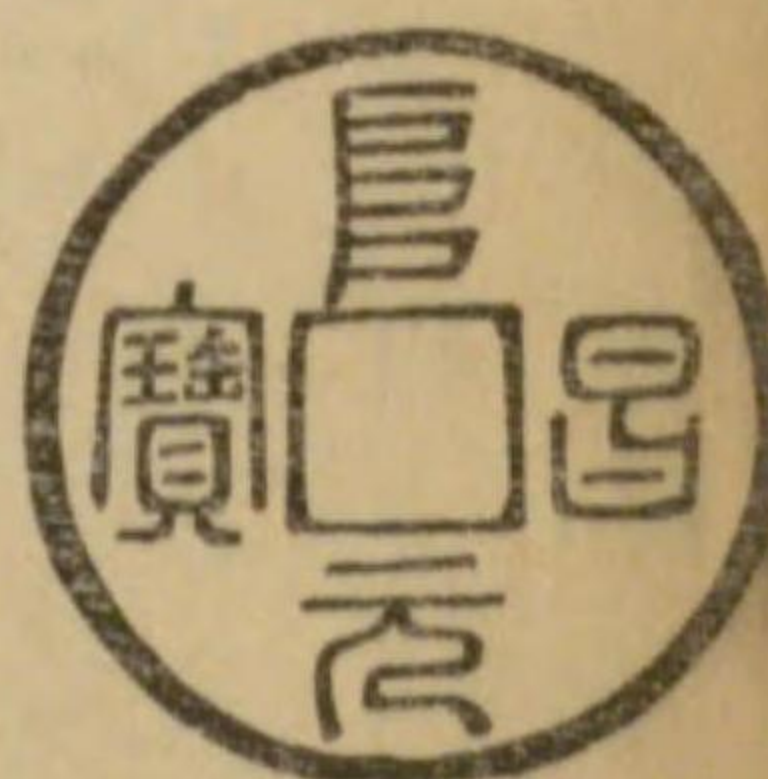


阜昌元寶

齊劉豫

阜昌年間

此篆書錢の外に楷書錢あり、共に貳拾圓内外。



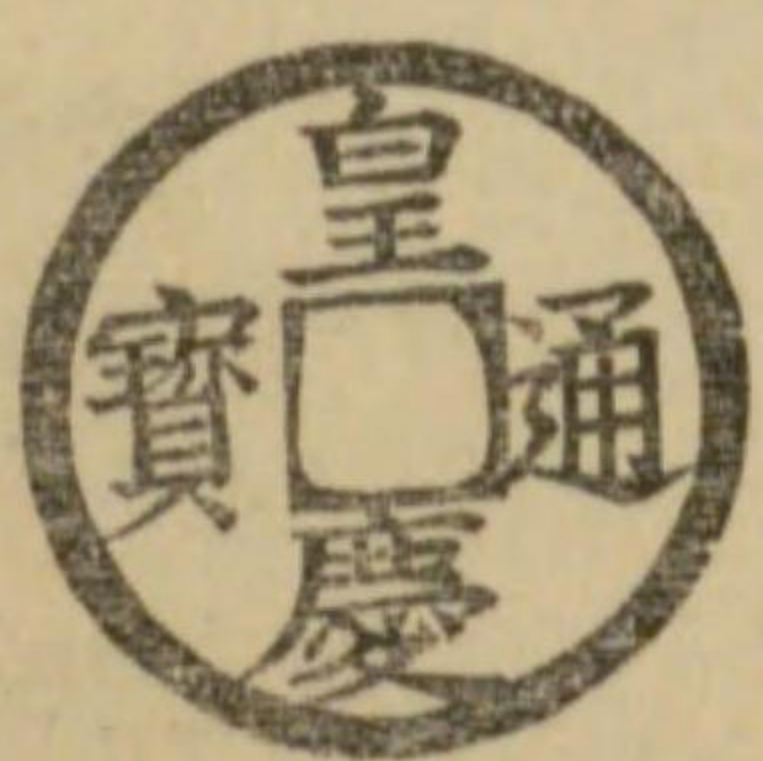
皇慶通寶

元仁宗

皇慶年間

五拾圓。

○其他珍錢多し、今は唯一斑を示すのみ。



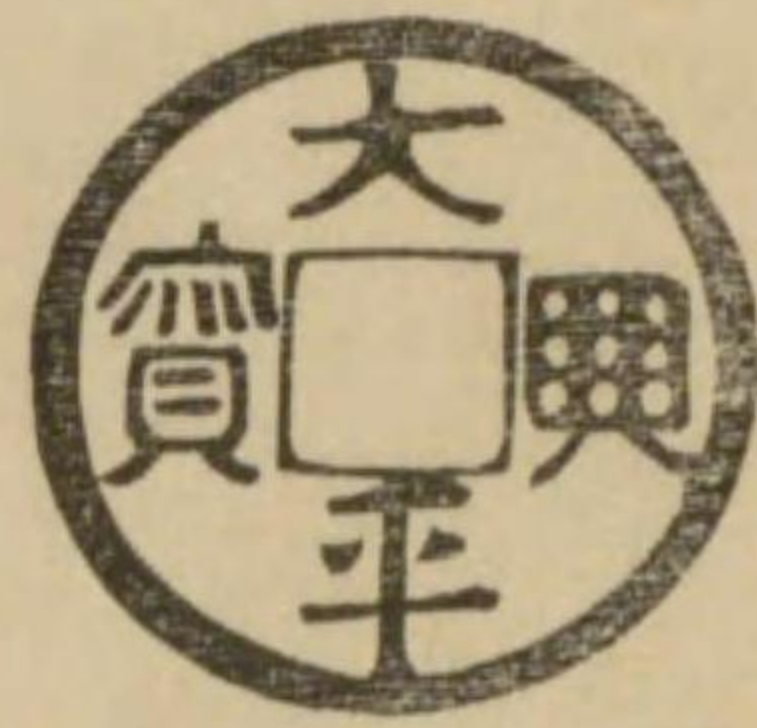
安南錢

太平興寶

安南丁部領

太平年間

三四圓。

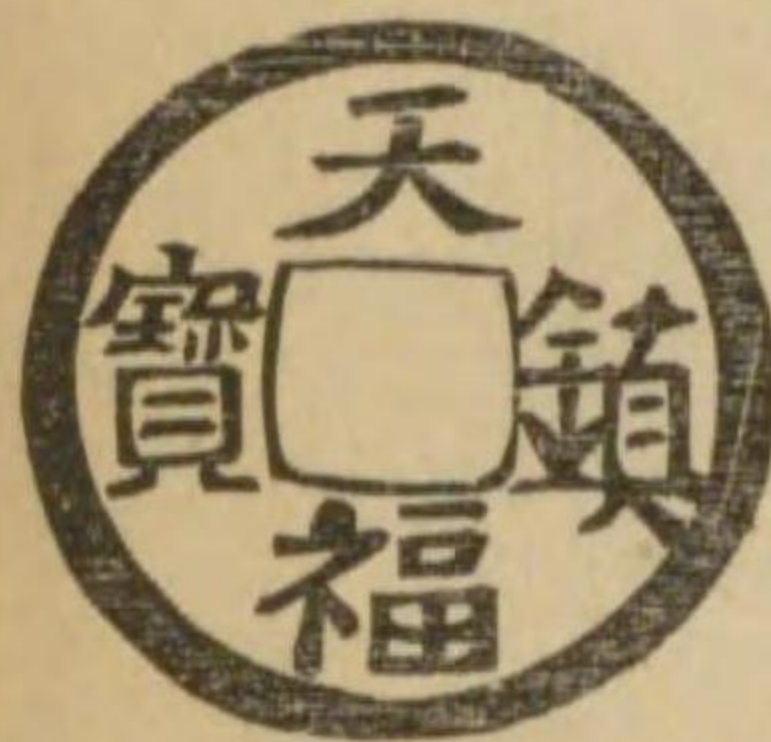


天福鎮寶

黎先主桓

天福年間

貳圓以上。

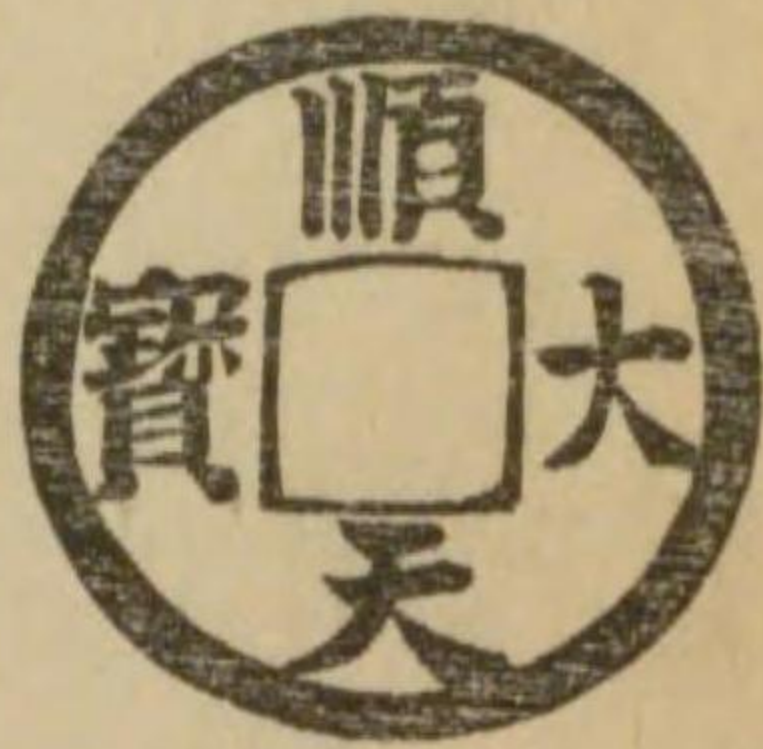


順天大寶

李太祖

順天年間

貳三拾錢。

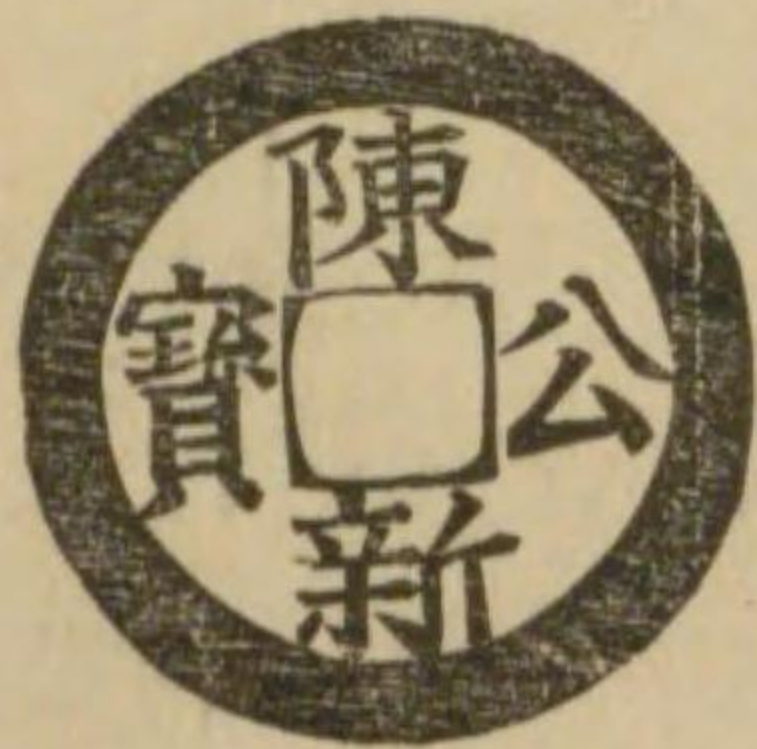


陳公新寶

陳太公

即位前

五圓內外。



大治通寶

陳裕宗

大治年間

五圓以上。

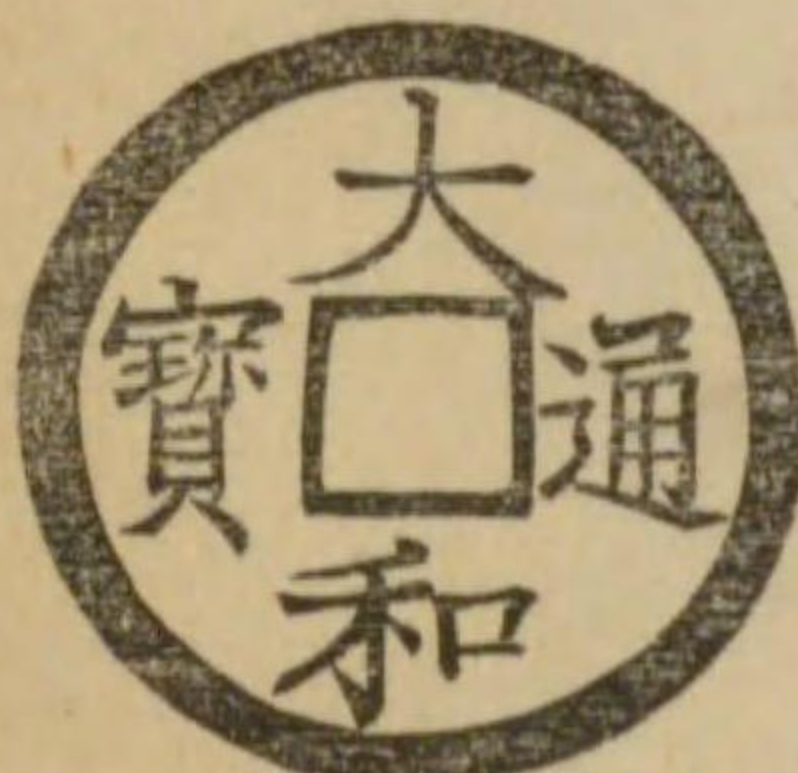


大和通寶

黎仁宗

大和年間

五錢。

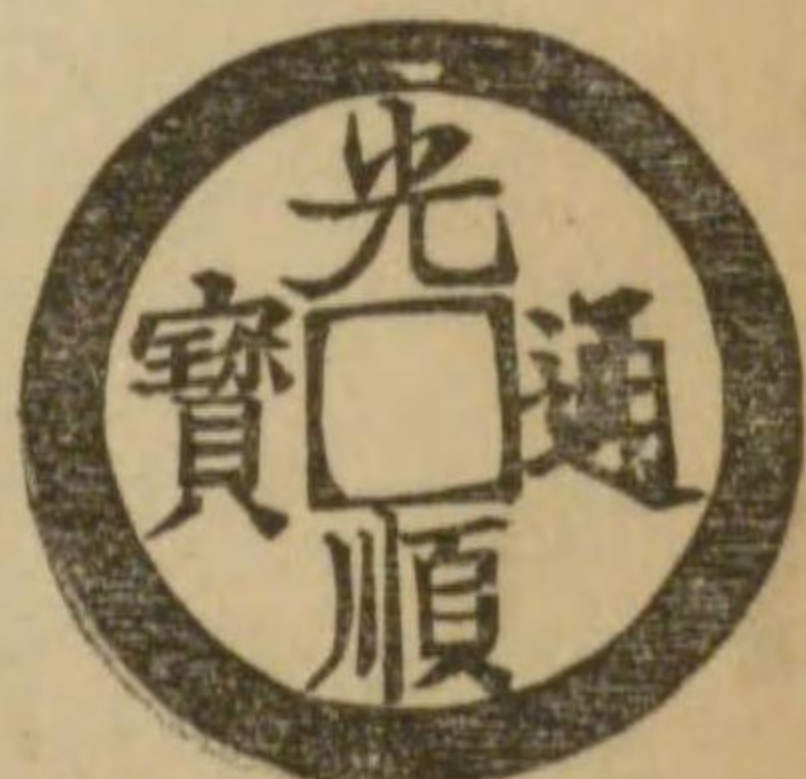


光順通寶

黎聖宗

光順年間

貳拾錢。

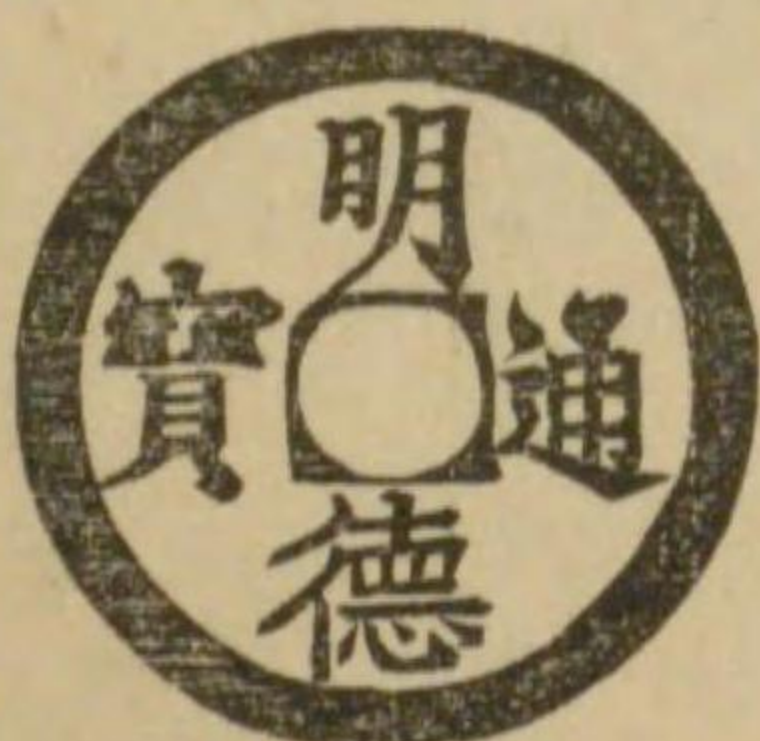


明德通寶

英登庸

明德年間

貳圓以上。

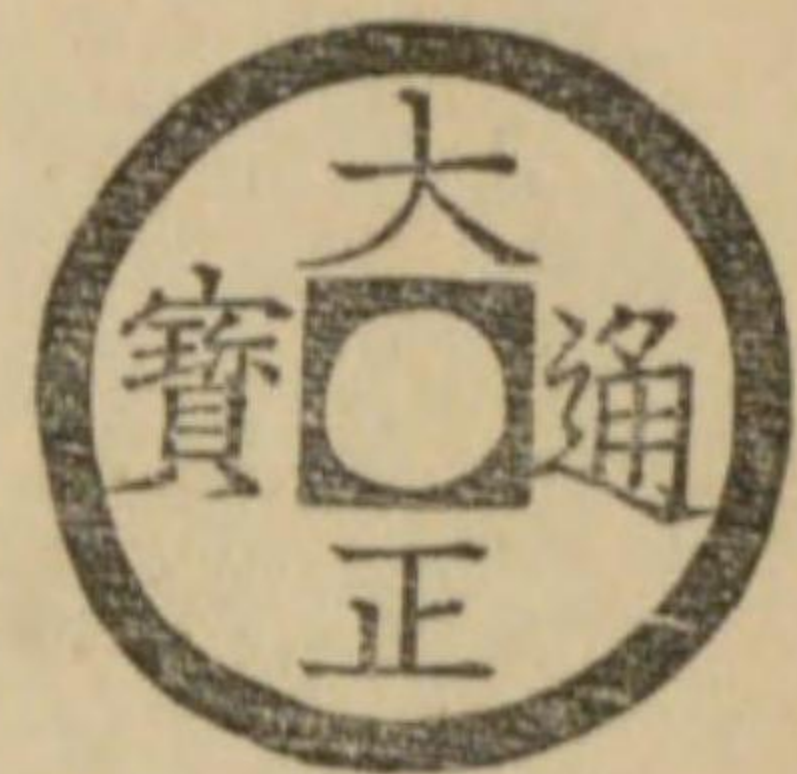


大正通寶

莫方瀛

大正年間

壹圓以上貳圓。

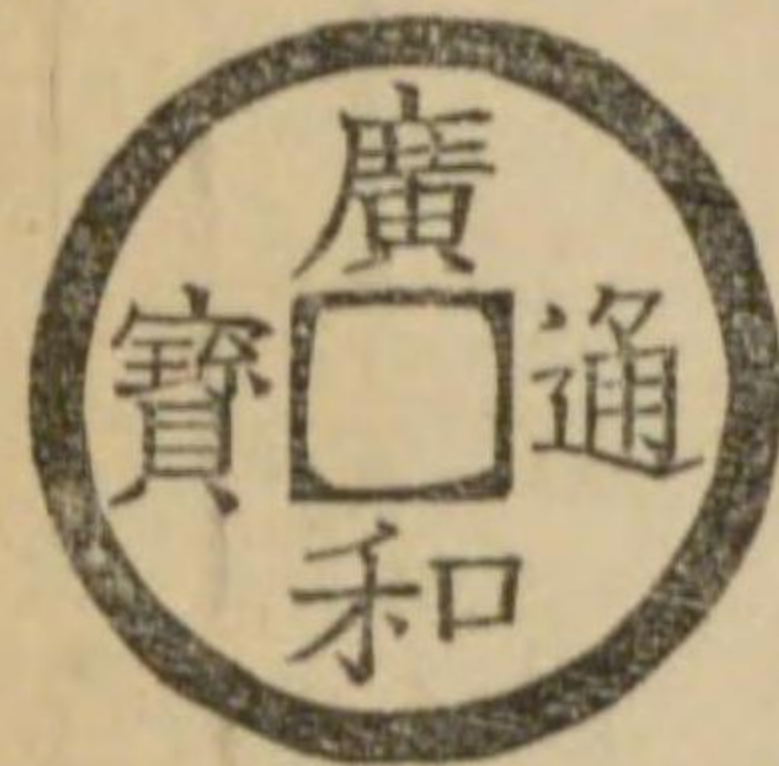


廣和通寶

莫福海

廣和年間

壹圓以上貳圓半。

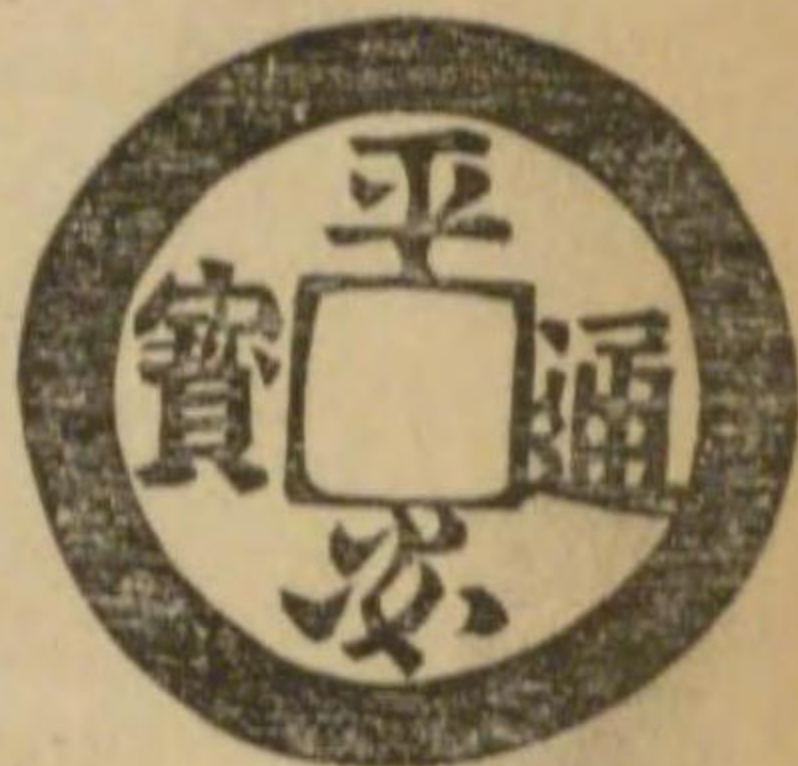


平安通寶

黎世宗

嘉泰年間

○或曰此錢我國の鑄造にしてビタ鋳錢多し、安南産に非すと、五六錢。

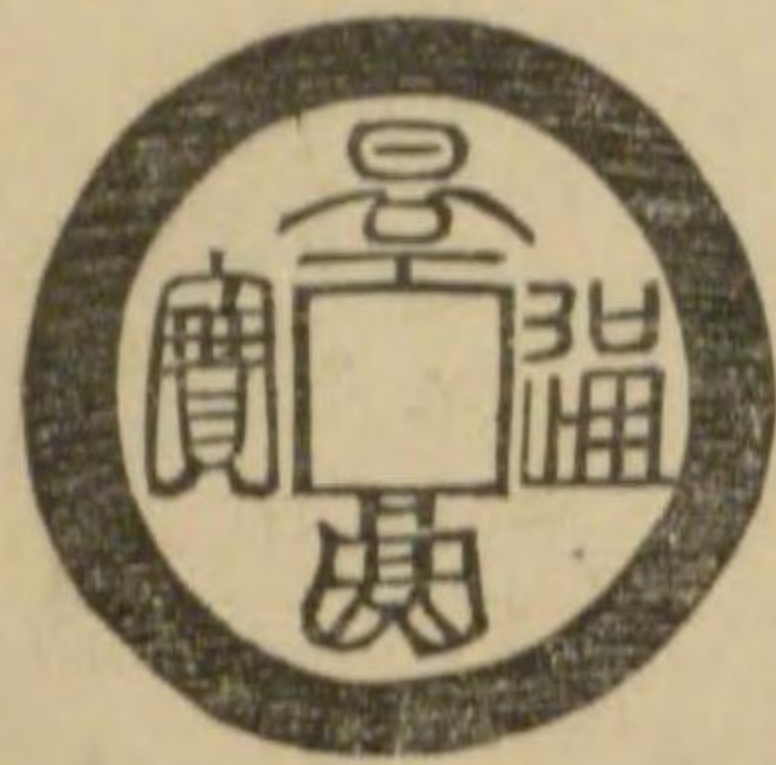


景興通寶

黎獻宗

景興年間

價值なし。

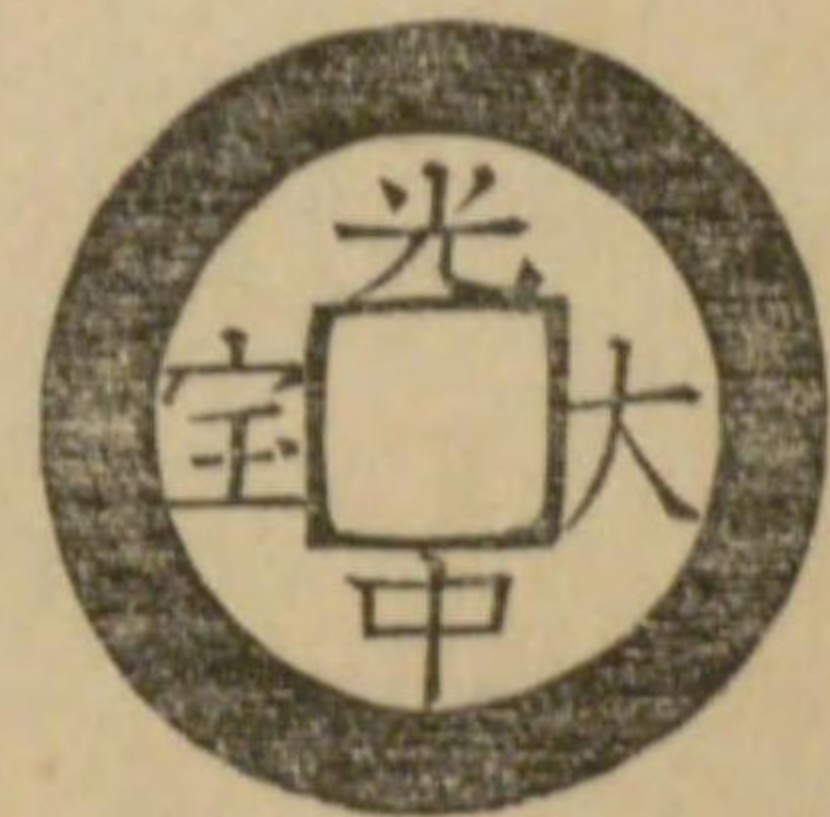


光中大寶

東京主阮惠

光中年間

貳拾錢。

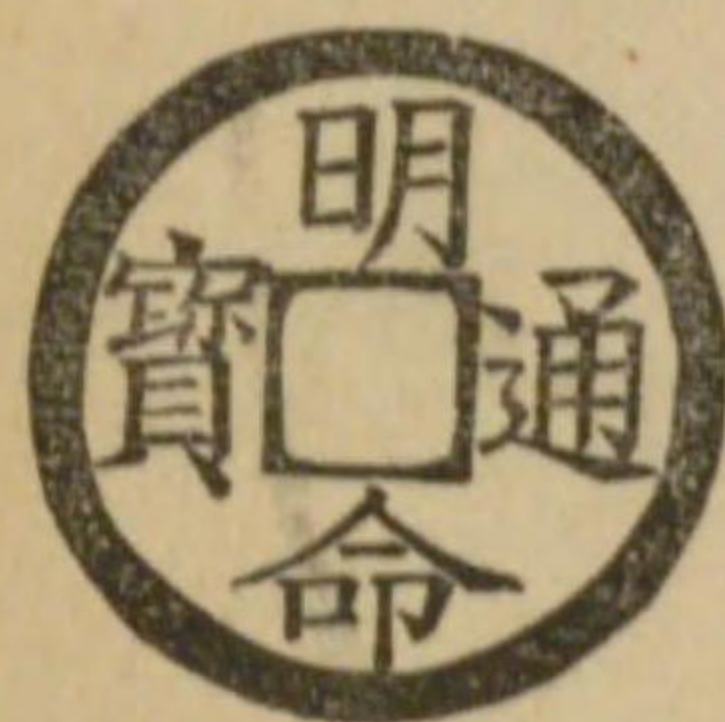


明命通寶

阮二世王

明命年間

五錢。

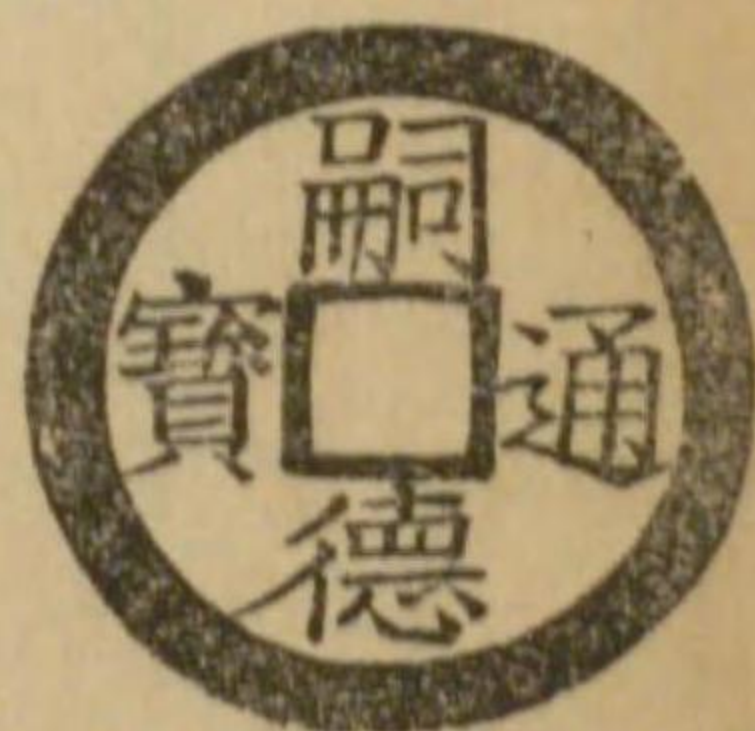


嗣德通寶

阮四世主

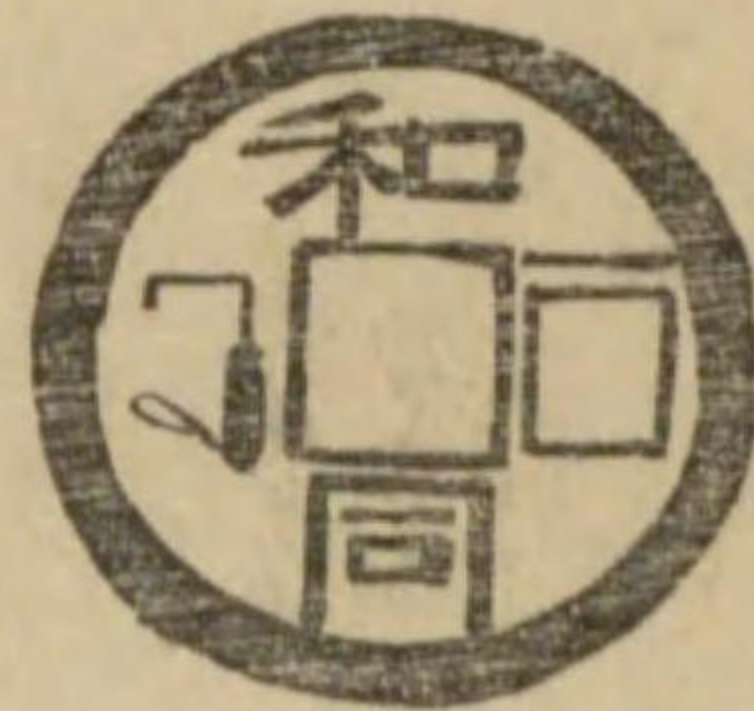
嗣德年間

拾錢。



和漢の繪錢

和同升鑑



壹圓半。

寬永寶珠



寬永紅葉



貳圓半。

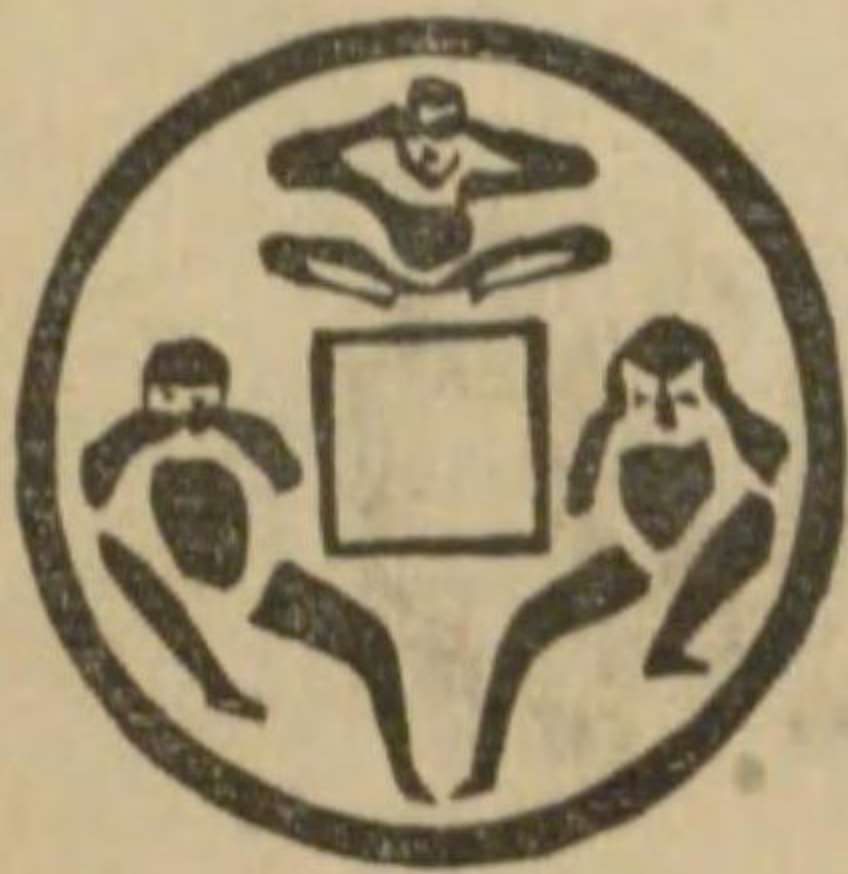
壹圓半。

富士見西行



參圓。

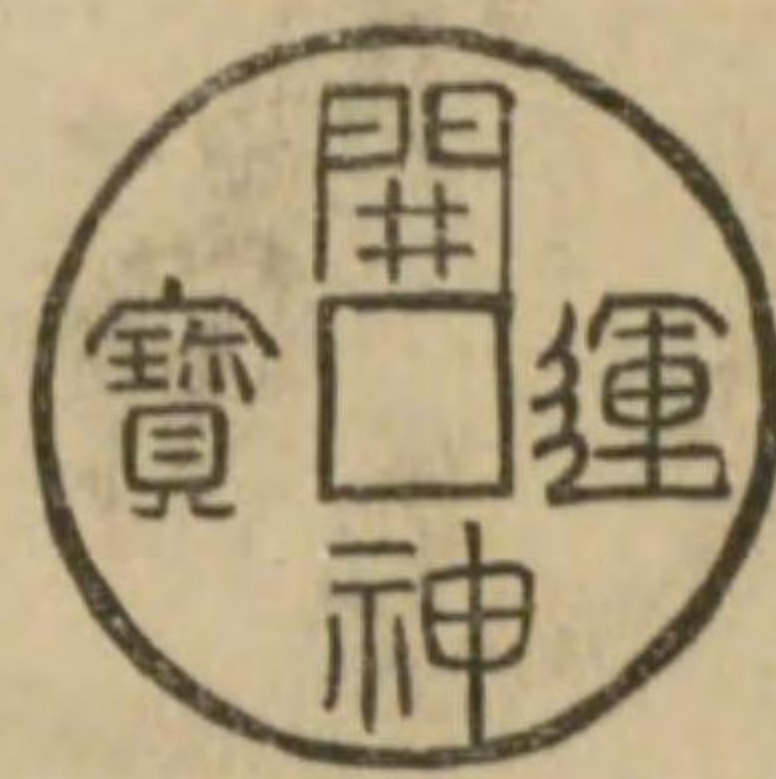
三猿



一名庚申錢

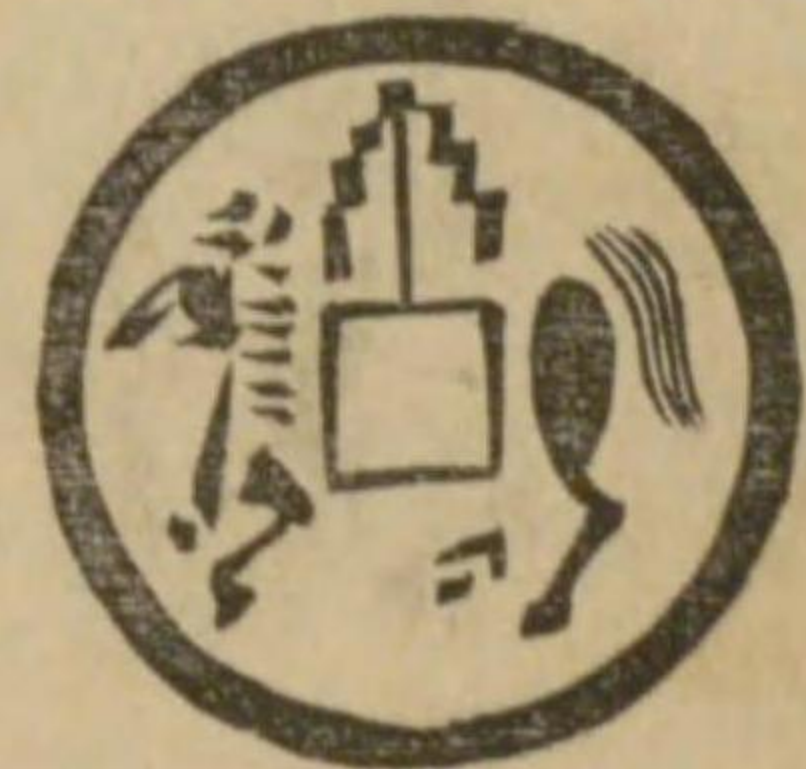
壹圓内外、鐵錢は貳參拾錢。

開運神寶

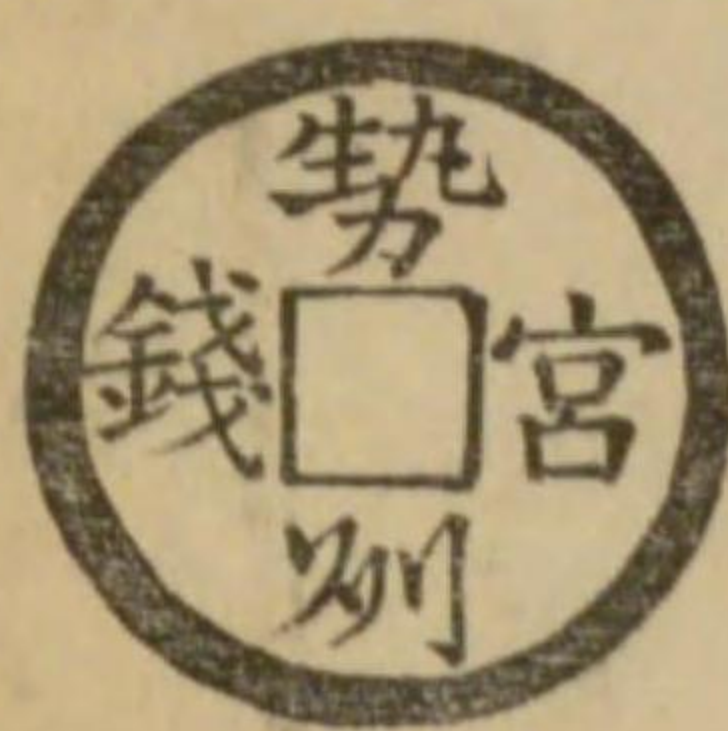


三圓半より四五圓。

背



勢州宮錢

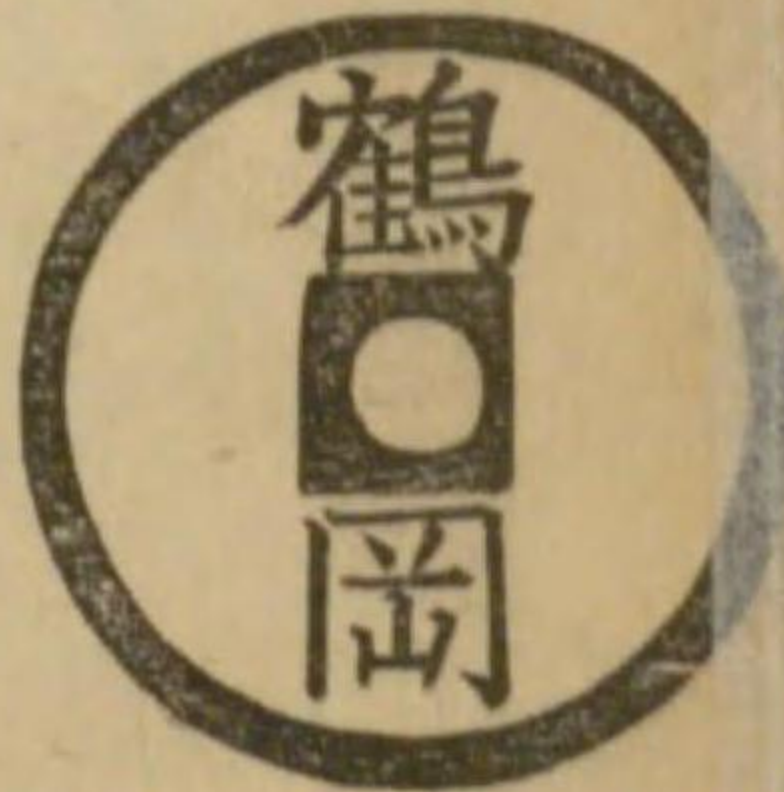


貳圓以上三圓。

八幡宮錢



背



三圓、背に男山及鳩峯とあるは
共に貳圓半

松梅天神 梅天神



壹圓以上。



同上。

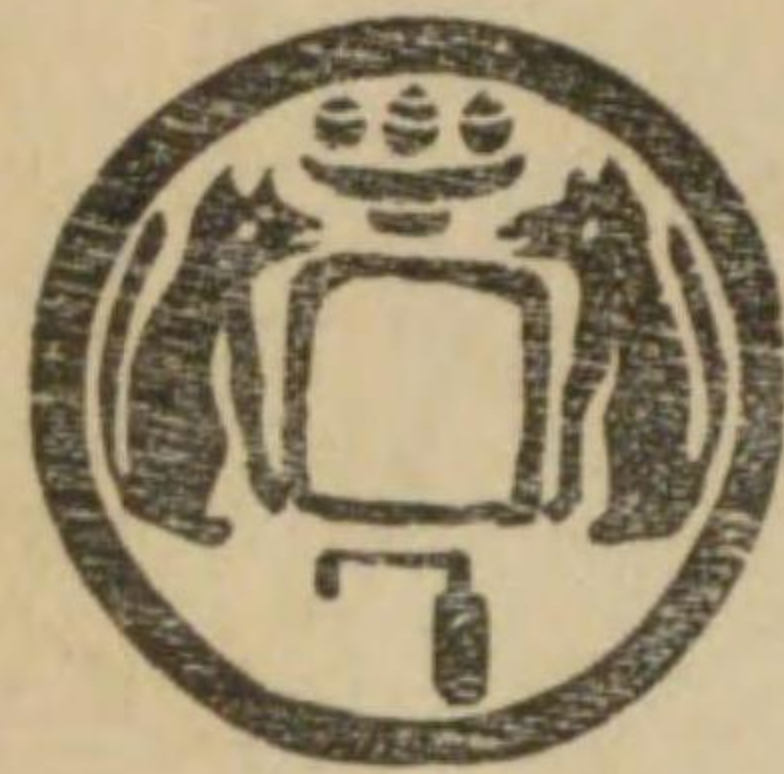
竹生島

貳圓内外。



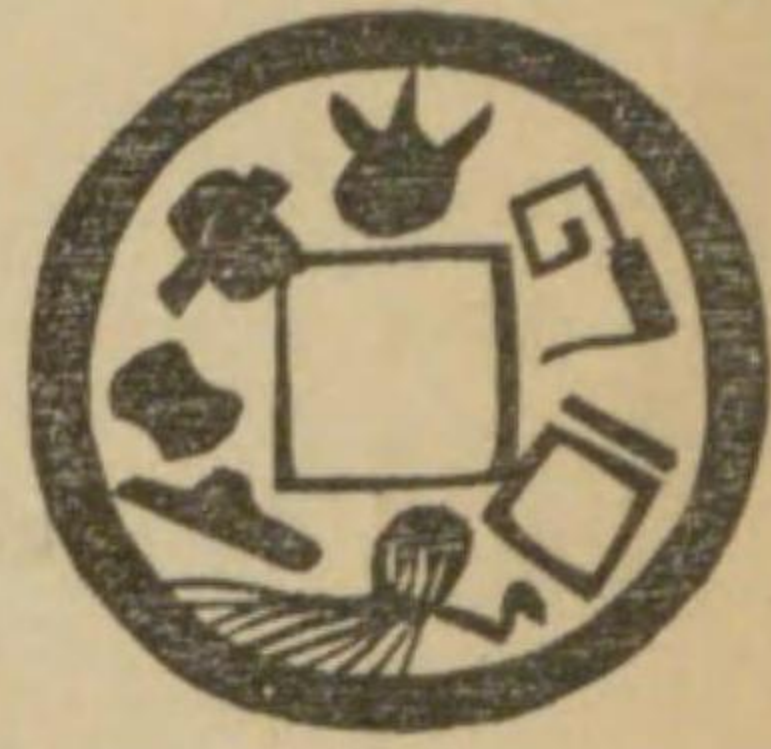
三玉稻荷

四五拾錢。



七寶同異品

貳圓以上。



壹圓半。



蕪錢

○狩野探幽の下繪なりといふ。

壹圓以上。



玉鼠子持玉鼠

壹圓。



壹圓半。



屋形同異品

貳圓、異品數種あり壹圓より壹圓半。



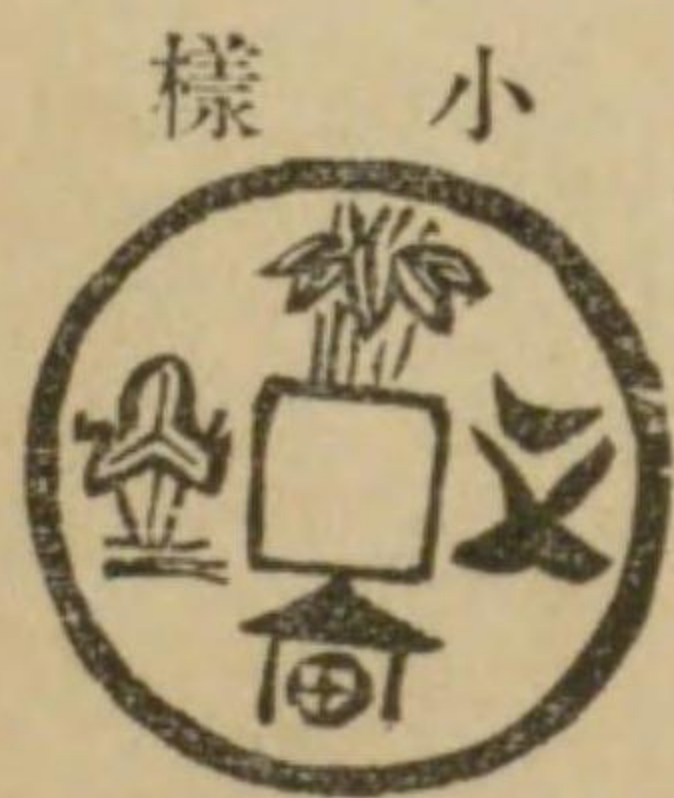
いろは錢

七圓。

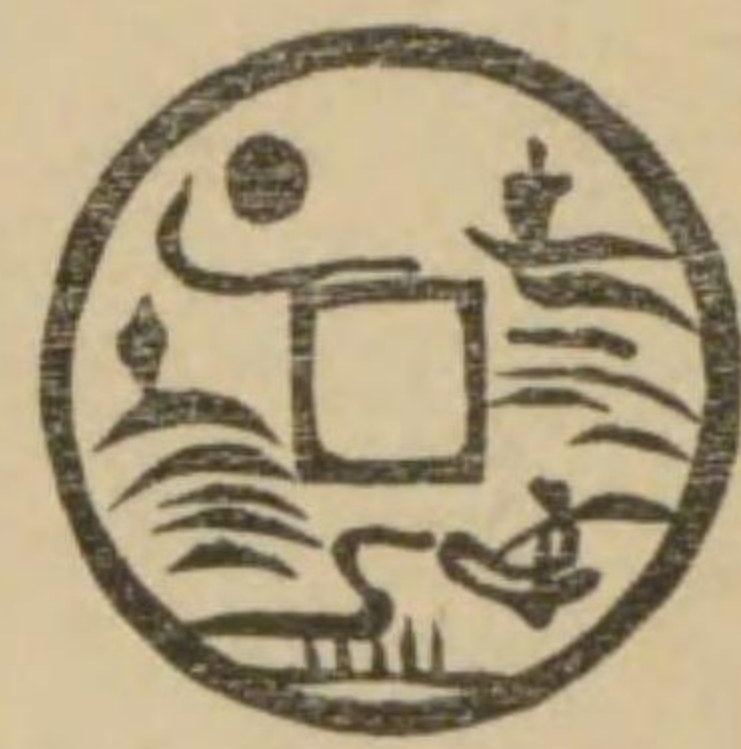


紋盡同異品

異品數種あり、壹圓内外。

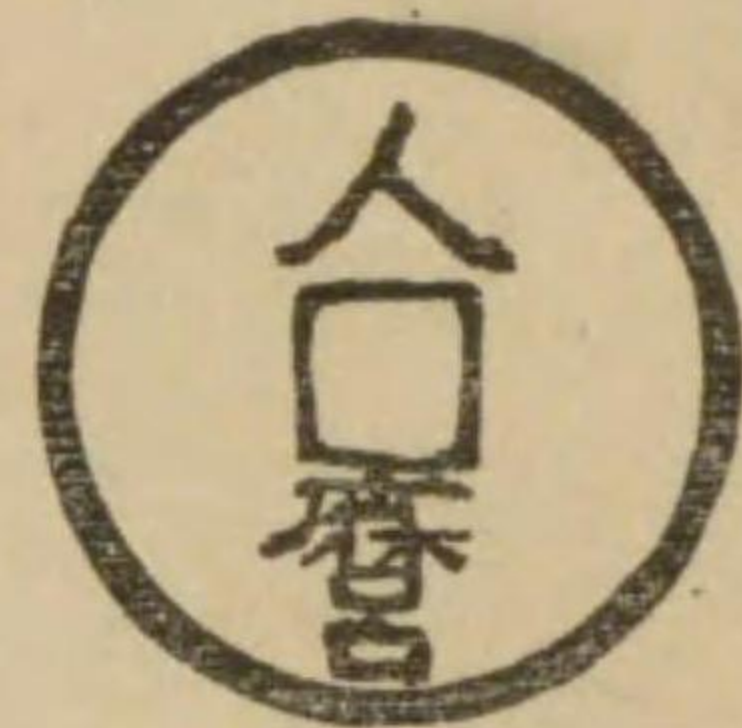


柿本人麿



貳圓半以上三圓。

背



相生

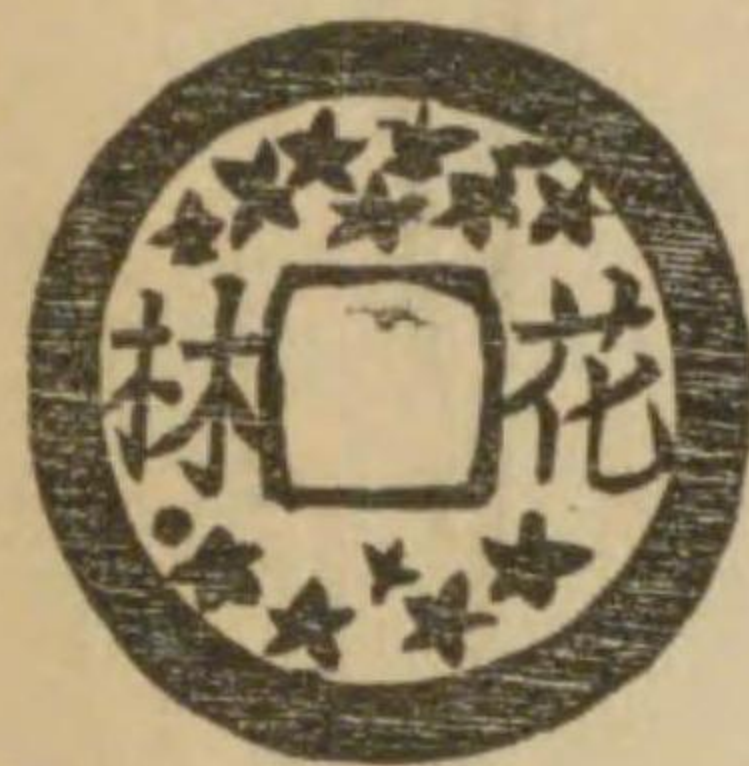
一に高砂とも云



貳圓以上貳圓半。

兔 犬 月 波 兔

花 林



壹圓半以上貳圓。



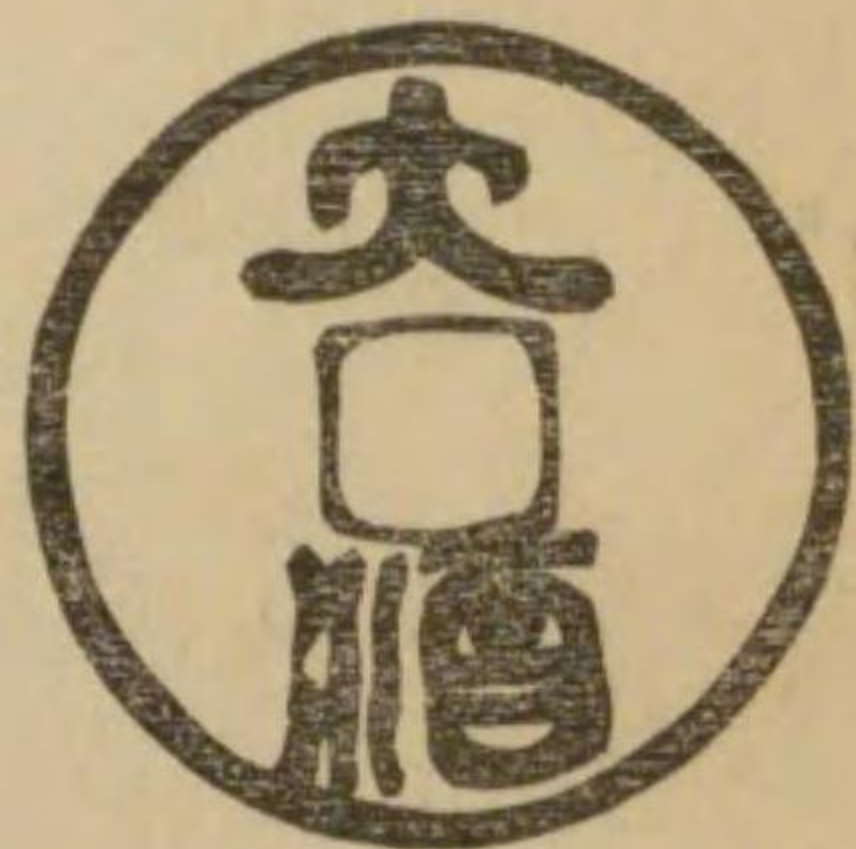
壹圓半。

貳圓以上。



海 老 錢

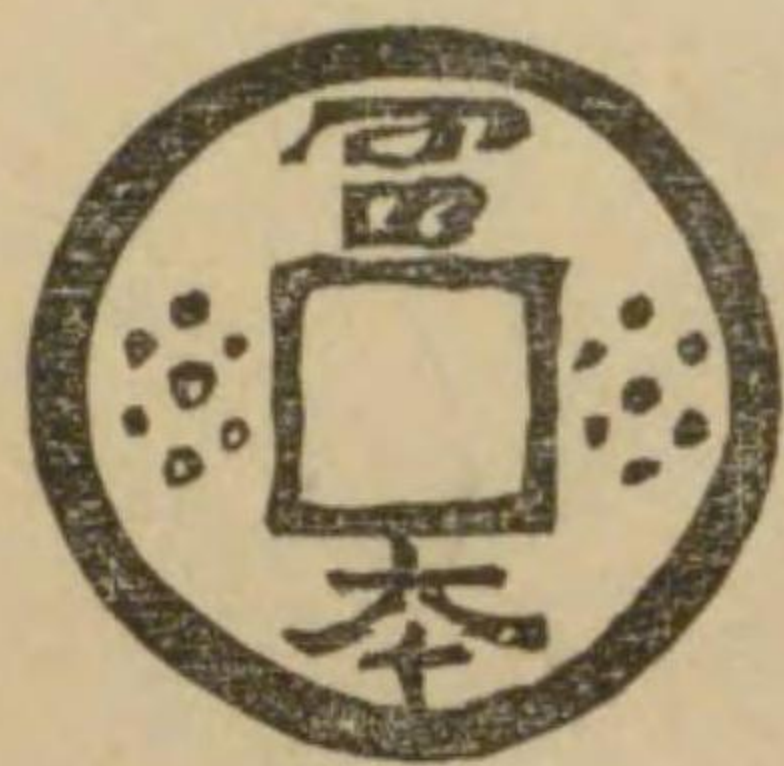
背 大 酒



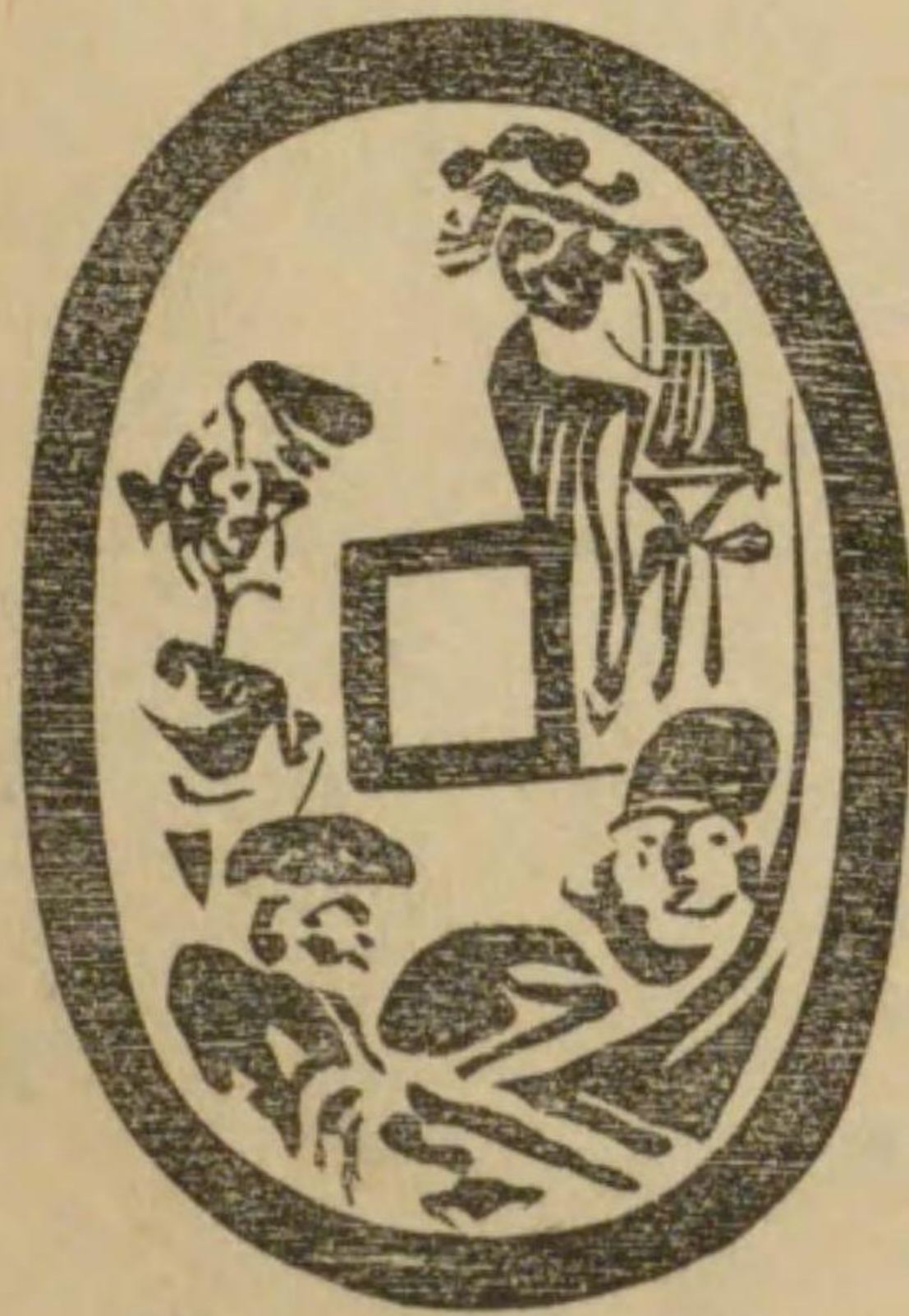
天保型七福神 拾五圓以上

貳圓内外。

富 本



背



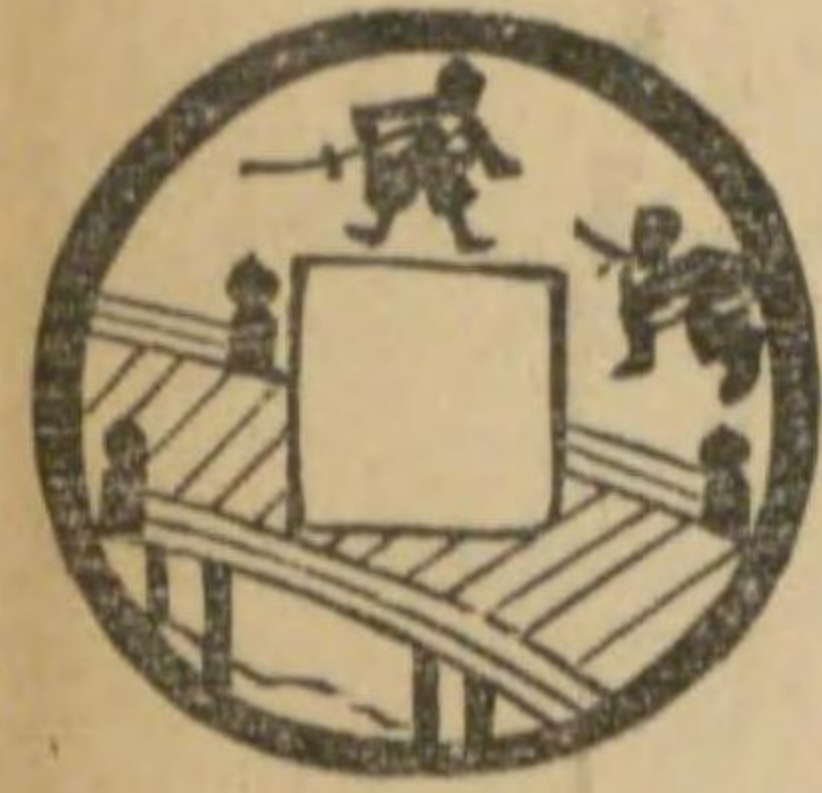
壹圓以上。

棟上錢



壹圓内外。

橋辨慶



同異品



數種あり、拾錢より貳圓まで。

猩

々

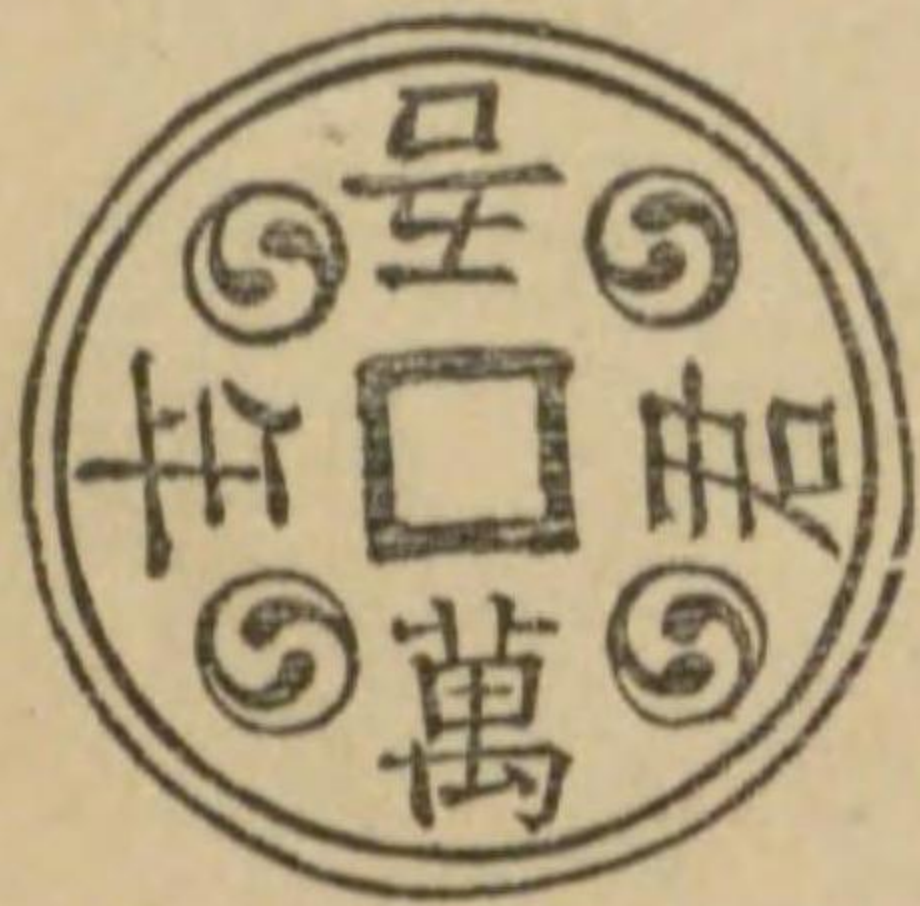


壹圓内外。

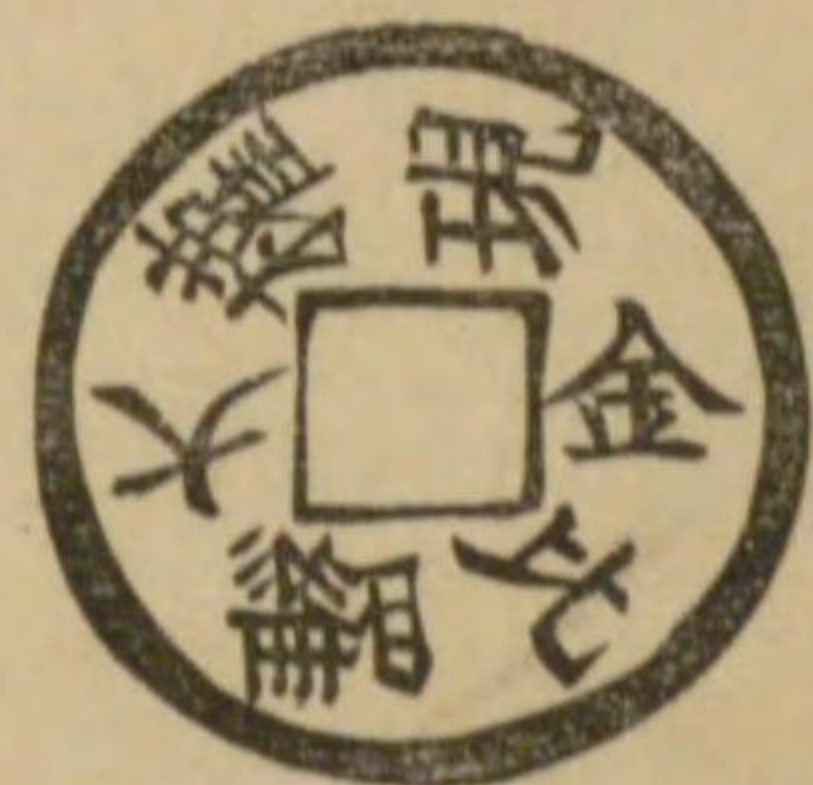
吾君萬歲

朝鮮錢なり

壹圓内外。

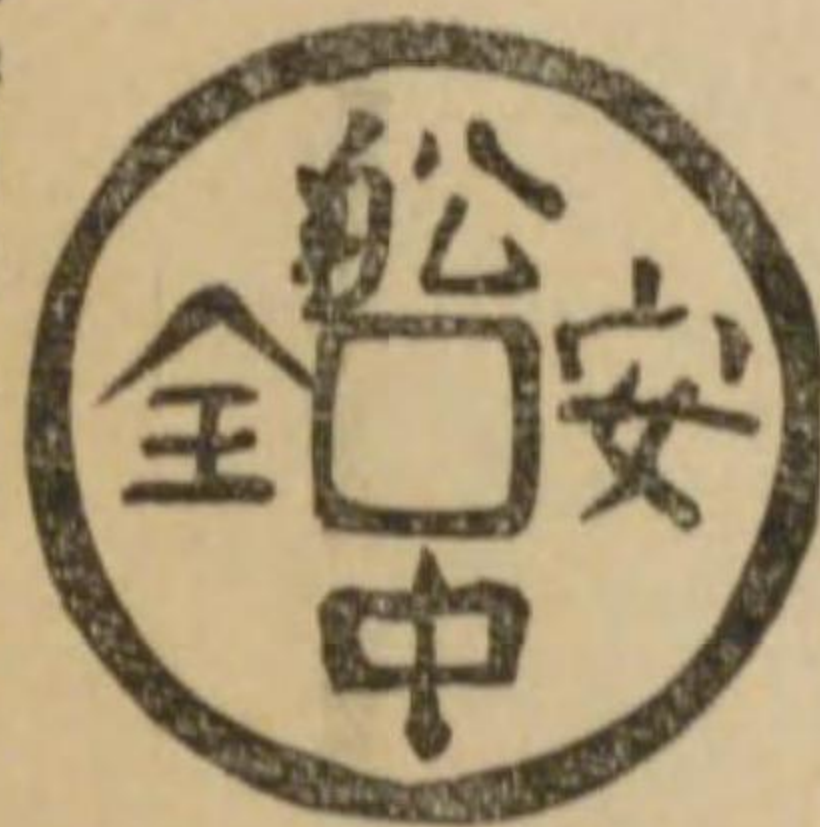


金比羅大權現



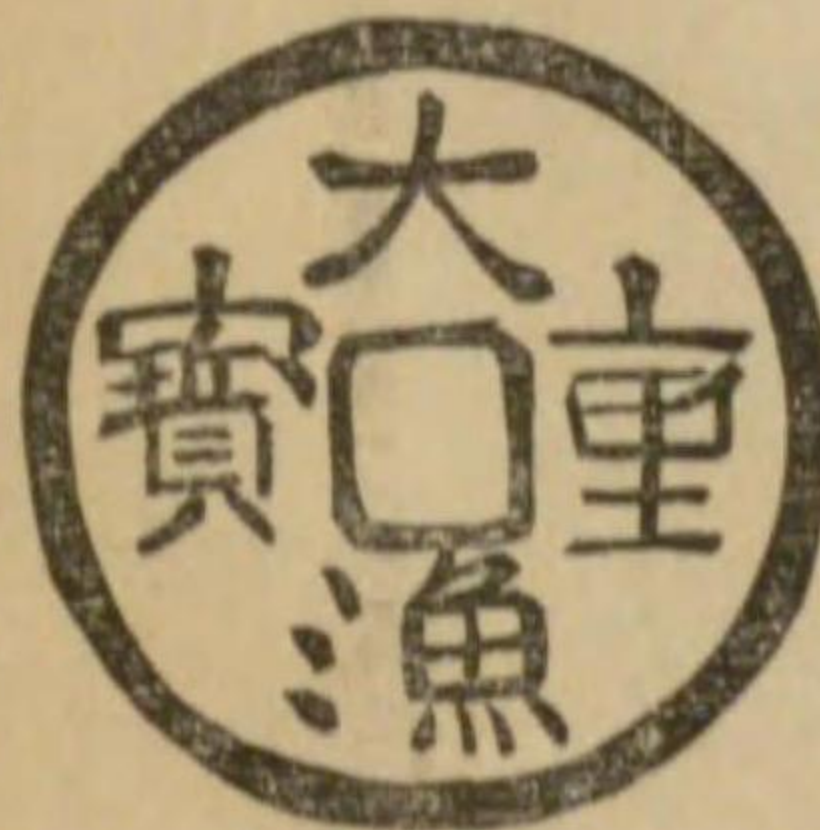
壹圓内外。

船中安全



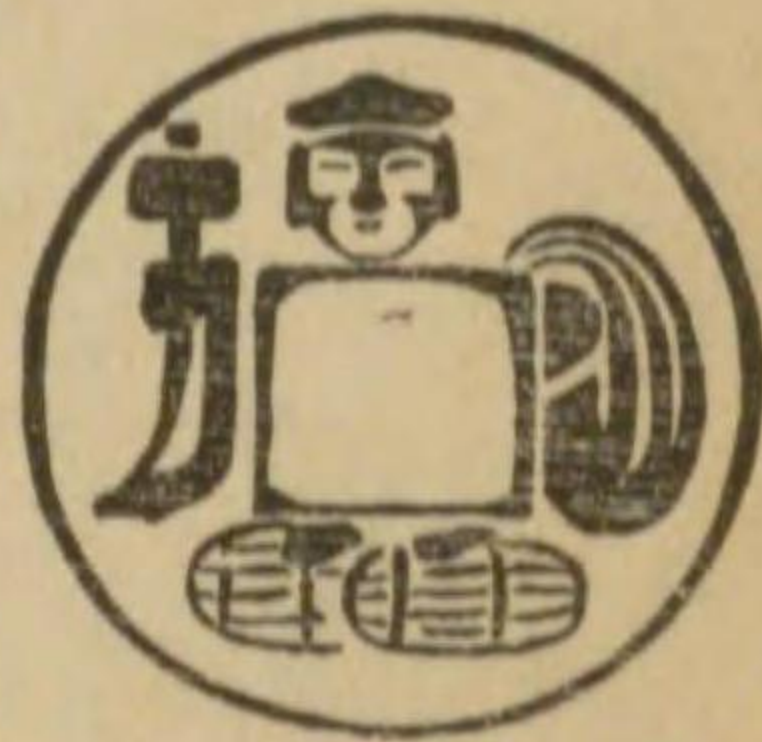
貳圓内外。

大漁重寶

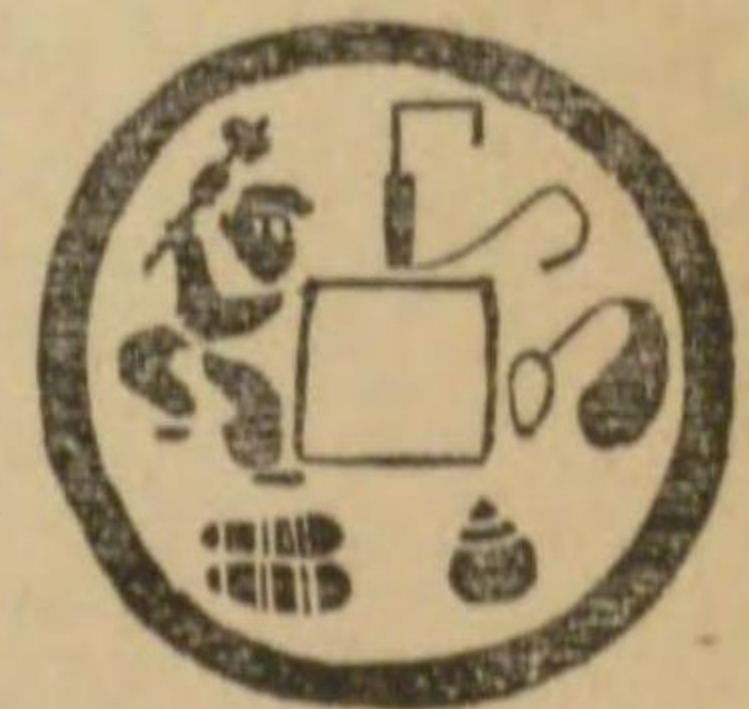


壹圓半貳圓。

眞向大黒



打出大黒



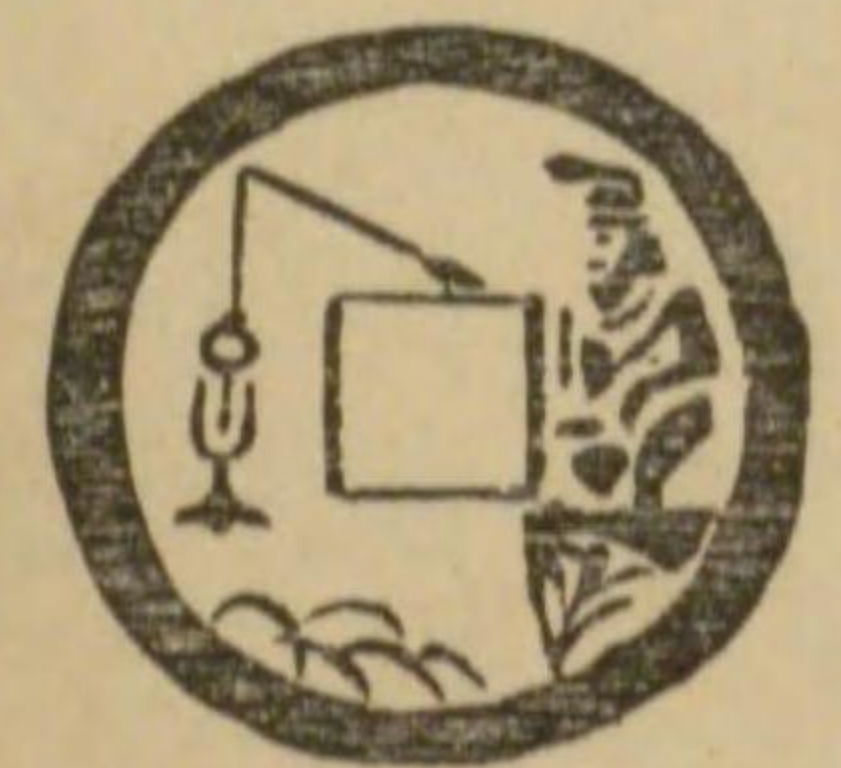
廿五錢より五拾錢。

壹圓半。

濶縁蛭子



岩手蛭子



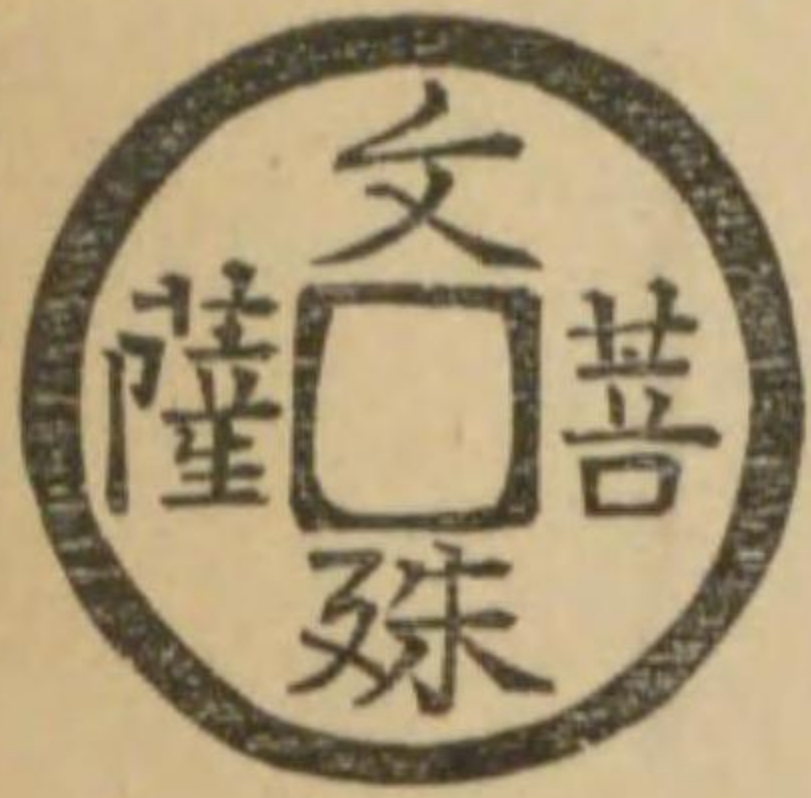
五拾錢以上七八拾錢。

七福神



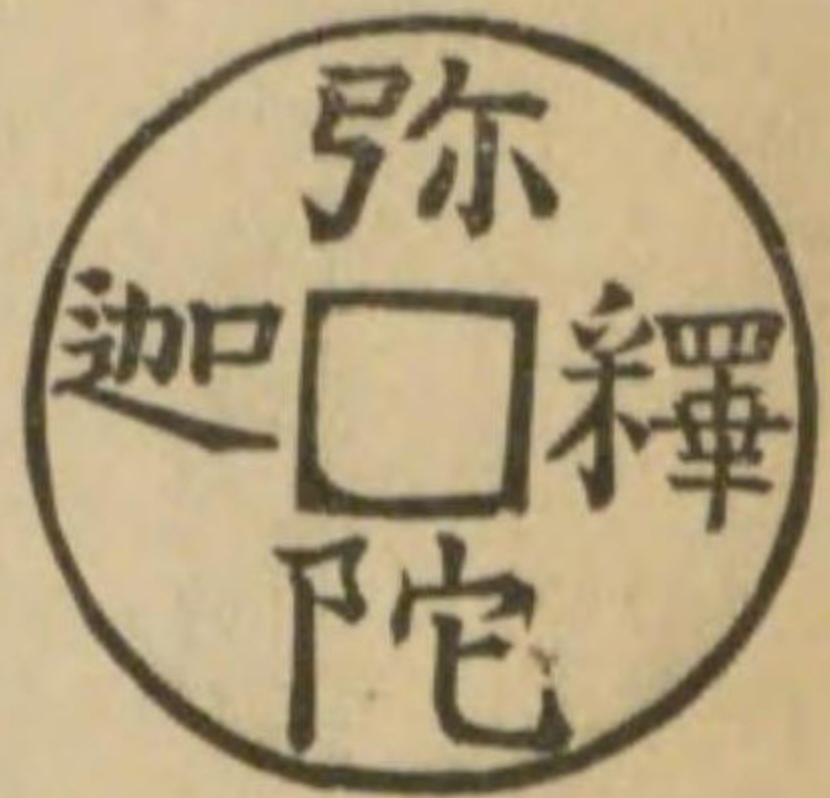
七八拾錢。

文珠菩薩



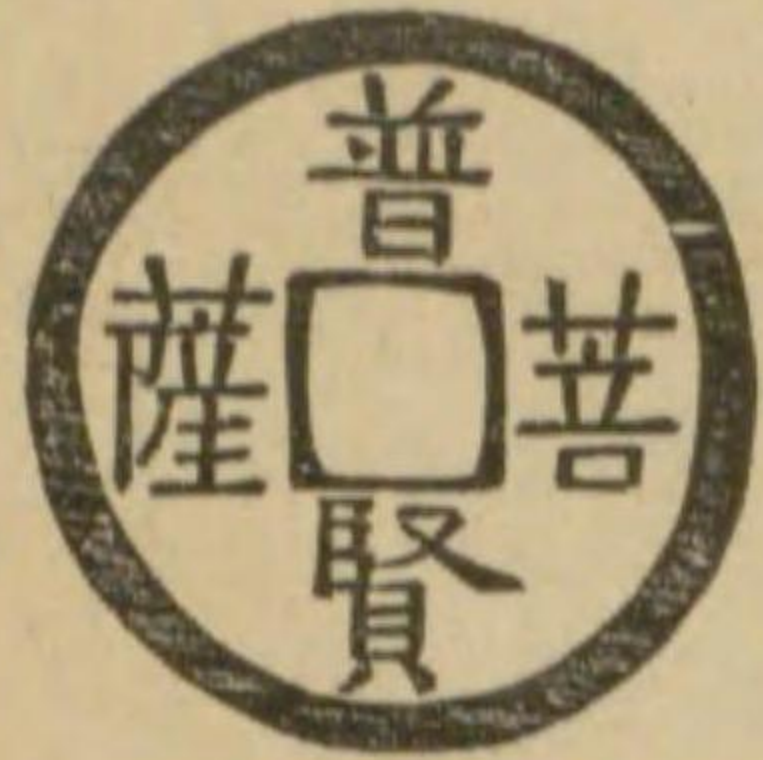
壹圓半。

彌陀釋迦



壹圓半。

普賢菩薩



壹圓半。

寶



銀錢七八圓、銅錢三四圓。

背

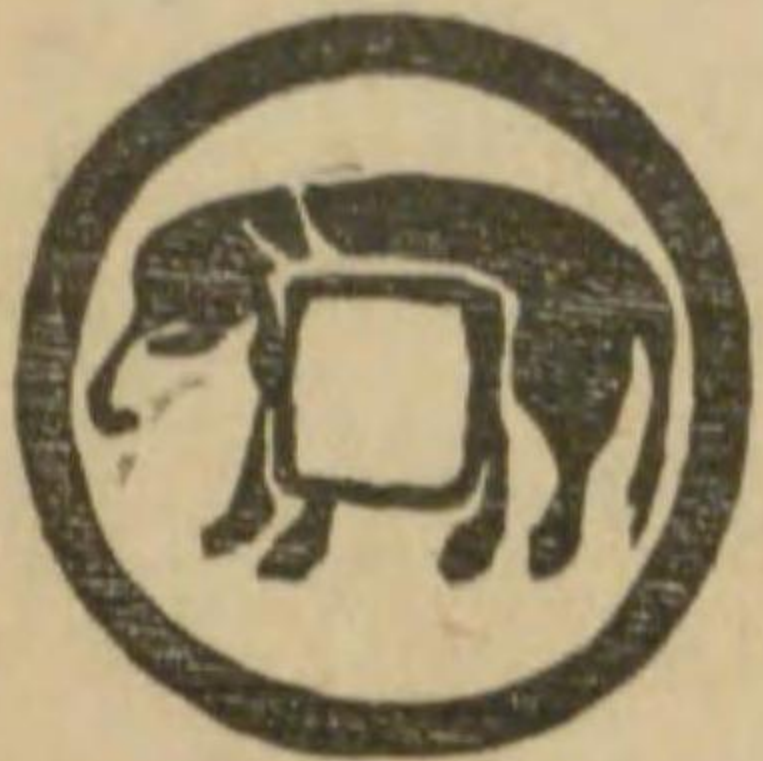


千手觀音

貳三圓。



背



船

七寶二福神



背網曳駒

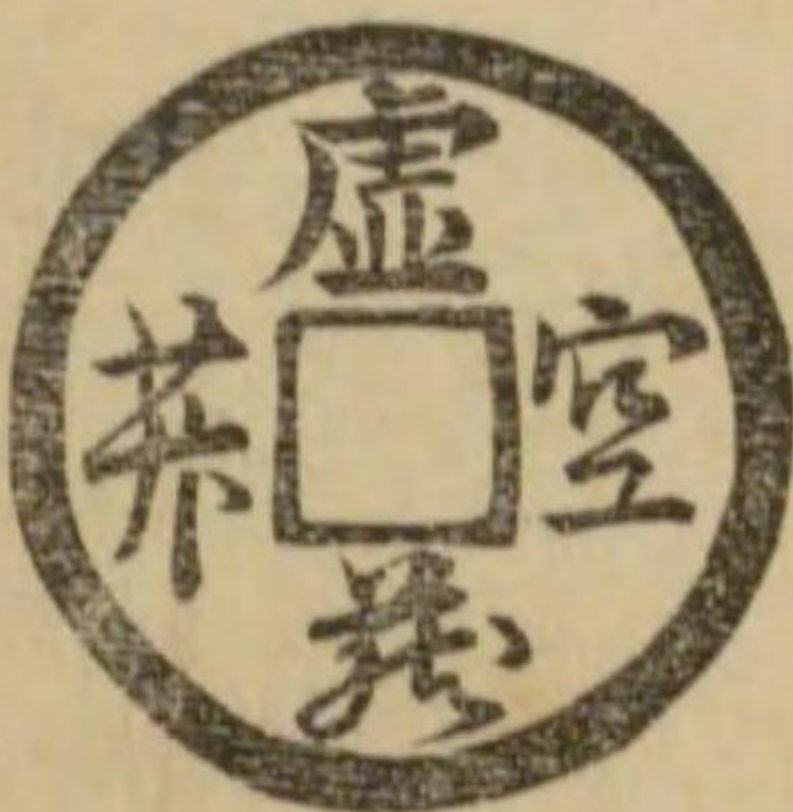
五圓以上七圓。

不動明王



壹圓半。

虛空藏菩薩



同上。

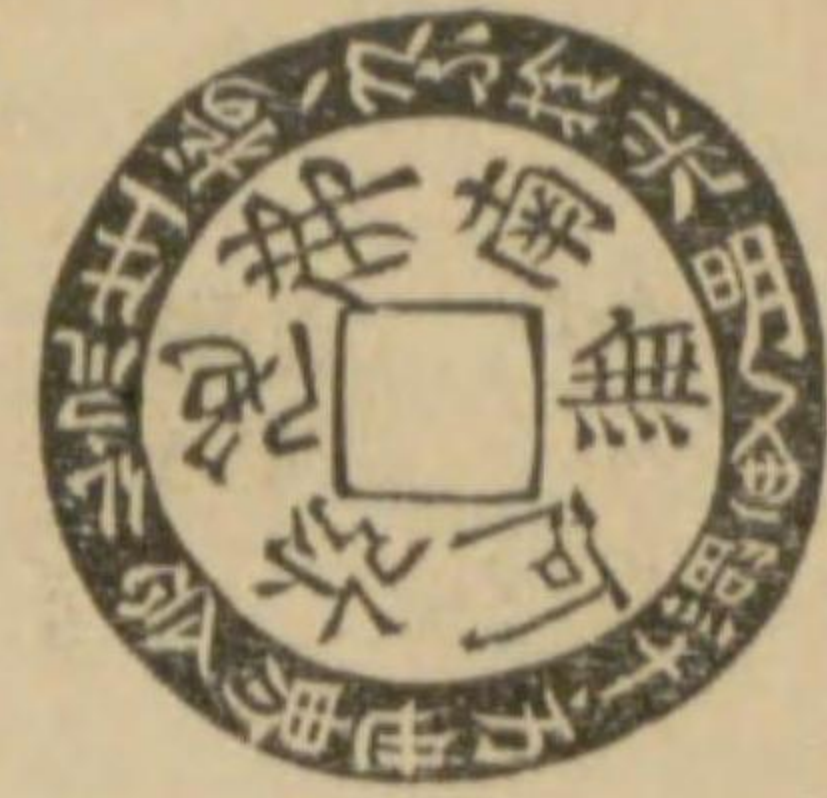
背



背

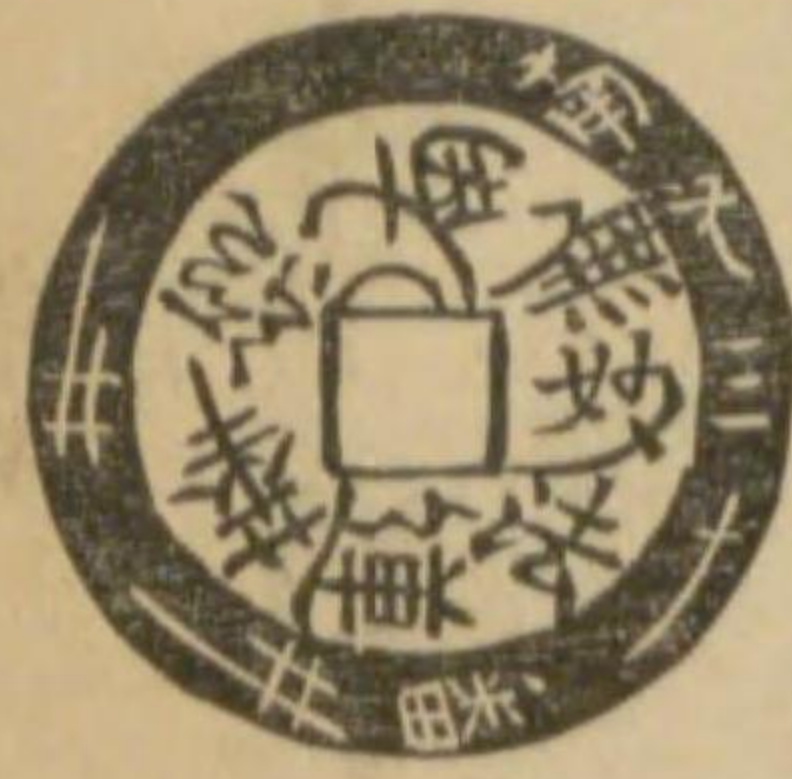


光明念佛



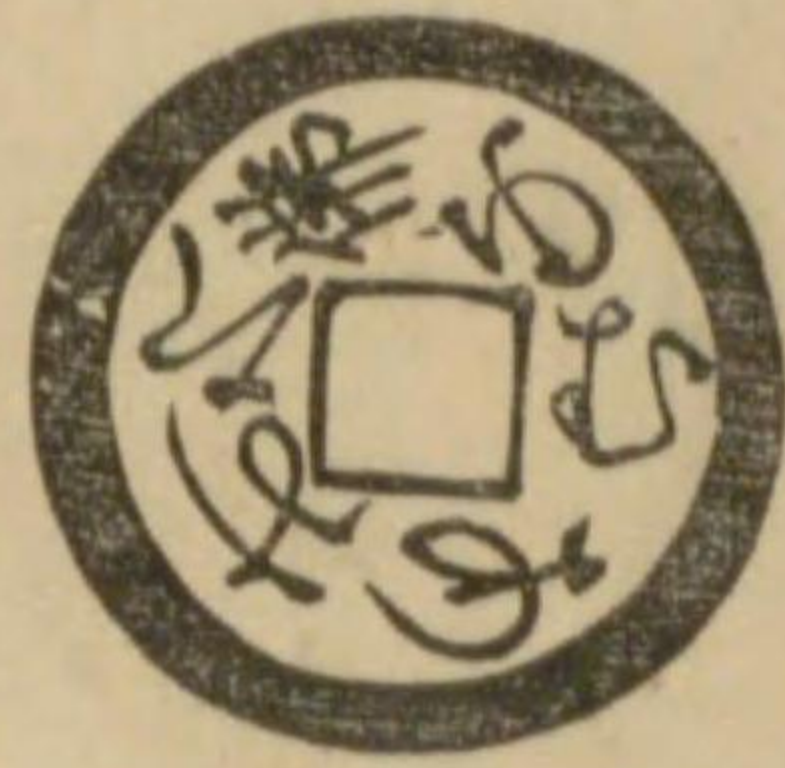
壹圓半。

番神題目



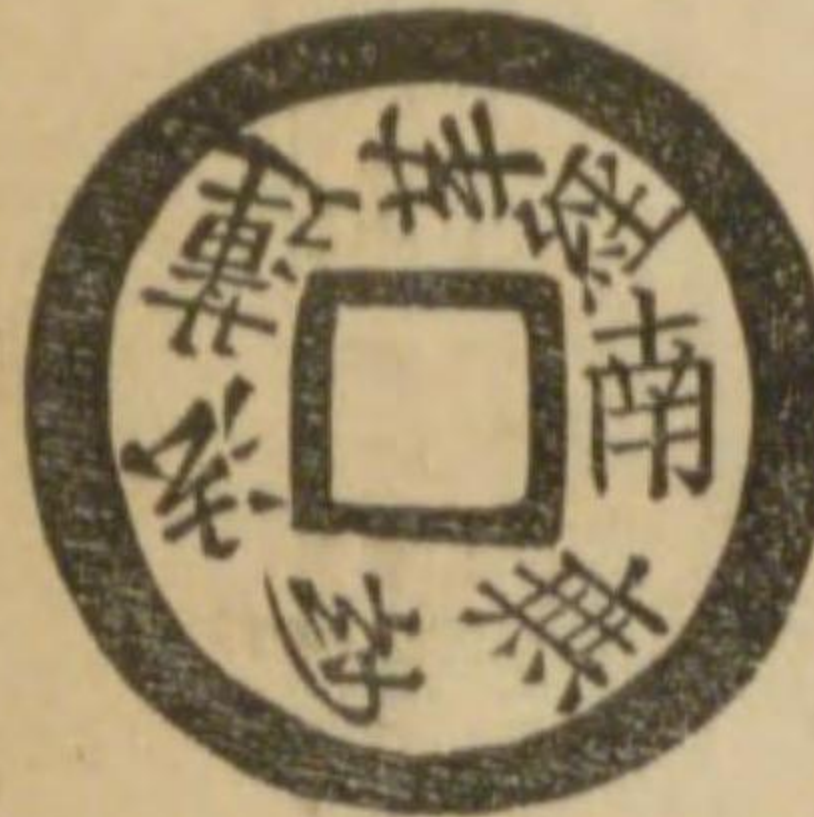
壹圓以上。

假名念佛



七八拾錢。

日親題目



壹圓半より貳圓。

吉田駒



四五拾錢。

猿曳駒



壹圓内外。

砂金駒



壹圓半より貳圓。

袋駒



同上。

農鶴駒



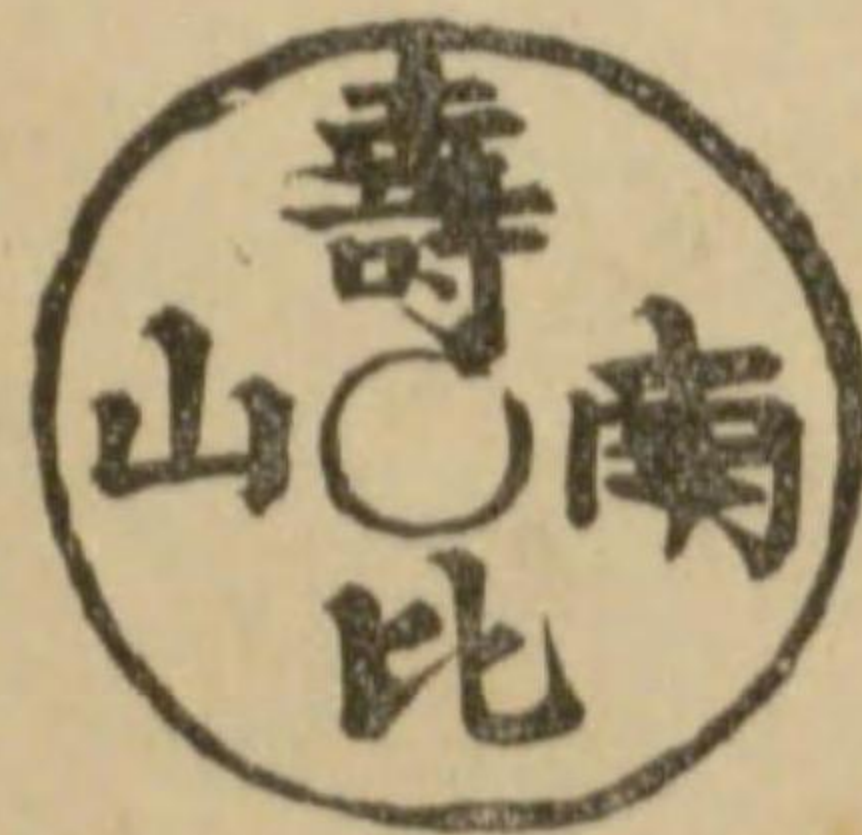
三圓半以上五圓。

龍馬



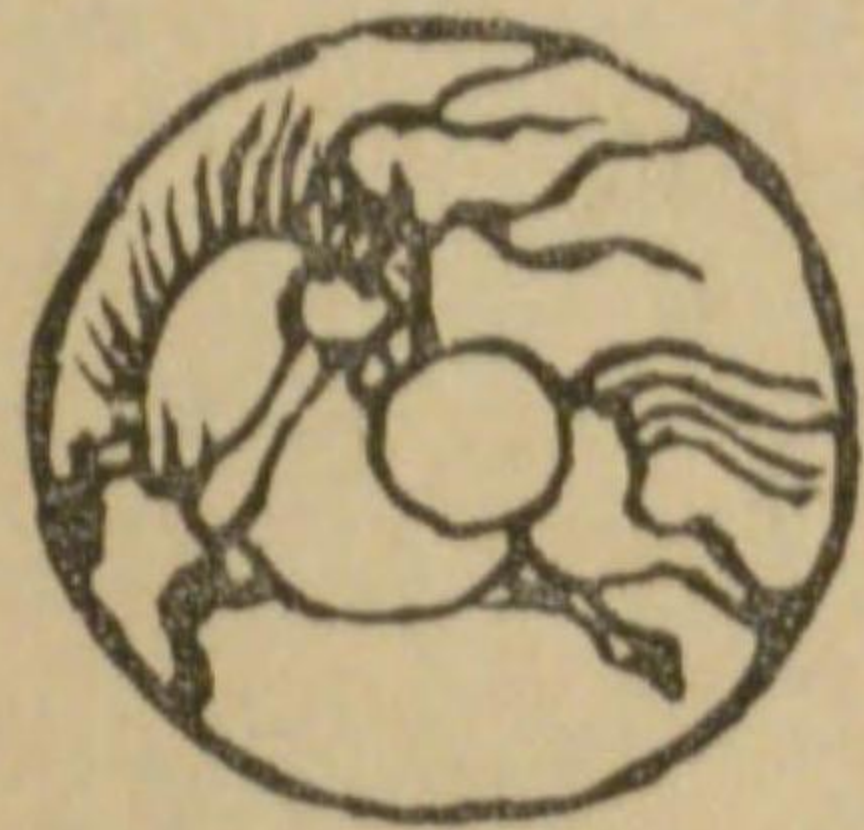
五圓内外。

壽比南山

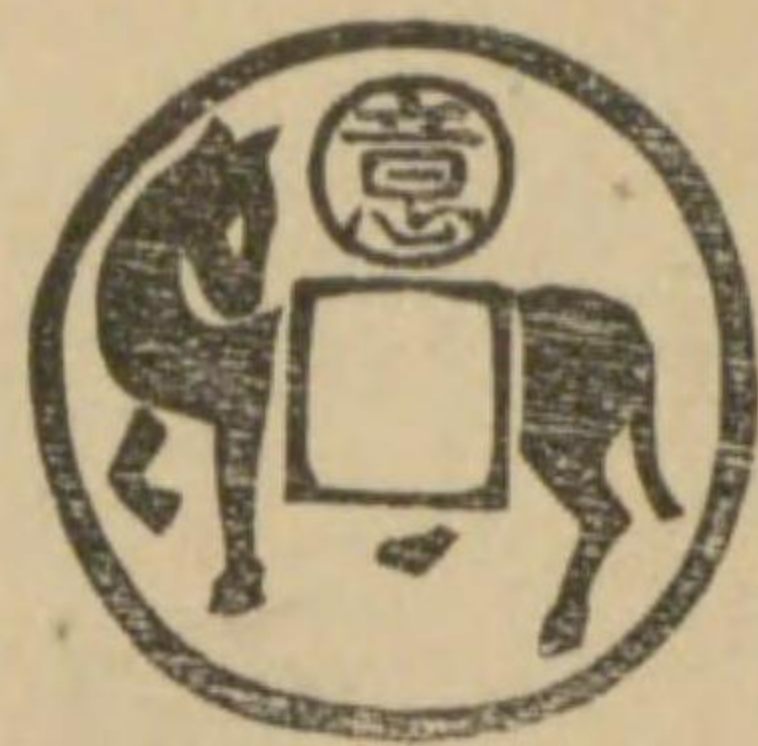


貳三圓。

背

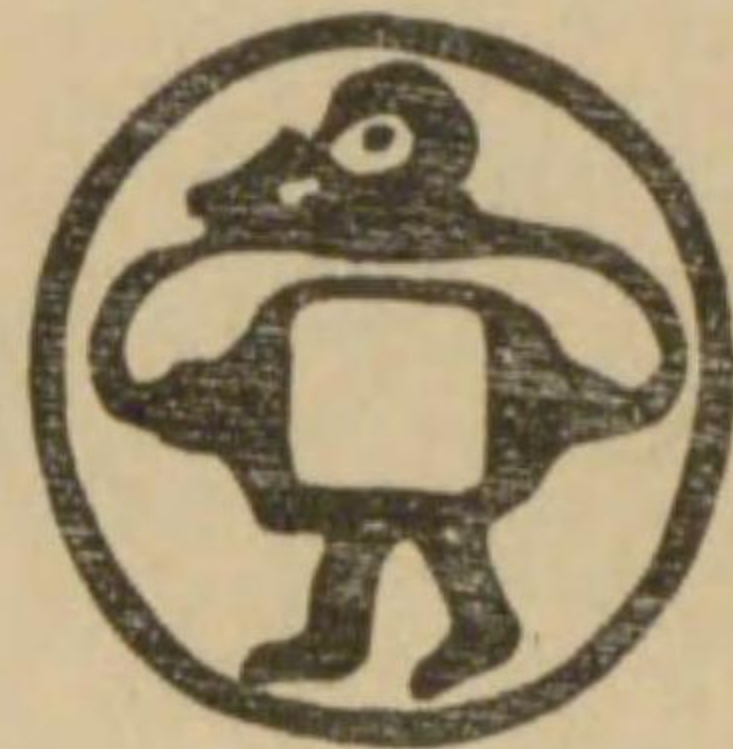


意馬心猿



貳圓以上。

背



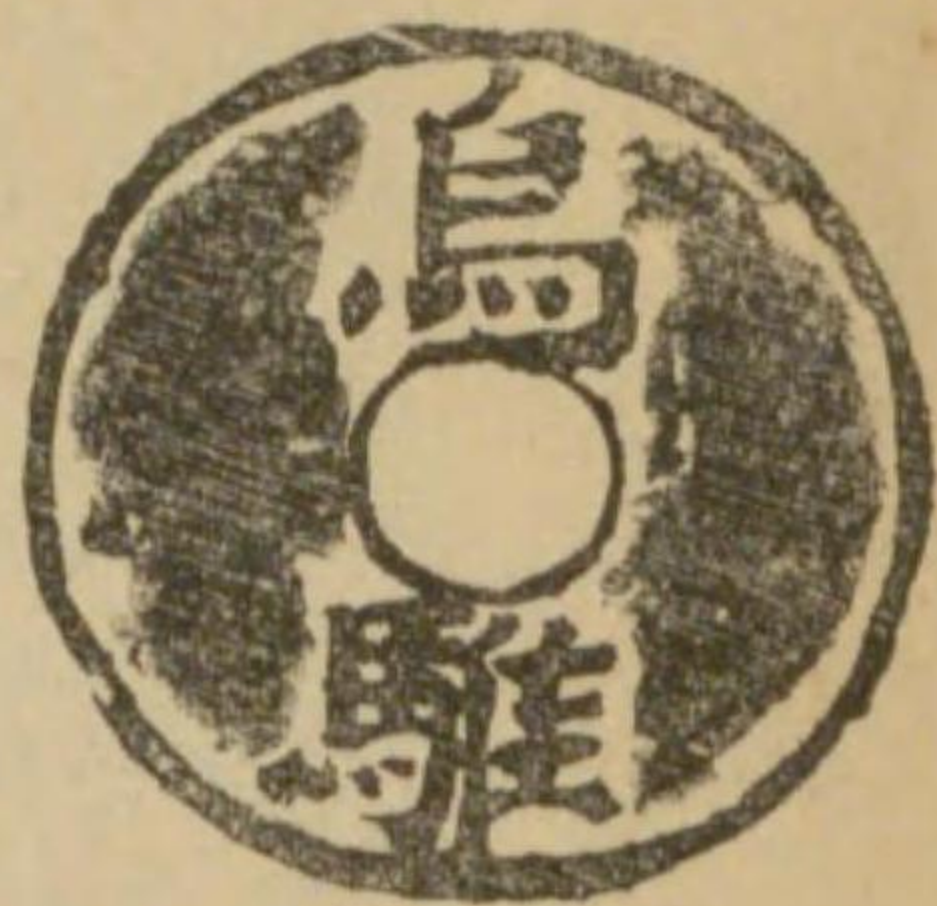
綠

貳圓內外。

耳



烏



雕

背



同上。

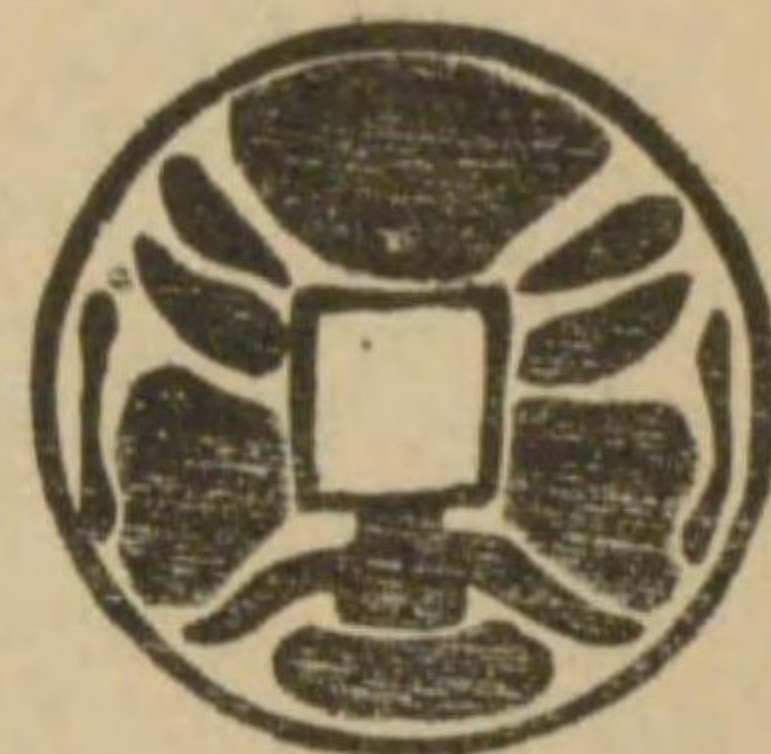
雙

壹圓以上貳圓。

童

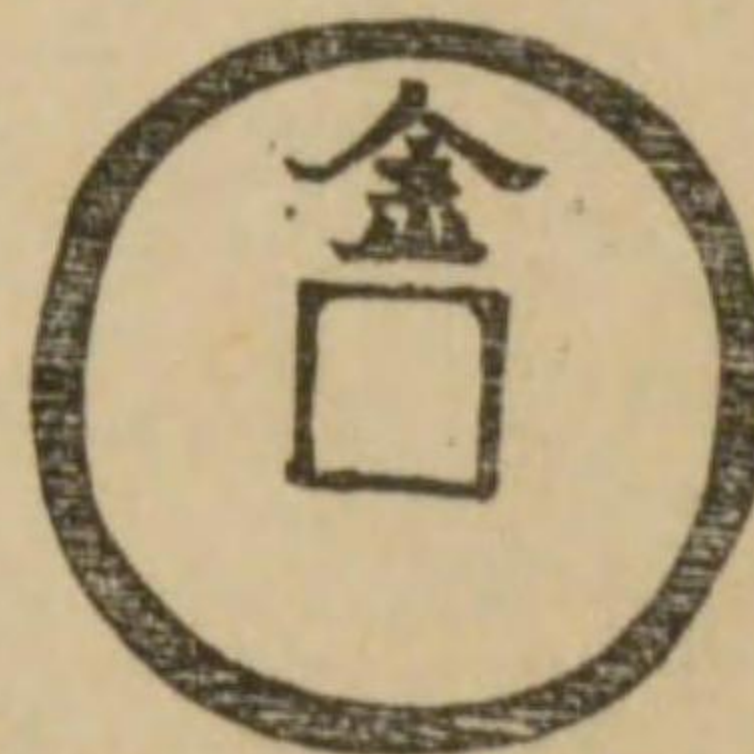


金字王面



三圓內外。

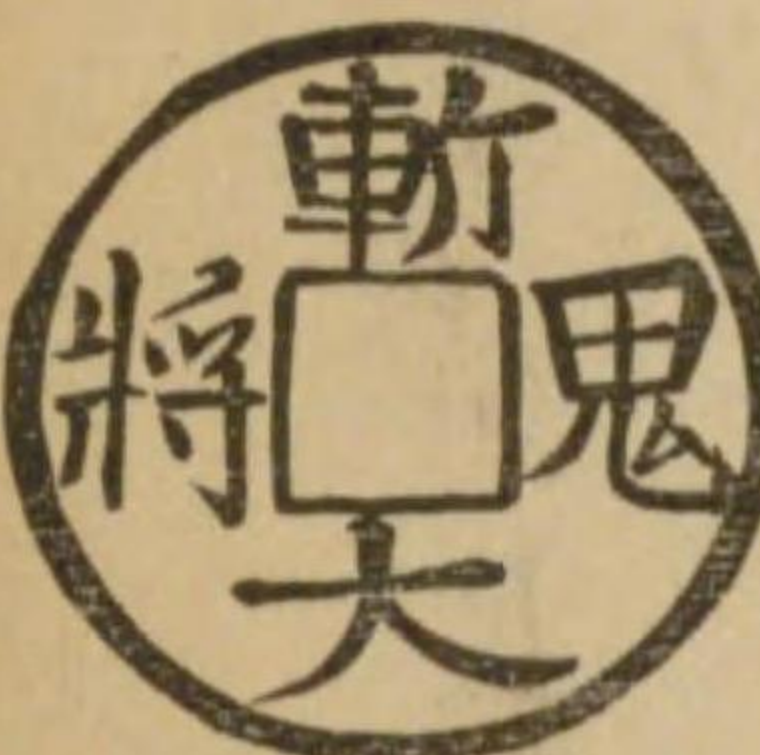
背



斬鬼大將

壹圓以上貳圓。

背鍾馗



雙

壹圓半。

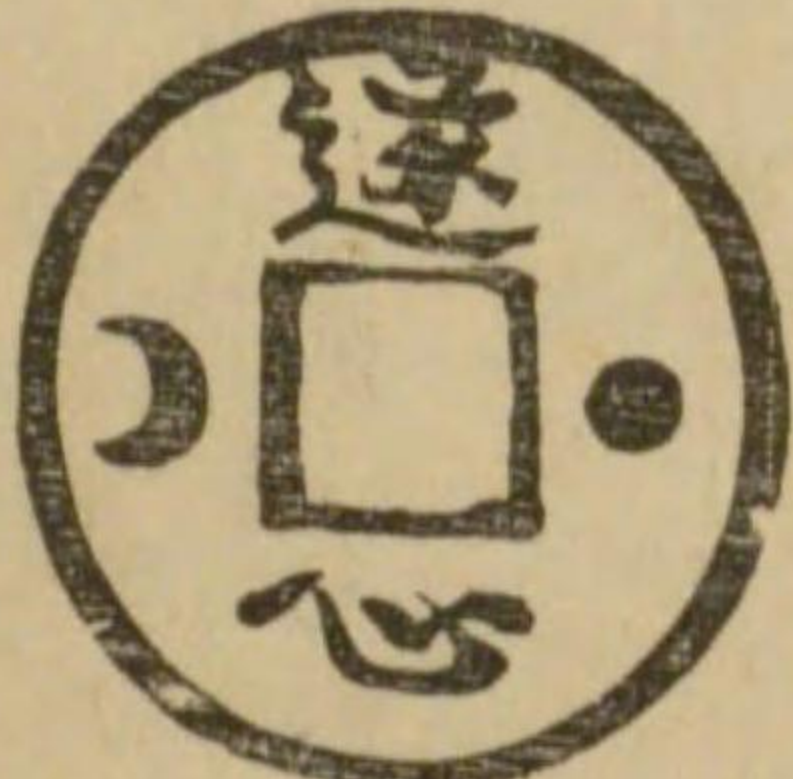
魚



阡萬遂心

貳圓內外。

背



天下太平

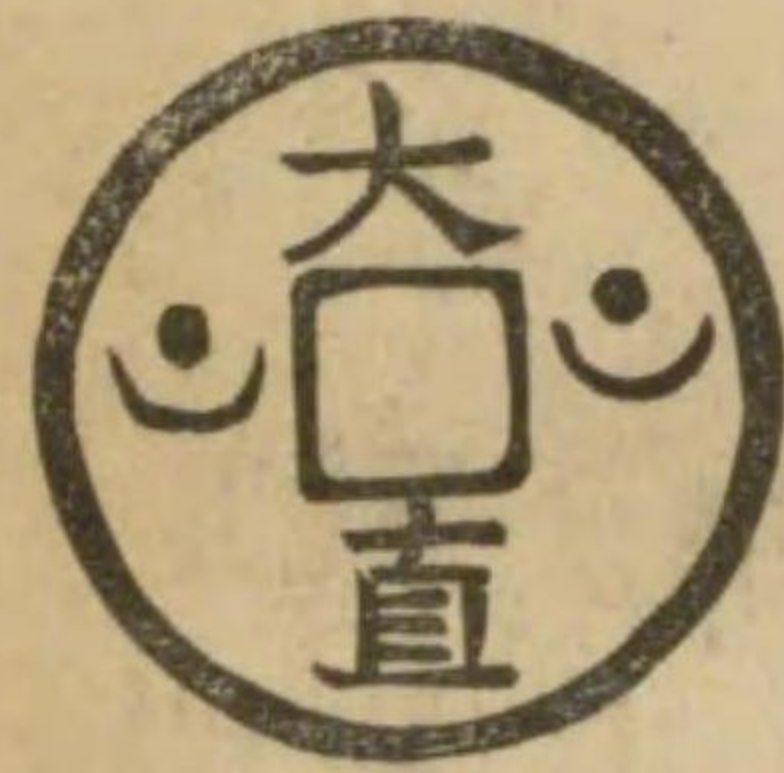


三圓以上五圓。

背四民鼓腹

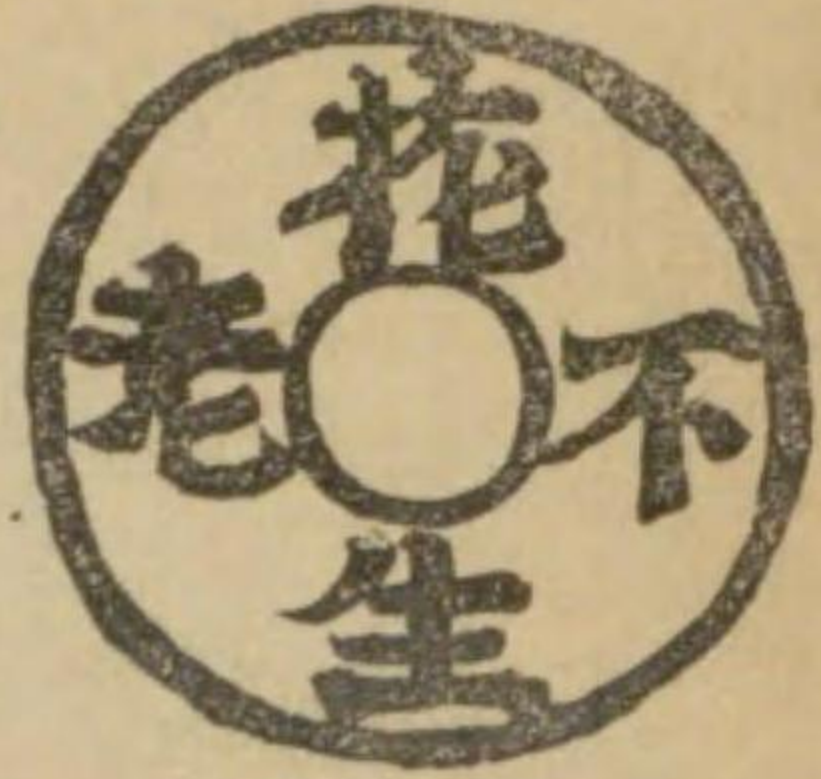


大直月星



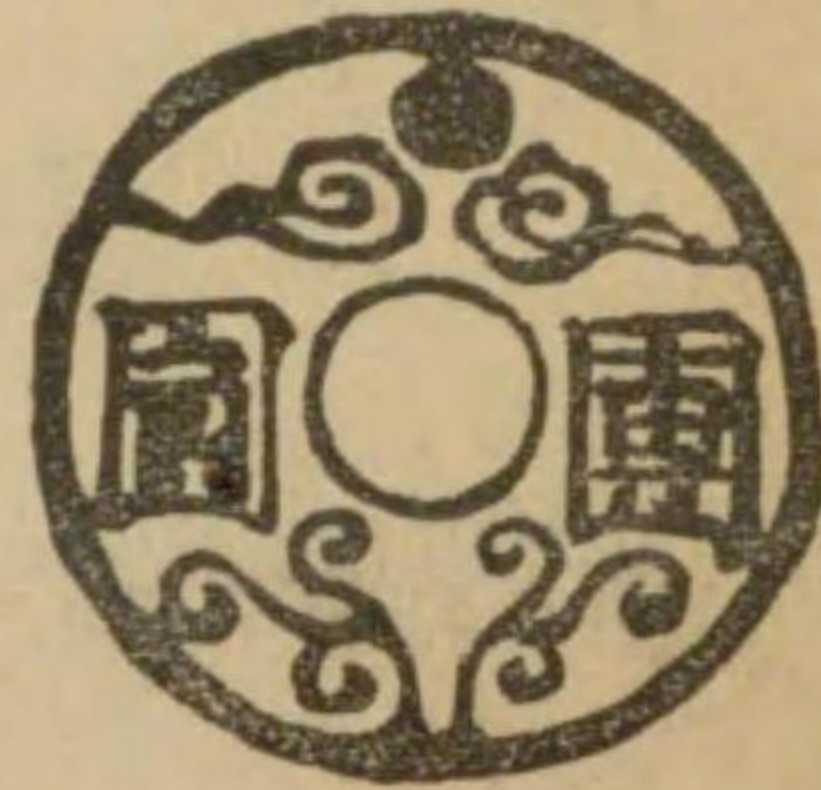
壹圓半。

花生不老



貳圓。

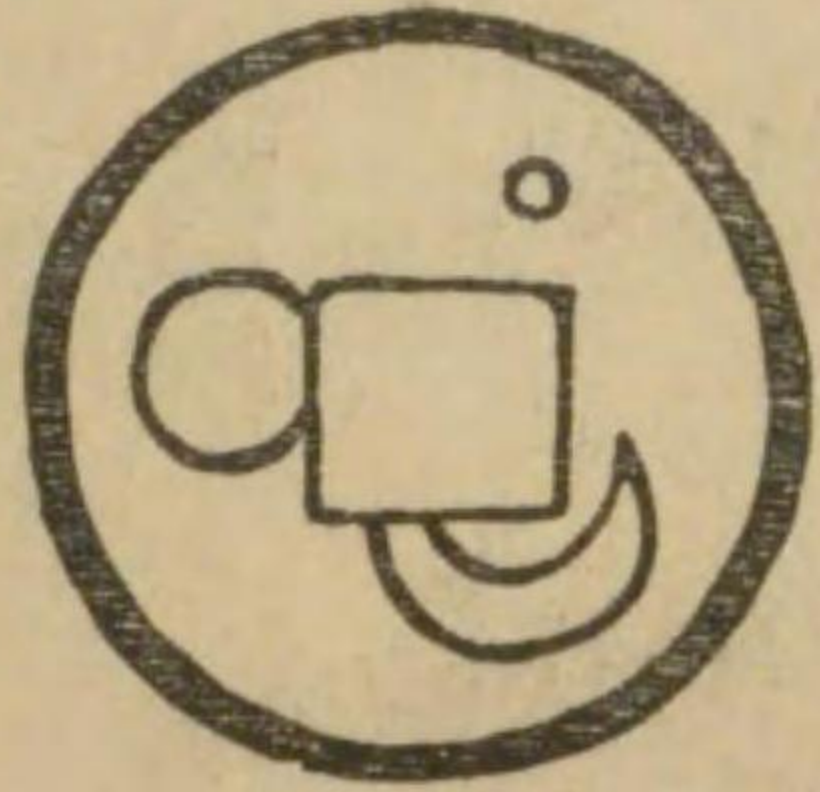
背團圓



三

辰

壹圓。



五行大布



貳圓。

背玄武



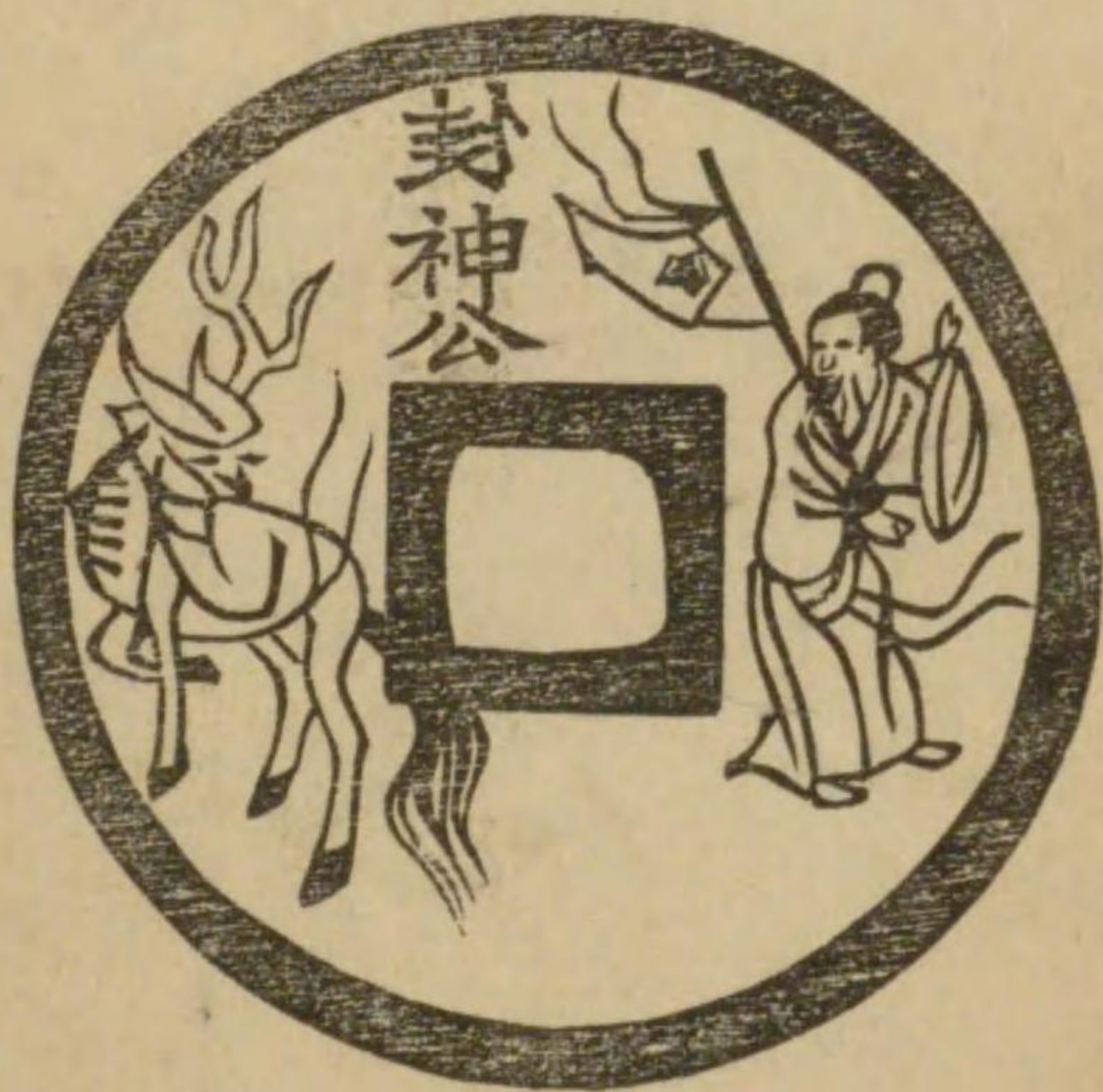
長命富貴



壹圓半より貳圓半。

封神公

背五福

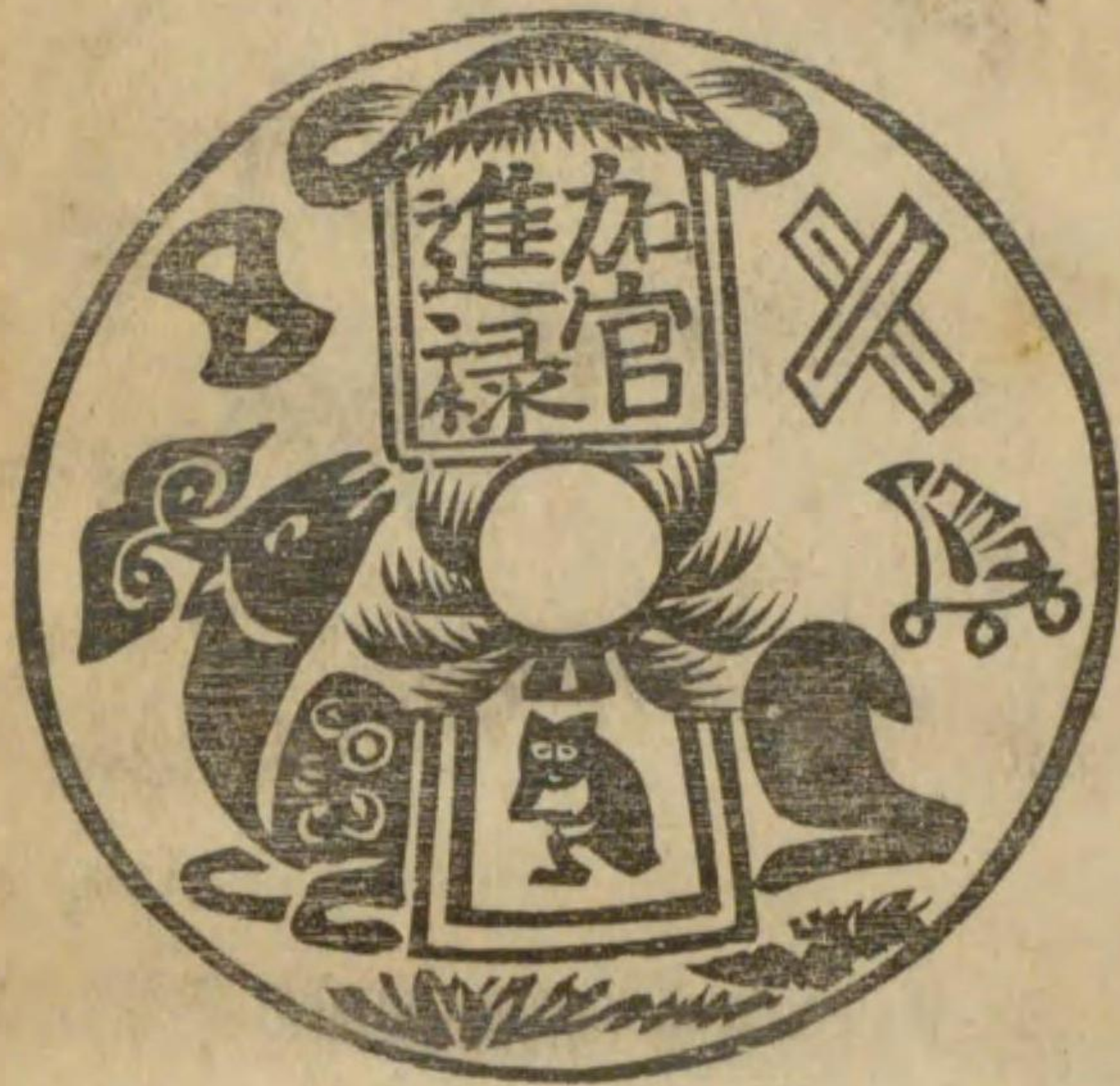


貳圓以上三圓。

背金玉滿堂



加官進祿



三圓以上五圓。

背二十支



書畫骨董

榎原夷山先生序

古錢大觀

中橋掬泉君編

○純日本紙製 ○帙入全三冊 ○裝幀高雅
正價壹圓五拾錢 ●送料拾貳錢 ●鮮臺樺支冊錢

本書別ちて三卷をなし、上巻を日本(琉球、朝鮮)下巻を支那、安南とし、『和漢繪錢類集』を附録す。日本は往古和同開鑄以前の銀鑄無文錢より明治に至り、支那は上古虞夏時代より、光緒に至る。歴代の泉貨を網羅し、一々年代事歴等の説明は最も詳細を極む。泉貨は皆原形其儘精巧なる木版に九百數十個の多きに達せり。され彫刻し、其數に九百數十個の多きに達せり。され彫刻、鑄金、染織諸家の材料に應用すべき珍書なり。

化蝶園主人編

古錢價格便覽

四六判全一冊
正價廿錢郵稅貳錢

和漢古錢の時價を詳記したるものなり。

口錢價格便覽は古錢大觀御注文の方に限
無代價にて進呈す。

186
190

中橋掬泉君編

和漢古錢一覽

兩面摺至貳枚
正價廿錢郵稅貳錢

增補古錢鑑

半紙本全一冊
正價廿錢郵稅貳錢

附錄 近古金貨圖 彩色摺

大正五年九月十一日印刷

大正五年九月十六日發行

正價金四拾五錢

東京市京橋區中橋和泉町四番地

發行者 奧村金次郎

東京市麴町區有樂町二丁目一番地

印刷所 報文社

東京市京橋區中橋和泉町四番地

發行所 朝陽舍書店

振替東京壹〇五九六番

不許複製

